

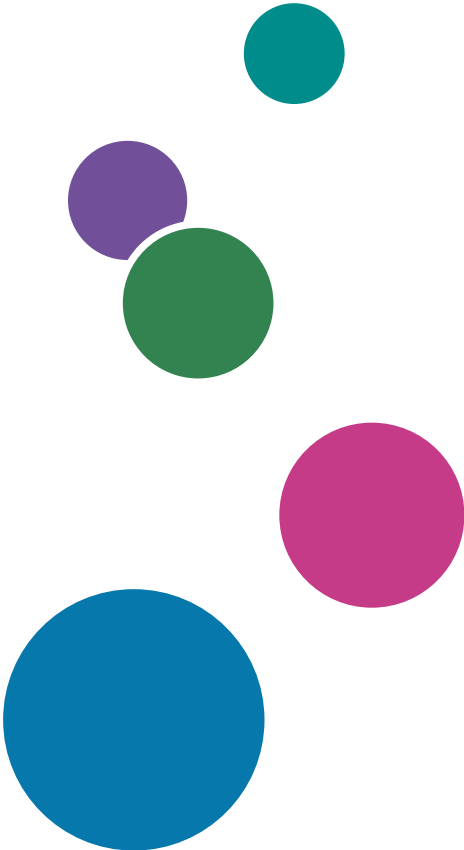


ユーザーガイド

Version 4.3.8

RICOH TotalFlow Production Manager	1
サンプルタスクを実行する	2
設定	3
オブジェクトを管理する	4
ジョブを操作する	5
ワークフローを操作する	6
レポートを操作する	7
バックアップ/リストア	8
こんなときには	9
エラーメッセージ	10
参照	

本書に記載されていない情報については、製品のヘルプ・システムを参照してください。



はじめに

おことわり

本製品の作動不良による損害、文書やデータの消失による損害、その他本製品および使用説明書の使用または使用不能により生じた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

大切な文書やデータは、コピー（複製）をとってください。お客様が操作をミスした場合は、あるいは本製品に異常が生じた場合は、文書やデータが消失することがあります。また、コンピューターウイルス、ワーム、その他の有害なソフトウェア等に対する予防措置は、お客様の責任で講じてください。

お客様が本製品を使用して作成した文書やデータを運用した結果について、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

本書についてのご注意

- ソフトウェアの改良変更等により、本書のイラストや記載事項が一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

使用説明書とヘルプの紹介

本製品には、使用説明書・ヘルプが用意されています。

使用説明書

以下の種類の使用説明書があります。

- 「セットアップガイド」（冊子/PDF）
本製品のセットアップ方法、起動方法を説明しています。
- 「クイックスタートガイド」（冊子）
アプリケーションにログインする方法、基本的な設定方法、「ユーザーガイド」の印刷方法を説明しています。
- 「ユーザーガイド」（HTML/PDF）
本製品の機能概要、基本的な操作方法を説明しています。

PDF形式の使用説明書をご覧になるには、Adobe Acrobat Reader/Adobe Readerが必要です。HTML形式の使用説明書はWebブラウザでご覧になれます。

ヘルプ

多くの画面にあるヘルプには、特定のタスク設定に関する情報があります。本書では、このヘルプを「フィールドヘルプ」と呼んでいます。

また、操作画面の [ヘルプ] メニューからHTML形式の「ユーザーガイド」に直接アクセスできます。

使用説明書とヘルプの読みかた

正しくお使いいただくために

使用説明書には、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載しています。ご使用前に、使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、使用説明書は、すぐに利用できるように保管してください。

使用説明書とヘルプの利用方法

使用説明書とヘルプは、お使いになる目的に応じてご利用ください。

本製品のインストールと起動方法を知りたいとき

「セットアップガイド」をご覧ください。

RICOH TotalFlow Production Managerを開始するとき

「クイックスタートガイド」をご覧ください。

本製品の機能と基本操作について知りたいとき

「ユーザーガイド」をご覧ください。

画面上の設定を知りたいとき

画面上のフィールドヘルプをご覧ください。

使用説明書の表示方法（セットアップガイドとユーザーガイド）

以下の方法を使用し、使用説明書（HTML/PDF）を表示します。

HTML形式とPDF形式の使用説明書の内容は同じです。

- HTML形式の「ユーザーガイド」を表示するには、以下のいずれかを行います。
 - TotalFlow Production Managerの操作画面の右にあるヘルプボタン（）の[ヘルプ]をクリックします。
 - TotalFlow Production Managerにログインしていない場合は、WebブラウザにURLの `http://hostname:15888/help/index.jsp` を入力します。TotalFlow Production Managerがインストールされているコンピューターの名前は `hostname` です。

- ▷ RICOH TotalFlow Production Manager
- ▷ サンプルタスクを実行する
- ▷ 設定
- ▷ オブジェクトを管理する
- ▷ ジョブを操作する
- ▷ ワークフローを操作する
- ▷ レポートを操作する
- ▷ バックアップ/リストア
- ▷ こんなときには
- ▷ 参照

TotalFlow Production Manager

このセクションには：

TotalFlow Production Managerは操作画面から印刷環境を一元管理できるWebベースのアプリケーションです。

設定

TotalFlow Production Managerの設定作業には、用紙やユーザーを追加したり設定するだけでなく、サーバープロパティの設定のような高度な作業もあります。

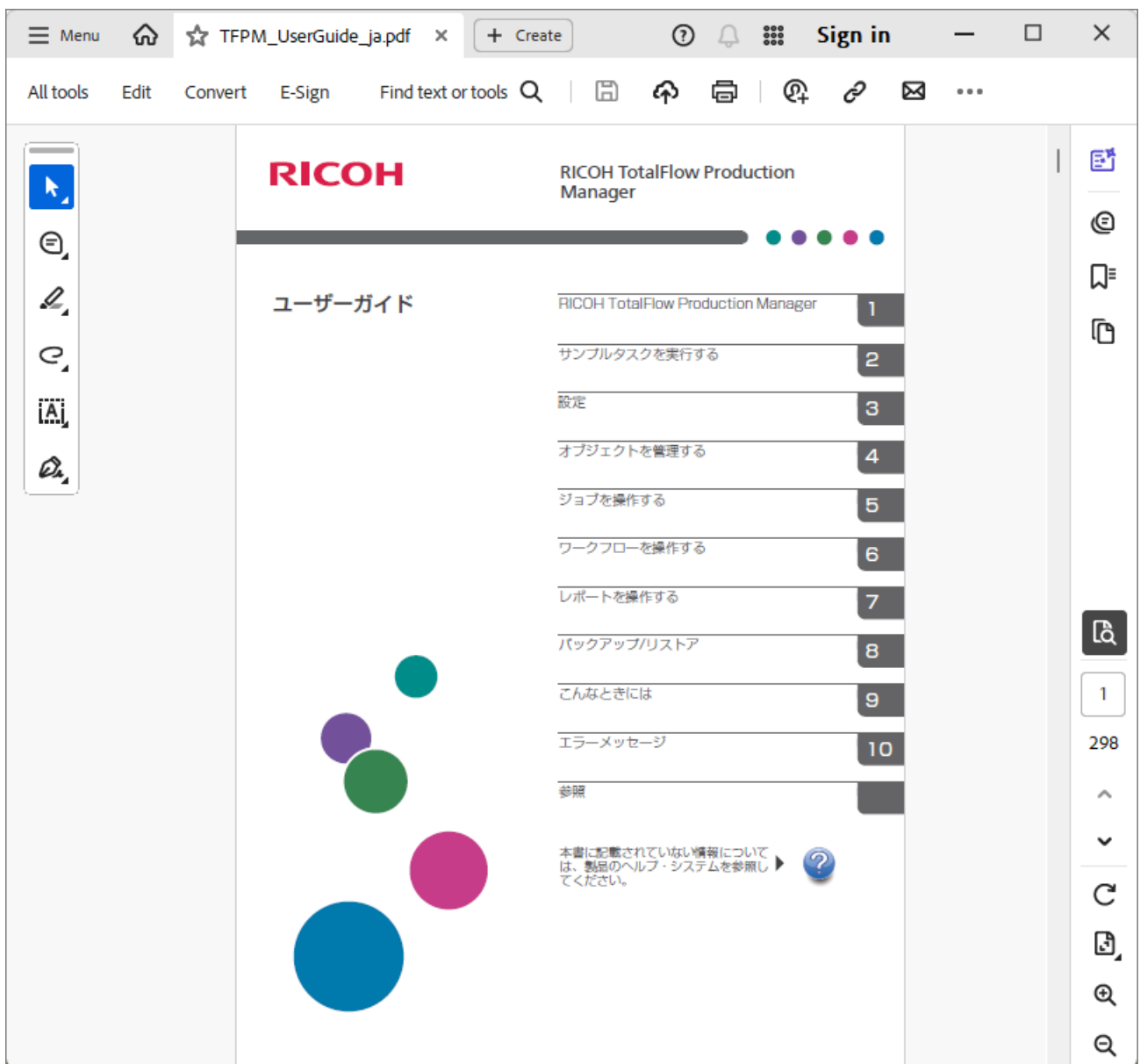
TotalFlow Production Managerでは、サーバー、ワークフロー、プリンター、プリンタープール、用紙、ユーザー、レポート、ワークフローアクティビティ、ジョブなど操作に必要なさまざまなオブジェクトを管理します。

TotalFlow Production Managerの操作画面の **全てのジョブ**ポッドと **キュー**ポッドを使用し、TotalFlow Production Managerのジョブと進行状況を管理できます。

アクティビティーを追加または削除することで、ワークフローの作成やカスタマイズができます。ワークフローとアクティビティーのプロパティーも編集できます。

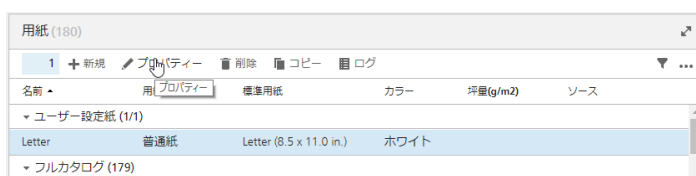
TotalFlow Production Managerには、処理能力の計画、生産効率の測定や最適化、問題の判別に使用でき

- 3



フィールドヘルプの表示方法

- ページの操作画面の項目の上にカーソルを移動すると（クリックなし）、その項目のヘルプがフィールド内に表示されます。



- プロパティのフィールドヘルプを表示するには、 をクリックします。フィールドヘルプで、 をクリックし、HTML形式の「ユーザーガイド」に関連するページを表示します。

ユーザーを作成

ユーザー名*

概要 ?

パスワードを確認* ?

キャンセル OK

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。



重要

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。必ずお読みください。



補足

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

[]

【角括弧】はキー、メニュー、メニュー項目、ウィンドウ、フィールドラベル、設定、ボタンの名前を示します。また、コマンド名と新しい用語も示します。

{ }

画面のメッセージと他の要素で、中括弧はプログラムによって固有の情報に置き換えられる変数を示します。

...

省略記号は続きがあることを示します。

商標

RICOH TotalFlow Production Managerは、株式会社リコーの米国およびその他の国における商標です。

Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、Adobe PDFロゴ、DistillerおよびReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他すべての商標は、該当する所有者の財産です。本製品では、次のように著作権を表示しています。©Copyright 1984–2025 Adobe Systems Incorporated and its licensors. All rights reserved.

Eclipse OpenJ9の使用説明書は、次の著作権の対象です。Copyright © 2017, 2025 IBM Corp.

Enfocus PitStop ServerはEnfocus BVBAの商標です。EnfocusはEskoの子会社です。

Fieryは、Electronics for Imaging, Inc.の米国および他の国における商標です。EFIは、Electronics for Imaging, Inc.の米国および他の国における商標です。

Firefoxは、Mozilla Foundationの登録商標です。

Google、Chromeは、Google Inc.の商標です。

IBM、IBMロゴ、およびibm.comは、International Business Machines Corp.の商標または登録商標で、世界中の多くの国および地域で登録されています。その他の製品名およびサービス名は、IBMまたはその他の会社の商標である場合があります。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle およびその関連会社の登録商標です。

MacおよびmacOSは、米国と他の国および地域で登録されたApple Inc.の商標です。

MarcomCentralおよびFusionProは、MarcomCentral®、株式会社リコーの登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Microsoft Edgeは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windowsオペレーティングシステムの正式名称は、以下のとおりです。

- Windows 10
Microsoft® Windows 10 Pro
Microsoft® Windows 10 Enterprise
- Windows 11 :
Microsoft® Windows 11 Pro
Microsoft® Windows 11 Enterprise
- Windows Server 2019
Microsoft® Windows Server® 2019 Standard
Microsoft® Windows Server® 2019 Essentials
- Windows Server 2022 :
Microsoft® Windows Server® 2022 Standard
- Windows Server 2025:
Microsoft® Windows Server® 2025 Standard

OpenJDKは、Oracle America, Inc.の商標です。Java and OpenJDK、Oracle Corporationおよび/またはその関連会社の商標または登録商標です。Copyright Oracle America, Inc.

PostgreSQL Database Management System（以前はPostgres、現Postgres95として知られる）はCybertec – The PostgreSQL Database Companyの商標です。

Sentinel®はThales DIS CPL USA, Inc.の登録商標です。

その他の会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。当社では、このような商標に関する一切の権利を否認します。

目次

はじめに

おことわり	1
本書についてのご注意	1
使用説明書とヘルプの紹介	1
使用説明書とヘルプの読みかた	2
正しくお使いいただくために	2
使用説明書とヘルプの利用方法	2
マークについて	5
商標	5

1 RICOH TotalFlow Production Manager

製品の概要	13
システムオブジェクト	15
ジョブ送信方法	17
プロパティ	18
TotalFlow Production Managerの操作画面	20
メニューバー	21
[操作]ページ	22
[キュー]ページ	29
[設定]ページ	31
[レポート]ページ	34
[ジョブプロパティエディター] ダイアログ	36
表示モード	37

2 サンプルタスクを実行する

メール通知を作成/修正する	41
プリンター通知を作成/修正する	41
ワークフロー通知を作成/修正する	43
ジョブ通知を作成/修正する	45

3 設定

プリンターを作成する	49
ジョブチケットプリンターを作成する	50
パススループリンターを作成する	58
データ置換ツールを使用するためにパススループリンターを設定する	62
プリンターに区切り紙の印刷を設定する	64
バックアッププリンターを設定する	65
用紙を使用するためにプリンターを設定する	67

ワークフローを作成する	68
プリンターまたはプリンタープールをワークフローに関連付ける	69
ジョブプロパティのワークフローデフォルト値と上書き値を設定する	71
プリンタープールを作成する	73
プリンタープールの使用例	74
接続を作成する	77
ジョブ送信を準備する	79
ホットフォルダーを使用してジョブ送信を設定する	79
LPDを使用してジョブを送信するように設定する	84
用紙を作成する	86
TotalFlow Production Managerと他のプログラムの用紙	86
自動で用紙を作成する	87
プリンター用紙リストをインポートする	87
手動で用紙を作成する	90
別のシステムにオブジェクトをコピーする	91
サーバープロパティを設定する	92
セキュリティをセットアップする	93
メールサーバーをセットアップする	102
カラーマネジメントシステムを設定する	103
プリフライトアクティビティ用フォントを設定する	105
PostScript変換オプションを設定する	107
通知を作成する	107
ログスケジュールを変更する	109
クライアントコンピューターを設定する	109
TotalFlow Production Managerへのログインを準備する	110
操作画面をカスタマイズする	114
4 オブジェクトを管理する	
プロパティを表示/変更する	117
状態を表示する	118
ログを表示する	120
ワークフローとプリンターを有効にする	122
ワークフローとプリンターを無効にする	122
通知を編集する	122
オブジェクトを削除する	123
プリンターを管理する	124
プリンターのトレイと用紙をマッピングする	124

プリンターまたはプリンタープールに割り当てたジョブを表示する.....	125
プリンターのWebページを表示する.....	126
プリンターに用紙交換を作成する.....	126
5 ジョブを操作する	
TotalFlowアプリケーションからジョブを送信する.....	129
TotalFlow Production Managerからジョブを送信する.....	129
RICOH TotalFlow Prepからジョブを送信する.....	131
RICOH TotalFlow Production Manager Job Submissionからジョブを送信する.....	131
TotalFlow PM PDF Print Driverからジョブを送信する.....	135
外部接続からジョブを送信する.....	140
MarcomCentralをTotalFlow Production Managerに接続する.....	140
ワークフローを接続製品に関連付ける.....	141
MarcomCentralのジョブを操作する.....	142
MarcomCentral JobDirect注文の用紙設定を構成する.....	143
lpr 印刷コマンドを使用してジョブを送信する.....	144
TotalFlow Production Managerでジョブを確認する.....	146
【キュー】ポットでジョブを検索する.....	147
ジョブ情報を表示/変更する.....	147
ジョブ状況を表示する.....	147
ジョブの部数を変更する.....	149
ジョブプロパティーを表示する.....	150
デフォルト値と上書き値.....	150
複数のジョブを編集する.....	150
ジョブプロパティーを変更する.....	151
RICOH TotalFlow Prepでジョブを編集する.....	178
特殊な指示を作成する.....	180
ジョブをPDFに変換する.....	181
プリフライトジョブ.....	185
ジョブを試し印刷する.....	197
ワークフロープロパティーを使用してジョブを修正する.....	198
ジョブを開始/移動/一時停止/再開する.....	200
プリンターまたはプリンタープールにジョブを送信する.....	200
別のプリンターまたはプリンタープールにジョブを移動する.....	201
別のワークフローにジョブを移動する.....	203
ジョブを優先して処理/印刷する.....	204
ジョブを承認/却下する.....	205

強制的にエラーのジョブを続行する.....	206
ジョブを一時停止する.....	206
一時停止したジョブを再開する.....	206
印刷する前にジョブを保留する.....	206
ジョブを保存する.....	208
ジョブを再印刷する.....	210
ジョブをマージする.....	213
ジョブを再処理する.....	214
パスワードで保護されたPDFのロックを解除する	215

6 ワークフローを操作する

ワークフローページ.....	218
標準ワークフロー.....	219
標準アクティビティとカスタムアクティビティ.....	219
ワークフローを作成する.....	221
ワークフローを編集する.....	222
カスタムアクティビティを作成する.....	223
アクティビティプロパティとジョブデフォルト値を表示/変更する.....	224
Streamlineからジョブを受け取るためにワークフローを設定する.....	225
ホットフォルダーのジョブをマージするためワークフローを設定する.....	225
外部アクティビティ.....	226
外部アプリケーションをセットアップする.....	227
[外部アプリケーション実行]アクティビティを作成する.....	228
[ホットフォルダーアプリケーション実行]アクティビティを作成する.....	229
[フォルダーにコピー]アクティビティを作成する.....	230
アクティビティを削除する.....	231

7 レポートを操作する

標準レポート.....	233
[ジョブ性能]レポート.....	234
[印刷されたジョブ]レポート.....	234
[プリンター使用状況]レポート.....	235
レポートを表示する.....	236
レポートの時間範囲を設定する.....	236
レポートを保存する.....	237
レポートをエクスポートする.....	237
レポートを削除する.....	238

8 バックアップ/リストア

データをバックアップする	239
データをリストアする	241

9 こんなときには

RICOH TotalFlow PMサービスが開始しない	245
TotalFlow Production Managerにアクセスできない	245
TotalFlow Production Managerの上位バージョンをインストールできない	246
ファイルをアップロードできない	246
ジョブプロパティエディターのエラーでジョブ送信セッションが停止する	246
プリンター機器と通信できない	247
TotalFlow PM PDF Print Driverがサーバーと通信できない	247
ワークフローを有効にできない	247
ジョブの状態を表示できない	248
正しい文字でファイル名またはジョブ名が表示/印刷されない	248
入力ファイルにエラーがある	248
日本語の値が保存されない	248
ジョブ入力値が自動的に修正される	248
ジョブプロパティが更新されない	248
合計シート数が0になる	249
正しい文字で表示/印刷されない	249
印刷がスケジュールされない	249
ジョブ/入力ファイルを削除できない	250
正しい順序で印刷されない	250
ジョブの印刷状態の時間が長い	250
PitStop Serverエラーによってジョブが却下される	250
不正なローカルプロファイルがプリフライトデータベースに表示される	251
メッセージが画面と異なる言語で表示される	251
用紙をマッピングできない	251
性能に問題がある	251
ダイアログを閉じた後に操作画面が応答しない	252
ブラウザーが応答しない	252
TotalFlow PM PDF Print Driverで印刷ダイアログがジョブプロパティと同期しない	252
印刷ダイアログ設定がTotalFlow Production Managerで修正される	252
[ブック全体を印刷] オプションで複数のジョブを作成する	253
[ジョブのプロパティ]ダイアログのトラブルシューティング	253

10 エラーメッセージ

AIWFnnnnメッセージ	255
AIWInnnnメッセージ	257
AIWPnnnnメッセージ	259
AIWRnnnn メッセージ	264
AIWSnnnn メッセージ	264
AIWXnnnnメッセージ	264
AIWXMRnnnn メッセージ	265
AIWXNOTnnnnメッセージ	265
AIWWnnnnメッセージ	265

11 参照

用紙プロパティ値	267
JobDirect注文用JDF用紙プロパティ	270
正規表現	274
記号表記でファイル名を指定する	275
コマンドでジョブ属性シンボルを使用する	277
コマンドで使用するプリンター属性シンボル	279

索引

1. RICOH TotalFlow Production Manager

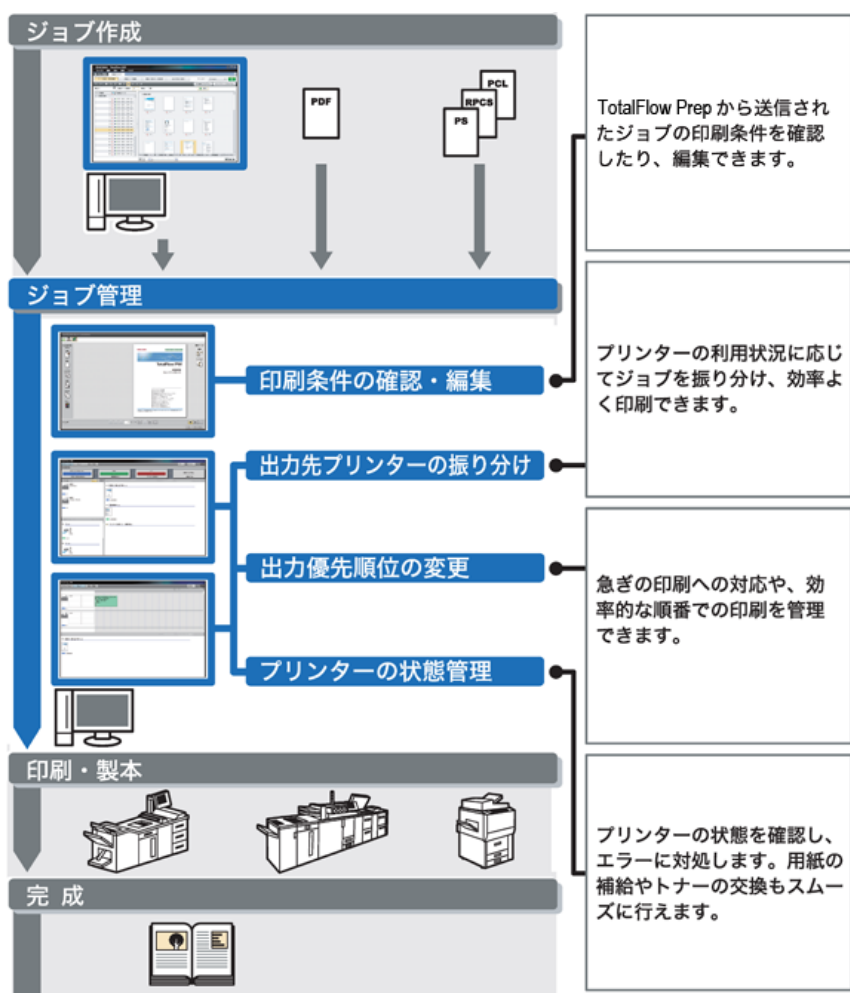
- 製品の概要
- TotalFlow Production Managerの操作画面
- [ジョブプロパティエディター] ダイアログ

TotalFlow Production Managerは操作画面から印刷環境を一元管理できるWebベースのアプリケーションです。

この使用説明書には、管理者とオペレーターがTotalFlow Production Managerを使用するときに必要な情報が記載されています。

製品の概要

RICOH TotalFlow Production Managerを使用すると、単一のブラウザ操作画面から個別のIPアドレスやホスト名を持つ最大15台のプリンターで印刷処理を管理できます。TotalFlow Production Managerはサーバーとしてインストールされ、操作画面はクライアントとして動作します。



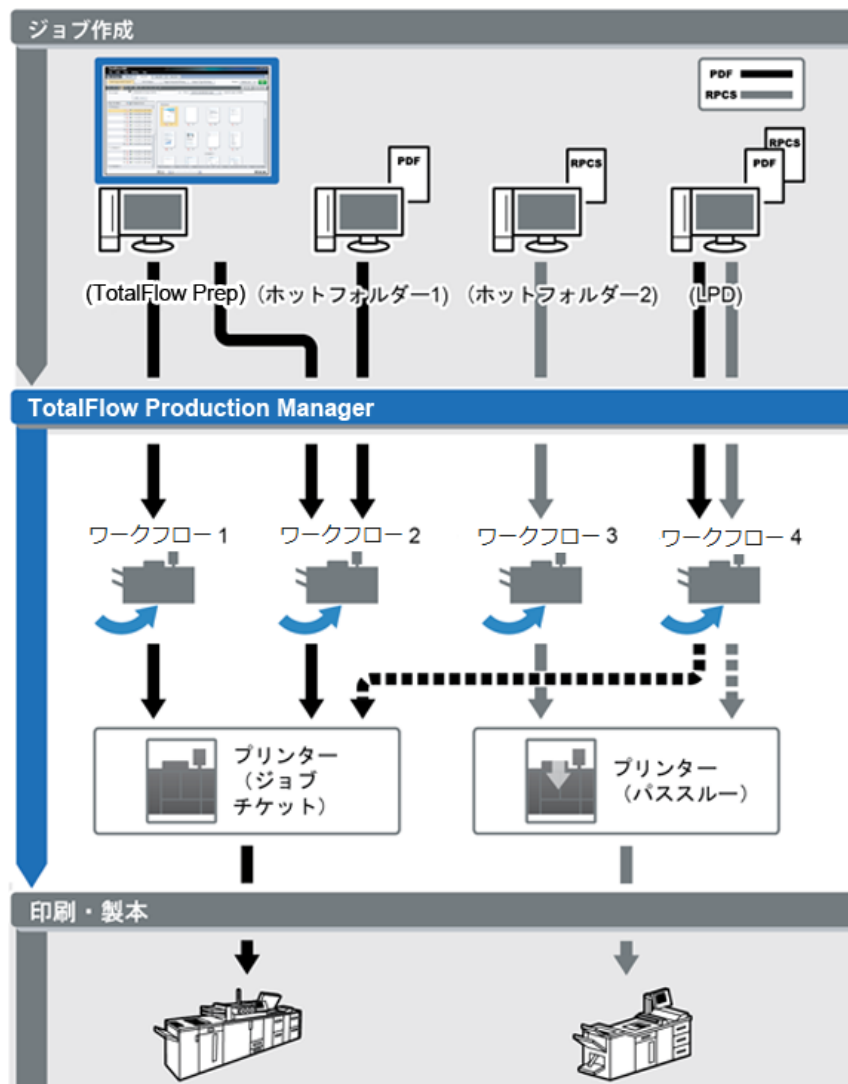
TotalFlow Production Managerでは、プリンターに割り当てたジョブや印刷ジョブを一元管理できます。ユーザーは受信中、処理中、完了済みジョブを追跡して印刷直前になるまでジョブチケットを編集できます。TotalFlow Production Managerを使用すると、簡単にジョブの印刷順序や出力プリンターを変更または再印刷できます。

TotalFlow Prepを使用すると、編集、面付け、ページ配置変更などの前処理タスクを実行できます。TotalFlow PrepはTotalFlow Production Managerにジョブチケット付きのジョブを送信します。TotalFlow PrepとTotalFlow Production Managerでシームレスに作業を行い、ジョブを作成し、前処理設定を適用して、最適なプリンターに送信します。

TotalFlow Production Managerは、ホットフォルダーを使用したジョブ送信にも対応しています。ファイル転送用LPDプロトコルを使用すると、別のシステムからジョブを送信できます。

プリンターへのネットワーク通信を使用すると、簡単にプリンターとジョブの状態を確認できます。

以下の図では、TotalFlow Production Managerを通過するジョブフローを説明しています。ジョブはジョブ属性を割り当てるワークフローに送信されます。たとえば、ワークフロー1でボンド紙、ワークフロー2で再生紙を指定してジョブを印刷するとします。ワークフローにプリンターを関連付けている場合は、TotalFlow Production Managerは自動的にそのプリンターにジョブを割り当てます。ワークフロー4にはプリンターを関連付けていないため、ジョブチケットプリンターまたはパススループリンターにオペレーターが手動でジョブを移動します。



システムオブジェクト

TotalFlow Production Managerは、サーバー、プリンター、プリンタープール、ワークフロー、用紙、ユーザー、ジョブ、アクティビティ、レポートで構成されています。これらは**システムオブジェクト**と呼びます。各システムオブジェクトには詳細な属性を設定できます。属性は**プロパティ**と呼びます。

サーバー

TotalFlow Production Manager **サーバー**をWindowsコンピューターにインストールします。TotalFlow Production Managerではそのサーバーを [System] と呼びます。

サーバーの役割は、以下のとおりです。

- ワークフローがジョブを受信してからプリンターで印刷されるまでのジョブ処理を管理します。
- オンラインバージョンの使用説明書を管理します。
- システム設定を管理します。

プリンター

プリンターはTotalFlow Production Managerで作成し、プリンター機器に関連付けます。プリンターはワークフローから受信したジョブをプリンター機器に送信します。

プリンター機器を示すためにTotalFlow Production Managerに作成するプリンターの種類は機器の処理能力によって異なります。

ジョブチケットプリンター

ジョブチケットプリンターはジョブチケットに対応するプリンター機器に関連付けられます。ジョブチケットプリンターに割り当てたジョブのジョブチケットを編集すると、ジョブオプションを指定できます。

ジョブチケットプリンターに関連付けたTotalFlow Production Managerワークフローでは次のプログラムからジョブを受信できます。

- RICOH TotalFlow Production Manager Job Submission
- RICOH TotalFlow Prep
- RICOH TotalFlow PM PDF Print Driver
- MarcomCentral Web to Printシステムのような外部オンラインアプリケーション

ホットフォルダー、またはラインプリンターデーモン(LPD)プロトコルを使用する印刷コマンドからもジョブを受信できます。ジョブチケットプリンターはプリンター機器と直接通信し、印刷中のジョブの状況を取得できます。

パススループリンター

パススループリンターはPCL、PostScript、PDFなどのさまざまな形式のジョブを印刷する機器に関連付けできます。パススループリンターに割り当てられたジョブにはジョブチケットがありません。パススループリンターに関連付けられたTotalFlow

Production Managerワークフローは、ホットフォルダーやLPDプロトコルを使用する印刷コマンドからジョブを受信できます。パススループリンターはジョブ状況をレポートできません。

パススループリンターはRICOH TotalFlow Production Manager Job Submissionからジョブを受信できます。

ワークフロー

ワークフローはジョブを受信し、TotalFlow Production Managerのプリンターまたはプリンタープールに送信します。

ワークフローではジョブが進む一連のアクティビティーが定義されます。

プリンタープール

プリンタープールは効率的に連携するためのプリンターのグループです。プリンタープールにジョブを送信すると、TotalFlow Production Managerは最速で印刷できるプリンターにジョブを割り当てます。

部数分割オプション

ジョブをより速く印刷するには、部数分割機能を使用します。新しいプリンタープールを作成するときは、**【部数分割】オプション**を**【はい】**に、**【コピー分割しきい値】**を部数分割の開始前にジョブが持つことが可能な最大部数に設定します。ジョブはプリンタープールにあるすべてのプリンターに分割されるので、部数全体が最速で印刷されます。

【接続】

【接続】により、TotalFlow Production ManagerがMarcomCentral Web to Printシステムのような外部オンラインアプリケーションからジョブを受信できます。

製品注文の種類に基づいて、接続を使用して処理規則を指定することもできます。

用紙

用紙とは、ジョブが印刷される封筒、フォーム、ラベル紙、または透明シートなどの用紙種類の総称です。TotalFlow Production Managerは各プリンターの給紙トレイの用紙を管理し、この情報を使用して特定用紙を必要とするジョブを、その用紙を使用するプリンターに割り当てます。

ユーザー

TotalFlow Production Managerユーザーは固有のTotalFlow Production Manager**ユーザー名**と**パスワード**が必要です。

ユーザー権限は、アクセスできるオブジェクトや実行できる操作を制御します。

ジョブ

ジョブはTotalFlow Production Managerが処理するために受信または送信する入力ファイルです。

TotalFlow Production Managerは次の形式でジョブを印刷できます。

データ形式	ジョブチケットプリンター	パススループリンター	補足
PCL	はい	はい	ジョブチケットプリンターで扱うためには、PCLジョブをワークフローの変換ステップでPDFに変換してください。
PDF (Portable Document Format)	はい	はい	ジョブチケットプリンターを使用すると、パススループリンターより多くのジョブオプションをプリンター機器から情報を取得できるため、多くの場合は、ジョブチケットプリンターでPDFジョブを印刷します。
PostScript	はい	はい	ジョブチケットプリンターを扱うためには、PCLジョブをワークフローの変換ステップでPDFに変換してください。
RPCS	いいえ	はい	日本で販売されるプリンター機器のみRPCSに対応しています。
TIFF	はい	はい	TotalFlow Production Managerは形式をPDFファイルに自動的に変換します。
PNG	はい	はい	
JPEG	はい	はい	

レポート

レポートにはジョブの印刷とプリンターの使用状況に関する情報があります。管理者は、この情報を使用すると、生産量の計画、生産効率性の測定や最適化、問題の特定ができます。

アクティビティ

アクティビティにはジョブの作成や削除などを実行する特定のアクションがあります。また、デフォルトのジョブプロパティも定義できます。

TotalFlow Production Managerではジョブ印刷に必要なすべてのアクティビティを提供します。これらのアクティビティをコピーまたは修正してカスタムアクティビティを作成することもできます。

ジョブ送信方法

TotalFlow Production Managerには、別のTotalFlowアプリケーション、LPDプロトコル、FTP、またはその他のファイルコピー方式を使用してジョブを送信できます。

ジョブは定義したワークフローに送信されます。ワークフローはジョブを受信してジョブ処理を開始します。

対応しているジョブ送信方法は、以下のとおりです。

RICOH TotalFlow Production Managerからのクイック送信

TotalFlow Production Managerからクイック送信を使用すると、対応種類のファイルを送信エリアにドラッグ&ドロップしてジョブを入力できます。入力時に選択したTotalFlow Production Managerのワークフローにファイルが送信されます。

RICOH TotalFlow Prep

TotalFlow Prepを使用すると、文書の編集や構成を行い、文書を選択してジョブチケット付きジョブを作成して、TotalFlow Production Managerのワークフローに送信できます。

RICOH TotalFlow Production Manager Job Submission

TotalFlow Production Manager Job Submissionを使用すると、文書を選択してジョブチケット付きジョブを作成し、TotalFlow Production Managerのワークフローにジョブを送信できます。

RICOH TotalFlow PM PDF Print Driver

TotalFlow PM PDF Print Driverを使用すると、対応オペレーティングシステムから文書をTotalFlow Production Managerサーバーに送信後、TotalFlow Production Manager Job Submissionを使用してジョブをTotalFlow Production Managerのワークフローに送信できます。

ホットフォルダー

FTPクライアントまたは任意のファイルコピー方式を使用すると、ホットフォルダーに印刷ファイルをコピーまたは移動できます。ホットフォルダーにジョブをコピーや移動すると、ホットフォルダーに関連付けたワークフローは自動でジョブを受信して処理を開始します。

LPDプロトコル

LPRポート、lprコマンド、LPDプロトコルを使用する別のコマンドを使用すると、ワークフローにジョブを送信できます。ワークフローにジョブを送信するには、コマンドに送信先のワークフローの名前を指定します。たとえば、ワークフローの名前はlprコマンドの-Pオプションの値になります。

MarcomCentral Web to Printシステム

MarcomCentral接続を使用して注文を作成できます。TotalFlow Production Managerは、接続したMarcomCentralストアから注文を自動的に受け取り、要求通りに注文を処理し、状況更新、配送伝票、請求書、決済を作成します。

プロパティー

TotalFlow Production Managerはプロパティーを使用し、ワークフロー、プリンター、ジョブなどのすべてのオブジェクトの属性を定義します。

TotalFlow Production Managerの操作画面は各プロパティに概要を表示します。概要は有効な値や各プロパティの意味について説明しています。

各プロパティは、以下のとおりです。

サーバープロパティ

サーバープロパティはTotalFlow Production Managerシステムの高いレベルの属性の一部を定義します。たとえば、サーバープロパティはユーザーのパスワード変更回数を制御します。

管理者は最初にシステムを設定するときにインストールで要求されるサーバープロパティを設定します。TotalFlow Production Manager画面の【サーバー】ポッドからサーバープロパティにアクセスして設定や変更ができます。

プリンタープロパティ

ネットワーク上の位置とプリンターの割り当て属性を定義します。割り当て属性はプリンターにジョブを割り当てるために使用します。

ワークフロープロパティ

ワークフロープロパティはワークフローの属性を定義します。

ワークフローを作成するときは、管理者がワークフロープロパティを設定します。たとえば、ワークフロープロパティを使用すると、ワークフローにジョブを送信する方法を制御できます。

接続プロパティ

接続プロパティは、接続の詳細を定義します。

管理者は作成時に接続トークンと他のプロパティを入力します。たとえば、管理者は注文トークンを使用し、対応するTotalFlow Production Managerジョブの処理情報を含むMarcomCentral注文IDを識別できます。

用紙プロパティ

高さ、幅、坪量などの用紙の属性を定義します。

ユーザープロパティ

システムの使用が許可されたユーザーの属性を定義します。

TotalFlow Production Managerは定義済みの管理者権限ユーザーを提供します。そのユーザーの権限の追加や属性の変更はできません。管理者は初回の設定中にユーザーに権限を割り当てます。権限はユーザーがアクセスするTotalFlow Production Managerの機能の範囲を制御します。

ジョブプロパティ

ジョブプロパティはジョブの属性を定義します。ワークフローは受信する入力ファイルからジョブ属性を作成します。

ジョブプロパティはジョブの処理と印刷に関するすべての状況を制御します。たとえば、ジョブプロパティで以下の操作を行うことができます。

- 印刷を開始する前にジョブを一時停止します。
- すべてのジョブ処理を完了後、一定期間ジョブを保存します。

ジョブプロパティは、ジョブがジョブチケットまたは印刷コマンドのいずれかで送信されるときに設定されます。TotalFlow Production Managerにより管理者とオペレー

ターはジョブごとにジョブプロパティの値を変更または上書きすることもできます。

TotalFlow Production Managerの操作画面

TotalFlow Production Managerの操作画面とは、権限を持つユーザーがネットワークに接続可能なWindowsやMacからアクセスできるWebブラウザーを使用した操作画面です。

TotalFlow Production Managerのシステムで使用できるブラウザーは、以下のとおりです。

	Windows 11	Windows 10
Microsoft Edge 133	はい	はい
Mozilla Firefox 135（補足参照）	はい	はい
Google Chrome 133（補足参照）	はい	はい

	Windows Server 2019	Windows Server 2022	Windows Server 2025
Microsoft Edge 133	はい	はい	はい
Mozilla Firefox 135（補足参照）	はい	はい	はい
Google Chrome 133（補足参照）	はい	はい	はい

補足

ブラウザーはTotalFlow Production Manager 4.3.8でテストされた最新バージョンですが、以降のバージョンも使用できます。

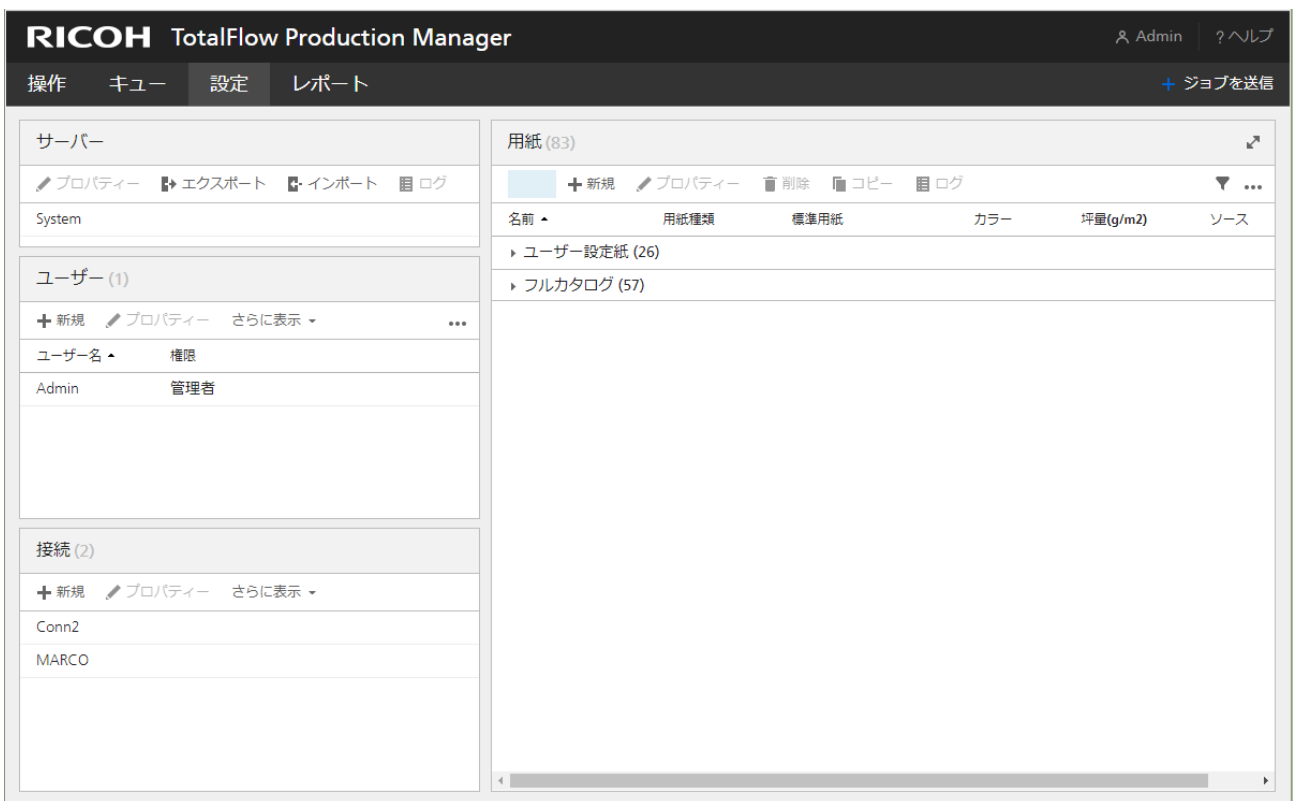
TotalFlow Production Managerの操作画面はユーザーが特定の管理を行うことができるページで構成されています。オペレーターは[操作]ページで、受信中、処理中、完了したジョブを管理します。[キュー]ページでは、印刷キューを管理し、プリンターにジョブを割り当てます。管理者は[設定]ページでユーザー、用紙の作成または編集や、サーバープロパティを設定します。[操作]ページを使用し、プリンター、ワークフロー、プリンタープールを作成します。各ページを表示するには、メニューバーのボタンをクリックします。

重要

ブラウザーの[進む]と[戻る]ボタンを使用すると、予期しない結果が生じることがあるため、必ず操作画面のページボタンを使用してタブを切り替えてください。

各ページのポッドを使用すると、ジョブ、プリンター、ワークフローを操作できます。

操作画面には管理者がログインするときに表示される画面のすべての画像が表示されます。オペレーターとモニターは一部のタスクを実行できないため、これらのコントロールを表示できません。



1. メニューバーはTotalFlow Production Managerの操作画面の各ページの上部にあります。
2. ページを表示するには、メニューバーのボタンをクリックします。この例では、[設定] ページを説明しています。左に[サーバー]ポッド、[ユーザー]ポッド、[接続]ポッドが、右に[用紙]ポッドがあります。各ポッドには、サーバー、ユーザー、用紙の情報の一覧が表示されます。

メニューバー

TotalFlow Production Managerの操作画面の上部にはすべてのページで使用可能なメニューバーがあります。



メニューバーを使用すると、以下の操作ができます。

- 使用可能なページを切り替えます。たとえば、メニューバーの左で、[操作]、[キュー]、[設定]または[レポート]をクリックします。

★重要

ブラウザーの[進む]と[戻る]ボタンを使用すると、予期しない結果が生じることがあるため、必ず操作画面のページボタンを使用してタブを切り替えてください。

- [操作]ページでタブを切り替えます。[操作]をクリックし、タブ名を選択します。

- TotalFlow Production Managerからユーザーをログアウトします。メニューバーの右側で [管理者ツール] アイコン (👤) をクリックし、[ログアウト] をクリックします。
- ログインユーザーのパスワードを変更します。メニューバーの右側で [管理者ツール] アイコン (👤) をクリックし、[パスワードを変更...] をクリックします。
- TotalFlow PM PDF Print Driverをダウンロードします。メニューバーの右側で [管理者ツール] アイコン (👤) 、[ドライバーをダウンロード...] の順にクリックします。
- オンライン版の「TotalFlow Production Managerユーザーガイド」を表示します。メニューバーの右側で [ヘルプ] ボタン (❓) 、[ヘルプ] の順にクリックします。
- バージョン番号、体験版ライセンスと恒久ライセンスのどちらがインストールされているか、体験版ライセンスの場合は期限が切れるまでの日数などのTotalFlow Production Managerのインストール情報を表示します。メニューバーの右側で [ヘルプ] ボタン (❓) 、[バージョン情報] の順にクリックします。

[操作]ページ

TotalFlow Production Managerの操作画面の[操作]ページでは、管理者、オペレーター、モニターがTotalFlow Production Managerのルートを監視、受信中、処理中、完了済みジョブを追跡、ジョブを処理するプリンターやワークフローの状況を表示できる主要な機能を提供します。管理者は、新しいプリンター、ワークフロー、プリンタープールを作成することもできます。

オペレーターと管理者は、ワークフローとプリンターを管理できます。管理者とオペレーターは[操作]ページと[キュー]ページの両方でプリンターにジョブを割り当て、印刷するまでジョブチケットを編集できます。

[操作]ページには [オブジェクト] ポッド、[全てのジョブ]ポッド、[システムサマリー] ポッドがあります。[オブジェクト] ポッドで、これらのタブを切り替えることができます。

- [プリンター]
- [ワークフロー]
- [プリンタープール]
- [接続]

[全てのジョブ]ポッドでは、TotalFlow Production Managerが受け取ったすべてのジョブを参照できます。

[システムサマリー] ポッドを表示するには、⚙️ポッドの設定アイコン ([全てのジョブ]) をクリックし、[システムサマリー] を選択します。現在のフェーズに基づいたジョブの概要を参照でき、[全てのジョブ]ポッドの新しいタブにジョブのグループを表示できます。

★ 重要

ブラウザの [進む] と [戻る] ボタンを使用すると、予期しない結果が生じることがあるため、必ず操作画面のページボタンを使用してタブを切り替えてください。

The screenshot displays the RICOH TotalFlow Production Manager interface. The top navigation bar includes '操作' (Operation), 'キュー' (Queue), '設定' (Settings), and 'レポート' (Report). The 'キュー' (Queue) tab is active, showing a list of printers on the left and a job queue on the right.

Printer List (Left Panel):

- PR0800Ex: 使用可, 状況: 無効, ワークフロー: -
- PR01100: 使用可, 状況: 無効, ワークフロー: -
- PR01200Ex: 使用可, 状況: 無効, ワークフロー: -
- PROC100: 使用可, 状況: 無効, ワークフロー: -
- PROC900: 使用可, 状況: 無効, ワークフロー: -

Job Queue (Right Panel):

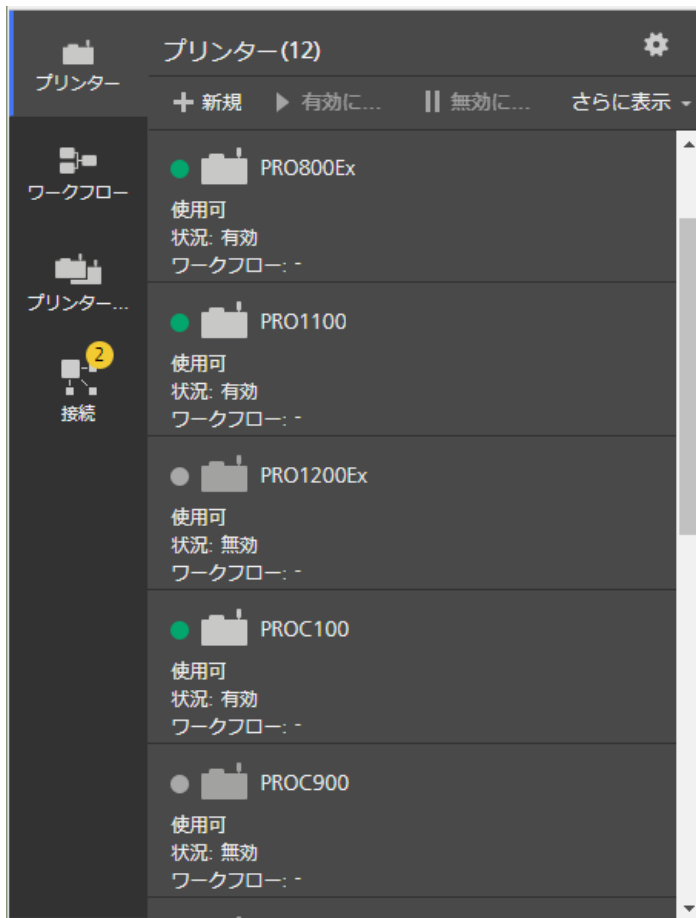
全てのジョブ (6)

名前	ID	現在のフェーズ	進行状況	状態	ユーザー名	合計シート数
印刷 (1/6)						
GLOBE.pdf	10000000	印刷	未確定	○ 未割り当て	Admin	1
GR_DIGITAL_III...	10000001	印刷	未確定	○ 未割り当て	Admin	93
GLOBE.pdf	10000002	印刷	未確定	○ 未割り当て	Admin	1
GR_DIGITAL_III...	10000003	印刷	未確定	○ 未割り当て	Admin	93
GLOBE (1).pdf	10000004	印刷	未確定	○ 未割り当て	Admin	1
GR_DIGITAL_III...	10000005	印刷	未確定	○ 未割り当て	Admin	93

オブジェクトに対するアクションを実行するには、オブジェクトを選択し、タブの上部でオプションのいずれかを選択します。または、ポッドの上部で[さらに表示]をクリックし、アクションを選択します。オブジェクトを右クリックし、メニューからオプションを選択することもできます。

[プリンター]タブ

[プリンター]タブを使用し、TotalFlow Production Managerで定義されたプリンターに関する情報を確認します。

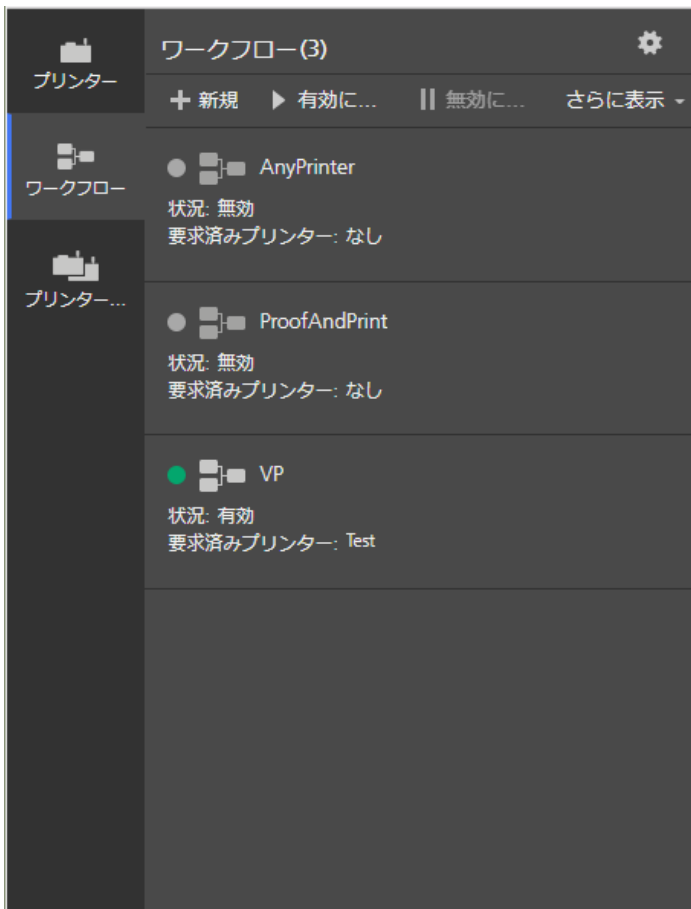


[操作]ページで、管理者はプリンターを追加または削除できます。オペレーターと管理者は、プリンターに関連付けられたジョブを有効化、無効化、表示するなどのアクションを実行できます。

[プリンター]タブには、プリンター名とその状況が表示されます。

[ワークフロー]タブ

[ワークフロー]タブを使用し、TotalFlow Production Managerで定義されたワークフローに関する情報を確認します。



オペレーターと管理者は、ワークフローで有効または無効にするなどのアクションを実行できます。[操作]ページで、管理者はワークフローを追加または削除できます。

[ワークフロー]タブには、ワークフロー名とその状況が表示されます。

[プリンタープール]タブ

[プリンタープール]タブを使用し、TotalFlow Production Managerで作成されたプリンタープールに関する情報を確認します。



管理者は、プロパティの作成、削除、または変更などのプリンタープールに対するアクションを実行できます。オペレーターはプロパティとログを表示したり、ジョブをプリンタープールに割り当てることができます。

【プリンタープール】タブには、プール名と関連付けられたプリンターが表示されます。

【接続】タブ

【接続】タブを使用すると、TotalFlow Production ManagerがMarcomCentral Web to Print印刷システムのような外部入力アプリケーションから注文を受け取れるようになります。



管理者は、プロパティの作成、削除、または変更などの接続に対するアクションを実行できます。オペレーターはプロパティとログを表示できます。

【接続】タブには接続名、関連付けられたワークフロー、状況が表示されます。

【全てのジョブ】ポッド

【全てのジョブ】ポッドには、TotalFlow Production Managerのジョブが表示されます。

全てのジョブ (6)								
▶ 再開 一時停止 ✎ プロパティ 🗑 削除 ☑ 承認 ✕ 却下 🖨 TotalFlow Prep さらに表示								
名前	ID	現在のフェーズ	進行状況	状態	ユーザー名	合計シート数	データ送信日時	納期
▼ 印刷 (6)								
GLOBE.pdf	10000000	印刷	未確定	○ 未割り当て	Admin	1	2018/07/18 18:07	
GR_DIGITAL_III...	10000001	印刷	未確定	○ 未割り当て	Admin	93	2018/07/18 18:07	
GLOBE.pdf	10000002	印刷	未確定	○ 未割り当て	Admin	1	2018/07/19 14:06	
GR_DIGITAL_III...	10000003	印刷	未確定	○ 未割り当て	Admin	93	2018/07/19 14:06	
GLOBE (1).pdf	10000004	印刷	未確定	○ 未割り当て	Admin	1	2018/07/19 14:06	
GR_DIGITAL_III...	10000005	印刷	未確定	○ 未割り当て	Admin	93	2018/07/19 14:06	

オペレーターと管理者は、特定のジョブに関する情報を表示したり、ジョブを一時停止、再開、再印刷などのアクションを実行できます。

【操作】ページで、【全てのジョブ】ポッドをフィルタリングし、表示されるプロパティのいずれかのジョブのみを表示できます。

【全てのジョブ】ポッドに表示されるデフォルトのジョブプロパティは、以下のとおりです。

- **[名前]**—ジョブ名を指定します。
- **[ID]**—ジョブに割り当てたID番号を示します。
- **[現在のフェーズ]**—ジョブが到達した処理フェーズを示します。
- **[進行状況]**—印刷処理中のジョブの位置を示します。
- **[状態]**—処理またはエラーなどのジョブの現在の状態を示します。
- **[ユーザー名]**—ジョブを送信したユーザー名を示します。表示名は、ジョブ送信方法またはプラットフォームに基づき、異なる場合があります。
- **[合計シート数]**—プリンターにジョブをスケジュールするために計算された値を示します。

↓ 補足

この値は [ジョブプロパティエディター] で設定されたジョブプロパティに基づいて推定されており、別のプリンターコントローラーでは異なることがあります。

- **[データ送信日時]**—ワークフローがジョブを作成した日時を示します。
- **[納期]**—ジョブの納期日と、納期日までの日数を指定します。

さらにプロパティを追加するには、ツールアイコン (***)、[列を管理...]の順にクリックします。

ジョブ状態インジケータは、ジョブの現在のフェーズと進捗状況を示します。

- **[手動]進行状況カテゴリー:**
 - 停止済み
 - TotalFlow Prep待機中
 - TotalFlow Prep動作中
 - 未割り当て
 - 承認を待機中
 - オペレーターアクションを待機中
 - パスワードを待機中
 - 注文完了待ち
- **[エラー]進行状況カテゴリー:**
 - エラー
- **[未確定]進行状況カテゴリー:**
 - 割り当て済み
 - 完了
 - キュー実行済み
 - 保存済み

- 未割り当て保留でまたは無効なプリンターに割り当て済み
- 待機中

• 【処理中】進行状況カテゴリー:

- 作成中
- 印刷中
- 処理中
- スプール中
- プリンターで保留済み
- プリンターで一時的停止
- プリンターで停止済み

【システムサマリー】ポッドを表示するには、【全てのジョブ】ポッドの設定アイコン（）をクリックし、【システムサマリー】を選択します。現在のフェーズに基づいたジョブの概要を参照でき、【全てのジョブ】ポッドの新しいタブにジョブのグループを表示できます。



タブのジョブの表示を変更するには、タブを開き、ツールアイコン（）をクリックし、必要に応じてジョブをグループ化するか、ポッド行を選択します。

ジョブのプレビューを参照するには、ツールアイコン（）をクリックし、【ジョブプレビュー】を選択します。



ジョブを選択すると、ポッドの右にプレビューが表示されます。

【キュー】ページ

TotalFlow Production Manager 画面の【キュー】ページで、管理者、オペレーター、モニターは各プリンターのキューを確認できます。

管理者とオペレーターはあるプリンターから別のプリンターにジョブを移動したり、キュー内でジョブの順番を変更できます。管理者とオペレーターは[キュー]ページと[操作]ページの両方でプリンターにジョブを割り当て、印刷するまでジョブチケットを編集できます。

[キュー]ページには、[キュー]ポッド、[手動ジョブ]ポッド、[システムサマリー]ポッドがあります。[手動ジョブ]ポッドは、手動フェーズ進捗状況でジョブを表示するためにフィルタリングされます。プリンターに表示されたジョブを割り当てます。

★重要

ブラウザーの[進む]と[戻る]ボタンを使用すると、予期しない結果が生じることがあるため、必ず操作画面のページボタンを使用してタブを切り替えてください。

The screenshot shows the RICOH TotalFlow Production Manager interface. The top navigation bar includes '操作' (Operation), 'キュー' (Queue), '設定' (Settings), and 'レポート' (Reports). The 'キュー' page is active, displaying a list of jobs. The jobs are categorized by printer models: Pro8210s, ProC901, ProC5200s, ProC7100, and ProC9100. Each job entry shows the job name, ID, current phase, progress status, and assigned printer. A table at the bottom lists job details including name, ID, current phase, progress status, user name, total sheets, data transfer time, and notes.

名前	ID	現在のフェーズ	進行状況	状態	ユーザー名	合計シート	データ送信日時	納期
yanisia_ebrochu...	10000061	印刷	手動	○ 未割り当て	Admin	10	2017/06/29 16:38	
yanis_ebrochure...	10000060	印刷	手動	○ 未割り当て	Admin	18	2017/06/29 16:38	
sienna_ebrochu...	10000059	印刷	手動	○ 未割り当て	Admin	27	2017/06/29 16:38	
Touring_EN_Lo...	10000058	印刷	手動	○ 未割り当て	Admin	13	2017/06/29 16:38	
TotalFlow_Prep...	10000057	印刷	手動	○ 未割り当て	Admin	4	2017/06/29 16:38	

[キュー]ポッド

[キュー]ポッドには、プリンターとプリンターに割り当てたジョブが表示されます。また、用紙交換アクションや特殊な指示も表示されます。

The screenshot shows the RICOH TotalFlow Production Manager interface. The top navigation bar includes '操作' (Operation), 'キュー' (Queue), '設定' (Settings), and 'レポート' (Reports). The 'キュー' page is active, displaying a list of jobs. The jobs are categorized by printer models: Pro8210s, ProC901, ProC5200s, ProC7100, and ProC9100. Each job entry shows the job name, ID, current phase, progress status, and assigned printer. A table at the bottom lists job details including name, ID, current phase, progress status, user name, total sheets, data transfer time, and notes.

名前	ID	現在のフェーズ	進行状況	状態	ユーザー名	合計シート	データ送信日時	納期
yanisia_ebrochu...	10000061	印刷	手動	○ 未割り当て	Admin	10	2017/06/29 16:38	
yanis_ebrochure...	10000060	印刷	手動	○ 未割り当て	Admin	18	2017/06/29 16:38	
sienna_ebrochu...	10000059	印刷	手動	○ 未割り当て	Admin	27	2017/06/29 16:38	
Touring_EN_Lo...	10000058	印刷	手動	○ 未割り当て	Admin	13	2017/06/29 16:38	
TotalFlow_Prep...	10000057	印刷	手動	○ 未割り当て	Admin	4	2017/06/29 16:38	

【キュー】ポッドの左側にはプリンターが表示されます。【プリンターの状況】ダイアログを開くには、プリンターエリアを右クリックし、【状況...】をクリックします。

右側には各プリンターのジョブのキューが表示されます。ジョブは希望する印刷順序で配列されます。キューのジョブの位置を変更するには、ジョブを新しい位置にドラッグします。

ジョブにカーソルを置くと、ジョブ名、ジョブID、状態、現在のアクティビティ、シート数、印刷部数が表示されます。

ジョブをダブルクリックすると、ジョブの状況を示すダイアログが開きます。

部数またはジョブプロパティの変更、保留、移動、削除などの他のアクションを実行するには、ジョブを右クリックします。

【オペレーター】フラグ () はジョブにオペレーターへの指示があることを示します。指示を表示するには、オペレーターフラグをクリックします。印刷せずに【特殊な指示】ダイアログを閉じるとフラグが赤になります。

【保留ジョブ】フラグ () は、ジョブを一定の時間まで保留することを示します。印刷用にリリースする時間を表示するには、ジョブをダブルクリックします。

【用紙交換】アイコン () は、プリンターにセットした用紙の交換が必要なことを示します。用紙交換の指示を表示するには、アイコンをダブルクリックします。

【設定】ページ

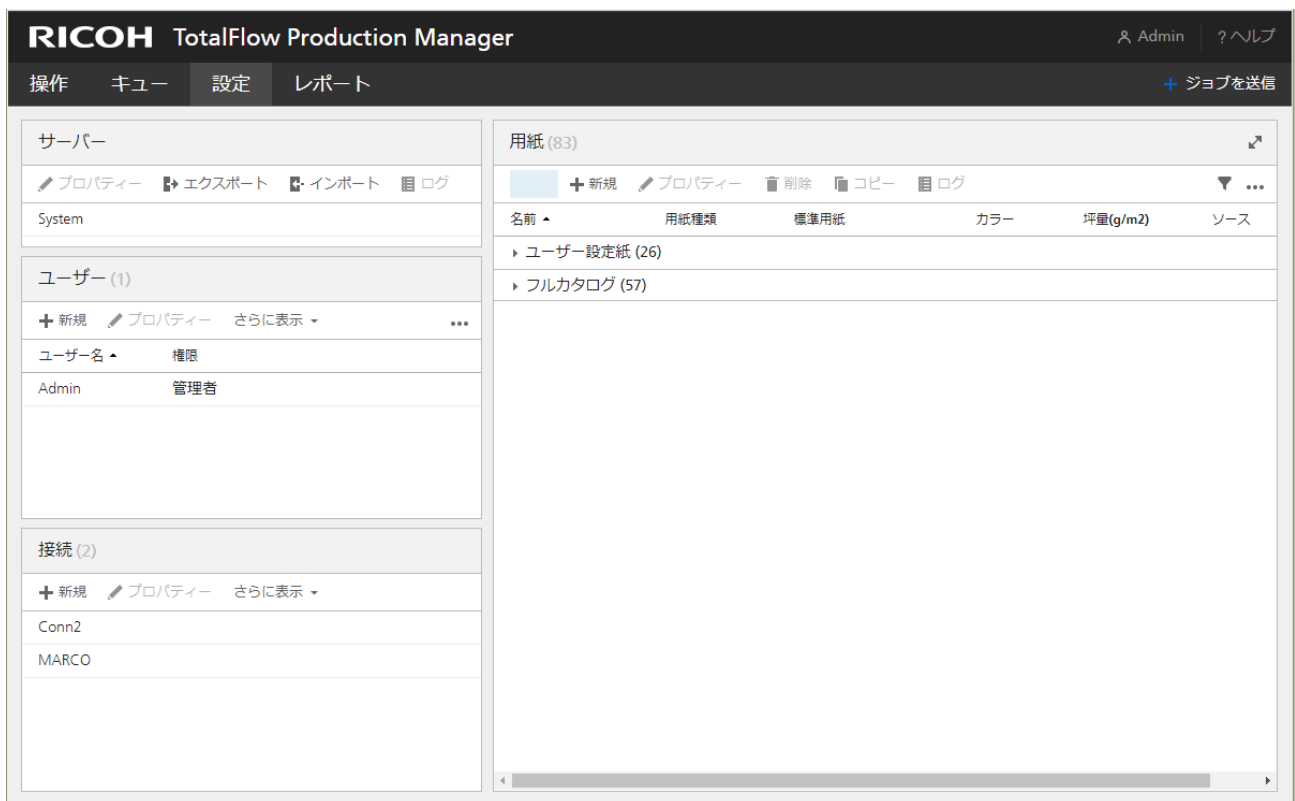
TotalFlow Production Managerの【設定】操作画面のページを使用すると、管理者は、ユーザー、用紙のプロパティの作成や変更ができます。管理者はサーバープロパティの設定もできます。

【設定】ページには、管理者のみ表示と変更ができるオブジェクトの【サーバー】ポッド、【用紙】ポッド、【ユーザー】ポッドがあります。

- ポッドを開くには、【設定】、ポッドの名前の順にクリックします。すでに開いたポッドのコピーを開くことはできません。
- ポッドを閉じるには、右上にある【終了】アイコン () をクリックします。

★重要

ブラウザーの【進む】と【戻る】ボタンを使用すると、予期しない結果が生じることがあるため、必ず操作画面のページボタンを使用してタブを切り替えてください。



[サーバー]ポッド

[サーバー]ポッドには、TotalFlow Production Managerのサーバーが表示されます。TotalFlow Production Managerシステムのサーバーは1つです。



管理者は、[サーバー]ポッドを使用すると、TotalFlow Production Managerの情報の確認や変更ができます。

[サーバー]ポッドで、サーバー名でサーバーを特定します。この名前は [System] となり、変更できません。

[用紙]ポッド

[用紙]ポッドには、定義された用紙が表示されます。

用紙 (180)					
+ 新規 ✎ プロパティ 🗑 削除 📄 コピー 📋 ログ ▼ ...					
名前	用紙種類	標準用紙	カラー	坪量(g/m2)	ソース
▼ ユーザー設定紙 (1)					
Letter	普通紙	Letter (8.5 x 11.0 in.)	ホワイト		
▼ フルカタログ (179)					
#5%8*~+()	普通紙	Letter (8.5 x 11.0 in.)	ホワイト	75	Test
8k	普通紙	8K (267.0 x 390.0 mm)	ホワイト	75	Test
11x17	普通紙	Tabloid (11.0 x 17.0 in.)	ホワイト	75	Test
12x18	普通紙	12x18in (12.0 x 18.0 in.)	ホワイト	105	Test
16k	普通紙	16K (195.0 x 267.0 mm)	ホワイト	75	Test
148x100mm	普通紙	Hagaki (100.0 x 148.0 mm)	ホワイト	75	Test
204x280	普通紙	204.0 x 280.0 mm	ホワイト	75	Test
A3	普通紙	A3 (297.0 x 420.0 mm)	ホワイト	105	Test
A3 250G	普通紙	A3 (297.0 x 420.0 mm)	ホワイト	244	Test
A3 SEF 200G Glossy	普通紙	A3 (297.0 x 420.0 mm)	ホワイト	216	Test
A3 SEF 250G Glossy	普通紙	A3 (297.0 x 420.0 mm)	ホワイト	244	Test
A3 preprinted	普通紙	A3 (297.0 x 420.0 mm)	ホワイト	75	Test
A3 w2	普通紙	A3 (297.0 x 420.0 mm)	ホワイト	75	Test
A3 w3	普通紙	A3 (297.0 x 420.0 mm)	ホワイト	105	Test

管理者は、用紙に関する情報を表示して変更できます。用紙の追加や削除もできます。

【用紙】ポッドには、用紙名と選択した用紙プロパティが表形式で表示されます。

選択を変更するには、ツールアイコン（...）、【列を管理...】の順にクリックします。

【ユーザー】ポッド

【ユーザー】ポッドには、TotalFlow Production Managerのユーザーがリストに表示されます。

ユーザー (1)	
+ 新規 ✎ プロパティ さらに表示 ▼ ...	
ユーザー名	権限
Admin	管理者

管理者は、ユーザーを追加や削除、ユーザー権限を変更、ほかのユーザーのパスワードを変更できます。

【ユーザー】ポッドには、ユーザー名と選択したユーザープロパティが表示されます。選択を変更するには、ツールアイコン（...）、【列を管理...】の順にクリックします。

【接続】ポッド

【接続】ポッドでは、接続の作成が可能になり、TotalFlow Production Managerにすでに作成された接続が表示されます。

接続 (2)		
+ 新規	✎ プロパティ	さらに表示 ▾
Conn2		
MARCO		

管理者は、接続の追加や削除、プロパティの変更、ログの参照ができます。オペレーターはプロパティとログを表示できます。

【接続】ポッドには接続名が表示されます。

【レポート】ページ

TotalFlow Production Managerの操作画面の【レポート】ページを使用すると、管理者は、TotalFlow Production Managerの標準レポートを表示してカスタムレポートを作成できます。

【レポート】ページには、使用可能なレポートとレポートから保存したファイルがリストに表示されるポッドや選択したレポート内容を表示するポッドがあります。

ヘッダーバーのツールアイコンを使用して、【レポート】ポッドを開いたり、閉じたり、展開できます。



重要

ブラウザの【進む】と【戻る】ボタンを使用すると、予期しない結果が生じることがあるため、必ず操作画面のページボタンを使用してタブを切り替えてください。

RICOH

TotalFlow Production Manager

Admin

ヘルプ

操作

キュー

設定

レポート

ジョブを送信

レポート (3)

レポート	親レポート	概要
ジョブ性能	ジョブ性能	ジョブ性能
プリンター使用状況	プリンター使用状況	プリンター使用状況
印刷されたジョブ	印刷されたジョブ	印刷されたジョブ

印刷されたジョブ (2)

CSVをエクスポート

PDFをエクスポート

保存

名前を付けて保存

更新

検索

メニュー

お客様	ユーザー名	名前	ユーザーコード	白黒ページ	カラーページ
すべて (2)					
	Admin	GR_DIGITAL_III_E.pdf	0	0	
	Admin	GLOBE.pdf	0	0	

注意

これらの値は見積もりであり、プリンターコントローラーによって異なる場合があります。

【レポート】ポッド

【レポート】ポッドでは、TotalFlow Production Managerレポートがリストに表示されます。

レポート (3)		
レポート	親レポート	概要
☒ ジョブ性能	ジョブ性能	ジョブ性能
☒ プリンター使用状況	プリンター使用状況	プリンター使用状況
☒ 印刷されたジョブ	印刷されたジョブ	印刷されたジョブ

管理者は、表示するレポートを選択し、作成したレポートを削除できます。

【レポート】ポッドには、各レポート名、説明、時間範囲が表示形式で表示されます。

【レポート名】ポッド

【レポート名】ポッドには、表形式の【レポート】ポッドで選択したレポートの内容が表示されます。

印刷されたジョブ (2)

CSVをエクスポートPDFをエクスポート保存名前を付けて保存更新

Q ...

お客様	ユーザー名	名前	ユーザーコード	白黒ページ	カラーページ	印刷済みページ	Statementシート	A5シート
▼ すべて (2)								
	Admin	GR_DIGITAL_III_E.pdf		0	0	0	0	0
	Admin	GLOBE.pdf		0	0	0	0	0
						ページ : 0		
これらの値は見積もりであり、プリンターコントローラーによって異なる場合があります。								

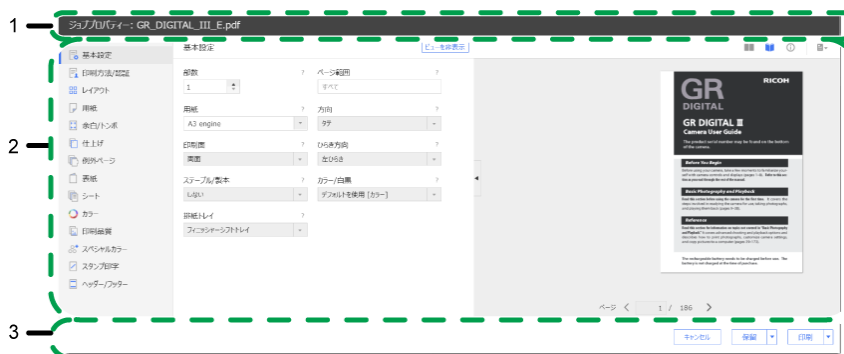
管理者はレポートの内容を表示する時間範囲を設定してレポートのコピーを保存できます。

【ジョブプロパティエディター】ダイアログ

【ジョブプロパティエディター】ダイアログは、プリンターに送信するジョブを設定および表示できるセクションで構成されています。【ジョブプロパティエディター】ダイアログは印刷するジョブの設定に必要なすべての情報を提供します。最終印刷がどう見えるか確認できるようにすべての変更がリアルタイムで表示されます。

【ジョブプロパティエディター】ダイアログを開くには、ジョブを選択し、編集アイコンをクリックします。

ユーザーインターフェースの要素：



1. タイトルバー
2. 表示領域
3. アクションバー

表示モード

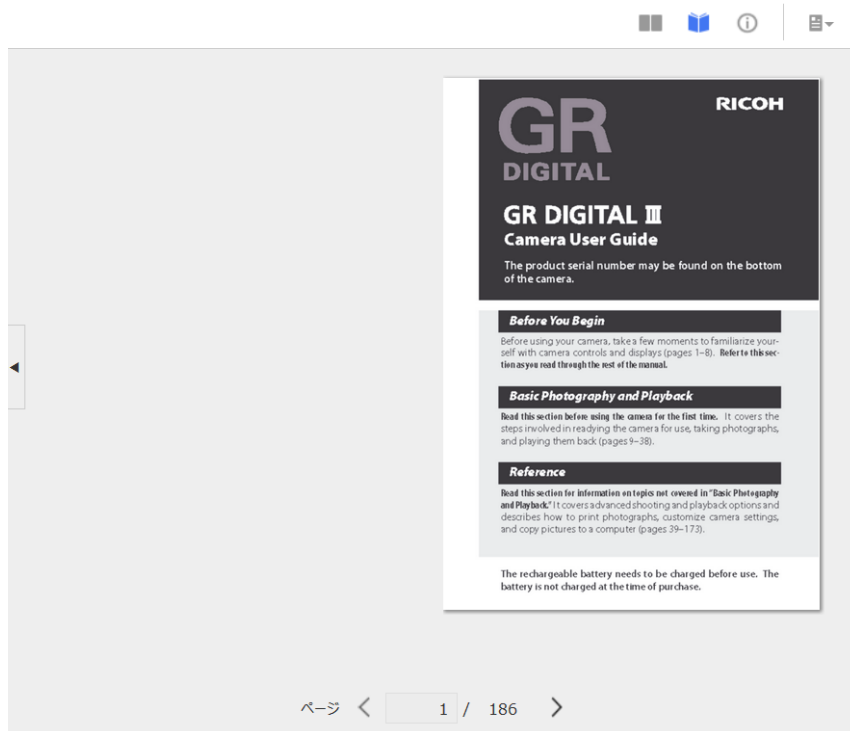
ダイアログのビュー領域には、ジョブとジョブに関する情報を表示するためのさまざまなオプションがあります。

セクションの右上にあるアイコンを使用し、表の説明に従ってビューを変更します。

アイコン	ビュー名	概要
	[シートビュー]	ページとして読む順番にジョブを表示します。
	[見開きビュー]	ジョブを見開きで表示します。
	[ジョブサマリー]	ジョブの全設定を要約します。以下の設定はHTMLファイルとしてエクスポートできます。
	[オプションを表示]	ページ番号、合紙、原点を表示します。

[見開きビュー]

[見開きビュー] () は、ジョブを表示領域の中央に見開きで表示します。ページをめくると、印刷が必要なジョブの変更をリアルタイムで確認できます。



ページをめくるには、シート端、または以下のアイコンをクリックします。

アイコン	名前
<	[前のページへ]
>	[次のページへ]

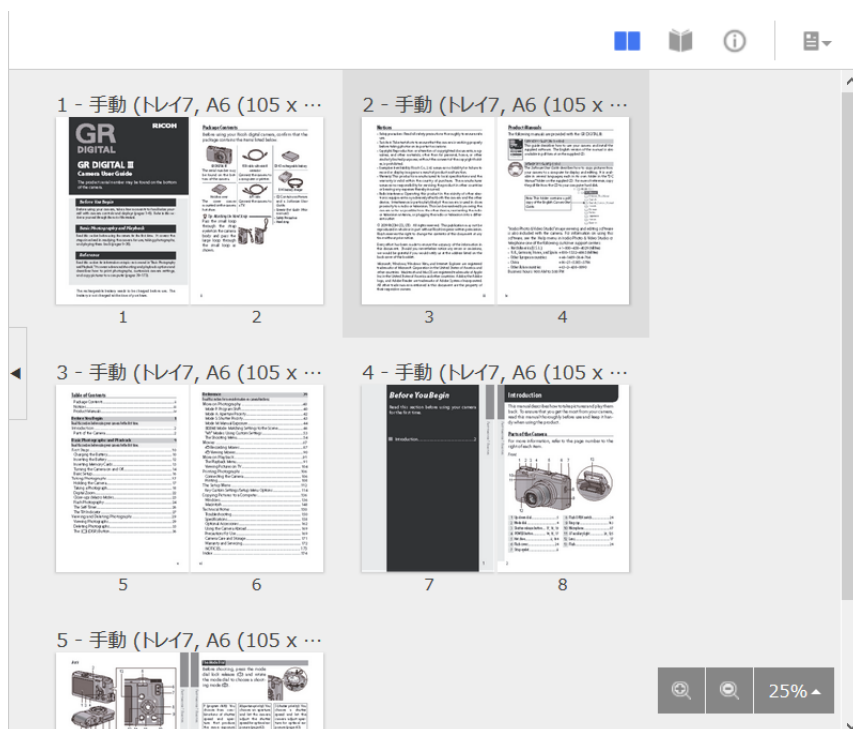
1,000シート以上の大きな印刷ジョブでは、最初の1,000シートのみが表示されます。ジョブの総ページ数のうち、セットされたページ数を確認できます。例外ページはページ範囲がセットされた場合にのみ表示されます。

★重要

印刷面や用紙サイズなどのオプションの一部が設定されていないときは、このビューは使用できません。

[シートビュー]

[シートビュー] () は、ジョブのページを読む順に複数のページを表示します。



右下のズームオプションを使用して、ズームレベルを設定できます。ズームレベルを使用すると、より詳細な画像やすべてのページの概要を拡大または縮小できます。[幅に合わせる] オプションを使用すると、現在のシートのみを表示して幅に合わせて拡大します。100%の最大ズームレベルは96 dpiです。

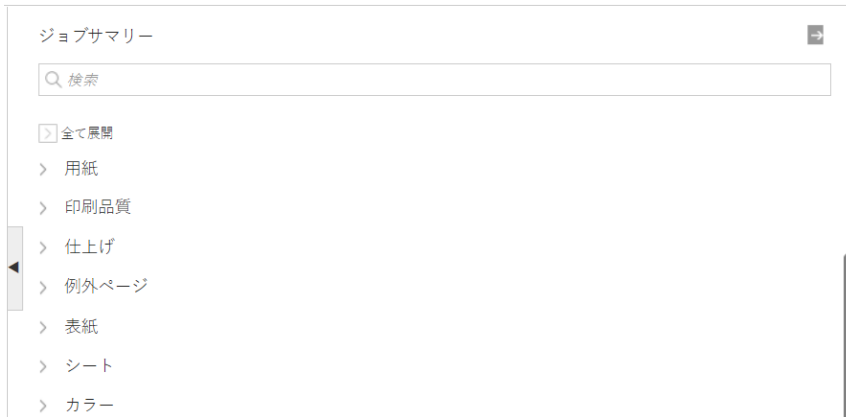
★重要

印刷面や用紙サイズなどのオプションの一部が設定されていないときは、このビューは使用できません。

[ジョブサマリー]

[ジョブサマリー] ビュー (i) は現在のジョブプロパティの概要を表示します。

1



このビューには現在のセクションを開くリンクがあり、編集が必要な設定を簡単に見つけることができます。→セクションの右上にあるエクスポートボタン（[ジョブサマリー]）をクリックして、サマリーをHTMLファイルにエクスポートすることもできます。HTMLファイルはエディターの外部から開いて印刷できます。

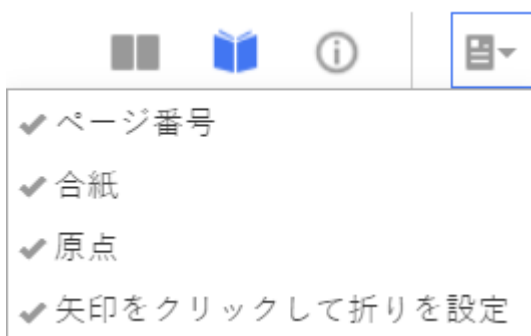
セクション見出しでグループ化された設定が一覧表示されます。

値のいずれかに赤い三角形が表示される場合、プリンターは現在の選択項目に対応していません。有効な選択に変更する必要があります。

[オプションを表示]

[オプションを表示] メニューでは、特定のビューに表示する要素を選択できます。

このメニューは[見開きビュー]と[シートビュー]でのみ使用可能です。



ジョブ内のページのページ番号、合紙、原点、有効化されている折りオプションをオンまたはオフにできます。

[ページ番号] オプションは、シートのページごとに印刷ファイルのページに対応する番号を表示します。これらの数字は印刷されません。インターフェースでのみ表示されます。

1 [合紙] オプションは、ジョブに挿入されたすべての合紙を表示します。[合紙] オプションにチェックが付いていない場合は、合紙は表示されず、挿入枚数にも含まれません。印刷は行われます。

[原点] は [画像位置揃え]、[回転角度]、[印刷位置調整] の開始点を表します。[画像位置揃え]、[回転角度]、[印刷位置調整] に行ったすべての調整は、その原点に基づいています。[原点] はシートごとに該当する場所に表示されます。

[矢印をクリックして折りを設定] オプションでは、[折りの種類] が [観音折り] 以外の特定の値に設定されている場合はいつでも、ページを [見開きビュー] に折りたたんで表示します。シートの端にある矢印をクリックすることで、各ページを広げたり折りたたんだりできます。[矢印をクリックして折りを設定] オプションはデフォルトで選択されています。

↓ 補足

- 場合によって、[矢印をクリックして折りを設定] オプションは無効になることがあります。[矢印をクリックして折りを設定] を有効にするには、[例外ページ] を削除して [面付け] 値を変更するか、または [用紙] をタブのない短辺送りの用紙に変更します。
- ジョブのすべてのページで折り線を引けない場合は、[矢印をクリックして折りを設定] を有効にできません。

2. サンプルタスクを実行する

- メール通知を作成/修正する

この章では、TotalFlow Production Managerで実行できる複雑な操作の例を説明します。

メール通知を作成/修正する

このセクションでは、プリンターとジョブのメール通知を作成します。また、プリンター通知を修正します。

2

プリンター通知を作成/修正する

この例では、プリンターの操作が必要ときにオペレーターに送信するメール通知を作成します。2番目のオペレーターにメール通知を送信するように修正します。オペレーターが合理的な時間内に特定のプリンターの問題を解決できない場合に自分に送信する別のメール通知も作成します。

1. TotalFlow Production Managerにオペレーターまたは管理者権限を持つユーザーとしてログインします。
2. メニューバーで、[操作]をクリックします。
3. [プリンター]タブで、設定アイコン (⚙️)、[通知...] の順にクリックします。
[プリンター通知] ダイアログが表示されます。
4. [新規] をクリックします。
[通知を追加] ダイアログが表示されます。

The screenshot shows the 'Add Notification' dialog box. It has a title bar '通知を追加' and a close button. The main area is divided into sections: '詳細' (Details) with '名前*' (Name) and '種類*' (Type) fields; '受信者 (コンマ区切り)*' (Recipients) field; '適用先' (Apply to) dropdown; '条件' (Conditions) section with 'プロパティ' (Property), '比較' (Comparison), and '値' (Value) fields; and 'キャンセル' (Cancel) and 'OK' buttons at the bottom.

5. [名前] フィールドを編集し、操作が必要であることを伝えます。
6. [種類] リストで、[プリンター操作が(x)分間必要です] を選択します。
ダイアログが、以下のように変更します。

通知を追加

詳細

名前* ? 種類* ?

介入が必要 プリンター操作が(x)分間必要です

受信者 (コンマ区切り)* ? 適用先 ?

全てのプリンター

プリンターで次の時間 (分) 以上操作が必要...* ?

キャンセル OK

7. [受信者 (コンマ区切り)] フィールドに、operator1@mycompany.comと入力します。
8. [適用先] フィールドで、[全てのプリンター] が選択されていることを確認します。
9. [プリンターで次の時間(分)以上操作が必要です] フィールドに1と入力します。
10. **[OK]**をクリックします。
これで最初のプリンター通知を作成しました。

通知に別のオペレーターのメールアドレスを追加します。

11. 作成した通知を選択し、[編集] をクリックします。
[通知を編集] ダイアログが表示されます。
12. [受信者 (コンマ区切り)] フィールドをoperator1@mycompany.com, operator2@mycompany.comになるように編集します。
メールアドレスはコンマで区切ります。
13. **[OK]**をクリックします。
14. ここで、特定のプリンターに同じような通知を作成します。今回は、オペレーターが問題を解決できない場合に自分にメールを送信します。[プリンター通知] ダイアログを開き、[新規] をクリックします。
15. [名前] フィールドにオペレーターがプリンターの問題を解決できない場合と入力します。
16. [種類] リストで、[プリンター操作が(x)分間必要です] を選択します。
17. [受信者 (コンマ区切り)] フィールドでme@mycompany.comを入力します。
18. [適用先] フィールドでプリンターを選択します。
19. [プリンターで次の時間(分)以上操作が必要です] フィールドに30と入力します。
20. **[OK]**をクリックします。

ワークフロー通知を作成/修正する

この例では、ワークフローの操作が必要なときにオペレーターに送信するメール通知を作成します。

1. TotalFlow Production Managerにオペレーターまたは管理者権限を持つユーザーとしてログインします。
2. メニューバーで、**[操作]**をクリックします。
3. **[ワークフロー]**タブで、設定アイコン（）、**[通知...]**の順にクリックします。
[ワークフロー通知] ダイアログが表示されます。
4. **[新規]** をクリックします。
[通知を追加] ダイアログが表示されます。



プロパティ	比較	値
LPR/LPD	次の値に等しい	未設定

5. **[名前]** フィールドを編集します。
6. **[種類]** リストで、**[ジョブはアクティビティ(x)に入りました]** を選択します。
ダイアログが、以下のように変更します。

通知を追加

詳細

名前* ? 種類* ?

ジョブはアクティビティ(%)に入りました ジョブはアクティビティ(%)に入りました

受信者 (コンマ区切り)* ? 適用先 ?

me@company.com AnyPrinter

ジョブがアクティビティに入ったときに通... ?

ジョブを作成

キャンセル OK

7. [受信者 (コンマ区切り)] フィールドで、通知の送信先のメールアドレスを入力します。
メールアドレスはコンマで区切ります。
8. [適用先] フィールドで[任意のプリンター]を選択します。
9. [ジョブがアクティビティに入ったときに通知を送信] で [印刷] アクティビティを選択します。
10. **[OK]**をクリックします。
これで最初のワークフロー通知を作成しました。
11. 通知を修正するには、上記の手順1～3に従い、[通知...] ダイアログを開きます。
12. 作成する通知を選択し、[編集] をクリックします。
[通知を編集] ダイアログが表示されます。

通知を編集

詳細

名前* ? 種類* ?

ジョブはアクティビティ(%)に入りました ジョブはアクティビティ(%)に入りました

受信者 (コンマ区切り)* ? 適用先 ?

me@mycompany.com AnyPrinter

ジョブがアクティビティに入ったときに通... ?

ジョブを作成

キャンセル OK

13. 必要に応じてフィールドを編集します。
14. **[OK]**をクリックして変更を保存します。

ジョブ通知を作成/修正する

この例では、複数の片面ジョブを印刷するようにジョブプロパティ値が変更されたときに送信する通知メールを作成します。すべてのジョブ通知はすべてのジョブに適用されます。

1. TotalFlow Production Managerにオペレーターまたは管理者権限を持つユーザーとしてログインします。
2. メニューバーで、**[操作]**をクリックします。
3. **[全てのジョブ]**タブで、設定アイコン (⚙️)、**[通知...]**の順にクリックします。
[ジョブ通知] ダイアログが表示されます。
4. **[新規]**をクリックします。
[通知を追加] ダイアログが表示されます。

2

通知を追加

詳細

名前* ?

種類* ?

受信者（コンマ区切り）* ?

条件 ?

プロパティ

比較

値

片面/両面

次の値に等しい

未設定

+

-

キャンセル

OK

5. [名前] フィールドに「片面ジョブで複数部数」と入力します。
6. [種類] リストで、[ジョブ属性値が変更されました] を選択します。
7. [受信者（コンマ区切り）] フィールドでme@mycompany.comを入力します。
8. [プロパティ]リストで、[片面/両面]を選択します。
9. [比較]リストで、[次の値に等しい]を選択します。
10. [値]リストで、[おもて面（片面）]を選択します。
11. [追加] ボタン（）をクリックします。
[プロパティ]、[比較]、[値]のフィールドが表示されます。
12. 2番目の[プロパティ]リストで、[部数]を選択します。
13. 2番目の[比較]リストで、[次の値より大きい]を選択します。
14. 2番目の[値]フィールドに1を入力します。

通知を追加

詳細

名前*

顔の仕事の複数のコピー

種類*

ジョブ属性値が変更されました

受信者（コンマ区切り）*

me@mycompany.com

条件

プロパティ

片面/両面

比較

次の値に等しい

値

未設定

+

-

プロパティ

部数

比較

次の値に等しい

値

1

+

-

キャンセル

OK

15. 新しい通知を保存するには、**[OK]**をクリックします。
[ジョブ通知] ダイアログに通知が表示されます。

ジョブ通知

通知

新規

編集

削除

コピー

名前	オブジェクト	種類	受信者
顔の仕事の複数のコピー	すべて	ジョブ属性値が変更されました	me@mycompany....

閉じる

名前と送信先のメールアドレスを変更することで、ジョブ通知を管理できます。
メールアドレスはコンマで区切ります。

16. 既存の通知を修正するには、その通知を選択し、**[編集]**をクリックします。
17. 通知名と受信者メールを変更してから**[OK]**をクリックして変更を保存します。
18. 新しい通知を作成するには、**[新規]** ボタンまたは **[コピー]** ボタンを使用します。表示されるダイアログフィールドを編集し、変更を保存します。
19. 通知を削除するには、その通知を選択し、**[削除]**をクリックします。

ジョブのプロパティが変更されるたびに、TotalFlow Production Managerは**[片面/両面]**と**[部数]**の値を確認します。両方の条件がtrue（片面ジョブで複数部数）の場合は、メール通知が送信されます。

3. 設定

- プリンターを作成する
- ワークフローを作成する
- プリンタープールを作成する
- 接続を作成する
- ジョブ送信を準備する
- 用紙を作成する
- 別のシステムにオブジェクトをコピーする
- サーバプロパティを設定する
- 通知を作成する
- ログスケジュールを変更する
- クライアントコンピューターを設定する

TotalFlow Production Managerの設定作業には、用紙やユーザーを追加したり設定するだけでなく、サーバプロパティの設定のような高度な作業もあります。

3

プリンターを作成する

プリンターとは、TotalFlow Production Managerからジョブを受信する環境にあるプリンター機器を表します。最大15個までのIPアドレスでプリンター機器を示すプリンターを作成できます。複数のプリンターで同じプリンター機器を表すことができるため、15個以上のプリンターを作成できます。

以下の種類のプリンターがTotalFlow Production Managerのジョブを受信できます。

プリンター機器を示すためにTotalFlow Production Managerに作成するプリンターの種類は機器の処理能力によって異なります。

ジョブチケットプリンター

ジョブチケットプリンターはジョブチケットに対応するプリンター機器に関連付けられます。ジョブチケットプリンターに割り当てたジョブのジョブチケットを編集すると、ジョブオプションを指定できます。

ジョブチケットプリンターに関連付けたTotalFlow Production Managerワークフローでは次のプログラムからジョブを受信できます。

- RICOH TotalFlow Production Manager Job Submission
- RICOH TotalFlow Prep
- RICOH TotalFlow PM PDF Print Driver
- MarcomCentral Web to Printシステムのような外部オンラインアプリケーション

ホットフォルダー、またはラインプリンターデーモン(LPD)プロトコルを使用する印刷コマンドからもジョブを受信できます。ジョブチケットプリンターはプリンター機器と直接通信し、印刷中のジョブの状況を取得できます。

パススループリンター

パススループリンターはPCL、PostScript、PDFなどのさまざまな形式のジョブを印刷する機器に関連付けられます。パススループリンターに割り当てられたジョブにはジョブチケットがありません。パススループリンターに関連付けられたTotalFlow Production Managerワークフローは、ホットフォルダーやLPDプロトコルを使用する印刷コマンドからジョブを受信できます。パススループリンターはジョブ状況をレポートできません。

パススループリンターはRICOH TotalFlow Production Manager Job Submissionからジョブを受信できます。

TotalFlow Production Managerは**割り当てプロパティ**で、両方の種類のプリンターにジョブを割り当てます。すべてのジョブの割り当てプロパティ値がプリンターの割り当てプロパティ値と一致する場合は、プリンターにジョブを割り当てることができます。

ジョブプロパティ	プリンタープロパティ
[お客様]	[お客様名]
[用紙設定]（[名前] エディターの [用紙] ページの[ジョブのプロパティ]）	[用紙設定]（プリンターの給紙トレイまたは用紙交換をスケジュールした用紙の[名前]）
[ステーブル/製本]	[ステーブル]
[パンチ]	[パンチ]
[折りの種類]	[折り]
[カラー/白黒]	[カラーモード]
[合計シート数]	[対応するジョブの合計シート数]
[要求済みプリンター]	[要求済みプリンター]

↓ 補足

同じプリンター機器を表すプリンターを作成した場合は、以下の競合が発生する場合があります。

- [キュー]ポッドの各プリンターにカスタムキューがあるため、プリンター機器のすべてのキューが確認できない。
- 期待した順序でジョブが印刷されない。
- 1つのプリンターに割り当てられたジョブが別のプリンターに割り当てられたヘッダーページと本文の間に印刷される。
- ジョブチケットプリンターとパススループリンターが同じプリンター機器を表す場合で、パススループリンターが大きいジョブを処理しているときにジョブチケットプリンターに割り当てられたジョブの状況が表示できない。

これらの競合を回避するには、一度に1つのプリンターのみを有効にしてください。

ジョブチケットプリンターを作成する

ジョブチケットプリンターはPDFに対応するプリンター機器と関連付けできます。PostScriptとPCLジョブはワークフローステップでPDF形式に変換した場合に印刷できます。

ジョブチケットプリンターに割り当てられているジョブのジョブチケットを編集できます。ジョブチケットプリンターに関連付けたTotalFlow Production ManagerワークフローはTotalFlow Prep、ホットフォルダー、LPDプロトコルを使用する印刷コマンドからジョブを受信できます。ジョブチケットプリンターはプリンター機器と直接通信し、印刷中のジョブの状況を取得できます。

プリンターコントローラーオプションを使用するプリンター機器を表すジョブチケットプリンターには、TotalFlow Production Managerでプリンター割り当てプロパティが自動的に設定され、プリンターが作成されるとすぐに用紙マップが作成されます。

TotalFlow Production Managerを使用すると、Windowsシステムに接続済みプリンターを追加し、Windows V4印刷サブシステムと互換性のあるプリンタードライバを使用できます

★重要

- Windows V4印刷デバイスの追加は新しい機能で、現在はプレビューバージョンとしてのみ提供されています。制限事項と可能な解決策については、Readmeファイルを参照してください。
- プリンターを登録する前に、コンピューターとプリンターの両方をネットワークに正しく接続してください。ネットワークにプリンターを接続する方法は、プリンターの使用説明書を参照してください。
- Windows V4プリンターを使用できるようにするには、Windows V4印刷サブシステムと互換性のあるプリンタードライバをインストールしてください。

ジョブチケットプリンターを作成するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、[操作]をクリックします。
3. 以下のいずれかを行います。

新しいプリンターを作成するには、以下の操作を行います。

1. 画面の左側のオブジェクトポッドで、[プリンター]をクリックします。
2. [新規]をクリックし、[ジョブチケットプリンター...]を選択します。

[ジョブチケットプリンターを作成]ダイアログが表示されます。

既存のプリンターをコピーするには、以下の操作を行います。

1. [プリンター]タブでプリンターを選択し、[さらに表示]、[コピー...]の順にクリックします。

2. または、プリンターを右クリックし、**[コピー...]**を選択します。

[プリンターをコピー]ダイアログが表示されます。

[名前]以外のプロパティ値は新しいプリンターでは選択したプリンターのプロパティと同じ値になります。

4. ダイアログの各ページで、調整が必要な必須およびオプションのプロパティ値を入力または選択します。

ページを変更するには、ナビゲーションバーのページ名をクリックします。

1. **[プリンター種類]**でオプションの1つを選択します。

- 対応しているリコー機器のうちの1つを表すプリンターを作成する場合は、**[標準]**を選択します。これは、デフォルトのオプションです。
- 標準では対応していない機器を表すPostScriptプリンターを作成する場合は、**[カスタム]**を選択します。
- Windows V4印刷サブシステムと互換性のあるプリンタードライバを使用するWindowsシステムに接続済みプリンターを追加する場合は、**[Windows (機能プレビュー)]**を選択します。

2. カスタムプリンターをTotalFlow Production Managerで使用可能にするには、カスタムプリンター定義ファイルをインポートしてください。カスタムプリンター定義ファイルをインポートするには、**[インポート]**をクリックします。カスタムプリンター定義ファイルのインポートについては、[P.56 「カスタムプリンター定義のインポートツールを使用する」](#)を参照してください

3. **[カスタム]**を選択した場合は、表示されたリストのプリンターの1つを選択してから、**[設定]**をクリックします。

インストール可能なオプションダイアログが表示されます。そこで選択したプリンターモデル機器の機能を選択できます。これらのオプションは、TotalFlow Production Managerプリンターで使用可能になります。インストール可能なオプションの使用については、[P.57 「を使用する」](#)を参照してください。

★重要

TotalFlow Production ManagerがHTTPSで開かれた場合、他のページにHTTPでロードすることを許可しないセキュリティ制限があるため、インストール可能なオプションダイアログを使用できない可能性があります。この場合は、HTTPに戻してインストール可能なオプションを設定してから、再度HTTPSを有効にします。

4. **[Windows (機能プレビュー)]**を選択した場合は、プリンターリストから追加するWindowsプリンターを選択します。

プリンターリストには、Windows V4印刷サブシステムと互換性のあるプリンタードライバを使用するWindowsシステムで利用可能なプリンターが含まれます。

[設定]オプションは、プリンターを保存した後でのみ利用できます。プリンターを設定するには、以下の手順に従います。

1. メニューバーで、**[操作]**をクリックします。
2. **[プリンター]**タブで、**[さらに表示]**、**[プロパティ...]**の順にクリックします。または、プリンター名を右クリックし**[プロパティ...]**を選択します。**[ジョブチケットプリンターのプロパティ]**ダイアログが表示されます。

3. **[設定]**をクリックします。[RICOH Windowsプリンターマッピング] ダイアログが表示されます。
4. [RICOH Windowsプリンターマッピング] ダイアログで、プリンターで利用できる設定のマッピングを設定します。
このプリンターモデルでは、デフォルトのマッピングセットがすでに利用できます。
詳しくは、[RICOH Windowsプリンターマッピング] 画面のヘルプボタン () をクリックします。
5. アプリケーションとプリンター間の通信に使用する**[プリンター言語]**を指定します。
6. 同じプリンター機器を表すプリンターを作成する場合は、各プリンターの**[TCP/IP アドレスまたはホスト名]**プロパティに同じ値を指定します。
1つのプリンターにTCP/IPアドレスを指定し、別のプリンターに完全修飾ホスト名を指定すると、両方が同じアドレスに行き着いてもTotalFlow Production Managerは2つのIPアドレスとして認識します。
7. **[TCP/IPポート]**プロパティの値を指定します。
 - プリンター言語がPostScriptに設定されたときは、デフォルトポート番号は9100です。EFI Fieryコントローラーオプションを使用するプリンター機器には、以下のポート番号を指定できます。

9101

直接キューにジョブを送信します。ジョブは送信した順序で印刷されます。TotalFlow Production Managerはほとんどのプリンターのジョブ状況を判定できません。複数の部数をソートする機能はありません。

9102

印刷キューにジョブを送信します。ジョブは送信した順序で印刷されない場合があります。TotalFlow Production Managerはジョブ状況を判定できません。複数の部数をソートする機能があります。このポートを推奨します。

9103

保留キューにジョブを送信します。印刷するには、プリンター操作画面でオペレーターがジョブの保留を解除してください。

 - プリンター言語がPDF/JDFに設定される場合は、表示されるデフォルトは8010 / 80です。
8010はPDF/JDFを使用するプリンターデバイスのネットワークインターフェースであり、80は、TotalFlowプリントサーバーのコントローラーを使用する機器専用です。
8. プリンターの処理能力に関する更新情報を受け取るために、**[プリンター機能を有効にする]**トグルは有効のままにします。
9. プリンターが再起動前に設定された状態を維持できるようにするには、**[再起動後プリンターの状態を維持]**を選択します。
10. **[ワークフロー]**セクションで、**[ワークフローを作成]**、**[終了時にワークフローを編集]**の順に選択します。これで、新しいプリンター用のワークフローを作成し、ダイアログを閉じるとそのプロパティを編集できます。

11. [スケジューリング]ページで、プリンター割り当てプロパティを設定します。

12. [セット済み用紙]で、以下のいずれかを選択します。

- [いいえ]を選択すると、プリンター給紙トレイのいずれにもジョブに必要な用紙がセットされていない場合のみ、プリンターにジョブをスケジュールします。
- [はい]を選択すると、プリンター給紙トレイのいずれかにジョブに必要な用紙がセットされた場合のみ、プリンターにジョブをスケジュールします。

↓ 補足

いずれの場合も、ジョブで要求された用紙がプリンターに対応する用紙リストにあることが必要です。

13. [用紙]で、プリンターで必要な用紙種類を選択します。

14. [拡張]ページで、デフォルトでは、TotalFlow Production Managerサーバーをインストールしたときに選択した言語で区切り紙（バナーページ）が印刷されます。別の言語で区切り紙を印刷するには、[メッセージ言語]プロパティを設定します。

15. [区切り紙用給紙トレイ]でトレイリストから区切りページ用の給紙トレイを選択します。

プリンター言語が [JDF] に設定されている場合は、未使用タブが排紙される排紙トレイも選択できます。

16. [ジョブチケットを検証]トグルを使用して、印刷前にジョブチケットを検証するかどうかを指定します。

このオプションは、以前検証されていないジョブチケットに特に使用されます。

17. [ジョブ区切り紙]セクションで、ジョブページの前とまたは後に特別な指示を印刷するかどうかを指定します。

↓ 補足

ジョブに排紙トレイを選択した場合は、区切り紙にも同じ排紙トレイを設定します。

ジョブの仕上げ設定によって、ジョブと同じ排紙トレイに一部の区切り紙を排紙しない場合があります。これは、ジョブの排紙トレイに次のいずれかを設定したときに発生します。

【中とじトレイ】

【トリマートレイ】

【リング製本機トレイ】

【くるみ製本機左下トレイ】

【折り機トレイ】

この場合は、プリンターが区切り紙の排紙先を決定します。通常、【フィニッシュャーシフトトレイ】に排紙されます。

18. [SNMP]で、プリンターコントローラーのプロパティと同じ値を設定します。

プリンタープロパティ	EFI Fieryプリンターコントローラー	リコープリンターコントローラー	TotalFlow Print Serverプリンターコントローラー
[コミュニティ名]	「コミュニティ名読み取り」	「コミュニティ名」プリンタープロパティには読み取り専用または読み取り/書き込み [アクセス種類] が必要です。	「コミュニティ名」には読み取り専用または読み取り/書き込み [アクセス種類] が必要です。
[ユーザー名]	「非セキュアユーザー名」 (低セキュリティ) 「セキュアユーザー名」 (中または高セキュリティ)	「アカウント名 (ユーザー) 」	「ユーザー」 複数の値を指定できます。リストの値に [ユーザー名] プリンタープロパティを設定します。
[中セキュリティパスワード]	「ユーザー認証パスワード」		
[パスワードの最大文字数] [パスワードの最大文字数]を設定した場合は、[中セキュリティパスワード]も設定してください。一部のプリンターを使用すると、[パスワードの最大文字数]のみ設定できますが、実行する場合はSNMPでプリンターに接続できません。		「認証パスワード (ユーザー) 」	「パスワード」 TotalFlow Print Serverプリンターコントローラーには、各SNMPユーザーに1つのパスワード設定があります。中レベルのセキュリティには、[中セキュリティパスワード]プロパティでユーザーが指定した値を [ユーザー名]プロパティに設定し、[パスワードの最大文字数]プロパティは設定しないでください。
[パスワードの最大文字数] [パスワードの最大文字数]を設定した場合は、[中セキュリティパスワード]も設定してください。一部のプリンターを使用すると、[パスワードの最大文字数]のみ設定できますが、実行する場合はSNMPでプリンターに接続できません。	「ユーザープライバシーパスワード」	「暗号化パスワード」	「パスワード」 TotalFlow Print Serverプリンターコントローラーには、各SNMPユーザーに1つのパスワード設定があります。最高レベルのセキュリティには、[ユーザー名]プロパティでユーザーが指定した値を [中セキュリティパスワード] および [パスワードの最大文字数]プロパティに設定します。
[セキュリティレベル]	「セキュリティレベル」		
[認証種類]	「ユーザー認証種類」	「認証アルゴリズム」	「セキュリティ」

プリンタープロパティ	Efi Fieryプリンターコントローラー	リコープリンターコントローラー	TotalFlow Print Serverプリンターコントローラー
【プライバシー種類】です。このフィールドは必須です。【なし】以外の値を指定します。【プライバシー種類】が【なし】の場合は、SNMPはプリンターに接続できません。	「ユーザープライバシータイプ」		「暗号化」(「SNMP」ダイアログ)
【コンテキスト名】		「コンテキスト名」	

5. [OK]をクリックします。

6. プリンターを無効にするには、横にある [有効] ボタン (▶) をクリックします。

カスタムプリンター定義のインポートツールを使用する

カスタムプリンター定義のインポートツールを使用すると、地域のエキスパートにより作成されたカスタムプリンター定義ファイルをインポートおよび管理できます。これらのファイルは .gpz ファイルという名前が付いています。プリンターコネクタにより、TotalFlow Production Managerで利用できるカスタムプリンター定義ファイルが作成されます。

カスタムプリンター定義ファイルを追加する前に、カスタムプリンター定義のインポートツールを起動してください。

カスタムプリンター定義のインポートツールを起動するには、次の手順に従います。

1. TotalFlow Production Managerがインストールされているシステムで、スタートメニューを開きます。
2. RICOH TotalFlow Production Manager、カスタムプリンターツールの順にクリックします。
デフォルトのブラウザでカスタムプリンター定義のインポートツール画面が開きます。必要に応じてプリンター定義ファイルをインポートまたは削除します。

↓ 補足

プリンターコネクタとカスタムプリンター間の通信が制限されているため、TotalFlow Production Managerが受け取るジョブ状況と進行状況に関する情報は必ずしも正確でない場合があります。詳しくは、プリンター本体のジョブ状況を確認してください。

カスタムプリンター定義ファイルをインポートする

1. **カスタムプリンター定義ファイルをインポート...** をクリックします。[カスタムプリンター定義ファイルをインポート...]ボタンは、画面の左上角にあります。
[開く] ダイアログボックスが表示されます。
2. ダイアログボックスからgpzファイルを選択し、[開く] をクリックします。
gpzファイルはメインページの表に表示され、自動的に選択されます。このカスタムプリンター定義ファイルを使用して、TotalFlowアプリケーションにプリンターオブジェクトを作成できます。

gpzファイルはメインページの表に表示されます。

RICOH Printer Connector				
カスタムプリンター定義ファイルをインポート... [カスタムプリンター定義ファイルのインポート...]をクリックし、ファイルのリストに定義ファイルを追加します。これにより、PrinterConnectorのファイルが使用可能になり、TotalFlow製品で使用できます。				
カスタムプリンター定義ファイル	プリンターモデル	バージョン	プリンター製造元	変更日
Mapping File1.gpz	EB-32 V1.0 PS US_8	1	Ricoh	5/4/2016 11:00:44 AM

カスタムプリンター定義ファイルを削除する

1. メインページの表で、削除するカスタムプリンター定義ファイルを選択し、[削除] ボタン (■) をクリックします。
警告メッセージが表示されます。
2. [はい] をクリックします。
選択したカスタムプリンター定義ファイルはPrinter Connectorから削除されます。

↓ 補足

カスタムプリンター定義ファイルを削除した後は、削除したカスタムプリンター定義ファイルを使用して新しいプリンターを作成することはできません。ただし、そのカスタムプリンター定義ファイルを使用して作成されたすべてのプリンターは正常に機能します。

を使用する

プリンターの機能に応じて、インストール可能なオプションを設定します。デバイス機能の詳細は、使用しているプリンターの使用説明書を参照してください。

インストール可能なオプションを設定するには、以下の操作を行います。

1. プリンターで利用可能なオプションを選択します。
[エンジン] はデフォルトで選択され、印刷を行うプリンターの主要部品を意味しています。
装着可能なオプションには、パンチユニット、紙折りユニットオプション、中とじフィニッシャー、またはステープラーなどがあります。
2. 変更を保存するには、[OK] をクリックします。

プリンターの機能を変更するには、インストール可能なオプションパネルに戻り、必要に応じてオプションを選択します。

パススループリンターを作成する

パススループリンターはPCL、PostScript、PDFなどのさまざまな形式のジョブを印刷する機器に関連付けできます。

パススループリンターに割り当てられたジョブにはジョブチケットがありません。パススループリンターに関連付けられたTotalFlow Production Managerワークフローは、ホットフォルダーやLPDプロトコルを使用する印刷コマンドからジョブを受信できます。パススループリンターはジョブ状況をレポートできません。

パススループリンターを作成するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、**[操作]**をクリックします。
3. 左側のオブジェクトポッドで、**[プリンター]**をクリックします。
4. 以下のいずれかを行います。

- 新しいパススループリンターを作成するには、

1. **[新規]**をクリックし、**[パススルー...]**を選択します。

[パススループリンターを作成]ダイアログが表示されます。

- 既存のプリンターをコピーするには、以下の操作を行います。

1. **[プリンター]**タブでプリンターを右クリックします。
2. **[コピー...]**を選択します。

【プリンターをコピー】ダイアログが表示されます。

【名前】以外のプロパティー値は新しいプリンターでは選択したプリンターのプロパティーと同じ値になります。

5. ダイアログの各ページで、必須およびオプションのプロパティー値を入力または選択します。

ページを変更するには、ナビゲーションバーのページ名をクリックします。

1. 【全般】ページで、【コマンド】プロパティー値はシステムで使用可能な印刷コマンドによって異なります。

- Windows lprコマンドには、【コマンドプロンプト】ウィンドウを開き、lpr ?を入力します。
- コマンドのサーバーオプションの値としてプリンターのホスト名またはIPアドレスを使用します。
たとえば、Windows lprコマンドは-S *printer*オプションを使用し、LPDサービスを提供するサーバーを指定します。パススループリンターの場合は、これがプリンターになります。
- コマンドのプリンターオプション値として印刷キューの名前を使用します。
たとえば、Windows lprコマンドは-P *printer*オプションを使用し、印刷ファイルを送信するプリンターまたは印刷キューを指定します。パススループリンターの一般的な印刷キュー名はPASSです。
- コマンドの部門オプション値として会社の部門名を使用します。
たとえば、Windows lprコマンドは-J *department*を使用し、印刷ジョブの責任を持つ管理会社を指定します。
- getFileNameまたはgetAbsoluteFileNameコマンドを使用し、印刷ファイル名を指定します。
-

↓ 補足

1. 【外部コマンド】プロパティーでファイル名を指定するには、[P. 275 「記号表記でファイル名を指定する」](#)を参照してください。
2. 【外部コマンド】プロパティーでジョブ属性を指定するには、[P. 277 「コマンドでジョブ属性シンボルを使用する」](#)を参照してください。
- パススループリンターは自動的にジョブプロパティー値を判別できないため、プリンターコマンドのオプションとしてプリンターに渡してください。
2. プリンターが再起動前に設定された状態を維持できるようにするには、【再起動後プリンターの状態を維持】を選択します。
3. 【スケジューリング】ページで、プリンター割り当てプロパティーを設定します。
4. 【バックアップ】ページで、作成中のプリンターが何らかの理由で停止した場合に代わりに使用する【バックアッププリンター】を選択します。
5. リカバリーモードに移行する条件として【リカバリートリガー】と、プリンターがリカバリーモードに移行するまでの待機時間を選択します。
6. デフォルトでは、TotalFlow Production Managerサーバーをインストールしたときに選択した言語で区切り紙（バナーページ）が印刷されます。別の言語で区切り

紙を印刷するには、[拡張]ページの[メッセージ言語]プロパティーを設定します。

7. [特殊な指示のコマンド]プロパティーの値を設定してバススループリンターを有効にし、ジョブの前に特殊指示と区切り紙を印刷します。

getOperInstコマンドを使用し、特殊指示名を指定します。詳しくは、P.275「[記号表記でファイル名を指定する](#)」を参照してください。

8. [SNMP]で、プリンターコントローラーのプロパティーと同じ値を設定します。

プリンタープロパティー	EFI Fieryプリンターコントローラー	リコピーンターコントローラー	TotalFlow Print Serverプリンターコントローラー
[コミュニティ名]	「コミュニティ名読み取り」	「コミュニティ名」プリンタープロパティーには読み取り専用または読み取り/書き込み [アクセス種類] が必要です。	「コミュニティ名」には読み取り専用または読み取り/書き込み [アクセス種類] が必要です。
[ユーザー名]	「非セキュアユーザー名」 (低セキュリティ) 「セキュアユーザー名」 (中または高セキュリティ)	「アカウント名 (ユーザー) 」	「ユーザー」 複数の値を指定できます。リストの値に [ユーザー名] プリンタープロパティーを設定します。
[中セキュリティパスワード] [パスワードの最大文字数]を設定した場合は、[中セキュリティパスワード]も設定してください。一部のプリンターを使用すると、[パスワードの最大文字数]のみ設定できますが、実行する場合は	「ユーザー認証パスワード」	「認証パスワード (ユーザー) 」	「パスワード」 TotalFlow Print Serverプリンターコントローラーには、各SNMPユーザーに1つのパスワード設定があります。中レベルのセキュリティには、[中セキュリティパスワード]プロパティーでユーザーが指定した値を[ユーザー名]プロパ

プリンタープロパティ	Efi Fieryプリンターコントローラー	リコープリンターコントローラー	TotalFlow Print Serverプリンターコントローラー
SNMPでプリンターに接続できません。			ティに設定し、[パスワードの最大文字数]プロパティは設定しないでください。
[パスワードの最大文字数] [パスワードの最大文字数]を設定した場合は、[中セキュリティパスワード]も設定してください。一部のプリンターを使用すると、[パスワードの最大文字数]のみ設定できますが、実行する場合はSNMPでプリンターに接続できません。	「ユーザープライバシーパスワード」	「暗号化パスワード」	「パスワード」 TotalFlow Print Serverプリンターコントローラーには、各SNMPユーザーに1つのパスワード設定があります。最高レベルのセキュリティには、[ユーザー名]プロパティでユーザーが指定した値を[中セキュリティパスワード]および[パスワードの最大文字数]プロパティに設定します。
[セキュリティレベル]	「セキュリティレベル」		
[認証種類]	「ユーザー認証種類」	「認証アルゴリズム」	「セキュリティ」
[プライバシー種類]です。このフィールドは必須です。[なし]以外の値を指定します。[プライバシー種類]が[なし]の場合は、SNMPはプリンターに接続できません。	「ユーザープライバシータイプ」		「暗号化」(「SNMP」ダイアログ)
[コンテキスト名]		「コンテキスト名」	

9. 同じプリンター機器を表すプリンターを作成する場合は、各プリンターの[TCP/IPアドレスまたはホスト名]プロパティに同じ値を指定します。
10. [PS/PCLデータ置換]ページで、必要に応じて置換ルールを設定します。

この機能を使用すると、印刷ジョブを処理する前にPostScriptまたはPCLファイルからテキストを置換または削除できます。

入力テキストには、プレーンテキスト、16進拡張表記、またはその組み合わせを入力できます。たとえば、データ置換値には¥x1Bのような16進拡張表記を含めることができます。これは、16進コード1B（エスケープ）のある文字です。

置換メソッドは文字列に指定値や正規表現がないか検索し、指定値が置換される新しい文字列を返します。このメソッドは元の文字列を変更しません。

- **【前に添付】**フィールドで、**【参照】**アイコン () をクリックし、処理したファイルにヘッダーとして追加するテキストを含む、ファイルのフルパス名を入力します。
- **【後に添付】**フィールドで、**【参照】**アイコン () をクリックし、処理したファイルにフッターとして追加するテキストを含む、ファイルのフルパス名を入力します。
- 左の**【データを置換（複数行）】**フィールドで、置換または削除する文字列を入力します。
- 右の**【データを置換（複数行）】**フィールドで、前の手順で入力した文字列を置換するテキストを入力します。

↓ 補足

添付するファイルがサーバーにない場合は、**【アップロード】** ボタン () を使用してTotalFlow Production Managerサーバーにファイルをアップロードします。

6. **【OK】**をクリックします。
7. 新しいパススループリンターを使用するには、**【有効】** ボタン () をクリックします。

↓ 補足

パススループリンターに関連付けられたワークフローに**【PDFに変換】**アクティビティが含まれる場合は、データ置換を実行する前にPostScriptまたはPCLファイルがPDFに変換されます。**【印刷】** アクティビティ中にデータ置換が実行されます。

データ置換ツールを使用するためにパススループリンターを設定する

PS/PCLファイルのデータ置換ツールを使用するためにパススループリンターを設定する方法の一例を紹介します。

PS/PCLファイルのデータ置換ツールを使用するために既存のパススループリンターを設定するには、次の手順に従います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、**【操作】**をクリックします。
3. **【プリンター】**タブで、設定するパススループリンターを選択します。
4. **【さらに表示】**をクリックし、**【プロパティ...】**を選択します。または、パススループリンターを右クリックし、**【プロパティ...】**を選択します。
【パススループリンターのプロパティ】ダイアログが表示されます。
5. **【PS/PCLデータ置換】**ページで、必要に応じて置換ルールを設定します。



- **【前に添付】**フィールドで、**【参照】**アイコン () を使用し、処理したファイルにヘッダーとして追加するテキストを含む、ファイルを選択します。
必要なファイルがサーバーにない場合は、**【アップロード】** ボタン () を使用してTotalFlow Production Managerサーバーにファイルをアップロードします。
- **【後に添付】**フィールドで、**【参照】**アイコン () を使用し、処理したファイルにフッターとして追加するテキストを含む、ファイルを選択します。



- **【OK】**をクリックします。
- 送信するPSまたはPCLファイルの内容の置換や削除が必要な場合は、以下の操作を行います。
 - 左の**【データを置換 (複数行)】**フィールドで、置換または削除する文字列を入力します。

- 右の【データを置換（複数行）】フィールドで、前の手順で入力した文字列を置換するテキストを入力します。
- 6. **[OK]**をクリックします。
- 7. **[ワークフロー]**タブで、設定するワークフローを選択し、**[プロパティー...]**をクリックします。
- 8. **[ワークフローのプロパティー]**ダイアログで、**[ホットフォルダー]**をジョブ送信種類として選択します。

デフォルトのフォルダーパスを保持するか、**[参照]** オプション () を使用して、サーバーの空のフォルダーを選択または作成し、このワークフローのホットフォルダーとして使用できます。

- 9. パススループリンターとワークフローを有効にします。
- 10. TotalFlow Production Managerがインストールされているサーバーで、ワークフローのホットフォルダーとして設定されたフォルダーにPSまたはPCLファイルをコピーします。
このジョブは**[全てのジョブ]**ポッドのリストに表示され、PS/PCLファイルはデータ変更がすべて反映されて印刷されます。

3ファイルが結合されて作成されたPS/PCLファイルは、サーバーの - `installation_path/aiw/aiw1/spool/default/jobs_ID/jobs_ID.print.ps/pcl` で確認できます。

プリンターに区切り紙の印刷を設定する

TotalFlow Production Managerでは、ジョブの前後の区切り用紙（バナーページ）にジョブプロパティーの値を印刷できます。ジョブの最初のデータページの前に印刷するジョブ区切り紙は、ヘッダーシートとも呼ばれます。ジョブの最後のデータページの後に印刷するジョブ区切り紙は、後書きシートとも呼ばれます。

↓ 補足

- パススループリンターではヘッダーシートまたは後書きシートを印刷できません。
- 区切り紙を印刷するには、ジョブを作成するワークフローの**[ジョブ区切り紙（前）部数]**または**[ジョブ区切り紙（後）部数]**プロパティーの値を1以上にしてください。

区切り紙を印刷するためにジョブチケットプリンターを設定するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、**[操作]**をクリックします。
3. 左側のオブジェクトポッドで、**[プリンター]**を選択します。
4. **[プリンター]**タブで、プリンターを選択し、**[さらに表示]**をクリックし、**[プロパティー...]**を選択します。
5. **[ジョブチケットプリンターのプロパティー]**ダイアログで、**[詳細]**をクリックします。

6. **オプション**： 特定の用紙種類で区切り紙を印刷するには、リストから[区切り紙用給紙トレイ]プロパティの値を選択します。
このトレイの用紙はジョブのすべての区切り紙（ヘッダーシート、後書きシート、特殊な指示付き区切り紙）の印刷に使用されます。
[区切り紙用給紙トレイ]が選択されていない場合は、すべてのジョブ区切り紙が普通紙A4またはLetterで印刷されます。
7. プリンターを有効にし、ヘッダー/後書きシートを印刷するには、[前]または[後]を[はい]に設定します。
8. [OK]をクリックします。

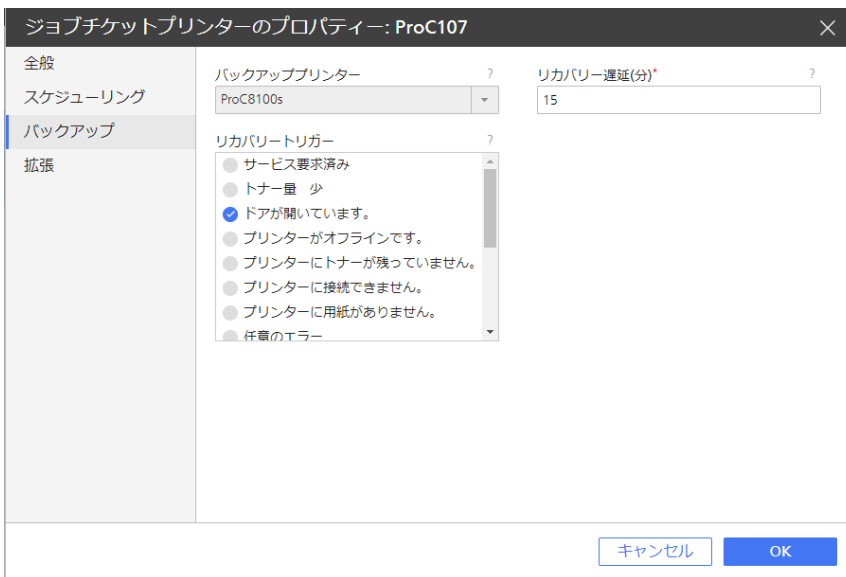
バックアッププリンターを設定する

何らかの理由で印刷できないときに、TotalFlow Production Managerがプリンターに新しいジョブを割り当てることを停止し、プリンターが要求するバックアッププリンターにジョブの割り当てを開始するようにプリンターを設定できます。最初のプリンターで印刷待機中のジョブはバックアッププリンターに移動します。最初のプリンターに送信されているジョブは移動しません。プリンターが停止したときの印刷中ジョブは、バックアッププリンターに移動されます。

バックアッププリンターを設定するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. SNMP接続が機能することを確認します。SNMPの接続が切れたり無効になる場合は、TotalFlow Production Managerはプリンターからの情報を受信できません。
3. メニューバーで、[操作]をクリックします。
4. [プリンター]をクリックします。
5. [プリンター]タブで、プリンターを選択し、[さらに表示]、[プロパティ...]の順にクリックします。

6. 【ジョブチケットプリンターのプロパティ】ダイアログで【バックアップ】をクリックします。



7. このプリンターに割り当てられているジョブとこのプリンターを要求する新しいジョブが送信されるプリンターまたはプリンタープールの名前を【バックアッププリンター】プロパティに設定します。
8. 【リカバリートリガー】プロパティを設定し、プリンターがリカバリーモードに入る条件を指定します。

個別のエラーと警告や以下の条件を指定できます。

【任意のエラー】

エラーの条件があります。

【任意の警告】

警告の条件があります。

【プリンターに接続できません。】

ジョブを送信するときに、TotalFlow Production Managerがプリンターに接続できません。

1. リカバリートリガーを追加するには、【リカバリートリガー】リストから選択します。
 2. リカバリートリガーを削除するには、【リカバリートリガー】リストから削除します。
9. デフォルトでは、リカバリートリガーが始動した後に、プリンターがリカバリーモードになる前に15分間待機します。この間に【ドアが開いています。】や【用紙量 少】などの一時的な問題を修正できます。待機時間を変更するには、【リカバリー遅延(分)】プロパティの値を変更します。
10. 【リカバリーシートを印刷】オプションを有効にして、最初のジョブがリカバリーされる前に、バックアッププリンターが追加のシートを印刷できるようにします。リカバリーシートは、この後に印刷されるジョブがリカバリーされたジョブであることをオペレーターに通知します。

11. **[OK]**をクリックします。

↓ 補足

バックアッププリンターの段階的なフローが発生したときにバックアッププリンターもリカバリーモードの場合は、リカバリートリガーは始動せずに最初のプリンターにジョブが残ります。

用紙を使用するためにプリンターを設定する

ジョブで指定された用紙に印刷されるように、TotalFlow Production Managerのプリンターと用紙を設定する方法を説明します。リコーとEFI Fieryのコントローラーオプションを使用するプリンターでは同じ手順になります。

以下の手順はTotalFlow Prepまたは他の外部アプリケーションから送信したジョブに適用されます。デフォルトでは、ホットフォルダーやlprコマンドを使用して送信したジョブには用紙プロパティが指定されないため、受信とスケジューリングが自動的に実行されます。

TotalFlow Production Managerプリンターを設定してジョブを印刷するには、以下の操作を行います。

1. TotalFlow Production Managerの用紙を正しく定義します。

詳しくは、[P. 86 「TotalFlow Production Managerと他のプログラムの用紙」](#)を参照してください。

2. 各ジョブチケットプリンターまたはパススループリンターの給紙トレイをマッピングしてプリンター機器にセットした用紙を表示します。

1. 可能なときはデフォルト用紙を使用します。

デフォルト用紙の名前はプリンターの用紙リストに一致させる必要はありません。たとえば、プリンター機器の[トレイ1]にセットした用紙が用紙リストで[標準]になるとします。TotalFlow Production Managerには[標準]というデフォルト用紙はありませんが、[A4]という用紙があります。[標準]と[A4]は両方ともホワイト、A4サイズ、坪量80g/m²で、印刷済み紙、パンチ済み紙、凹凸紙、コート紙ではありません。この場合は、TotalFlow Production Managerプリンターの[トレイ1]で[A4]用紙を指定します。

2. デフォルト用紙を使用できない場合は、ユーザー設定紙を作成します。

1. デフォルト用紙に最も近い用紙をコピーしてから、プロパティを変更します。TotalFlow Prepまたは他の外部アプリケーションから送信したジョブと一致するすべてのプロパティの値が確保されます。

2. ユーザー設定紙に対応している用紙リストを使用する場合は、各プリンターの[用紙種類]のリストに用紙を追加します。

3. TotalFlow Production Managerにジョブを送信する前に、外部アプリケーションのジョブチケットで要求された用紙プロパティとTotalFlow Production Managerの用紙ライブラリーのプロパティを比較します。ジョブチケットが要求するすべての用紙には、等しいプロパティ値があるTotalFlow Production Managerの用紙が必要です。ユーザー設定紙を使用するジョブを送信する場合は、ジョブチケットの用紙プロパティにユーザー設定紙を指定したことを確認してください。

4. TotalFlow Production Managerプリンターにジョブを送信するように設定するには、ジョブチケットで要求された各用紙名がプリンターの給紙トレイにマッピングした用紙名または用紙交換で指定した用紙名と一致することを確認します。
5. プリンターにジョブの印刷を送信できない場合は、以下の操作を行います。
 1. ジョブを選択し、[さらに表示]をクリックし、[移動...]を選択します。[ジョブを移動]ダイアログで、対象プリンターにジョブを設定できない原因のプロパティを確認します。
 2. 用紙プロパティに問題がある場合は、ジョブによって要求された各用紙名がプリンターの給紙トレイのリストに表示されていることを確認します。

3

ワークフローを作成する

ワークフローはTotalFlow Production Managerがジョブの受信に使用するTotalFlow Production Managerのオブジェクトです。

ワークフローを作成するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、[操作]をクリックします。
3. 左側のオブジェクトポッドのツールバーで、[ワークフロー]をクリックします。

新しいワークフローを作成するには、以下の操作を行います。

4. [新規]をクリックします。

既存のワークフローをコピーするには、以下の操作を行います。

5. [ワークフロー]タブでワークフローを選択します。
6. [さらに表示]をクリックします。
7. [コピー...]を選択します。
[名前]以外のプロパティ値は新しいワークフローでは選択したワークフローのプロパティと同じ値になります。

[ワークフローを作成]または[ワークフローをコピー]ダイアログが表示されます。

8. ダイアログの各ページで、調整が必要な必須およびオプションのプロパティ値を入力または選択します。
9. ワークフローで処理するジョブのカラーページまたは白黒ページ数に関する詳細情報を受け取るには、[カラーページを数える]トグルを有効にします。[全てのジョブ]ポッドに情報が表示されます。
10. 外部アプリケーション経由でジョブを送信する場合は、[全般]タブで送信方法のいずれかまたは両方を選択します。

↓ 補足

- LPDプロトコルを使用してジョブを受信する場合は、ワークフロー名を8バイト以下にします。使用する印刷コマンドに応じて、ワークフロー名と同じ名前を送信システムで印刷キューを作成してください。一部のシステムでは印刷キュー名が8バイトで途切れます。
- ホットフォルダーでジョブを受信する場合は、TotalFlow Production Managerは[フォルダーパス]に指定したディレクトリを作成します。

11. このワークフローで処理したすべてのジョブに区切り紙の印刷が必要な場合は、[詳細]ページの[バナーページ]ダイアログで適切な値を入力または選択します。

12. **[OK]**をクリックします。
13. 新しいワークフローを使用するには、ワークフローが有効であることを確認します。

↓ 補足

[全般]タブの[ホットフォルダー]送信方法で切り替えた場合のみ、[ホットフォルダー]の詳細を編集できます。

また、プリンターを作成するとき、新しいワークフローを作成できます。詳しくは、[P. 50「ジョブチケットプリンターを作成する」](#)を参照してください。

プリンターまたはプリンタープールをワークフローに関連付ける

プリンターまたはプリンタープールにジョブを割り当てるには、ワークフローに関連付けてください。オペレーターと管理者は、プリンターまたはプリンタープールをワークフローに関連付けることができます。

プリンターまたはプリンタープールをワークフローに関連付けるには、以下のいずれかを行います。

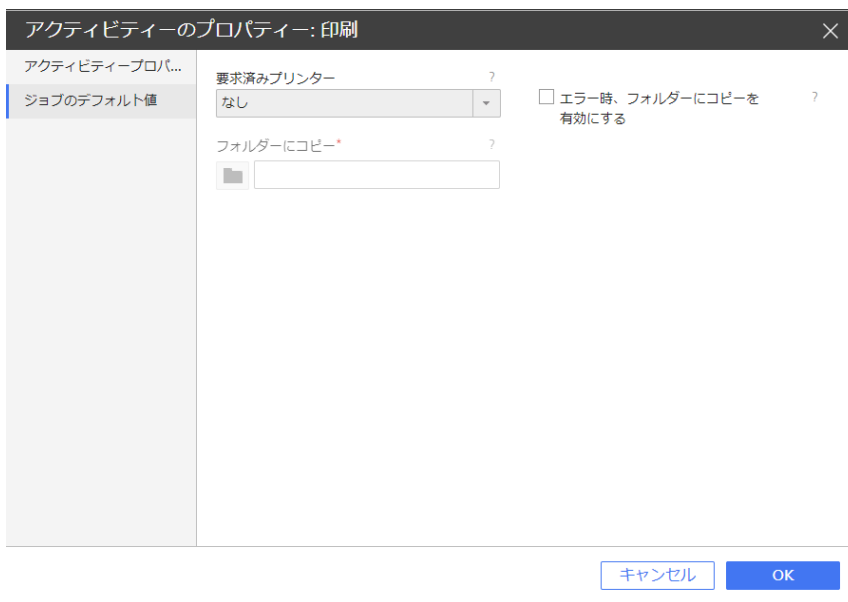
- オペレーターと管理者は、以下を実行できます。
 1. TotalFlow Production Managerにオペレーターまたは管理者権限を持つユーザーとしてログインします。
 2. メニューバーで、[操作]をクリックします。
 3. ワークフローを選択し、[さらに表示]をクリックします。
 4. [エディターとプロパティー...]を選択します。
 5. [プロパティー]タブの[全般]ページで、[要求済みプリンター]リストからプリンターまたはプリンタープールを選択します。

3

6. [OK]をクリックします。

また、新しいプリンターを作成するとき、管理者はワークフローを割り当てることができます。ワークフローを新しいプリンターに割り当てるには、以下の操作を行います。

1. [ジョブチケットプリンターを作成]ダイアログの[ワークフロー]セクションで、[ワークフローを作成]を選択します。
 2. 新しいプリンターを作成したワークフローに割り当てるには、[終了時にワークフローを編集]をクリックし、ワークフローの[要求済みプリンター]プロパティーを編集します。
- 管理者は、以下を実行できます。
 1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
 2. メニューバーで、[操作]をクリックします。
 3. [ワークフロー] をクリックします。
 4. ワークフローを選択し、[エディターとプロパティー...]をクリックします。
[エディター] ポッドにワークフローが表示されます。
 5. [印刷]アクティビティーを右クリックし、[プロパティー]を選択します。
 6. [アクティビティーのプロパティー]の[ジョブのデフォルト値]ページ：[印刷]ダイアログで[要求済みプリンター]リストからプリンターまたはプリンタープールを選択します。



7. [OK]をクリックします。

ジョブプロパティのワークフローデフォルト値と上書き値を設定する

オペレーターと管理者は、ワークフローにジョブプロパティのデフォルト値と上書き値を関連付けることができます。

ワークフローがジョブを受信するときは、ジョブは値を持たないプロパティにワークフローのデフォルト値を使用します。すべてのジョブプロパティは、上書きを指定した場合ジョブチケット値の代わりにワークフローの上書き値を使用します。

★ 重要

TotalFlow Prepから受信したジョブに上書き値を設定するときは注意してください。上書き値がこれらのアプリケーションに設定した値と競合する場合があります。

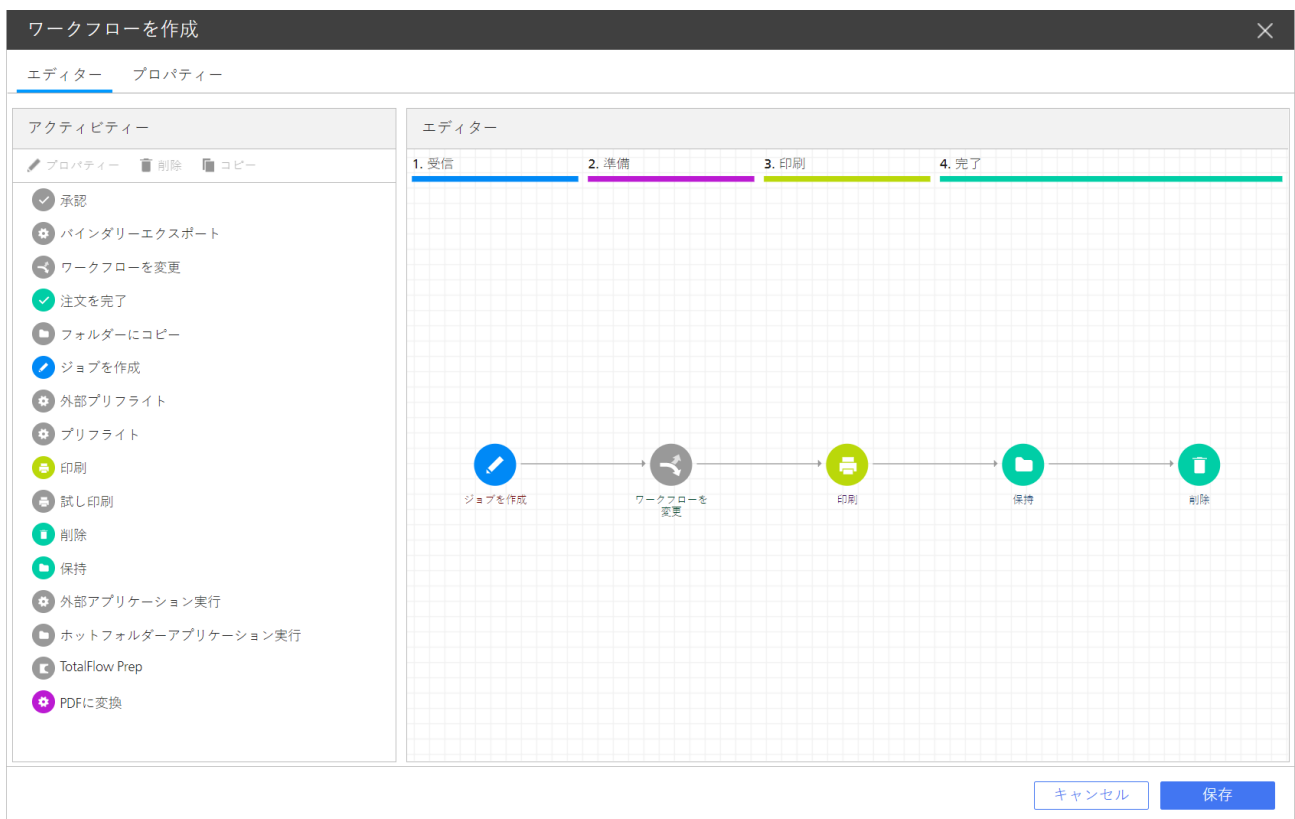
↓ 補足

【ページ数】プロパティは例外です。TotalFlow Production Managerでジョブのページ数を決定できる場合は、上書き値を設定しても実際の数を使用します。

ジョブプロパティのワークフローデフォルトと上書きを設定するには、以下の操作を行います。

1. 【ワークフロー】タブで、ワークフローを右クリックし、【エディターとプロパティ...】をクリックします。または、ワークフローをダブルクリックします。

【ワークフロー】ダイアログが表示されます。



2. 【ワークフローのプロパティ】ダイアログで【ジョブのデフォルト】をクリックします。

【ワークフローのジョブデフォルトと上書きを設定】ダイアログが表示されます。



↓ 補足

TotalFlowアプリケーション経由でジョブを送信する場合は、[ステープル] オプションに設定されたプロパティが [仕上げ] ページと [サブセット] ツールで一致することを確認してください。これでジョブで送信した仕上げオプションとワークフローが設定する仕上げオプションの競合を防ぎます。

3. 別のプロパティを表示するには、ページグラフィックをクリックします。
4. プロパティの情報を表示するには、以下の操作を行います。
 1. プロパティにカーソルを置きます。
 2. プロパティ名の横の [ヘルプ] ボタン (?) をクリックします。
5. 設定するプロパティに値を入力または選択します。
6. 設定した各プロパティのアイコンをクリックし、デフォルトまたは上書きにします。アイコンはデフォルト値と上書き値の画像に切り替わります。
 -  は値がデフォルトであることを示します。
 -  は値が上書きであることを示します。
7. すべてのプロパティに同じ値を設定するには、ダイアログの左下角の [デフォルト] または [上書き] を選択します。
8. [OK] をクリックします。

プリンタープールを作成する

プリンタープールは効率的に連携するためのプリンターのグループです。プリンタープールにジョブを送信すると、TotalFlow Production Managerは最速で印刷できるプリンターにジョブを割り当てます。

プリンタープールを作成するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、[操作] をクリックします。
3. 画面の左側のオブジェクトポッドで、[プリンタープール]、[新規...] の順にクリックします。

[プリンタープールを作成] ダイアログが表示されます。



プリンタープールを作成

名前* ?

概要 ?

プリンター ?

- ☒ ProC107
- ☒ ProC8100s

部数分割 ?

☐

コピー分割しきい値* ?

代表プリンター ?

ProC107

キャンセル OK

4. 調整が必要な必須およびオプションのプロパティに値を入力または選択します。
 1. プリンターをプリンタープールに追加するには、**【プリンター】**リストでプリンターを選択します。
複数のプリンタープールに同じプリンターを追加できます。
 2. プリンターをプリンタープールから削除するには、プリンターを再度クリックします。
5. 部数分割機能を使用すると、印刷処理速度を上げることができます。
 1. **【部数分割】**オプションを **【はい】** に設定し、**【部数分割】**機能を開始する前に、**【コピー分割しきい値】**をジョブが持つことが可能な最大部数に設定します。
プリンタープールのすべてのプリンターにジョブが小さく分割されて割り当てられるため、合計部数が最速で印刷されます。
6. **【OK】**をクリックします。

プリンタープールの使用例

この手順では、異なる種類のプリンターでプリンタープールを使用するためのサンプルタスクを説明します。

部数分割オプションを使用してプリンタープールを設定する

TotalFlow Production Managerサーバーにパススループリンターとジョブチケットプリンターがあることを確認してください。

プリンタープールを作成し、中にパススループリンターとジョブチケットプリンターを追加します。

プリンタープールを作成するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、**【操作】**をクリックします。
3. 画面の左側のオブジェクトポッドで、**【プリンタープール】**、**【新規】**の順にクリックします。
【プリンタープールを作成】ダイアログが表示されます。

4. ジョブチケットプリンターとパススループリンターを【プリンター】リストから選択します。
5. ジョブチケットプリンターを【代表プリンター】として設定します。
6. 【部数分割】オプションを有効にします。
7. 【コピー分割しきい値】を5に設定します。
8. プリンタープールを作成するには、【OK】をクリックします。
【プリンタープール】タブで新しく作成されたプリンタープールを確認できます。

ワークフローを作成します。

9. ワークフローの作成方法については、P. 68 「ワークフローを作成する」を参照してください。
10. ワークフローの名前を入力します。
11. ジョブ送信種類として【ホットフォルダー】または【LPD】を選択します。
12. 新しく作成されたプリンタープールを【要求済みプリンター】として設定します。
13. 【OK】をクリックし、ワークフローを作成します。
14. プリンタープールのプリンターとワークフローが有効であることを確認してください。
15. 作成したワークフローを選択し、【ワークフローのプロパティ】、【ジョブのデフォルト】の順にクリックします。
16. 【印刷方法/認証】ページの【部数】フィールドで、5より大きい部数を設定します。

↓ 補足

これらの設定は上書き値として設定してください。

17. TotalFlow Production Managerがインストールされているサーバーでは、ワークフローのホットフォルダーとして設定されたフォルダーにPS、PDF、またはPCLファイルをコピーします。

↓ 補足

プリンタープールからすべてのプリンターで部数分割する場合は、すべてのプリンターに同じ処理能力が必要です。

ジョブはプリンターの使用状況に応じてプリンター間で分割されます。代表プリンターがエラー状態か無効の場合は、すべてのジョブが2番目のプリンター、この場合は、パススループリンターで印刷されます。

【操作】ページの**【全てのジョブ】**ポッドでジョブを確認できます。

作成した.PS、PCL、またはPDFファイルは、サーバーの `-installation_path/aIW/aIW1/spool/default/jobs_ID/jobs_ID.print.ps` で確認できます。

ジョブチケットプリンターが無効のときにプリンタープールを使用する

3

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、**【操作】**をクリックします。
3. TotalFlow Production Managerサーバーにパススループリンターとジョブチケットプリンターがあることを確認してください。
4. プリンタープールを作成して、中にパススループリンターとジョブチケットプリンターを追加します。
5. ジョブチケットプリンターを**【代表プリンター】**として設定します。
6. **【部数分割】**オプションを **【いいえ】** に設定します。
7. プリンタープールを作成するには、**【OK】**をクリックします。
【プリンタープール】タブで新しく作成されたプリンタープールを確認できます。

次にワークフローを作成します。

8. メニューバーで、**【操作】**をクリックします。
9. **【ワークフロー】**タブで、**【新規...】**をクリックします。
【ワークフローを作成】ダイアログが表示されます。
10. **【ワークフローのプロパティ】**をクリックします。
11. **【全般】**ページで、ワークフローの名前を入力します。
12. ジョブ送信種類として**【ホットフォルダー】**または**【LPD】**を選択します。
13. 新しく作成されたプリンタープールを**【要求済みプリンター】**として設定します。

ワークフローを作成

エディター プロパティ

全般 詳細

ワークフローでジョブプロパティのデフォルト一般値を関連付ける ジョブのデフォ...

名前* ? 要求済みプリンター ?

概要 ? カラーページを数える ?

送信方法

ホットフォルダー ? フォルダーパス* ?

LPD ?

キャンセル 保存

14. **【OK】**をクリックし、ワークフローを作成します。

15. プリンタープールのプリンターとワークフローが有効であることを確認してください。
16. **【プリンター】**タブでは、プリンタープールに追加したジョブチケットプリンターを選択し、**【無効】**アイコン (III) をクリックします。
17. TotalFlow Production Managerがインストールされているサーバーでは、ワークフローのホットフォルダーとして設定されたフォルダーにPostScript、PDF、またはPCLファイルをコピーします。

【操作】ページの**【全てのジョブ】**ポッドでジョブを確認できます。ジョブチケットが無効であるため、ジョブはパススループリンターで印刷されます。

作成したPostScript、PCL、またはPDFファイルは、サーバーの-installation_path/a1w/a1w1/spool/default/jobs_ID/jobs_ID.print.psで確認できます。

接続を作成する

ポータルを使用してオンライン印刷ショップでジョブを作成し、TotalFlow Production Manager接続を介してジョブをプリンターに割り当てることができます。

オンラインポータルからTotalFlow Production Managerがジョブを受け取るには、最初にTotalFlow Production Managerと印刷ショップポータル間で接続を確立してください。

また、ポータルにアクセスするためのユーザーアカウント、および印刷サービスプロバイダーから受け取る多数のトークンが必要です。



重要

TotalFlow Production Managerはシステムプロキシ設定を使用してMarcomCentralに接続します。プロキシの設定が正しいことを確認してください。

プロキシ設定をするには、**【サーバーのプロパティ】**ダイアログを開きます。**【詳細】**ページで、**【HTTPプロキシ】**フィールドと**【ポート】**フィールドを編集します。

接続を作成するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、**【設定】**をクリックします。
3. **【接続】**ポッドで**【新規】**をクリックします。

【接続を作成】ダイアログが表示されます。

4. 調整が必要な必須およびオプションのプロパティに値を入力または選択します。

1. **【名前】**フィールドを編集します。
2. ホスト環境に従って、使用しているサーバーの地域を**【地域】**のリストから選択します。
3. 接続で利用可能な各サービスの印刷サービスプロバイダーから受け取ったトークン文字列を入力します。トークンは印刷ストアシステムを識別する固有の32文字のコードです。トークンを受け取るには、印刷ストアサービス担当者に連絡してください。選択した地域用のトークンであることを確認します。

【注文】

TotalFlow Production Managerは印刷ストアからジョブを受け取ることができません。

【ジョブチケット】

注文したジョブの詳細をストアから入手できます。

【製品】

接続したストアから利用可能な製品IDをダウンロードできます。製品IDは、ストアで注文できる固有の項目を識別します。IDに関連付けられていた製品テンプレートは、TotalFlow Production Managerでの必要な処理手順を提供します。

【配送伝票】

配送伝票を作成および更新します。

【請求書】

注文の請求書を作成します。

【決済】

注文決済を作成します。

↓ 補足

常に[注文]トークン、[製品]トークン、[ジョブチケット]トークンを提供してください。その他のトークンはオプションです。有効なトークンを提供しない場合、そのトークンに関連付けられたサービスはTotalFlow Production Managerワークフローのアクティビティでは利用できません。

5. [接続とインポートをテスト] をクリックします。
接続が正しく設定されると、確認メッセージが表示されます。
6. [OK]をクリックします。
7. TotalFlow Production Managerとポータル間の通信を確保するには、接続が有効なことを確認します。接続を有効にするには、[接続] タブで選択し、[有効にする]をクリックします。

接続が作成されると、接続を閲覧したり、[操作]ページの[接続] タブでプロパティを編集したりできます。

3

ジョブ送信を準備する

TotalFlow PrepまたはTotalFlow Production Manager Job Submissionを使用して、TotalFlow Production Managerにジョブを送信できます。また、クイック送信、外部接続、ホットフォルダー、LPDなどの方法も使用できます。使用する送信方法に関係なく、入力ファイルを受信するにはワークフローを作成してください。

ホットフォルダーを使用してジョブ送信を設定する

FTPやファイルコピーを使用してジョブを送信するには、ホットフォルダープロトコルを使用します。

ホットフォルダープロトコルを使用するワークフローを設定するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、[操作]をクリックします。
3. 新しいワークフローを作成または既存のワークフローを設定するには、以下の操作を行います。
 1. [全般]ページで、[ジョブ送信種類]プロパティに[ホットフォルダー]を選択します。

ワークフローを作成

エディター プロパティ

全般

詳細

ワークフローでジョブプロパティのデフォルト一般値を関連付ける

ジョブのデフォ...

名前* ?

要求済みプリンター ?

なし

概要 ?

カラーページを数える ?

送信方法

ホットフォルダー ?

フォルダーパス* ?

D:\aiw\aiw1\System\hfh

LPD ?

キャンセル 保存

2. 【フォルダーパス】フィールドにホットフォルダーのファイルパスを入力します。また、参照オプションを使用して、ホットフォルダーを選択することもできます。

デフォルトのホットフォルダーは、`install_drive:¥aiw¥aiw1¥System¥hfh`です。

★重要

- ワークフローがデフォルトパスとして作成された場合は、ホットフォルダーのファイルパスは`install_drive:¥aiw¥aiw1¥System¥hfh¥hot_folder_name`になります。
 - ホットフォルダーのフルパス名を指定します。
 - ホットフォルダーは空にしてください。ファイルがある場合は、TotalFlow Production Managerは印刷を開始しようとします。
3. FTPサーバーからホットフォルダーにファイルをコピーする場合は、以下の手順に従います。
 1. 【詳細】ページの【ホットフォルダー】で【完了方法】プロパティを設定します。

ワークフローを作成

エディター プロパティ

全般
詳細

バナーシート

各ジョブの前 ?

挿入枚数 ? 1

構成ファイルの場所* ? C:\aiw\aiw1\control_files\banner_pages\

各ジョブの後 ?

挿入枚数 ? 1

構成ファイルの場所* ? C:\aiw\aiw1\control_files\banner_pages\

ホットフォルダー

ポーリング間隔* ? 30 秒

トリガーのデータ ? .*\$

トリガーパターン ? .*\.trg\$

完了方法 ? サイズを確認

ファイル種類 ? 文書

マージメソッド ? なし

マージ番号* ? 2

キャンセル 保存

- トリガーファイル名を追加します。トリガーファイルは、入力ファイルと同じ名前である必要がありますが、拡張子は.trgです。トリガーファイルは、関連する入力ファイルが完全に送信されたことを示します。
- 【トリガーのデータ】プロパティに印刷可能な入力ファイルを特定する複数の正規表現を設定します。複数の正規表現はコンマで区切ります。正規表現については、[P. 274 「正規表現」](#)を参照してください。たとえば、PDFとPostScriptファイルを印刷するには、次の正規表現を入力します。

```
.*[Pp][Dd][Ff]$,.*[Pp][Ss]$
```

- ワークフローが有効であることを確認します。

↓ 補足

- ホットフォルダーでジョブを送信すると、正確な先入先出順序でファイルが処理されます。
- 次の特殊文字は、ホットフォルダーを使用して送信したジョブ名前には含めることはできません。! " ; ' < = > \ ` ~ 特殊文字がある場合は、TotalFlow Production Managerはジョブを処理しますが、特殊文字を含まずにジョブの名前が表示されます。

【トリガーのデータ】

ワークフローが単一ジョブとして処理が必要な入力ファイルを特定するパターン一致文字列を指定します。

値は正規表現のコマンドを使用し、大文字と小文字を区別します。たとえば、**. *PDF\$**、***PS\$**と**. *pdf\$**、**. *ps\$**は異なるパターンを表します。複数のパターンはコンマで区切ります。間にスペースを入力しないでください。

長さ：255バイト以内です。

制限：次の文字列は使用できません：\${

デフォルト：.*\$ この値はジョブデータがあるすべてのファイルを受信することを示します。

ワークフローの[完了方法]プロパティが[トリガー]のときは、サーバーは[トリガーパターン]プロパティの値と一致するトリガーファイルを確認します。[トリガーのデータ]プロパティの値と一致するデータパターンを確認します。

[トリガーパターン]

トリガーファイルを特定する1つ以上のパターン一致文字列を指定します。トリガーファイルは、関連付けた入力ファイルを完全に送信したことを表示します。

トリガーファイル名と入力ファイル名は同じですが、拡張子が異なります。たとえば、入力機器にトリガーパターン一致文字列のデフォルトを使用すると、STMT406.PDの名前が付けられた入力ファイルはSTMT406.trgの名前が付けられたトリガーファイルになります。値は正規表現のコマンドを使用し、大文字と小文字を区別します。複数のパターンはコンマで区切ります。間にスペースを入力しないでください。

長さ：255バイト以内です。

制限：次の文字列は使用できません：\${

デフォルト：.*\trg\$

トリガーファイルを使用するには、ワークフローの[完了方法]プロパティを[トリガー]に設定します。

ワークフローの[完了方法]プロパティが[トリガー]のときは、TotalFlow Production Managerは[トリガーパターン]プロパティの値と一致するトリガーファイルを確認します。[トリガーのデータ]プロパティの値と一致するデータパターンを確認します。

入力ファイルには拡張子が必要です。拡張子がない場合、入力ファイルが存在してもトリガーファイルになりません。

トリガーファイルに中身は不要です。

[完了方法]

TotalFlow Production Managerが入力ファイルの送信完了を判断する方法を指定します。ワークフローはこの値を使用し、ファイル全体の受信を完了して処理を開始できる時間を判断します。

値：

[ファイルオープン]：ワークフローは書き込み操作入力ファイルを開くことができるときに送信が完了したと判断します。

【なし】：定義された方法はファイル送信完了を判断する方法を使用しません。ワークフローは入力ファイルを検出するとすぐに送信を完了します。

【トリガー】：ワークフローは入力ファイルのトリガーファイルを受信したときに転送が完了したと判断します。【トリガーパターン】プロパティはワークフローがトリガーファイルを認識する方法を管理します。トリガーファイルは、異なる拡張子で入力ファイルと同じ名前が必要です。

FTPサーバーからホットフォルダーにコピーしたファイルには【完了方法】プロパティに【サイズを確認】または【トリガー】に設定します。

↓ 補足

ファイルは正確な先入先出順序で処理されます。

【ファイル種類】

このオプションを使用すると、ホットフォルダーは文書ファイル（PDF、PS、PCL、または画像）とジョブチケットファイルのペアからジョブを作成します。

オプション：

- 【文書】（デフォルト）
文書ファイルごとにジョブを作成します。
- 【文書とJDFファイル】
文書ファイルとジョブチケットファイルのペアからジョブを作成します。

使用上の注意：

- ジョブチケットには文書ファイルへの参照を追加してください。文書ファイルへの参照は次のようになります。FileSpec URL="*documentFileName*"
infoprint:NPage="1"/。
- ジョブチケットファイルには有効なTotalFlow JDFファイルを使用してください。JDFファイルをロードおよび保存できるTotalFlow Production Manager Job Submissionアプリケーションを使用し、ジョブチケットファイルを作成または編集することを推奨します。

【マージ方法】

ホットフォルダーでPDFファイルをマージするために使用する方法を指定します。

値：

【なし】（デフォルト）
マージは完了していません。

【固定番号をマージ】
マージツールは、定義された数のPDFファイルが送信されるまで待機し、定義された数のPDFファイルのみをマージします。

【ポーリング間隔でマージ】

マージツールは、ポーリング時にホットフォルダーの内のPDFファイルをチェックし、すべての有効なPDFファイルをマージします。

[終了ファイルを使用]

マージツールは、EndFileを受信するまで待機し、終了ファイルの前に送信されたホットフォルダー内のPDFファイルをマージします。PDFファイルのバッチ、EndFile、最後に別のPDFファイルのバッチが送信され、ポーリングがトリガーの存在を確認すると、最初のバッチ用に定義された完了方法に従って完了したファイルのみを取得します。

[マージ番号]

マージ方法として**[固定番号をマージ]**を選択した場合、ホットフォルダーでマージするPDFファイルの数を指定します。

LPDを使用してジョブを送信するように設定する

LPDプロトコルを使用してTotalFlow Production Managerにジョブを送信する前に、ジョブを受信するワークフローの設定とTotalFlow Production Managerにジョブを送信するホストの定義が必要です。ホストに設定が必要な場合もあります。

LPDプロトコルを設定するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. TotalFlow Production Managerをインストールしたコンピュータで実行しているLPDサービスを停止します。

LPDサービスには、Windowsのサービスとして実行しているLPDサービスとTCP/IP印刷サーバーがあります。

3. 新しいワークフローを作成するか既存のワークフローを設定し、LPDジョブを受信します。

[LPD]プロパティの値に**[ジョブ送信種類]**を選択します。

ワークフローを作成

エディター プロパティ

全般

詳細

ワークフローでジョブプロパティのデフォルト一般値を関連付ける

名前* ?

要求済みプリンター ?

なし

概要 ?

カラーページを数える ?

送信方法

ホットフォルダー ?

フォルダーパス* ?

D:\aiw\aiw1\System\lhf

LPD ?

キャンセル 保存

4. 【サーバー】ポッドで 【システム】 をクリックします。
- 【サーバーのプロパティ】ダイアログが表示されます。

サーバーのプロパティ : System

基本

詳細

メール

プリフライトカラーマ...

プリフライトフォント

変換

ジョブ

最小ジョブID* ?

最大ジョブID* ?

10000000 99999999

LPDジョブの送信を許可したホスト名 ?

保存済みジョブポーリング間隔 (分) * ?

* 1

納期日警告間隔 (日数) * ?

5

キューポッド

ページのバイト変換 ?

1048576

キャンセル OK

5. サーバードプロパティの【LPDジョブの送信を許可したホスト名】を設定し、LPDプロトコルでジョブを送信するホスト名またはIPアドレスを指定します。
- ホスト名とIPアドレスはセミコロンで区切ります。
 - ホスト名とIPアドレスにはワイルドカードを使用できます (*.acmeproducts.comや192.*など)。*は、すべてのホストがジョブを送信できることを意味します。数字、小数点、ワイルドカードのみを含む値はIPアドレスと見なされます。ワイルドカードとアルファベットを1文字以上含む値はホスト名と見なされます。空の値はホストがジョブを送信できないことを意味します。
 - デフォルトは*です。
 - ドメインネームサービス (DNS) を使用していない場合は、完全修飾ホスト名を使用してください。例: mathomhouse.micheldelving.org

6. TotalFlow Production Managerでワークフローが有効であることを確認します。

↓ 補足

ワークフローはlpqコマンドの応答で状態情報を返しません。

7. 手順5で許可したホストシステムからジョブをTotalFlow Production Managerに送信します。エラーが発生した場合は、ホストシステムまたはTotalFlow Production Managerからのメッセージで認識できるエラーを修正します。

用紙を作成する

3

用紙とは、ジョブが印刷される封筒、フォーム、ラベル、または透明シートなどの用紙種類の総称です。TotalFlow Production Managerはジョブが必要とする用紙を使用するプリンターに各ジョブを割り当てます。

TotalFlow Production Managerでプリンター機器で定義されている用紙が自動的に作成される場合もあります。コントローラーオプションを使用するプリンター機器を使用すると、用紙リストの用紙をエクスポートしてTotalFlow Production Managerにインポートできます。用紙は手動でも作成できます。

TotalFlow Production Managerと他のプログラムの用紙

用紙は、TotalFlow Production Managerの用紙リスト、ジョブ送信アプリケーション、一部のプリンターの用紙リスト、給紙トレイ設定などのさまざまな場所で定義できます。これは、用紙名が同じ用紙に異なるプロパティまたはプロパティが同じ用紙に異なる用紙名を指定できることを意味します。このトピックでは、TotalFlow Production Managerがジョブで要求された用紙とプリンターの給紙トレイの用紙、またはプリンターの用紙リストの用紙とTotalFlow Production Managerの用紙リストの用紙が同じかどうかを判断する方法を説明しています。

用紙を一致させるために、TotalFlow Production Managerは次の順番で値を比較します。

1. ジョブチケットの用紙IDで比較します。このIDは用紙の【名前】と比較されます。【名前】と一致する用紙が見つからない場合は、比較を停止します。
2. ジョブチケットに用紙IDがない場合は、用紙プロパティで一致します。管理者はサーバープロパティの【カスタム一致オプション】を設定し、比較する用紙プロパティを指定できます。
3. ジョブチケットの用紙名で比較します。【サーバーのプロパティ】ダイアログの【詳細】ページで【オプションの一致が失敗したとき、名前のみで一致させる】チェックを付けた場合は、この値は用紙の【名前】と比較されます。
4. ジョブチケットにプロパティの値が含まれない場合、TotalFlow Production Managerの用紙リストの値はプロパティに一致すると見なされます。

ジョブに要求された用紙がTotalFlow Production Managerの定義済み用紙と一致しないときは、ジョブが【未割り当て】進行状態のまま残り、「用紙：用紙*を使用できるプリンターはありません」と同様のTotalFlow Production Managerが【待機理由】に表示されます。ジョブログで定義済み用紙と一致しない要求済み用紙のプロパティに関する情報を確認できます。ジョブを追加処理するには、用紙設定を修正し、定義済み用紙と一致させて再送信します。

TotalFlow Prepからジョブを送信する場合、TotalFlow Production Manager【サーバー】のポッドから用紙属性を比較するときにTotalFlow Production Managerが使用する属性と一致するオプションを選択できます。

チケットにページ例外がある場合、例外用の用紙情報は「ジョブプロパティーエディター」の「例外ページ」セクションで閲覧できます。

自動で用紙を作成する

一部のプリンターでは、TotalFlow Production Managerでプリンターを作成するときにプリンター機器を表す用紙が自動的に作成されます。

★ 重要

別のプリンターの用紙リストに同じ「用紙名」の用紙がある場合、予期しない用紙プロパティー値の変更を回避するには、各プリンターのプロパティーが同様に定義されていることを確認してください。

プリンター用紙リストをインポートする

EFI Fieryコントローラーオプションのプリンター機器を使用すると、XMLファイル形式で用紙リストをエクスポートできます。TotalFlow Production Managerにリストをインポートすると、用紙を作成できます。

↓ 補足

1. 用紙リストを自動的にインポートできる機器のリストを表示するには、Printer ConnectorのReadmeファイルを確認してください。
2. プリンターでJDF/JMFインターフェースを有効にするには、適切なFJDFパッチをインストールしてから有効にしてください。
3. プリンター用紙リストのエクスポートについては、プリンター機器の使用説明書を参照してください。

用紙リストをインポートして作成した用紙のプロパティーに用紙リストと等しい属性の値が設定されます。

用紙リスト属性	TotalFlow Production Manager用紙プロパティ	補足
[名前]	[名前]	[名前] 値に基づきます。200文字で切り捨てて無効な文字を省きます。 ★重要 次の文字列ではエラーが発生します。 [名前] で使用しないでください。 • 左中括弧とドル記号（\${} • [名前] にはピリオドを使用できます。ただし、ピリオドのみの名前（.）または2つのピリオドの名前（..）は使用できません。
[印刷済み]	[印刷済み紙]	
[概要]	[概要]	
[種類] [種類詳細]	[用紙種類]	
[セット数]	[セット数]	
[用紙サイズ]	[標準用紙] [幅] [高さ] [単位]	
[坪量 (g/m2)]	[坪量(g/m2)]	
[穴の種類]	[パンチ済み紙]	
[表面質感/テクスチャー]	[表面質感/テクスチャー]	
[カラー名] [カスタムカラー名]	[カラー]	
[% (再生紙率)]	[古紙含有率(%)]	
[コート]	[コーティング (おもて面)]	
[印刷可能面]	[印刷面]	
[不透明度] [不透明レベル]	[不透明度]	

↓ 補足

用紙リストには、TotalFlow Production Managerと等しくない属性があります。TotalFlow Production Managerは等しくない属性を無視します。

用紙リストをインポートするには、以下の操作を行います。

1. TotalFlow Production Managerがインストールされているシステムで、Windowsのコマンドプロンプトを開きます。
2. 日本語の環境では、フォントとコードページを設定します。
 1. コマンドプロンプト画面のタイトルバーを右クリックします。
 2. [プロパティ] の [フォント] をクリックします。
 3. [MS ゴシック] を右クリックし、[OK] をクリックします。
 4. 次のコマンドを入力し、現在のコードページを判断します。

```
chcp
```

デフォルトの日本語コードページは932 (Shift-JIS)です。

5. コードページをUTF-8に変更するには次のコマンドを入力します。

```
chcp 65001
```



Windowsコマンドプロンプトに数行の日本語メッセージが表示され、メッセージの最後の部分が繰り返されます。これはWindowsの問題です。

3. `install_path\bin`フォルダーにアクセスします。
インストールパスはTotalFlow Production Managerがインストールされているフォルダーです。
4. 目的に応じて、次のコマンドから1つ入力します。
 - このシステムに用紙リストをインポートするには、次のコマンドを入力します。

```
fieryImport.pl -f=file_path
```

- リモートシステムに用紙リストをインポートするには、次のコマンドを入力します。

```
fieryImport.pl -f=file_path -o=host_name -p=port_number
```

ファイルパス プリンター用紙リストがエクスポートされたXMLファイルです。

ホスト名 TotalFlow Production Managerがインストールされているシステムのホスト名またはIPアドレスです。

ポート番号 TotalFlow Production Managerの操作画面で使用するポートです。HTTPプロトコルのデフォルトは15080、HTTPSプロトコルのデフォルト値は15443です。

5. コードページを変更した場合は、元に戻してください。たとえば、元のコードページが932だった場合は次のコマンドを入力します。

```
chcp 932
```

Printer Connectorを使用するプリンター機器を使用すると、Webブラウザー画面からプリンターの用紙リストを検索できます。

TotalFlow Production Managerが用紙リストをインポートするようプリンターを設定するには、Printer Connectorの使用説明書を参照してください。

手動で用紙を作成する

TotalFlow Production Managerの用紙を手動で作成します。

★重要

手動で作成した用紙はプリンター用紙リストとして扱われません。

用紙を作成するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、**【設定】**をクリックします。

新しい用紙を作成するには、以下の操作を行います。

3. **【新規】**をクリックします。

既存の用紙をコピーするには、以下の操作を行います。

4. **【用紙】**ポッドで用紙を選択します。
5. **【コピー】**をクリックします。
新しい用紙は選択した用紙のプロパティと同じ値になります（**【用紙名】**以外）。

【ユーザー設定紙を作成】または**【用紙をコピー】**ダイアログが表示されます。

6. ダイアログの各ページで、調整が必要な必須およびオプションのプロパティ値を入力または選択します。

ページを変更するには、左側のナビゲーションバーでページタブをクリックします。

用紙がプリンターの用紙リストの用紙を表す場合は、正しい値については、[P. 267 「用紙プロパティ値」](#)を参照してください。

7. **[OK]**をクリックします。

[給紙トレイ設定]ダイアログから、新しいフォルダーを作成することもできます。詳しくは、[P.124 「プリンターのトレイと用紙をマッピングする」](#)を参照してください。

別のシステムにオブジェクトをコピーする

TotalFlow Production Managerから別のシステムにオブジェクトを複製するには、元のシステムからエクスポートして新しいシステムにインポートでき、手動で再作成は不要です。管理者は、サーバー、プリンター、プリンタープール、用紙、ユーザー、レポート、ワークフロー、アクティビティー、通知をエクスポート/インポートできます。ジョブをエクスポートまたはインポートすることはできません。

同じ種類の既存のオブジェクトと同じ名前のオブジェクトをインポートする場合は、既存のオブジェクトは新しいオブジェクトに上書きされます。

別のシステムにオブジェクトをコピーするには、以下の操作を行います。

1. コピー元のシステムで、次の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、**[設定]**をクリックします。
3. **[サーバー]**ポッドで**[エクスポート]**をクリックします。

クライアントシステムのファイルは自動的に保存されます。ファイルのデフォルト名はTotalFlow_Print_Manager_Export_yyyy_mm_dd_hh_mm_ss.xmlです。月、日、時間、分、秒が一桁の値のときは、ゼロの先頭子は付きません。

2. コピー先のシステムで、以下の操作を行います。

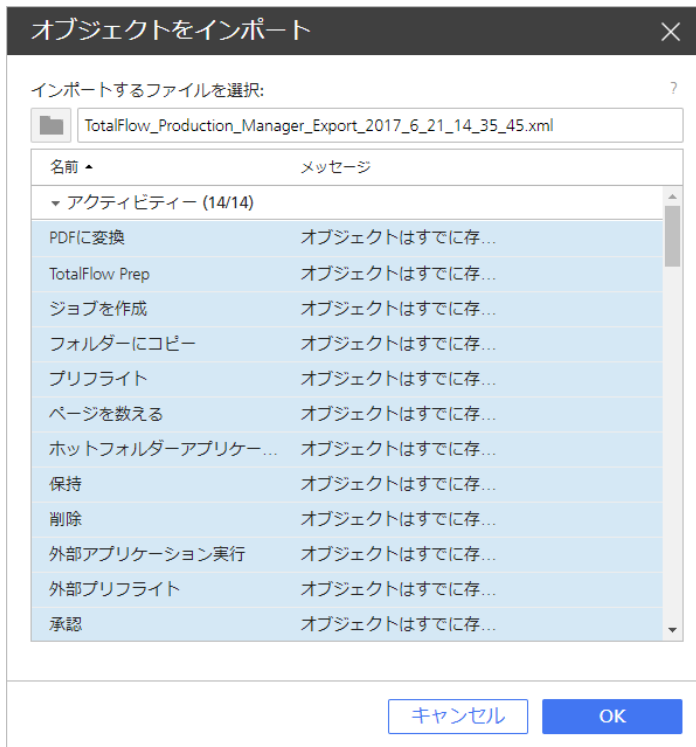
1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、**[設定]**をクリックします。
3. **[サーバー]**ポッドで**[インポート]**をクリックします。

[オブジェクトをインポート]ダイアログが表示されます。



4. **【参照】**をクリックし、エクスポートされたオブジェクトを含むXMLファイルを選択してから、ブラウザーに応じて**【開く】**または**【保存】**をクリックします。

ファイルのオブジェクトが表示されます。デフォルトでは、すべて選択されています。



5. インポートするオブジェクトを選択します。ファイルのオブジェクトの一部はすでにコンピューターにある場合があります。この場合、メッセージが表示され、これを通知します。
6. **【OK】**をクリックします。
オブジェクトはブラウザー設定で指定したダウンロード先に保存されます。

↓ 補足

1. すべてのオブジェクトが正確にインポートされることを確認するには、ブラウザーのキャッシュを消去してください。
2. **【カスタム】**プリンターをインポートまたは移行するときは、カスタムプリンター定義ファイルもインポートしていることを確認してください。

サーバープロパティを設定する

サーバープロパティは全体のTotalFlow Production Manager環境に適用されます。一部のプロパティはTotalFlow Production Managerで作成したすべてのジョブに適用されます。それ以外のプロパティはすべてのユーザーに適用されます。管理者のみがサーバープロパティを設定できます。

サーバープロパティを設定するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、**【設定】**をクリックします。

3. 【サーバー】ポッドで [System] グラフィックをクリックします。
【サーバーのプロパティ】ダイアログが表示されます。

4. 変更するプロパティの値を入力または選択します。
5. 【OK】をクリックします。

セキュリティをセットアップする

TotalFlow Production Managerのアクセスはユーザー名とパスワードで管理できます。

ユーザー権限

TotalFlow Production Managerのユーザーはジョブの条件に基いて権限レベルを持ちます。

TotalFlow Production Managerには【管理者】、【オペレーター】、【モニター】の権限があります。権限を持つユーザーが実行できるアクションは、以下のとおりです。

操作	ページ/ポッド/オブジェクト	【管理者】	【オペレーター】	【モニター】
表示	【操作】ページ	はい	はい	はい
	【キュー】ページ	はい	はい	はい
	【設定】ページ	はい	はい	いいえ
	【レポート】ページ	はい	いいえ	いいえ
プロパティとログの表示	プリンター	はい	はい	いいえ
	プリンタープール	はい	はい	いいえ
	ワークフロー	はい	はい	いいえ
	サーバー	はい	いいえ	いいえ
	用紙	はい	はい	いいえ
	ユーザー	はい	いいえ	いいえ

操作	ページ/ポッド/オブジェクト	【管理者】	【オペレーター】	【モニター】
	ジョブ	はい	はい	いいえ
	アクティビティ	はい	いいえ	いいえ
	接続	はい	いいえ	いいえ
状況を表示	プリンター	はい	はい	いいえ
	ジョブ	はい	はい	いいえ
読み取り/書き込みプロパティを変更	プリンター	はい	はい	いいえ
	プリンタープール	はい	いいえ	いいえ
	ワークフロー	はい	はい	いいえ
	サーバー	はい	いいえ	いいえ
	用紙	はい	はい	いいえ
	ユーザー	はい	いいえ	いいえ
	ジョブ	はい	はい	いいえ
	アクティビティ	はい	いいえ	いいえ
	接続	はい	いいえ	いいえ
作成	プリンター	はい	いいえ	いいえ
	プリンタープール	はい	いいえ	いいえ
	ワークフロー	はい	いいえ	いいえ
	用紙	はい	はい	いいえ
	ユーザー	はい	いいえ	いいえ
	レポート	はい	いいえ	いいえ
	アクティビティ	はい	いいえ	いいえ
	接続	はい	いいえ	いいえ
削除	プリンター	はい	いいえ	いいえ
	プリンタープール	はい	いいえ	いいえ
	ワークフロー	はい	いいえ	いいえ
	用紙	はい	はい	いいえ
	ユーザー	はい	いいえ	いいえ
	ジョブ	はい	はい	いいえ
	レポート	はい	いいえ	いいえ
	アクティビティ	はい	いいえ	いいえ
	接続	はい	いいえ	いいえ
エクスポート	プリンター	はい	いいえ	いいえ
	プリンタープール	はい	いいえ	いいえ
	ワークフロー	はい	いいえ	いいえ

操作	ページ/ポッド/オブジェクト	【管理者】	【オペレーター】	【モニター】
	用紙	はい	いいえ	いいえ
	ユーザー	はい	いいえ	いいえ
	レポート	はい	いいえ	いいえ
	通知	はい	いいえ	いいえ
	接続	はい	いいえ	いいえ
インポート	プリンター	はい	いいえ	いいえ
	プリンタープール	はい	いいえ	いいえ
	ワークフロー	はい	いいえ	いいえ
	用紙	はい	いいえ	いいえ
	ユーザー	はい	いいえ	いいえ
	レポート	はい	いいえ	いいえ
	通知	はい	いいえ	いいえ
	接続	はい	いいえ	いいえ
通知を作成して編集	プリンター	はい	はい	いいえ
	ワークフロー	はい	はい	いいえ
	ジョブ	はい	はい	いいえ
有効	プリンター	はい	はい	いいえ
	ワークフロー	はい	はい	いいえ
	接続	はい	はい	いいえ
無効	プリンター	はい	はい	いいえ
	ワークフロー	はい	はい	いいえ
	接続	はい	はい	いいえ
ジョブプロパティのデフォルトと上書きを設定	ワークフロー	はい	はい	いいえ
トレイと用紙のマッピング	プリンター	はい	はい	いいえ
ジョブの表示	プリンター	はい	はい	はい
ジョブを送信	ワークフロー	はい	はい	いいえ
Webページを表示	プリンター	はい	はい	いいえ
用紙交換を作成	プリンター	はい	はい	いいえ
承認	ジョブ	はい	はい	いいえ
プリンターに移動	ジョブ	はい	はい	いいえ
印刷順序を変更	ジョブ	はい	はい	いいえ
一時停止	ジョブ	はい	はい	いいえ

操作	ページ/ポッド/オブジェクト	【管理者】	【オペレーター】	【モニター】
却下	ジョブ	はい	はい	いいえ
再開	ジョブ	はい	はい	いいえ
保留	ジョブ	はい	はい	いいえ
マージ	ジョブ	はい	はい	いいえ
注文の詳細を編集	ジョブ	はい	はい	いいえ
注文を完了	ジョブ	はい	はい	いいえ
ワークフローに割り当てる	ジョブ	はい	はい	いいえ
再印刷	ジョブ	はい	はい	いいえ
再処理	ジョブ	はい	はい	いいえ
プリフライトレポートを表示	ジョブ	はい	はい	いいえ
パスワードを変更	ユーザー	はい	自分のパスワードのみ	自分のパスワードのみ
編集	ワークフロー	はい	いいえ	いいえ
	接続	はい	はい	いいえ
サーバーを参照	プリンター	はい	はい	いいえ
	ワークフロー	はい	いいえ	いいえ
ファイルをアップロード	プリンター	はい	はい	いいえ
	ワークフロー	はい	いいえ	いいえ
製品を更新	接続	はい	はい	いいえ

ユーザーを作成する

TotalFlow Production Managerでユーザーが操作するには、TotalFlow Production Managerのユーザー登録が必要です。Windowsのユーザー名とは区別されます。

ユーザーを作成するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、【設定】をクリックします。
3. 【ユーザー】ポッドで【新規】をクリックします。

【ユーザーを作成】ダイアログが表示されます。

4. プロパティに値を入力または選択します。

- ユーザー名は大文字と小文字が区別されます。
- パスワードの入力範囲は8～32バイト以内です。大文字と小文字が区別されます。次の文字は使用できません。
 ' (アポストロフィー)
 < (小なり記号)
 = (等号記号)
 > (大なり記号)
 ` (アクサングラーブ)
 | (バーティカルバー)
 ~ (チルダ)
 [DEL] (削除キー)
 印刷不可能な文字

5. **[OK]**をクリックします。

作成したユーザー名とパスワードをユーザーに通知します。ユーザーは初めてログインするときにパスワードを変更してください。

ユーザーのアクティビティログを表示するには、ユーザー名を右クリックするか、ユーザー名を選択して、**[さらに表示]**をクリックし、**[ログ...]**を選択します。

ユーザーのログ : Admin

種類: すべて | 次の結果を表示: 全ての時刻 | エクスポート

ログ

時刻	重要度	メッセージ	発行元
2017/07/19 17:53	情報	AIWF0003I ログインアクションが成功しました。	Admin
2017/07/19 16:07	情報	AIWF0003I ログインアクションが成功しました。	Admin
2017/07/19 11:58	情報	AIWF0003I ログインアクションが成功しました。	Admin
2017/07/18 16:00	情報	AIWF0003I ログインアクションが成功しました。	Admin
2017/07/18 14:45	情報	AIWF0003I ログインアクションが成功しました。	Admin
2017/07/18 11:54	情報	AIWF0003I ログインアクションが成功しました。	Admin
2017/07/18 11:21	情報	AIWF0003I ログインアクションが成功しました。	Admin
2017/07/18 10:38	情報	AIWF0003I ログインアクションが成功しました。	Admin
2017/07/18 10:21	情報	AIWF0003I ログインアクションが成功しました。	Admin
2017/07/17 16:30	情報	AIWF0003I ログインアクションが成功しました。	Admin
2017/07/17 14:44	情報	AIWF0003I ログインアクションが成功しました。	Admin
2017/07/17 14:33	情報	AIWF0003I ログインアクションが成功しました。	Admin
2017/07/17 14:33	情報	AIWF0003I ログインアクションが成功しました。	Admin

閉じる

表示されるパネルで必要に応じて表示オプションを設定します。

パスワードの有効期間を設定する

管理者は、システムのすべてのパスワードを使用できる期間を設定できます。この制限はすべてのユーザーに適用されます。

パスワードの有効期間を設定するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、[設定]をクリックします。
3. [サーバー]ポッドで、[System] を選択し、[プロパティー]をクリックします。
[サーバーのプロパティー]ダイアログが表示されます。
4. [詳細]をクリックします。

サーバーのプロパティー : System

基本 | 詳細 | メール | プリフライトカラーマネ... | プリフライトフォント | 変換

ユーザー

パスワードの最大有効期間* 90 | 自動ログアウト時間設定 (分)* 90

一致オプション

カスタム一致オプション

- ☒ カラー
- ☐ コーディング
- ☒ サイズ
- ☐ ストック
- ☐ セット数
- ☐ タブの順序
- ☐ タブの高さ
- ☐ パンチ抜き紙

☐ オプションの一致が失敗したとき、名前のみで一致させる

SNMP

SNMPタイムアウト間隔 (秒)* 3 | SNMPポーリング間隔 (秒)* 10

キャンセル OK

5. **【パスワードの最大有効期間】**フィールドにパスワードが使用できる日数を入力します。
6. **【OK】**をクリックします。

自動ログアウト時間を設定する

管理者は、ユーザーが操作せずにログインできる時間制限を設定できます。制限に到達したときは、ユーザーは自動的にログアウトされます。この制限はすべてのユーザーに適用されます。

↓ 補足

自動ログアウト時間を設定しても進行中のログインセッションのユーザーには影響しません。ユーザーがログアウトしてから再ログインすると適用されます。

自動ログアウト時間を設定するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、**【設定】**をクリックします。
3. **【サーバー】**ポッドで、**【システム】**、**【プロパティ】**の順にクリックします
【サーバーのプロパティ】ダイアログが表示されます。
4. **【詳細】**をクリックします。

The screenshot shows the 'Server Properties: System' dialog box with the 'Details' tab active. The 'User' section contains 'Password maximum validity period' (90) and 'Automatic logout time setting (min)' (90). The 'Consistency options' section has a list of options: Color (selected), Coating, Size (selected), Stock, Set count, Tab order, Tab height, and Pen selection. There is a checkbox for 'Options consistency' which is unchecked. The 'SNMP' section has 'SNMP timeout interval (sec)' (3) and 'SNMP polling interval (sec)' (10). At the bottom are 'Cancel' and 'OK' buttons.

5. **【自動ログアウト時間設定（分）】**フィールドに、ユーザーが自動的にログアウトされるまでの時間を分単位で入力します。
6. **【OK】**をクリックします。

パスワードを管理する

TotalFlow Production Managerのシステムにアクセスして操作するには、TotalFlow Production Managerのユーザー名とパスワードが必要です。

パスワードを変更する

TotalFlow Production Managerで期限が切れるときにパスワードの変更を指示されます。パスワードは何回でも変更できます。

パスワードを変更するには、以下の操作を行います。

1. メニューバーの右にある [ユーザー名] 、[パスワードを変更...]の順にクリックします。

ユーザー名はログインするときに使用するユーザーの名前です。

[ユーザーパスワードを変更]ダイアログが表示されます。



2. [現在のパスワード]フィールドにパスワードを入力します。
3. [新しいパスワード]フィールドと[新しいパスワードを確認]フィールドに新しいパスワードを入力します。

パスワードの入力範囲は8～32バイト以内です。大文字と小文字が区別されます。次の文字は使用できません。

‘ (アポストロフィー)
< (小なり記号)
= (等号記号)
> (大なり記号)
` (アクサングラーブ)
| (バーティカルバー)
~ (チルダ)
\${ (ドル記号と左中括弧)
[DEL] (削除キー)
印刷不可能な文字

4. [OK]をクリックします。

別のユーザーのパスワードを変更する

管理者は、別のユーザーのパスワードを変更できます。

別のユーザーのパスワードを変更するには、以下の操作を行います。

1. メニューバーで、[設定]をクリックします。

2. **【ユーザー】**ポッドで、パスワードを変更するユーザーを選択します。
3. **【ほかのアクション】** アイコン () の**【パスワードをリセット...】**をクリックします。

【ユーザーパスワードをリセット】ダイアログが表示されます。



4. **【新しいパスワード】**フィールドと**【新しいパスワードを確認】**フィールドに仮パスワードを入力します。

パスワードの入力範囲は8～32バイト以内です。大文字と小文字が区別されます。次の文字は使用できません。

' (アポストロフィー)
 < (小なり記号)
 = (等号記号)
 > (大なり記号)
 ` (アクサングラフ)
 | (バーティカルバー)
 ~ (チルダ)
 \${ (ドル記号と左中括弧)
 [DEL] (削除キー)
 印刷不可能な文字

5. **【OK】**をクリックします。
6. 仮パスワードをユーザーに通知します。
仮パスワードでログインすると、TotalFlow Production Managerはユーザーにパスワードの変更を指示します。

LPDプロトコルの使用を制限する

管理者は、LPDプロトコルでワークフローにジョブを送信するホストを制限できます。

LPDプロトコルの使用を制限するには、以下の操作を行います。

1. メニューバーで、**【操作】**をクリックします。
2. **【サーバー】**ポッドで **【システム】** をクリックします。
【サーバーのプロパティ】ダイアログが表示されます。

サーバーのプロパティ : System

基本

ジョブ

最小ジョブID* 10000000 最大ジョブID* 99999999

LPDジョブの送信を許可したホスト名* *

保存済みジョブポーリング間隔 (分)* 1

納期日警告間隔 (日数)* 5

キューポッド

ページのバイト変換 1048576

キャンセル OK

3. サーバードプロパティの[LPDジョブの送信を許可したホスト名]を設定し、LPDプロトコルでジョブを送信するホスト名またはIPアドレスを指定します。
 - ホスト名とIPアドレスはセミコロンで区切ります。
 - ホスト名とIPアドレスにはワイルドカードを使用できます (*.acmeproducts.comや192.*など)。*は、すべてのホストがジョブを送信できることを意味します。数字、小数点、ワイルドカードのみを含む値はIPアドレスと見なされます。ワイルドカードとアルファベットを1文字以上含む値はホスト名と見なされます。空の値はホストがジョブを送信できないことを意味します。
 - デフォルトは*です。
 - ドメインネームサービス (DNS) を使用していない場合は、完全修飾ホスト名を使用してください。例: mathomhouse.micheldelving.org
4. [OK] をクリックします。

メールサーバーをセットアップする

簡易メール転送プロトコル(SMTP)サーバーを使用するようTotalFlow Production Managerを設定し、プリンター、ワークフロー、ジョブに発生するイベントの通知メールを送信できます。

メールサーバーを設定するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、[設定]をクリックします。
3. [サーバー]ポッドで、[System]、プロパティアイコン (🔧) の順にクリックします。
4. 表示された[サーバーのプロパティ]ダイアログで、[メール] をクリックします。
[サーバーのプロパティ]ダイアログの [メール] ページが表示されます。

5. このページでプロパティに値を入力または選択します。
6. **[OK]**をクリックします。

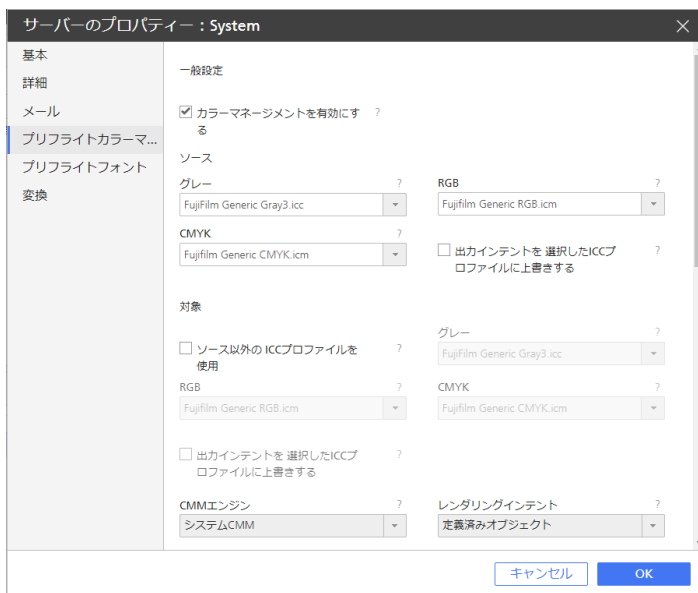
カラーマネジメントシステムを設定する

デバイスによってカラー表示が異なるため、サーバーレベルで全般カラー設定を作成して別のデバイスにカラーを変換します。このアクションは**[プリフライト]**アクティビティ中に実行されます。このアクティビティがあるワークフローでジョブ进行处理してください。これらの設定は処理したPDFファイルですべてのオブジェクトまたは個別に適用され、出カインテントなどのほかの設定を上書きしない限り、特定の種類のオブジェクトに適用されます。

【プリフライトカラーマネジメント】環境設定を設定するには、以下の操作を行います。

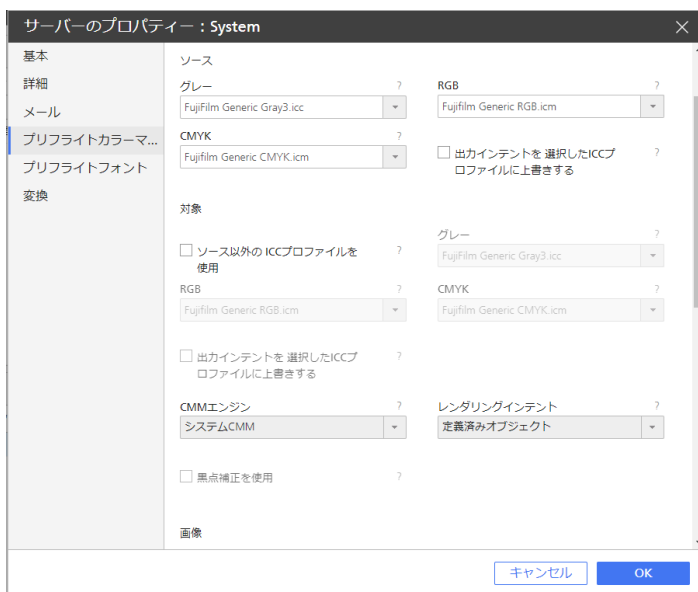
1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、**[設定]**をクリックします。
3. **[サーバー]**ポッドで、**[System]**、プロパティアイコン (🔗) の順にクリックします。
[サーバーのプロパティ]ダイアログが表示されます。
4. **[プリフライトカラーマネジメント]** をクリックします。

[サーバーのプロパティ]ダイアログの**[プリフライトカラーマネジメント]** ページが表示されます。



【一般設定】

5. 表示された【一般設定】オプショングループをクリックします。
6. 【カラーマネージメントを有効にする】にチェックを付けます。チェックが付いていない場合は、【プリフライトカラーマネージメント】は機能しません。
7. 3つのカラーモデルには国際カラーコンソーシアム（ICC）プロファイルを設定します。
 - 【グレース】
 - 【RGB】
 - 【CMYK】



8. 【ソース】で入力ファイルの3つのカラーモデルそれぞれにICCプロファイルを選択します。以前に作成してサーバーに保存したICCプロファイルを使用する場合は、【参照】オプションを使用して選択します。

9. デバイスソフトウェアを使用してインストールした出力インテントプロファイルを適用する場合は、[出力インテントを選択したICCプロファイルに上書きする]を選択します。
10. [対象] で出力プロファイルに異なるICCプロファイルを使用する場合は [ソース以外のICCプロファイルを使用] を選択します。
11. 出力ファイルの3つのカラーモデルそれぞれにICCプロファイルを選択します。以前に作成してサーバーに保存したICCプロファイルを使用する場合は、[参照]オプションを使用して選択します。
12. デバイスソフトウェアを使用してインストールした出力インテントプロファイルを適用する場合は、[出力インテントを選択したICCプロファイルに上書きする]を選択します。
13. [CMMエンジン] フィールドで、カラーマネジメントモジュール (CMM) を選択します。CMMは、ICCプロファイル情報を使用して文書のカラーを変換させるためのモジュールです。
14. [レンダリングインテント] オプションリストからレンダリング方法を選択します。
15. 必要に応じて、[黒点補正を使用] オプションを選択します。一般的に、黒点補正オプションは陰影が多い画像に推奨されます。

[画像]

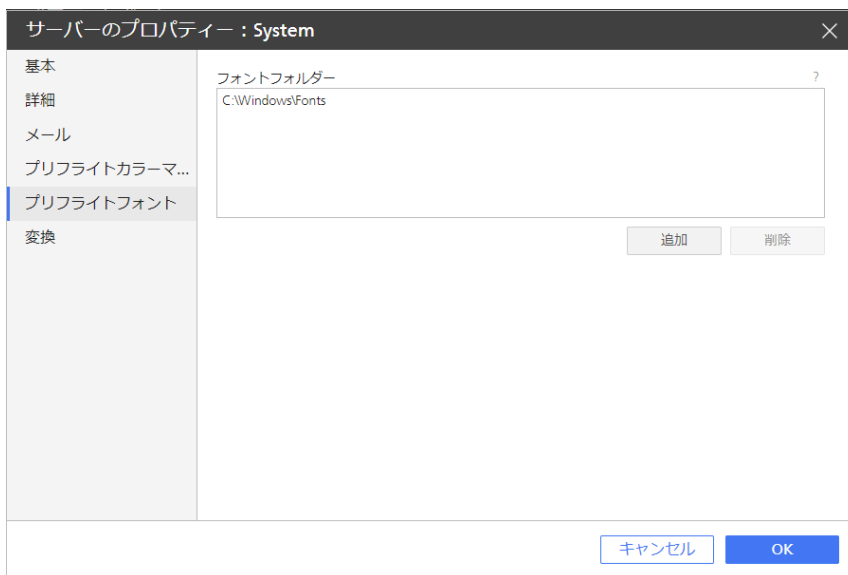
16. [カラーマネジメントを有効にする] にチェックを付けます。
17. 別のカラー設定が必要な場合は、必要に応じてプロパティの値を入力または選択します。
18. **[OK]**をクリックします。

プリフライトアクティビティ用フォントを設定する

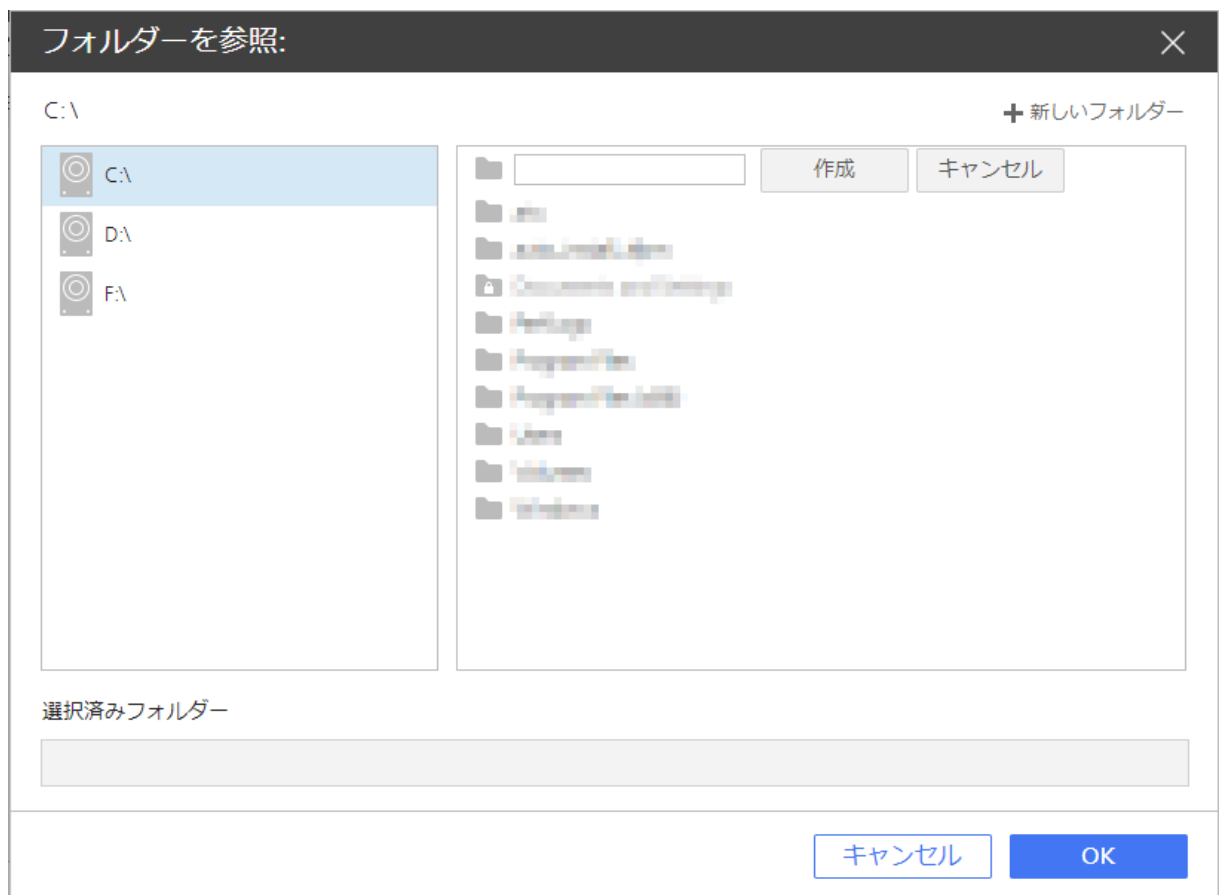
TotalFlow Production Managerを設定すると、PDFファイルをプリフライトするときに特定のフォントを使用できます。TotalFlow Production Managerを設定する前に、サーバーにフォントフォルダーを保存します。

プリフライトアクティビティ時に使用するフォントフォルダーを設定するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、**[設定]**をクリックします。
3. **[サーバー]**ポッドで、**[System]**、プロパティアイコン (🔗) の順にクリックします。
[サーバーのプロパティ]ダイアログが表示されます。
4. **[フォント]** をクリックします。
[サーバーのプロパティ]ダイアログの **[フォント]** ページが表示されます。



5. **【追加】**をクリックします。
6. 表示されたダイアログで、PDFファイルのプリフライト時に使用するフォントフォルダーを選択するか、追加アイコン（**+**）を使用してフォルダーを作成します。



7. **【OK】**をクリックします。

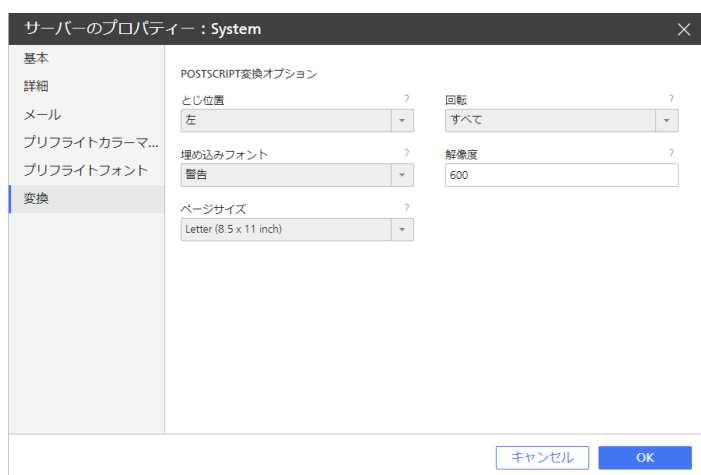
PostScript変換オプションを設定する

PostScriptファイルの印刷が必要な場合は、そのファイルがPDFファイルに変換されるようにTotalFlow Production Managerを設定できます。

PostScript変換オプションを設定するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、[設定]をクリックします。
3. [サーバー]ポッドで、[System]、プロパティーアイコン (🔧) の順にクリックします。
[サーバーのプロパティー]ダイアログが表示されます。
4. [変換] をクリックします。

[サーバーのプロパティー]ダイアログの[変換] ページが表示されます。



5. このページでプロパティーに値を入力または選択します。
6. [OK]をクリックします。

通知を作成する

オペレーターと管理者はTotalFlow Production Managerを設定し、プリンター、ワークフロー、ジョブに発生したイベントの通知メールを送信できます。

通知を作成する前に、電子メールの処理にSMTPサーバーを使用するようにTotalFlow Production Managerが設定されていることを確認します。

通知を作成するには、以下の操作を行います。

1. TotalFlow Production Managerにオペレーターまたは管理者権限を持つユーザーとしてログインします。
2. メニューバーで、[操作]をクリックします。
3. [プリンター]タブ、[ワークフロー]タブまたは[全てのジョブ]ポッドのツールバーで、設定アイコン (⚙️) 、[通知...] の順にクリックします。

表示されるダイアログは、オブジェクトの種類によって異なります。以下の例は、
[プリンター通知] ダイアログのページを示します。

4. [新規] をクリックします。

[通知を追加] ダイアログが表示されます。

通知を追加

詳細

名前*

種類*

プリンター属性値が変更されました

受信者（コンマ区切り）*

適用先

全てのプリンター

条件

プロパティ

プリンター言語

比較

次の値に等しい

値

未設定

+

-

キャンセル

OK

5. フィールドに値を入力または選択します。

ダイアログのその他のフィールドは選択した通知の種類によって異なります。

1. プリンターやワークフローの特定またはすべてのオブジェクト種類に通知を適用するかを選択します。

ジョブ通知はすべてのジョブに適用します。

2. プロパティ値を変更したときの通知には、次の操作を行います。

1. [プロパティ]で、プロパティ名を選択します。

2. [比較]で比較演算子を選択します。

選択したジョブプロパティの値によって演算子のリストは異なります。

演算子	選択肢の値	日付や時間などの数値	その他の値
[次の値に等しい]	はい	はい	
[次の値に等しくない]	はい		
[次の値より小さい]		はい	
[次の値より大きい]		はい	
[次の値を含む]			はい
[次の値を含まない]			はい
[未設定]		はい	はい

3. [値]に、一致させる値を入力または選択します。
4. 別のプロパティを選択するには、追加ボタンの (+) をクリックします。プロパティ値の組み合わせは3つまで選択できます。

★重要

通知 に複数の条件を設定した場合は、すべての条件を満たさないと、通知が送信されません。

5. [OK]をクリックします。

ログスケジュールを変更する

3

初期設定では、古いログ情報は監査ファイルに移動し、古い監査ファイルは毎日午後 0 時から午前 2 時 59 分の間に削除されます。この時間は変更できます。

ログには過去3日間に出力されたメッセージが含まれています。3日経過すると、`install_drive:¥aiw¥aiwl¥audit¥object_type`ディレクトリーの監査ファイルにジョブ以外のオブジェクトのログ情報を移動します。ジョブのログはシステムに保存されます。ジョブを削除すると、ログ情報は監査ファイルに移動します。

監査ファイルは 28 日間システムに保存されてから自動で削除されます。

監査ファイルにログ情報を移動または削除するときの時間を変更する方法は、以下のとおりです。

1. Windows のコマンドプロンプトを開き、TotalFlow Production Manager がインストールされたフォルダーに移動します。
2. 次のコマンドを入力します。

```
changeAuditTime.pl start_time end_time
```

start_time ログ情報の移動または削除ができるときの最も早い時間です。値は 0～23 以内の整数にしてください。

終了時刻 ログ情報の移動または削除ができるときの最も遅い時刻の開始時間です。この時間を過ぎてから 59 分間は移動と削除ができます。値は 0～23 以内の整数にしてください。

たとえば、午後11時から午前0時59分の間にログ情報を移動および削除するには、次のコマンドを入力します。

```
changeAuditTime.pl 23 0
```

クライアントコンピューターを設定する

TotalFlow Production Managerにアクセスする各コンピューターでこのセクションの操作を実行します。

TotalFlow Production Managerへのログインを準備する

TotalFlow Production Managerにユーザーがログインするには、以下の情報が必要です。

Webブラウザ設定

ユーザーはWindowsコンピュータのWebブラウザ画面からログインページにアクセスできます。ログインページにアクセスする前に、ユーザーはCookieやアクティブスクリプトなどのWebブラウザ設定のカスタマイズとAdobe Readerのインストールが必要です。

3

ユーザーログイン名とパスワード

作成したログイン名と仮パスワードをユーザーに通知します。ユーザーは初めてログインするときにパスワードを変更してください。

TotalFlow Production Managerの操作画面のURL

すべてのユーザーがTotalFlow Production Managerの操作画面のアクセスに使用するURLは、`hostname:15080/TFPM`です。TotalFlow Production Managerがインストールされているコンピュータの名前は`hostname`です。

ログイン権限

設定した権限に基づいてユーザー操作が制限されています。TotalFlow Production Managerの操作画面で実行できる操作を各ユーザーに通知します。



補足

HTML形式の「ユーザーガイド」とそのアクセス方法に関してユーザーに通知してください。「ユーザーガイド」のURLは、`hostname:15888/help/index.jsp`です。TotalFlow Production Managerがインストールされているコンピュータの名前は`hostname`です。TotalFlow Production Managerに現在ログインしていない場合でも、任意のネットワークからアドレスを使用すると、「ユーザーガイド」を開くことができます。

Mozilla Firefoxを設定する

Mozilla FirefoxでTotalFlow Production Managerにアクセスするには、ブラウザを設定してください。



補足

ここでは、Windows 11でMozilla Firefox 135を設定する方法を説明します。FirefoxまたはWindowsのバージョンによって内容は多少異なります。

Mozilla Firefoxを設定するには、以下の操作を行います。

1. [Firefox] を開きます。
2. 次のコマンドをアドレスバーに入力します。

```
about:config
```

3. [Enter] を押します。
警告メッセージが表示されます。
4. [リスクを承認して続行] をクリックします。

〔詳細設定〕 ページが表示されます。

5. 検索バーに「javascript.enabled」と入力します。
6. [javascript.enabled] の値が [true] であることを確認します。
7. TotalFlow Production Managerの操作画面で使用する言語を変更するには、以下の操作を行います。
 1. 右上の〔アプリケーションを開く〕メニューアイコンをクリックし、メニューから〔設定〕を選択します。
 2. 〔全般〕 ページで、言語と表示 → 言語まで下にスクロールします。
 3. 〔ページを表示する優先言語を選択〕 の横の〔選択〕 ボタンをクリックします。
〔ウェブページの言語設定〕 ダイアログが表示されます。
 4. 目的の言語がリストにない場合は、〔追加する言語を選択...〕 をクリックし、言語を選択して、〔追加〕 をクリックします。
 5. 任意の言語を選択し、言語がリストの1番上に移動するまで〔上へ〕 をクリックします。

TotalFlow Production Managerは次の言語に対応しています。

- オランダ語
- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- 日本語
- スペイン語

↓ 補足

- 未対応の言語をブラウザの言語に設定した場合は、TotalFlow Production Managerはデフォルトの英語になります。
- 英語（英国） [en-GB] や英語（米国） [en-US] のように、同じ言語のロケールが複数ある場合は、どれを選択しても問題ありません。

6. 〔OK〕 をクリックします。
8. 〔プライバシーとセキュリティ〕 ページで、〔履歴〕 まで下にスクロールします。
9. 〔Firefox に〕 の横にある矢印をクリックし、〔記憶させる履歴を詳細設定する〕 を選択します。
10. オプションリストで〔表示したページとダウンロードの履歴を残す〕 を選択します。

Google Chromeを設定する

Google ChromeでTotalFlow Production Managerにアクセスするには、ブラウザを設定してください。

↓ 補足

ここでは、Windows 11でGoogle Chrome 133を設定する方法を説明します。WindowsまたはChromeのバージョンによって内容は多少異なります。

Google Chromeを設定するには、以下の操作を行います。

1.  をクリックし、[設定] をクリックします。
[設定] ページが表示されます。
2. [プライバシーとセキュリティ] タブを開きます。
3. [サードパーティーCookie] をクリックします。
4. [サードパーティー Cookie の使用が許可されているサイト] まで下にスクロールし、[追加] をクリックします。
5. `http://hostname:15080/TFPM`と入力し、[追加] をクリックします。
6. [プライバシーとセキュリティ] タブに戻り、[サイト設定] をクリックします。
7. [JavaScript] をクリックし、[サイトが JavaScript を使用できるようにする] を選択します。
8. TotalFlow Production Managerの操作画面で使用する言語を変更するには、以下の操作を行います。
 1. [設定] ページで、[言語] タブを開きます。
 2. [優先する言語] で [言語を追加] をクリックします。
 3. リストから使用する言語を選択し、[追加] をクリックします。

TotalFlow Production Managerは次の言語に対応しています。

- オランダ語
- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- 日本語
- スペイン語

↓ 補足

- 未対応の言語をブラウザの言語に設定した場合は、TotalFlow Production Managerはデフォルトの英語になります。
- 英語（英国と米国）のように同じ言語で複数のロケールがある場合は、どれを選択しても問題ありません。

追加した言語は、[優先する言語] リストに表示されます。

4. 優先する言語の横にある [その他のアクション] () アイコンをクリックします。

5. [Chromeをこの言語で表示] オプションを選択し、[再起動] をクリックします。

Microsoft Edgeを設定する

Microsoft EdgeでTotalFlow Production Managerにアクセスするには、ブラウザーを設定してください。



ここでは、Windows 11でMicrosoft Edge 133を設定する方法を説明します。WindowsまたはEdgeのバージョンによって内容は多少異なります。

Microsoft Edgeを設定するには、以下の操作を行います。

1. ページの右上にある[設定とその他] (⋮) アイコン、[設定] の順にクリックします。
2. [設定] ページで[Cookie とサイトのアクセス許可] を選択します。
3. [保存されたCookieとデータ] の下にある[Cookieとサイトデータの管理と削除] をクリックします。
4. [許可] セクションで、[追加] をクリックします。
[サイトの追加] ダイアログが開きます。
5. `http://hostname:15080/TFPM`と入力します。
6. このサイトにサードパーティーのCookieを含めるオプションを選択します。
7. [追加] をクリックします。
8. TotalFlow Production Managerの操作画面で使用する言語を変更するには、以下の操作を行います。
 1. [設定] ページで[言語] を選択します。
 2. [優先する言語] で[言語を追加] をクリックします。
 3. リストから使用する言語を選択し、[追加] をクリックします。

TotalFlow Production Managerは次の言語に対応しています。

- オランダ語
- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- 日本語
- スペイン語

↓ 補足

- 未対応の言語をブラウザーの言語に設定した場合は、TotalFlow Production Managerはデフォルトの英語になります。
- 英語（英国と米国）のように同じ言語で複数のロケールがある場合は、どれを選択しても問題ありません。

追加した言語は、[優先する言語] リストに表示されます。

4. 優先する言語の横にある[その他のアクション]（...）アイコンをクリックします。
5. [この言語でMicrosoft Edgeを表示] を選択し、[再起動] をクリックします。

3

操作画面をカスタマイズする

TotalFlow Production Manager画面を使用すると、ポッドの内容を変更し、必要な情報のみを表示できます。

オブジェクトをグループ化/ソートする

ポッドのワークフロー、ジョブ、用紙、ユーザーをプロパティごとにグループ化できます。グループはプロパティまたは名前ごとにソートできます。たとえば、ジョブをお客様ごとにグループ化し、各お客様のジョブを進行状況ごとにソートできます。

1. プリンターをグループ化するには、[プリンター]タブが開いていることを確認します。

[プール]表示はプリンタープールでグループ化されています。

2. オブジェクトをグループ化するには、タブのタイトルバーのツールアイコン（...）、[グループ化]の順にクリックし、グループ化するプロパティをクリックします。

すべてのオブジェクトを1つにグループ化するには、... をクリックし、[グループ化]、[すべて]の順にクリックします。

3. タブでオブジェクトをソートするには、ソートする列の見出しをクリックします。ソート順を逆にするには、再度クリックします。

オブジェクトプロパティの表示を変更する

[全てのジョブ]、[用紙]、[ユーザー]ポッドでプロパティの表示を変更します。

プロパティを変更するには、以下の操作を行います。

1. ポッドのタイトルバーで、ツールアイコン（...）、[列を管理...]の順にクリックします。

[列を管理]ダイアログで、各オブジェクト種類の異なるプロパティセットが表示されます。この例では、ジョブのプロパティを説明します。



2. 必要に応じて、リストでプロパティを追加、削除、または上下にドラッグします。
プロパティはリストの表示順に最大数まで表示されます。
3. プロパティのデフォルト表示に戻るには、[デフォルトをリストア]をクリックします。
4. すべてのプロパティを選択または未選択にするには、[全て選択/選択しない]にチェックを付けるか、外します。
5. [OK]をクリックします。

列の表示を変更する

[全てのジョブ]、[用紙]、[ユーザー]ポッドの列をカスタマイズできます。列幅の変更、列の追加、削除、並び替えを実施できます。

- 列幅を変更するには、列見出しの区切り線を新しい位置にドラッグ&ドロップします。
- ポッドビューから列を追加または削除するには、以下の操作を行います。
 1. ツールアイコン（...）、[列を管理...]の順にクリックします。
 2. [列を管理]ダイアログで、プロパティを追加または削除します。
選択した列の数にかかわらず、ポッドのリストに各プロパティの列が表示されます。
- 列を並び替えるには、以下のいずれかを行います。

- [列を管理]ダイアログで、プロパティを上下に移動できます。リストで一番上のプロパティは列の左にあります。
- 新しい位置に列をドラッグ&ドロップします。

ポッドにフィルターをかける

フィルターを定義すると、[プリンター]、[ワークフロー]、[全てのジョブ]、[用紙]、[ユーザー]ポッドに表示されているオブジェクトを管理できます。

たとえば、[名前]、[要求済みプリンター]、[状況]などの値で[全てのジョブ]ポッドにフィルターをかけることができます。

ユーザー定義フィルターを設定するには、以下の操作を行います。

1. ポッドのタイトルバーで、検索アイコン (🔍) の横のバー領域をクリックします。
2. アイコンの横のテキストフィールドで、エントリをフィルタリングする値を入力します。

ポッドにはプロパティに値を入力したオブジェクトのみが表示されます。

↓ 補足

ジョブは入力した文字列を含む値と一致します。たとえば、aはa、abc、bca、cabの文字列と一致します。

3. フィルターを削除するには、フィルター定義エリアを閉じます。

[キュー]ポッドを拡大縮小する

[キュー]ポッドを拡大して次に印刷するジョブにフォーカスしたり、縮小して割り当て済みジョブのキュー全体を表示できます。

[キュー]ポッドのサイズを変更するには、[キュー]ポッドの右上の目盛調整アイコンのプラスまたはマイナスをクリックします。

4. オブジェクトを管理する

- プロパティを表示/変更する
- 状態を表示する
- ログを表示する
- ワークフローとプリンターを有効にする
- ワークフローとプリンターを無効にする
- 通知を編集する
- オブジェクトを削除する
- プリンターを管理する

TotalFlow Production Managerでは、サーバー、ワークフロー、プリンター、プリンタープール、用紙、ユーザー、レポート、ワークフローアクティビティ、ジョブなど操作に必要なさまざまなオブジェクトを管理します。

プロパティを表示/変更する

オブジェクトのプロパティとは、オブジェクト名、用紙の長さや幅、ジョブのサイズ、優先順位や印刷部数、プリンターが対応する用紙や仕上げオプションなどの属性の総称です。

管理者は、すべてのオブジェクトのプロパティ（サーバー、ワークフロー、プリンター、プリンタープール、用紙、アクティビティ、ジョブ）を表示でき、すべてのオブジェクトの読み取り/書き込みプロパティを変更できます。オペレーターはプリンター、プリンタープール、ワークフロー、用紙、ジョブプロパティを表示し、読み取り/書き込みプロパティを変更できます。モニターはプリンター、プリンタープール、ワークフローを表示できますが、これらのオブジェクトのプロパティは変更できません。

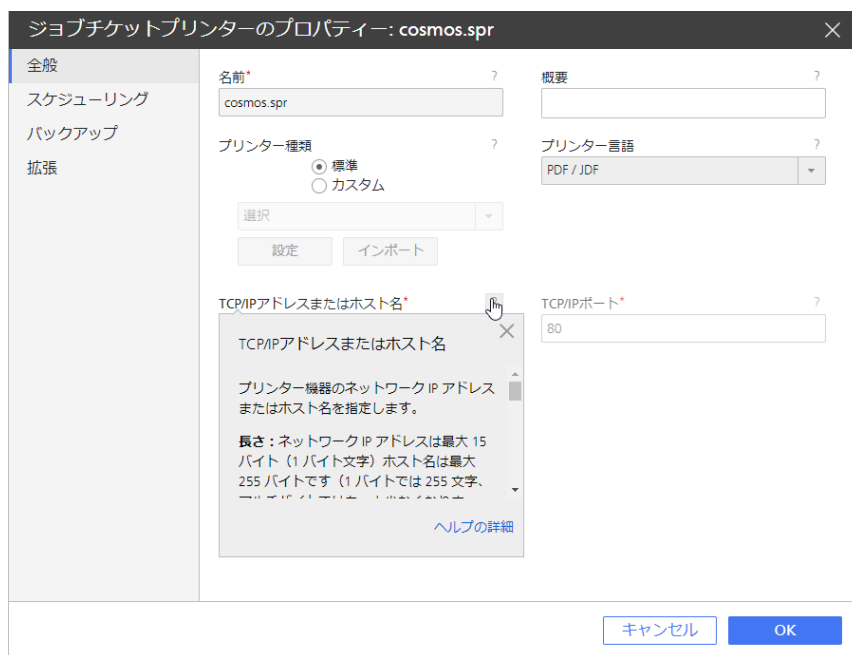
↓ 補足

自動で作成されたプリンターの用紙リストの用紙のプロパティは変更できません。

オブジェクトプロパティを表示または変更するには、以下の操作を行います。

1. オブジェクトポッドでオブジェクトを右クリックし、開いたオプションリストから【プロパティ...】を選択します。

【プロパティ】ダイアログが表示されます。この例では、【ジョブチケットプリンターのプロパティ】ダイアログについて説明しています。



2. 別のプロパティを表示するには、各ページをクリックします。
3. プロパティのフィールドヘルプ画面を表示するには、以下の操作を行います。
 1. プロパティにカーソルを置きます。
 2. プロパティ名の横の [ヘルプ] ボタン (?) をクリックします。
4. 変更するプロパティに値を入力または選択します。
5. **[OK]**をクリックします。
 プリンターとワークフローの更新は、TotalFlow Production Managerでプリンターやワークフローが無効になってから自動的に有効になります。

状態を表示する

オペレーターと管理者は、プリンター、ワークフロー、ジョブの状況を表示できます。

- プリンターの状況情報には、有効であるかどうかと、最新メッセージ、給紙トレイ用紙残量などのSNMPで返された情報が含まれます。
- ワークフローの状況情報には、有効状態や待機中の入力ファイル数が含まれます。
- ジョブの場合、状況情報には、進捗状況、状態、エラーの有無が含まれます。割り当てられていない場合、待機理由の詳細も表示されます。

補足

プリンターコマンドがリターンコードを返すまでパススループリンターに送信したジョブの印刷状況は表示されません。

オブジェクトの状態を表示するには、以下の操作を行います。

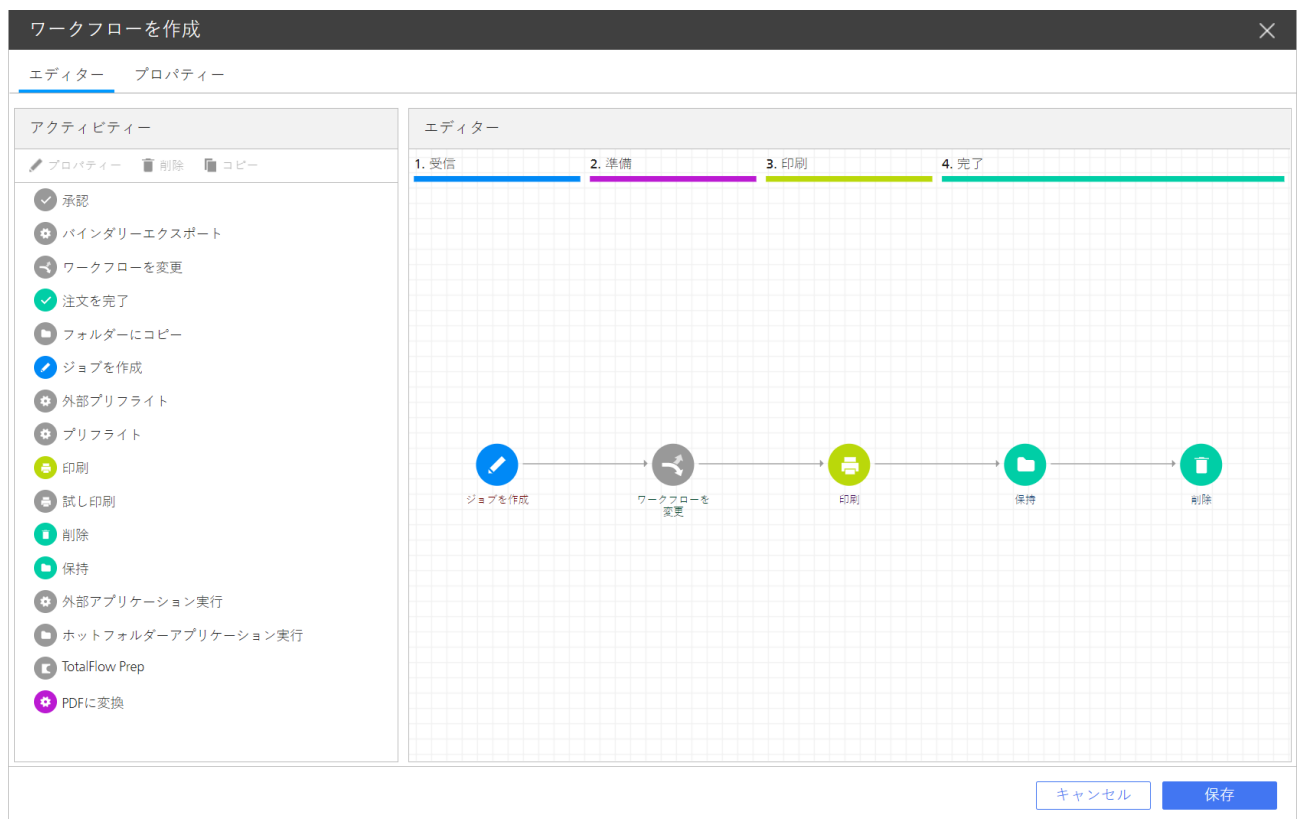
1. オブジェクトポッドで、以下のいずれかを行います。
 - プリンターとジョブ

1. オブジェクトを選択し、[さらに表示]、[状況...]の順にクリックします。また、オブジェクトを右クリックし、[状況...]を選択して状況を確認することもできます。

[状況]ダイアログが表示されます。この例では、[ジョブの状況]ダイアログを説明しています。

ジョブの状況 : GLOBE.pdf		
全般	ID ?	状態 ?
キュー	10000000	未割り当て
進行状況	現在のフェーズ ?	現在のアクティビティ ?
スケジューリング	印刷	ジョブを印刷
	待機理由 ?	要求済みプリンター ?
	プリンター使用不可	ProC900
	指定日時まで保留 ?	カラーページ ?
	白黒ページ ?	
閉じる		

2. 別の状況プロパティーを表示するには、ページ名をクリックします。
- キューにあるジョブの状況も確認できます。
 1. メニューバーで、[キュー]をクリックします。
 2. [キュー]ポッドで、ジョブアイコンをダブルクリックするか、ジョブアイコンを右クリックし、[状況...]を選択します。
 - ワークフロー:
 1. ワークフローをダブルクリックし、[エディターとプロパティー...]を選択します。
[ワークフロー]ダイアログが表示されます。
 2. [プロパティー]をクリックします。



- ステータスプロパティのいずれかに関する情報を表示するには、プロパティ名の横の [ヘルプ] ボタン (?) をクリックします。

ログを表示する

TotalFlow Production Managerの各オブジェクトには、プロパティ変更などの操作に関するメッセージログがあります。ジョブには、TotalFlow Production Managerの進行状況に関するメッセージログもあります。処理エラーが発生した場合は、エラーメッセージに詳細が表示されます。

オペレーターと管理者は、ワークフロー、プリンター、ジョブのログを表示できます。管理者は、サーバー、用紙、ユーザーのログを表示できます。

ログには、まだ削除されていないオブジェクトに対して発行されたメッセージがあります。ユーザーがオブジェクトを削除するときに、ログファイルが `install_drive:¥aiw¥aiwl¥audit¥object_type` ディレクトリーに移動されます。

ログにサイズ制限はありません。

オブジェクトのログを表示するには、以下の操作を行います。

- オブジェクトポッドでオブジェクトを選択し、[さらに表示]、[ログ...]の順にクリックします。

オブジェクトのログが表示されます。過去3日間に出力されたメッセージが表示されます。この例では、ジョブのログを説明しています。

ユーザーのログ : Admin

種類 ? 次の結果を表示 ?

すべて 全ての時刻 [エクスポート](#)

ログ ?

時刻	重要度	メッセージ	発行元
2017/07/19 17:53	情報	AIWF0003I ログインアクションが成功しました。	Admin
2017/07/19 16:07	情報	AIWF0003I ログインアクションが成功しました。	Admin
2017/07/19 11:58	情報	AIWF0003I ログインアクションが成功しました。	Admin
2017/07/18 16:00	情報	AIWF0003I ログインアクションが成功しました。	Admin
2017/07/18 14:45	情報	AIWF0003I ログインアクションが成功しました。	Admin
2017/07/18 11:54	情報	AIWF0003I ログインアクションが成功しました。	Admin
2017/07/18 11:21	情報	AIWF0003I ログインアクションが成功しました。	Admin
2017/07/18 10:38	情報	AIWF0003I ログインアクションが成功しました。	Admin
2017/07/18 10:21	情報	AIWF0003I ログインアクションが成功しました。	Admin
2017/07/17 16:30	情報	AIWF0003I ログインアクションが成功しました。	Admin
2017/07/17 14:44	情報	AIWF0003I ログインアクションが成功しました。	Admin
2017/07/17 14:33	情報	AIWF0003I ログインアクションが成功しました。	Admin
2017/07/17 14:33	情報	AIWF0003I ログインアクションが成功しました。	Admin

[閉じる](#)

- メッセージの文字が途切れている場合は、メッセージにカーソルを置きます。
- メッセージ種類または別の列でソートするには、列見出しをクリックします。
昇順にソートするには、1回クリックします。降順にソートするには、2回クリックします。
- ログの表示内容を変更するには、以下のフィールドを変更します。

【次の結果を表示】

デフォルトでは、TotalFlow Production Managerが過去3日間に出力したオブジェクトのメッセージが表示されます。別の期間を選択するには、このフィールドのリストと、関連付けられたラジオボタンを使用します。

【種類】

デフォルトでは、【すべて】のメッセージが表示されます。異なる種類の情報を選択するには、このフィールドのリストを使用します。

- ログをテキストファイルに保存するには、以下の操作を行います。

1. **【エクスポート】**を選択します。

オペレーティングシステムとブラウザ設定によっては、[ダウンロード先の選択] ダイアログが表示される場合があります。

2. このダイアログが表示される場合は、ファイル名とログファイルの場所を指定します。

ファイル種類には、.csvを指定します。

このダイアログが表示されない場合は、ログファイルがデフォルトの[ダウンロード] 先に保存されます。

3. **【保存】** をクリックします。



エクスポートしたログファイルを編集するには、UTF-8に対応するエディターを使用してください。

ワークフローとプリンターを有効にする

オブジェクトを有効にすると、TotalFlow Production Managerで使用可能になります。オペレーターと管理者は、ワークフローとプリンターを有効にすることができます。

ワークフローが無効でも入力ファイルを受信できますが、TotalFlow Production Managerのジョブを作成や送信するには有効にしてください。

オブジェクトを有効にするには、以下のいずれかを行います。

- オブジェクトを選択し、その右側にある[有効]アイコン (▶) をクリックします。
- オブジェクトを選択し、タブのツールバーにある[有効]ボタン (▶) をクリックします。
- オブジェクトを右クリックし、表示されたオプションのリストで[有効にする]を選択します。

4

ワークフローとプリンターを無効にする

オブジェクトを無効にすると、TotalFlow Production Managerで使用できなくなります。オペレーターと管理者は、ワークフローとプリンターを無効にすることができます。

ワークフローが無効でも入力ファイルを受信できますが、TotalFlow Production Managerのジョブを作成や送信するには有効にしてください。

無効にしたプリンターに割り当てられているジョブは印刷されます。

オブジェクトを無効にするには、以下のいずれかを行います。

- オブジェクトを選択し、右側にある[無効]アイコン (||) をクリックします。
- オブジェクトを選択し、タブのツールバーにある[無効にする]ボタン (||) をクリックします。
- オブジェクトを右クリックし、表示されたオプションのリストで[無効にする]を選択します。

通知を編集する

オペレーターと管理者は、既存の通知の名前と送信先メールアドレスを変更できます。プリンターやワークフローでは、通知を適用するオブジェクトも変更できます。

通知を編集するには、以下の操作を行います。

1. TotalFlow Production Managerにオペレーターまたは管理者権限を持つユーザーとしてログインします。
2. メニューバーで、[操作]をクリックします。
3. オブジェクトタブまたは[全てのジョブ]ポッドのツールバーで、設定アイコン (⚙️)、[通知...] の順にクリックします。

オブジェクトの通知を表示する表のダイアログが表示されます。

4. 編集する通知を選択し、[編集] をクリックします。
ダイアログのその他のフィールドは通知種類によって異なります。

5. 変更するフィールドに新しい値を入力またはリストから選択します。
6. **[OK]**をクリックします。

オブジェクトを削除する

管理者は、不要になったワークフロー、プリンター、プリンタープール、用紙、ユーザー、アクティビティ、ジョブまたはレポートを削除できます。オペレーターはジョブを削除できます。

ワークフローを削除する前に、ワークフローに送信したすべてのジョブを削除したことを確認します。ジョブがプリンターに移動しても、システムに残っている限り、ワークフローを削除できません。ホットフォルダーに関連付けていないワークフローを削除する場合は、ホットフォルダーも削除されますが、サーバーでは残されます。ホットフォルダーに入力ファイルがあると、ホットフォルダーは削除されません。

プリンターまたはプリンタープールを削除する前に、以下を確認します。

- プリンターまたはプリンタープールにジョブが送信されていません。
- ワークフローのジョブプロパティのデフォルトまたは上書き値はプリンターまたはプリンタープールを**[要求済みプリンター]**として指定していません。

★重要

1. プリンターを削除すると、システムからプリンターが削除されます。新しいジョブがプリンターを要求できなくなりました。TotalFlow Production Managerは、既存のジョブに要求されたプリンタープロパティの値を**[未設定]**に変更します。
2. プリンタープールに属するプリンターを削除すると、プールからプリンターが削除されます。
3. プリンタープールを削除しても、関連付けられたプリンターは削除されません。

用紙を削除する前にプリンターの用紙マップまたは用紙交換に用紙が指定されていないことを確認してください。

この用紙変更に基づいて割り当てたジョブは未割り当てになるか、別のプリンターに割り当てられます。

ジョブを削除すると、すべての以降のジョブ処理を停止し、システムからジョブが削除されます。ジョブは任意の時間と**[処理中]**以外の状況で削除できます。

ジョブを削除すると、関連する入力ファイルもシステムから削除されます。アクティビティを削除する前に、ワークフローの一部ではないことを確認します。

[印刷中]状態で少なくとも 50 パーセントが印刷されているジョブを削除する場合、プリンターはジョブを終了しますが、削除前に印刷されたジョブの一部に関する情報のみがジョブレポートに含まれます。

[印刷中]または**[スプール中]**状態でジョブを削除する場合、それに関する更新情報を受信できません。

オブジェクトを削除するには、以下の操作を行います。

1. オブジェクトを右クリックし、**[削除...]**を選択します。
確認メッセージが表示されます。

2. 【はい】をクリックします。

用紙またはプリンターを削除すると、TotalFlow Production Managerは削除する既存のジョブの該当プロパティ値を【未設定】に変更します。TotalFlow Production Managerで印刷前に削除したプリンターのジョブに別のプリンターを指定します。

↓ 補足

既存のジョブが使用するオブジェクトを削除しても印刷される場合があります。

プリンターを管理する

プロパティの変更とログの表示以外に、このセクションの操作をプリンターで実行できます。

4 プリンターのトレイと用紙をマッピングする

用紙マップにはプリンターの給紙トレイと各トレイにセットした用紙が表示されます。オペレーターと管理者は、用紙マップを作成して更新できます。

トレイ内容情報を送信するコントローラーを表すジョブチケットプリンターには、プリンターを作成した直後にTotalFlow Production Managerで自動的に用紙マップが作成されます。トレイ内容については、プリンターコネクタのreadmeファイルを参照してください。

プリンターの用紙マップを作成または更新するには、以下の操作を行います。

1. プリンターを選択し、【さらに表示】、【給紙トレイ設定...】の順にクリックします。

【給紙トレイ設定】ダイアログが表示されます。

給紙トレイ設定ダイアログのスクリーンショット。ダイアログには「給紙トレイを手動で設定？」と「用紙を手動でセット？」の2つのチェックボックスがあり、どちらもオンになっています。右側には「用紙をイン...」というボタンがあります。中央にはテーブルがあり、各トレイ（トレイ2からトレイ8）の用紙、サイズ、坪量、種類、カラーが設定されています。トレイ1は選択されていません。右下には「キャンセル」と「OK」のボタンがあります。

トレイ	用紙	サイズ	坪量	種類	カラー
☒ トレイ2	未設定	Letter (8.5 x 11.0 in.)	72	普通紙	未設定
☒ トレイ3	A4 5EF	A4 (210.0 x 297.0 mm)	80	普通紙	ホワイト
☒ トレイ4	287x200	595.0 x 813.0 pts	80	普通紙	ホワイト
☒ トレイ5	297x440	841.0 x 1247.0 pts	100	普通紙	ホワイト
☒ トレイ6	A5lef-ct	A5 (148.0 x 210.0 mm)	80	普通紙	ホワイト
☒ トレイ7	16Klef-ct	16K (195.0 x 267.0 mm)	80	普通紙	ホワイト
☒ トレイ8	12x18-ct	12x18in (12.0 x 18.0 in.)	80	普通紙	ホワイト
☐ トレイT1					

↓ 補足

- プリンターがパススループリンターの場合は、【用紙を手動でセット】トグルは表示されません。
- プリンターで定義された手動用紙がトレイにある場合、プリンターから受け取った用紙情報は表示されますが、用紙名は【未設定】であり、警告アイコン（⚠）は対応する用紙リストでその用紙が定義されていないことを示します。

2. 【用紙を手動でセット】を有効にします。
3. SNMPレポートがあるプリンターに設置した給紙トレイのみを表示するには、【給紙トレイを手動で設定】ボタンを無効に切り替えます。
4. プリンターが対応するすべての給紙トレイを表示し、手動で設置した給紙トレイを指定するには、【給紙トレイを手動で設定】ボタンを有効に切り替えます。
5. 【トレイ】列でリストされた各給紙トレイについては、【用紙】列の用紙名をクリックします。開いた表から、給紙トレイにセットした用紙を選択します。
6. 【OK】をクリックします。
7. このビューから新しい手動用紙を作成し、プリンターの対应用紙リストにその用紙を追加し、給紙トレイ用紙としてセットすることもできます。

給紙トレイに手動用紙を追加するには、以下のいずれかを行います。

- 矢印をクリックして対应用紙リストを開き、用紙を選択してから、【OK】をクリックします。
どの対应用紙も一致しない場合は、【カスタム】をクリックします。
- 用紙を追加アイコン () をクリックします。
【ユーザー設定紙を作成】ダイアログが表示されます。

4



8. ダイアログの各ページで、調整が必要な必須およびオプションのプロパティ値を入力または選択します。
ページを変更するには、左側のナビゲーションバーでページタブをクリックします。

プリンターまたはプリンタープールに割り当てたジョブを表示する

オペレーター、管理者、モニターは、プリンターに割り当てられているすべてのジョブを表示できます。

プリンターまたはプリンタープールに割り当てたジョブを表示する[全てのジョブ]ポットを開くには、以下の操作を行います。

1. メニューバーで、[操作]をクリックします。
2. [プリンター]ポッドでプリンターまたはプリンタープールを選択します。
3. [さらに表示]をクリックし、[送信済みジョブを表示]を選択します。[全てのジョブ]ポッドで新しいタブが開き、選択したプリンターまたはプリンタープールに送信されたすべてのジョブが表示されます。

プリンターのWebページを表示する

オペレーターと管理者は、TotalFlow Production ManagerからプリンターのWebページに移動できます。Webページに表示される情報はプリンターモデルによって異なります。

プリンターのWebページを表示するには、以下の操作を行います。

1. [プリンター]タブで、プリンターを選択します。
2. [さらに表示]をクリックし、次に[プリンターのWebページを表示...]をクリックします。

プリンターに用紙交換を作成する

プリンターの用紙を交換するには、プリンターのキューに用紙交換を作成します。

TotalFlow Production Managerはプリンターで使用する用紙に応じて用紙交換の前または後にジョブを割り当てます。用紙交換する前の用紙を使用するすべてのジョブが印刷されると、用紙交換を指示するメッセージが表示されます。

オプションで、区切り紙に指示を印刷できます。

特殊な指示を印刷するには、以下の操作を行います。

- パススループリンターの[特殊な指示のコマンド]プロパティに値が必要です。
- 特定の用紙に特殊指示を印刷するには、プリンターの[区切り紙用給紙トレイ]プロパティに値が必要です。

プリンターの用紙交換を作成するには、以下の操作を行います。

1. メニューバーで、[キュー]をクリックします。
2. [キュー]ポッドで[用紙交換]アイコン () をクリックします。
[用紙変更指示]ダイアログが表示されます。

用紙変更

×

名前* ?

プリンター ?

Andromedafjdf

位置 ?

全ての用紙交換の後

用紙を交換 ?

トレイ	前	後
トレイ1	A4 LEF 80G	A4 LEF 80G
トレイ2	A3 SEF 80G	A3 SEF 80G
トレイ3		
トレイ4		

特殊な指示 ?

☐ 区切り紙を印刷 ?

キャンセル

OK

3. 【名前】に「T4 LetterからA4」などの用紙交換名を入力します。
4. 【プリンター】リストから用紙変更を作成するプリンターを選択します。
5. この用紙交換を適用するジョブキューで正確な位置を選択します。
6. 給紙トレイを選択します。

【後】の列にリストが表示されます。

7. テーブルの【後】列で、矢印をダブルクリックして用紙リストを展開し、給紙トレイにセットする新しい用紙の名前を選択します。
8. 光沢のある面を上にしてセットなどのオペレーターへのメッセージを【メッセージを表示】に入力します。
9. **オプション**：オペレーターへのメッセージをPDFファイルで保存して区切り紙に印刷するには、【区切り紙を印刷】をクリックします。

↓ 補足

プリンターがパススループリンターで【特殊な指示のコマンド】プロパティに有効な印刷コマンドが設定されていない場合は、区切りページは印刷されません。

10. 【OK】をクリックします。

ジョブのすぐ前で【キュー】ポッドに【オペレーター】フラグ (■) が付きます。フラグにカーソルを置くと、用紙交換指示が表示されます。オペレーターフラグをダブルクリックし、指示を編集します。

用紙交換メッセージを確認するときは、用紙を交換して用紙マップを更新してください。用紙マップに新しい用紙が表示されたときは、用紙交換メッセージは削除されます。

5. ジョブを操作する

- TotalFlowアプリケーションからジョブを送信する
- 外部接続からジョブを送信する
- lpr 印刷コマンドを使用してジョブを送信する
- TotalFlow Production Managerでジョブを確認する
- ジョブ情報を表示/変更する
- ジョブを開始/移動/一時停止/再開する

TotalFlow Production Managerの操作画面の[全てのジョブ]ポッドと[キュー]ポッドを使用し、TotalFlow Production Managerのジョブと進行状況を管理できます。

操作画面からは、さまざまなタスクを実行できます。

TotalFlowアプリケーションからジョブを送信する

TotalFlow アプリケーションを使用して、ジョブをワークフローに送信できます。各ジョブで、アプリケーションはジョブチケットを送信します。ジョブチケットには、ジョブプロパティの設定に使用されるジョブに関する情報が含まれます。

TotalFlow Production Managerからジョブを送信する

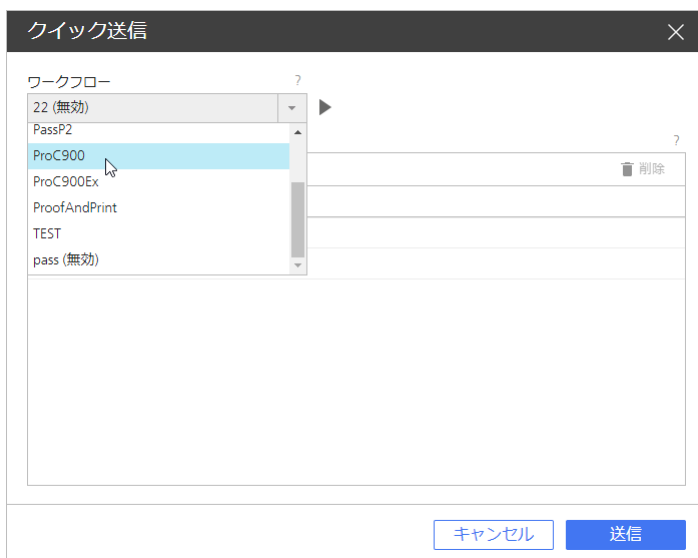
クイック送信機能を使用し、TotalFlow Production Manager操作画面の[操作]ページにファイルをドラッグ&ドロップすることで、ワークフローにPS、PCL、PDF、TIFF、PNG、またはJPEGファイルを送信できます。

[全てのジョブ]ポッドのクイック送信でファイルをアップロードするには、次の手順に従います。

1. メニューバーで、[操作]をクリックします。です。
2. TotalFlow Production Managerでワークフローを設定し、有効にします。
3. 1つまたは複数のファイルを選択し、TotalFlow Production Manager[操作]ページにファイルをドラッグ&ドロップします。
許可されたファイルの種類と、ジョブを送信できるワークフローを示すメッセージが表示されます。



4. 選択したワークフローフレームにファイルをドロップします。
ワークフローが有効な場合、ジョブは送信され、[全てのジョブ]ポッドに表示されます。ワークフローが無効な場合、[クイック送信] ダイアログが表示されます。



5. 有効なワークフローを選択するか、有効にするアイコン (▶) をクリックし、選択したワークフローを有効にします。
6. リストにさらに複数のファイルを追加するには、上記の手順3を繰り返します。

ファイルはドラッグ&ドロップされた各ファイルのグループ内でアルファベット順にソートされます。ドラッグ&ドロップされた最新のファイルのセットが常に選択されます。

未対応のファイル種類を選択すると、「選択したファイルの一部が対応していません。対応するファイルで続行しますか？」というメッセージが表示されます。

7. [OK] をクリックします。
8. 必要に応じて、ファイルを上下にドラッグ&ドロップして並べ替えることができます。
9. リストからファイルの一部を削除するには、削除するファイルを選択し、[削除] アイコンをクリックします。
ファイルを選択して削除アイコンにドラッグ&ドロップしても、ファイルを削除できます。
10. [ワークフロー] リストからワークフローを選択します。
選択したワークフローが無効の場合は、有効アイコン (▶) をクリックするか、リストから別のワークフローを選択します。
11. [送信] をクリックします。
12. ジョブが特定のワークフローに送信されると、[全てのジョブ]ポッドから別のワークフローまたはプリンター上にドラッグできます。

RICOH TotalFlow Prepからジョブを送信する

5

TotalFlow Prepを使用すると、ワークフローにジョブとジョブチケットを送信できます。

TotalFlow PrepからTotalFlow Production Managerワークフローにジョブを送信するには、以下の操作を行います。

1. ワークフローを設定し、TotalFlow Production Managerのジョブチケットプリンターに関連付けます。
2. TotalFlow Prepでワークフローをプリンターとして登録します。
3. TotalFlow Prepでジョブを作成します。
4. メニューバーのプリンターメニューで、ワークフローを選択します。
5. ジョブを編集します。
6. 右側の設定領域で、[印刷方法/認証] をクリックし、[印刷モード] を選択して、[標準印刷] または [印刷の保留] を選択します。
7. [印刷] ボタン () をクリックします。

RICOH TotalFlow Production Manager Job Submissionからジョブを送信する

TotalFlow Production Manager Job Submissionを使用すると、ワークフローにPDF、PostScript、PCL、TIFF、PNG、JPEGファイル、ジョブチケットを送信できます。

TotalFlow Production Manager Job SubmissionからTotalFlow Production Managerワークフローにジョブを送信するには、以下の操作を行います。

1. TotalFlow Production Managerでワークフローを設定し、有効にします。
2. TotalFlow Production Managerメニューバーで[ジョブを送信]をクリックします。
3. または、[ワークフロー] タブで、以下の操作を行います。

1. ワークフローを選択し、[さらに表示]をクリックして[ジョブを送信]を選択します。

2. または、ワークフローを右クリックし、[ジョブを送信]を選択します。

ブラウザのタブまたはウインドウでTotalFlow Production Manager Job Submissionが開きます。ワークフローオプションメニューからTotalFlow Production Manager Job Submissionを開く場合は、ページの左上のワークフローリストでワークフロー名がすでに選択されています。

4. このジョブの入力ファイルを指定します。入力ファイルを指定する方法は2つあります。

- ファイルを選択する方法

1. ファイルを追加アイコン（ **+ ファイルを追加** ）をクリックします。

2. 1つまたは複数のファイルを選択し、[開く]を選択します。

TotalFlow Production Manager Job Submissionに選択したファイルのプレビューが表示されます。さらにファイルを選択する場合は、最後に選択したファイルが表示されます。

5

The screenshot displays the RICOH TotalFlow Production Manager Job Submission web interface. The top header shows the title and a help icon. Below the header, there's a navigation bar with a printer icon, a dropdown menu for 'AnyPrinter', a blue button '+ ファイルを追加', a file icon with 'GR_DIGITAL_III_E.pdf', a status '(1 ファイル追加)', and a dropdown for 'DefaultTicket.jdf'. The main content area is divided into a left sidebar and a central panel. The sidebar lists various settings categories: '基本設定' (Basic Settings), '印刷方法/認証' (Printing Method/Authentication), 'レイアウト' (Layout), '用紙' (Paper), '仕上げ' (Finishing), '例外ページ' (Exception Pages), '表紙' (Cover), and 'シート' (Sheet). The central panel is currently showing the '基本設定' section, which includes a grid of settings for '部数' (Number of copies), '用紙' (Paper), '方向' (Orientation), '印刷面' (Print side), 'ひらき方向' (Folding direction), 'ステープル/製本' (Staple/Binding), 'カラー/白黒' (Color/Black and white), and '排紙トレイ' (Paper tray). Each setting has a dropdown menu or a selection box. On the right side of the central panel, there is a preview of a document titled 'GR DIGITAL III Camera User Guide'. At the bottom right of the interface, there is a blue button labeled '送信' (Send).

3. ファイルのリストを表示するには、下矢印をクリックします。

特定のファイルのプレビューを表示するには、リストのファイル名をクリックします。

↓ 補足

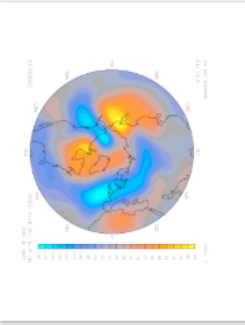
1. PDF、TIFF、PNG、JPEGファイルのプレビューを表示できます。PostScriptとPCLファイルのプレビューは表示できません。
 2. PostScript、PCL、TIFF、PNG、JPEG形式のジョブチケットにはデフォルトのジョブプロパティ設定が表示されます。
- TotalFlow Production Manager Job Submissionウィンドウにファイルをドラッグ&ドロップする方法
1. 1つまたは複数のファイルを選択し、TotalFlow Production Manager Job Submissionウィンドウにファイルをドラッグ&ドロップします。
 2. さらにファイルを追加するには、上記の1と2の手順を繰り返します。
 3. ジョブからファイルを削除するには、ジョブ名をクリックし、削除するファイルにカーソルを移動し、ファイル名の横のファイル削除アイコン (■) をクリックします。
 4. ファイルのプレビューを参照するには、ジョブ名をクリックし、プレビューするファイルにカーソルを移動し、ファイル名の横のファイルプレビューアイコン (⊕) をクリックします。

5

+ ファイルを追加
GLOBE.pdf ▼
(2 ファイル追加)
DefaultTicket.jdf ▼

基本設定

部数 ?	ページ範囲 ?
1	すべて
用紙 ?	方向 ?
デフォルトを使用	タテ
印刷面 ?	ひらき方向 ?
デフォルトを使用 [両面]	左ひらき
ステープル/製本 ?	カラー/白黒 ?
デフォルトを使用	デフォルトを使用 [カラー]
排紙トレイ ?	
デフォルトを使用	



ページ < 1 / 2 >

送信

5. ジョブチケットを選択します。

- 既存のジョブチケットを使用するには、メニューバーでジョブチケットリストを展開し、1つ選択します。

- ジョブチケットをアップロードするには、[開く...] を選択します。ジョブチケットを選択し、[開く] をクリックします。
- 新しいジョブチケットを作成するには、[新規] を選択します。

6. **オプション**：選択したジョブチケットを変更します。

1. [ジョブのプロパティ]ダイアログで、ジョブのプロパティを変更します。
2. TotalFlow Production Manager Job Submissionでジョブチケットを保存するには、[保存] または [名前を付けて保存...] をクリックします。

★重要

ジョブチケットは、使用しているコンピューターのブラウザセッション専用でTotalFlow Production Manager Job Submissionに保存されます。セッション用または別のコンピューターのユーザーに送信して保存するには、ジョブチケットをダウンロードしてください。

3. 使用しているシステムにジョブチケットをダウンロードするには、[チケットをダウンロード] をクリックします。

↓ 補足

1. 同じジョブチケットを使用して複数のファイルを送信した場合は、すべての印刷済み文書がTotalFlow Production Manager Job Submissionのプレビューで開いた最終ファイルの用紙方向になります。
2. ジョブの設定を変更する場合は、ページを更新する前にジョブを送信してください。変更しない場合は、設定の一部がリセットされる場合があります。

7. [ワークフロー:] リストからワークフローを選択します。
8. ワークフローが無効な場合は、有効アイコン (▶) をクリックします。
9. [送信] をクリックします。

↓ 補足

入力ファイルのサイズ、種類、形式を要件範囲内にしてください。要件については、TotalFlow Production ManagerのReadmeファイルの「入力ファイルについて」を参照してください。

ワークフローが無効な場合、[ジョブ送信状況] 警告が表示されます。



10. [閉じる] をクリックし、ワークフローを有効にするか、有効なワークフローを選択します。

TotalFlow PM PDF Print Driverからジョブを送信する

TotalFlow PM PDF Print Driverを使用すると、対応オペレーティングシステムのアプリケーションからTotalFlow Production Managerのワークフローにジョブとジョブチケットを送信できます。

最初に対応オペレーティングシステムにTotalFlow PM PDF Print Driverをインストールします。インストールについては、*RICOHTotalFlow Production Manager*セットアップガイドのドライバーをインストールして設定するセクションを参照してください。

操作画面からは、さまざまなタスクを実行できます。

Mac OS XでRICOH TotalFlow PM PDF Print Driverからジョブを送信する

TotalFlow PM PDF Print Driverを使用すると、Mac OS XのアプリケーションからTotalFlow Production Managerのワークフローにジョブとジョブチケットを送信できます。

↓ 補足

- TotalFlow PM PDF Print DriverはHTTPS接続をサポートしていません。TotalFlow PM PDF Print Driverを設定してジョブを送信する前に、TotalFlow Production ManagerのHTTPSを無効にしてください。

TotalFlow PM PDF Print DriverからTotalFlow Production Managerワークフローにジョブを送信するには、以下の操作を行います。

1. TotalFlow Production Managerでワークフローを設定し、有効にします。
2. TotalFlow PM PDF Print Driverがインストールされているコンピュータで、印刷する文書を開きます。
3. [印刷] ダイアログウィンドウで、[PDF] をクリックし、開いたリストから [TotalFlow PM Job Submissionに送信] オプションを選択します。



↓ 補足

1. 一部のアプリケーションでは、システムのデフォルトの印刷ダイアログをカスタムダイアログで上書きします。つまり、一部のアプリケーションでは [PDF] ボタンがデフォルトのMac OS Xビューアと違って見える場合があります。この場合は、システムのデフォルト印刷ダイアログに切り替えるか、[プレビュー] を選択します。
2. [PDF] リストにオプションを追加する方法は、Mac OS Xの使用説明書を参照してください。

TotalFlow Production ManagerサーバーのTotalFlow Production Manager Job Submissionで文書が開きます。

- 必要に応じてジョブプロパティを編集します。この表示からジョブプロパティまたはジョブチケットを変更する方法は、P. 131 「RICOH TotalFlow Production Manager Job Submissionからジョブを送信する」を参照してください。

↓ 補足

Mac OS XでTotalFlow PM PDF Print Driverを使用して印刷するときは、印刷ダイアログから用紙サイズ情報が自動的に選択され、ジョブチケットに手動用紙として追加されます。この手動用紙設定を残すか、用紙リストから用紙を選択できます。手動用紙設定を確保する場合は、TotalFlow Production Managerプリンターを設定し、同じサイズの手動用紙に対応することを確認してプリンターの給紙トレイに用紙を追加します。

- 「送信」をクリックします。
- 「閉じる」をクリックしてセッションを終了します。

WindowsでRICOH TotalFlow PM PDF Print Driverからジョブを送信する

TotalFlow PM PDF Print Driverを使用すると、任意のアプリケーションからTotalFlow Production Managerのワークフローにジョブとジョブチケットを送信できます。

最初にTotalFlow PM PDF Print Driverをインストールします。インストールについては、RICOH TotalFlow Production Managerセットアップガイドのドライバーをインストールして設定するセクションを参照してください。

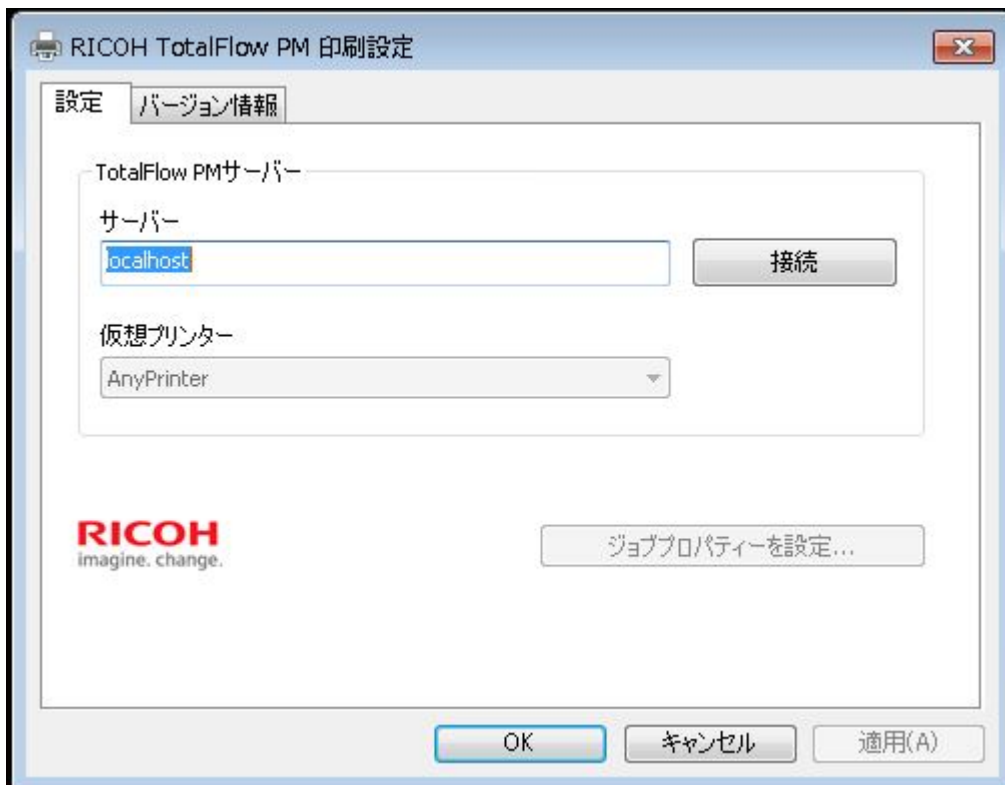
↓ 補足

- TotalFlow PM PDF Print DriverはHTTPS接続をサポートしていません。TotalFlow PM PDF Print Driverを設定してジョブを送信する前に、TotalFlow Production Managerの HTTPS を無効にしてください。
- Microsoft Edgeを使用している場合に、[プリンターのジョブプロパティ] ダイアログを有効にするには、以下を確認してください。
 - ブラウザーの [セキュリティ] 設定で、セキュリティモードが [厳重] になっていません。

TotalFlow PM PDF Print DriverからTotalFlow Production Managerワークフローにジョブを送信するには、以下の操作を行います。

1. TotalFlow Production Managerでワークフローを設定し、有効にします。
2. TotalFlow PM PDF Print Driverがインストールされたコンピュータで、TotalFlow Production ManagerサーバーのIP/ホスト名を入力し、TotalFlow Production Managerワークフローをドライバーに割り当てます。

5

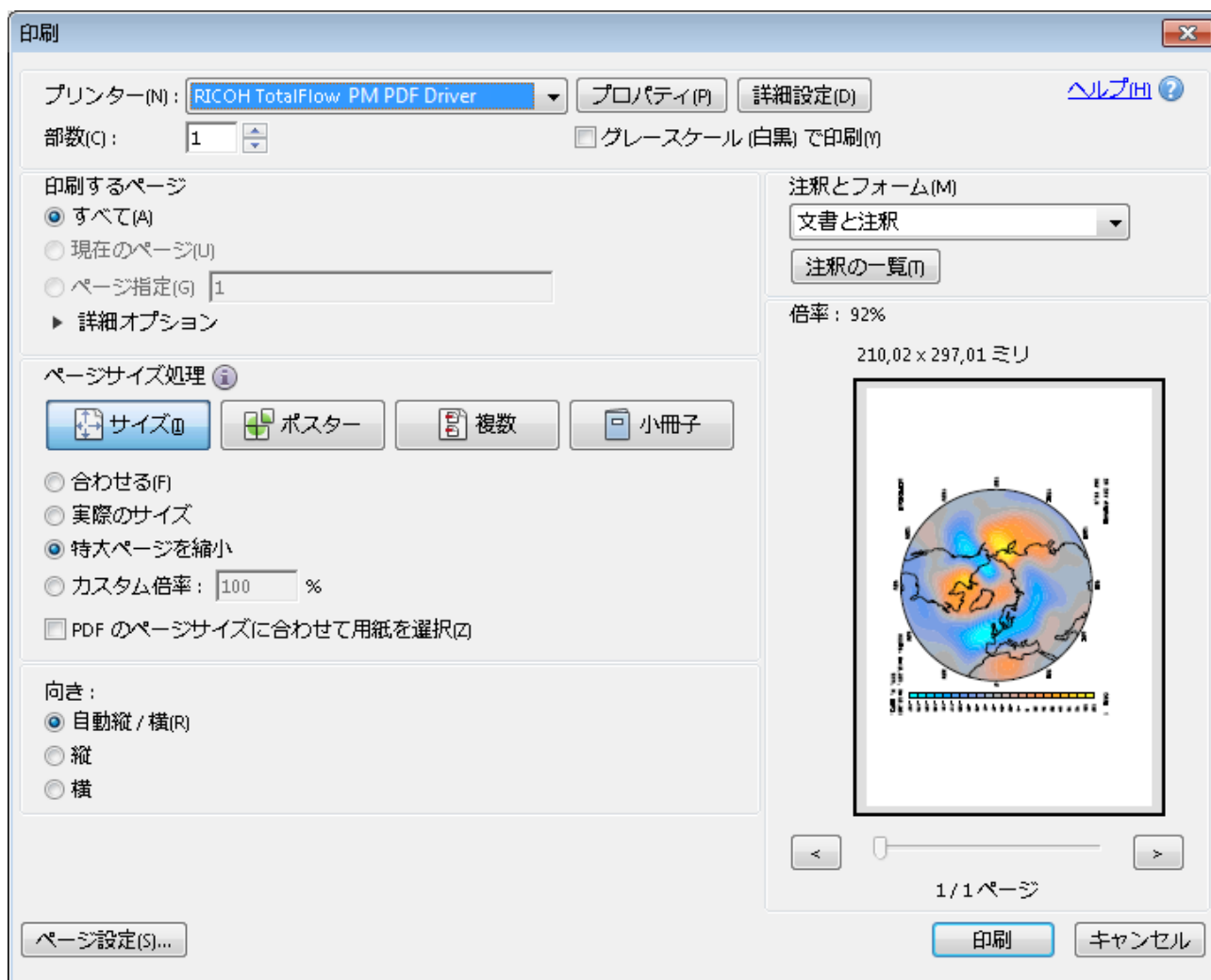


3. [ジョブプロパティを設定...] をクリックし、ドライバーに関連付けられたワークフローのジョブプロパティダイアログを開きます。



5

4. 必要に応じてワークフローのジョブプロパティーを設定し、[OK] をクリックします。
5. [印刷環境設定] ダイアログで、[OK] をクリックします。
6. TotalFlow PM PDF Print Driverがインストールされているコンピュータで、印刷する文書を開きます。
7. [印刷] ダイアログウィンドウで、ドライバーに関連付けたプリンターの名前を選択します。



文書がTotalFlow Production Managerで開きます。

- 必要に応じてジョブプロパティを編集します。

↓ 補足

この表示からジョブプロパティまたはジョブチケットを変更する方法は、P.131「[RICOH TotalFlow Production Manager Job Submissionからジョブを送信する](#)」を参照してください。

外部接続からジョブを送信する

外部ポータルを使用して、ジョブをワークフローに送信できます。

MarcomCentralをTotalFlow Production Managerに接続する

MarcomCentralを介してジョブをTotalFlow Production Managerに送信するには、TotalFlow Production Managerに接続するMarcomCentralを設定します。

TotalFlow Production Managerに接続するMarcomCentralを設定するには、以下の操作を行います。

1. MarcomCentralの製品設定で、[自動ジョブチケット] を有効にします。有効にしない場合、対応するTotalFlow Production Managerジョブは、理由を説明したメッセージが付いたエラー状態で作成されます。
2. JobDirectの製品の場合は、[自動ジョブチケット出力ファイル] を [TotalFlow JDF with PDF] に設定します。設定しない場合、対応するTotalFlow Production Managerジョブは、JDFを取得するときにタイムアウトが発生したというメッセージが付いたエラー状態で作成されます。

↓ 補足

- JobDirectの製品のジョブチケット設定は、TotalFlow Production Managerで作成されたジョブのジョブチケット設定に自動的にマッピングされます。
- 用紙情報とTotalFlow Production Managerカタログの用紙の一致については、[P. 86](#)「TotalFlow Production Managerと他のプログラムの用紙」を参照してください。

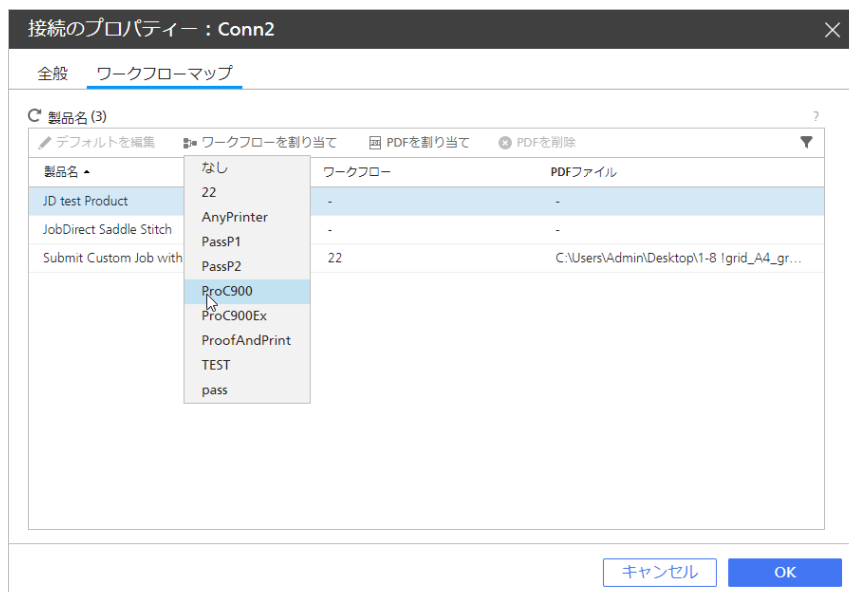
ワークフローを接続製品に関連付ける

5

MarcomCentralのような外部接続を介してジョブをTotalFlow Production Managerに送信するには、ワークフローをジョブに割り当ててください。

ワークフローを外部接続製品と関連付けるには、以下の操作を行います。

1. TotalFlow Production Managerにオペレーターまたは管理者権限を持つユーザーとしてログインします。
2. メニューバーで、[操作]をクリックします。
3. 接続を選択し、[さらに表示]をクリックします。
4. [プロパティ...]を選択します。
[接続を編集] ダイアログが表示されます。
5. [ワークフローマップ]ページで製品を選択し、[ワークフローを割り当て] をクリックします。



↓ 補足

製品に関連付けられたワークフローがない場合、ジョブはワークフローなしのエラー状態で作成されるため、ジョブをワークフローに割り当ててください。

6. 関連付けられたPDFファイルまたはダウンロードURLがない静的製品には、PDFファイルを割り当ててください。PDFを製品に割り当てるには、その製品を選択し、**[PDFを割り当て...]** をクリックします。

↓ 補足

- PDFファイルが MarcomCentral と TotalFlow Production Manager の両方に関連付けられている場合、ジョブは後者を使用します。
- MarcomCentral または TotalFlow Production Manager のいずれの製品にも関連付けられたPDFがない場合、ジョブはエラー状態で作成され、TotalFlow Production Manager にエラーメッセージが表示されます。
- 選択アイテムジョブには、選択アイテムシートと名付けられたPDFがTotalFlow Production Managerにより作成されます。PDFには注文の詳細と品目が含まれています。

[ファイルを参照] が表示されます。

7. **[ファイルを参照]** ダイアログで、サーバーからのPDFファイルを選択するか、またはWebブラウザでTotalFlow Production Managerを使用しているコンピューターからファイルをアップロードします。
[PDFファイル] の列に完全なファイルパスが表示されます。
8. PDFファイルを削除するには、製品行を選択し、**[PDFを削除]** をクリックします。
9. **[OK]** をクリックします。

MarcomCentralのジョブを操作する

注文のジョブに関連付けた製品テンプレートを元に、TotalFlow Production ManagerはMarcomCentralからの注文を自動的に受け取って処理します。

MarcomCentralからの注文を送信する前に、TotalFlow Production Managerに接続が作成されていることを確認します。接続の作成については、[P. 77 「接続を作成する」](#) を参照してください。また、**[注文を完了]** アクティビティを含むワークフローがあることも確認します。ワークフローアクティビティの作成については、[P. 219 「標準アクティビティとカスタムアクティビティ」](#) を参照してください。

MarcomCentralからのジョブを処理するには、以下の操作を行います。

1. MarcomCentralストアで作成した注文が必要です。注文には複数のジョブを入れることができます。MarcomCentralストアでの注文作成については、MarcomCentralの使用説明書をお読みください。

★ 重要

MarcomCentralジョブが**[注文を完了]** アクティビティに入ると、その状態は注文完了待ちに変更されます。注文を終了したあとでのみ、ジョブを完了するか、またはジョブを**[保持]** アクティビティに移動できます。

2. TotalFlow Production Managerにオペレーターまたは管理者権限を持つユーザーとしてログインします。
3. メニューバーで、[操作]をクリックします。
4. [全てのジョブ]ポッドでジョブを選択し、[さらに表示]をクリックします。
5. [注文詳細...]を選択します。
[注文詳細]ダイアログが表示されます。
6. すべての注文の詳細を注意して確認します。注文の詳細が正しい場合は、[閉じる]をクリックします。
7. [全てのジョブ]ポッドでジョブを選択し、[さらに表示]をクリックします。
8. [注文を完了...]を選択します。
注文の全てのジョブが完了できていない場合、警告メッセージが表示されます。
9. [はい]をクリックします。
[注文を完了]ダイアログが表示されます。注文完了ダイアログには、注文完了の各項目のタブがあります。
10. 注文の完了を実行するには、次の操作を完了してください。
 - 注文のため配送伝票を作成する
 - 請求書を作成する
 - 注文を決済する
 決済タブが表示され、注文の決済は支払い方法がクレジットカードの注文に対してのみ行われます。
11. 各タブで必要なフィールドを編集し、[OK]をクリックします。

★ 重要

- TotalFlow Production Managerからは各品目の配送額を変更できません。配送伝票には、全体の注文額が含まれています。
- 複数品目の注文には、TotalFlow Production Managerでは複数の配送伝票を作成できません。
- 注文に異なる配送住所のある複数の品目が含まれている場合、TotalFlow Production Managerにより完了が許可されず、警告メッセージが表示されます。
- TotalFlow Production Managerから請求書を作成する場合、デフォルトの品目値は変更できません。

こうした場合には、MarcomCentralで完了を実行してください。

[注文番号]ジョブ属性は[全てのジョブ]ポッドに表示可能で、ジョブ属性によりジョブをグループ化するか、またはジョブを注文するか選択できます。

MarcomCentral JobDirect注文の用紙設定を構成する

この種類のジョブには、ファイルをアップロードし、メディアと仕上げオプションを選択します。価格は選択内容により異なります。

JobDirect製品用にジョブをTotalFlow Production Managerに送信する場合のMarcomCentralの用紙設定方法と、MarcomCentralジョブをプリンターにスケジュールして印刷を可能にするためにTotalFlow Production Managerで行う用紙設定について説明します。

1. ジョブの用紙を指定できる3つのMarcomCentral JobDirectフィールドを構成します。フィールドを構成すると、ライブラリーの値または製品のために特に定義された値を使用できるようになります。

1. メディアサイズ

ライブラリーを選択し、ライブラリーの [メディアサイズ] リストを選択するか、作成します。各メディアサイズには、名前、ポータルで使用する単位で表示した幅と高さがあります。 [メディアサイズ] リストは、ライブラリーの [メディアサイズ] セクションで定義します。

2. メディアカテゴリー

ライブラリーを選択し、ライブラリーの [メディアカテゴリー] リストを選択するか、作成します。各メディアカテゴリーはテキスト名により定義されます。 [メディアカテゴリー] リストは、ライブラリーの [テキストリスト] セクションで定義します。

3. メディア種類

ライブラリーを選択し、ライブラリーの [メディア種類] リストを選択するか、作成します。各メディアカテゴリーはテキスト名により定義されます。 [メディア種類] リストは、ライブラリーの [テキストリスト] セクションで定義します。

2. [JobDirectメディア価格] の一括操作を使用して、用紙価格設定を定義します。
3. [JDFメディア] の一括操作を使用して、用紙JDF設定を定義します。

各メディア種類の値には、設定可能なJDF用紙プロパティーが数多くあります。TotalFlow Production ManagerでJobDirect注文に設定できる用紙JDFプロパティーと、関連するプロパティーの完全なリストは、[P. 270 「JobDirect注文用JDF用紙プロパティー」](#)を参照してください。

印刷済み紙

坪量

メディア種類

カラー

穴の種類

不透明度

表面質感/テクスチャー

おもて面コーティング

メディア種類の詳細

lpr 印刷コマンドを使用してジョブを送信する

lpr印刷コマンドを使用したジョブの送信方法の一例を紹介します。

ジョブを送信する前に、lpr コマンドが機能していることを確認してください。

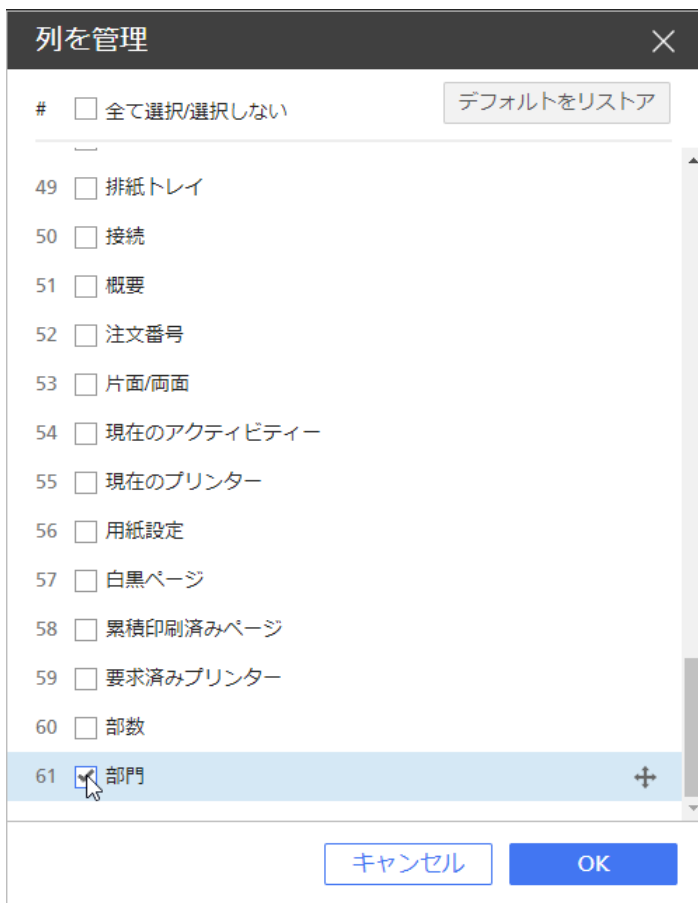
1. Windowsの [コマンドプロンプト] を開き、lprを入力します。lpr コマンドが利用できる場合は、使用状況の注記が表示されます。
2. 使用状況の注記の代わりに、lpr コマンドが内部コマンドとして認識されていないことを示すメッセージが表示される場合は、次の手順に従います。
 1. スタートメニューで、コントロールパネル → プログラム → プログラムと機能 → **Windows**の機能の有効化または無効化をクリックします。
 2. [Windowsの機能をオン/オフにする] ダイアログで、[印刷とドキュメントサービス] オプションのリストを展開します。
 3. [LPRポートモニター] を選択します。
Windowsの再起動は不要です。

↓ 補足

上記の手順はWindows 11の場合です。他のオペレーティングシステムによって内容は多少異なります。

lpr 印刷コマンドでジョブを送信するには次の手順に従います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、[操作]をクリックします。
3. パススループリンターにワークフローを関連付けます。
4. ワークフローを選択し、[さらに表示]をクリックし、[エディターとプロパティー...]をクリックします。
5. [ワークフロー]ダイアログで[プロパティー]ページを開きます。
6. [LPD]をジョブ送信種類として選択します。
7. [全てのジョブ]ポッドで、ツールアイコン (***)、[列を管理...]の順にクリックします。
[列を管理...]ダイアログが表示されます。



8. [列を管理...]ダイアログで[部門]プロパティーを選択します。
9. [OK]をクリックします。
10. Windowsの[コマンドプロンプト]で、次のlpr印刷コマンドラインを使用し、ファイルをワークフローに送信します。
`lpr -S serverName -P virtualPrinterName C:¥PDF¥FileName.pdf -J departmentName`
 ジョブがTotalFlow Production Managerに到着したときは、[部門]プロパティーは部門名の値に設定されます。

TotalFlow Production Managerでジョブを確認する

ワークフローで作成されたジョブがTotalFlow Production Managerに入ると、[全てのジョブ]ポッドに表示されます。[試し印刷]アクティビティで処理された場合は、[印刷]フェーズのジョブもまた[キュー]ポッドで[準備]フェーズのジョブと同じように表示されます。

システムでジョブを確認するには、以下の操作を行います。

- ジョブの名前、ジョブID、他の情報がある場合は、以下のいずれかを行います。
 - 適切なプロパティーごとに[全てのジョブ]ポッドをソートします。
 - 適切なプロパティーごとに[全てのジョブ]ポッドをフィルターにかけます。
 - ジョブのIDまたは名前で、[キュー]ポッドを検索します。

- ジョブが特定のプリンターまたはプリンタープールに割り当てられていることがわかっていない場合は、[操作]ページで、ジョブが割り当てられているプリンターまたはプリンタープールを選択し、[さらに表示]をクリックし、[送信済みジョブを表示]オプションを選択します。

[キュー]ポッドでジョブを検索する

[キュー]ポッドの検索機能を使用すると、[準備]と[印刷]フェーズのジョブを確認できます。

[キュー]ポッドでジョブの検索をするには、以下の操作を行います。

- [キュー]ポッドのタイトルバーで、[ジョブを検索] ボタン  をクリックします。
- 検索フィールドで、ジョブを検索する値を入力します。検索は、ジョブ名、ジョブID、特殊な指示内のテキスト、プリンター名に適用されます。

画面にはプロパティに値を入力したオブジェクトのみがハイライト表示されます。



ジョブは入力した文字列を含む値と一致します。たとえば、aはa、abc、bca、cabの文字列と一致します。

ジョブ情報を表示/変更する

TotalFlow Production Manager で、状態、プロパティ、ログなどのジョブ情報を表示します。

オペレーターと管理者はジョブ全体または選択ページのプロパティを変更できます。

ジョブ状況を表示する

管理者は、必要に応じてジョブ状況を表示し、ジョブやプリンターのプロパティを変更して一致させることができます。



プリンターとは、要求したプリンター、不一致プリンターのプリンタープール、または試し印刷が要求されたプリンターになります。

ジョブの状況を表示するには、以下の操作を行います。

- [全てのジョブ]ポッドで、ジョブを右クリックし、[状況...]を選択します。
[ジョブの状況]ダイアログが表示されます。

ジョブの状況 : GLOBE.pdf

全般	ID ?	状態 ?
キュー	10000000	未割り当て
進行状況	現在のフェーズ ?	現在のアクティビティ ?
スケジューリング	印刷	ジョブを印刷
	待機理由 ?	要求済みプリンター ?
	プリンター使用不可	ProC900
	指定日時まで保留 ?	カラーページ ?
	白黒ページ ?	

閉じる

2. プロパティのフィールドヘルプ画面を表示するには、以下の操作を行います。

1. プロパティにカーソルを置きます。
2. プロパティ名の横の [ヘルプ] ボタン (?) をクリックします。

ジョブ状況で[未割り当て]と[待機理由]が[一致するプリンターがありません]のときは、ダイアログは次のようになります。

ジョブの状況 : GLOBE.pdf

全般	ID ?	状態 ?
キュー	10000002	未割り当て
進行状況	現在のフェーズ ?	現在のアクティビティ ?
スケジューリング	印刷	ジョブを印刷
	待機理由 ?	待機理由の詳細 ?
	一致するプリンターがありません	要求済みプリンター: なし
	要求済みプリンター ?	
	カラーページ ?	指定日時まで保留 ?
	白黒ページ ?	

閉じる

[全てのジョブ]ポッドで[待機理由]列に表示された文字にカーソルを置いても[待機理由の詳細]を表示できます。

ジョブが[エラー]状態にあるとき、ジョブが[エラー]状態に入った理由と問題を解決するためにとるべき操作を説明したメッセージが表示されます。

ジョブの状況 :

×

全般

キュー

進行状況

スケジューリング

ID ?

10000038

エラー ?

エラー

エラー詳細 ?

AIVWP6355E

現在のフェーズ ?

受信

現在のアクティビティ ?

入力データを検出

待機理由 ?

要求済みプリンター ?

指定日時まで保留 ?

カラーページ ?

白黒ページ ?

閉じる

ジョブの部数を変更する

[ジョブのプロパティ]ダイアログから、また、[全てのジョブ]ポッドから直接ジョブの部数を変更できます。

ジョブの部数を素早く変更するには、次の手順に従います。

1. [全てのジョブ]ポッドでジョブを選択して、[さらに表示]をクリックするか、そのジョブで右クリックします。
2. 表示されたオプションリストで、[部数...]をクリックします。
[部数]ダイアログが表示されます。

部数

×

部数 ?

1

−

+

キャンセル

OK

3. [部数]フィールドに、ジョブの印刷部数を入力します。
4. [OK]をクリックします。

↓ 補足

【全てのジョブ】ポッドでジョブに設定できる最大部数は9999です。最大32767部数を印刷できるようにするには、【部数】ダイアログから【ジョブのプロパティ】の値を設定し、TotalFlowプリントサーバーデバイスに関連付けられたワークフローにジョブを送信します。

ジョブプロパティを表示する

ジョブプロパティセクションでは、印刷ジョブを設定できます。このセクションは、ジョブを微調整できるサブセクションに分割されています。

【ジョブプロパティエディター】を表示するには、以下の操作を行います。

1. リストからジョブを選択します。
2. 編集アイコン (✎) をクリックし、エディターを開いてジョブのオプションを変更します。

5

デフォルト値と上書き値

ジョブが仮想プリンターに送信されたとき、ジョブは値を含まないプロパティに仮想プリンターのデフォルト値を使用します。すべてのジョブプロパティにジョブチケットの値ではなく仮想プリンターの上書き値を使用します。

デフォルト値と上書き値を切り替えるには、以下の操作を行います。

1. 【ジョブデフォルトと上書き】を開きます。
2. 特定の値を含む属性を選択します。ラベルの左側で、アイコン (🔒) が選択した値がデフォルト値であることを示します。
3. 既存の値を選択した値に置き換えるには、デフォルト値と上書き値のアイコン (🔓) をクリックします。デフォルトや上書きアイコンが表示されているときには、上書きモードが有効です。

変更した属性のデフォルト値として選択した値を使用します。値を設定していない場合は、アイコン (🔒) でデフォルトと上書きオプションが無効であることが表示されます。

複数のジョブを編集する

選択したすべてのジョブに同じ設定を適用したり、削除したりすることができます。

ポートレットで複数のジョブが選択されていることを確認します。

【ジョブプロパティエディター】にある複数のジョブを編集するには、以下の操作を行います。

1. 編集アイコン (✎) をクリックし、[ジョブプロパティエディター] を開きます。
2. 全ての選択されたジョブに設定を適用するには、設定を変更し、横にあるチェックボックスを選択します。
3. 全てのジョブに適用された設定を削除するには、横にあるチェックボックスをオフにします。

変更を加えたら、ジョブを含むポートレットで確認してください。

ジョブプロパティを変更する

ジョブのプロパティを変更できます。

ジョブプロパティセクションには、以下の設定があります。

- [基本設定]
- [印刷方法/認証] 設定
- [レイアウト] 設定
- [用紙] 設定
- [余白/トンボ] 設定

↓ 補足

[余白/トンボ] 設定はプリンター設定で対応するときのみ使用できます。

- [仕上げ] 設定
- [例外ページ] 設定
- [表紙] 設定
- [シート] 設定
- [カラー] 設定

↓ 補足

[カラー] 設定はプリンター設定で対応するときのみ使用できます。

- [印刷品質] 設定

↓ 補足

[印刷品質] 設定はプリンター設定で対応するときのみ使用できます。

- [スペシャルカラー] 設定

↓ 補足

[スペシャルカラー] 設定は [スペシャルカラー] 拡張キットが取り付けられているときにのみ使用可能です。

- [スタンプ印字] 設定

↓ 補足

[スタンプ印字] 設定はプリンター設定で対応するときのみ使用できます。

ジョブオプションを変更する

このセクションでは、印刷ジョブに関する基本情報を表示して編集できます。

ジョブオプションにアクセスするには、以下の操作を行います。

1. [ジョブプロパティエディター] を開きます。
2. 画面左側の [印刷方法/認証] をクリックします。
3. 表示されるオプションを使用し、ジョブをカスタマイズします。

ジョブオプションを設定する

ジョブの基本情報を編集できます。

ジョブオプションを設定するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の [印刷方法/認証] をクリックします。
2. [部数] フィールドに印刷部数を入力します。
3. 印刷するページを指定するには、単一ページ、コンマ区切りの複数ページ、またはページ範囲を [ページ範囲] フィールドに入力します。

↓ 補足

このフィールドは、プリンター構成で対応しているときにのみ使用できます。

4. [印刷モード] のリストからオプションを1つ選択し、印刷、保留、またはその両方を選択します。

↓ 補足

この値は、プリンター構成で対応しているときにのみ使用できます。

5. [ジョブ情報] グループを展開します。
6. [ジョブ名] フィールドにジョブ名を入力します。
7. [ユーザーコード] フィールドが使用可能な場合は、コードを入力します。このコードは請求書の作成と追跡のために使用します。
8. [期限日] のリストから [納期] を選択することでジョブの印刷日時を設定します。
9. ジョブを作成するユーザーを指定するには、[ユーザー名] フィールドに名前を入力するか、リストから登録済みのユーザーを選択します。
10. ジョブを所有するユーザーを指定するには、[お客様] フィールドに名前を入力します。
11. バナーページをジョブに追加するには、[バナーページ情報] フィールドでバナーに印刷する情報を編集します。
12. ジョブ処理に追加指示の指定が必要な場合は、[特殊な指示] フィールドを使用します。
13. [備考1] と [備考2] フィールドで、ジョブの詳細情報を追加します。
14. [概要] フィールドで、ジョブを説明するテキストを入力します。

バリエブルデータ設定を編集する

バリエブルデータ印刷データ形式を使用すると、レコードを含むカスタム文書を印刷できます。

バリエブルデータ設定を編集するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の「印刷方法/認証」をクリックします。
2. 「バリエブルデータ設定」に移動してセクションを開きます。
3. PDFファイルを含むジョブのオブジェクトをキャッシュに保存し、再利用するかどうかを指定するには、「PDFジョブ オブジェクトのキャッシュ」のリストから値を選択します。

ジョブの優先度を設定する

ジョブの優先度を指定できます。

ジョブの優先度を設定するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の「印刷方法/認証」をクリックします。
2. 「詳細設定」の「優先度」に移動します。
3. 必要に応じてチェックを付け、「優先度」入力欄を有効にします。
4. ジョブの優先度を最高にする場合は100、最低にする場合は1を入力します。

ジョブ保存オプションを設定する

ジョブを保存するかどうかを指定し、保存する場合は保存期間を指定します。

ジョブを保存するかどうか、またはジョブの保存方法を設定するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の「印刷方法/認証」をクリックします。
2. 下にスクロールし、「詳細設定」の下にある「保存」に移動します。
3. 現在のジョブで「保存」を「しない」にするには、リストから「しない」を選択します。
4. ジョブを保存するには、「無期限に保存」を選択します。
5. 印刷後に指定期間ジョブを保存するには、「指定期間まで保存」を選択し、ジョブを保存する日数と時間を設定します。

フォントを置換する

フォントが見つからない場合はそのフォントの置換を選択できます。

フォントを置換するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の「印刷方法/認証」をクリックします。
2. 下にスクロールし、「詳細設定」に移動します。
3. 「フォント置換」のリストから「する」を選択します。

特定のページ範囲に異なる面付けを設定する

ページ範囲に対して異なる面付けを選択できます。

特定のページの範囲にのみ異なる面付けを設定するには、以下の操作を行います。

1. [印刷方法/認証] に移動します。
2. [ページ範囲] フィールドでページ範囲を設定します。
3. 下にスクロールし、[詳細設定] に移動します。
4. [ページ範囲面付け] のリストから [選択したページを再フロー] を選択します。

プリンタープリセットを選択する

ジョブの印刷に使用するプリンタープリセットを指定します。

プリンター設定のパラメーターを選択するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の [印刷方法/認証] をクリックします。
2. 下にスクロールし、[詳細設定] に移動します。
3. [プリンタープリセット] に移動します。
4. プリンタープリセットの設定をリストから選択します。
5. プリンタープリセット値を使用して印刷するには、[任意] を選択します。

5

プリンター機能を選択する

ジョブの印刷に使用するプリンター機能を指定します。

プリンター機能を選択するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の [印刷方法/認証] をクリックします。
2. 下にスクロールし、[詳細設定] に移動します。
3. [プリンター機能] に移動します。
4. プリンター機能をリストから選択します。

Postflightオプションを選択する

印刷済みジョブで期待どおりのカラー出力を達成できない理由が分かります。

[Postflight] オプションを選択するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の [印刷方法/認証] をクリックします。
2. [Postflight] に移動します。
3. リストからオプションを選択します。

レイアウト設定を編集する

このセクションでは、印刷ジョブでページをレイアウトする方法を指定できます。

レイアウトオプションにアクセスするには、以下の操作を行います。

1. [ジョブプロパティエディター] を開きます。
2. 画面左側の [レイアウト] をクリックします。
3. 表示されるオプションを使用し、レイアウト設定を編集します。

中とじレイアウトを設定する

文書のページを中とじスタイルで印刷することもできます。

中とじのレイアウトの種類を指定するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の［レイアウト］をクリックします。
2. 〔無線とじ/中とじ〕セクションに移動します。
3. 〔面付け〕の値を〔中とじ〕に設定します。

ギャングアップレイアウトを設定する

複数のページを1枚の用紙にまとめるには、ギャングアップレイアウトを使用します。

ギャングアップレイアウトの種類を指定するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の［レイアウト］をクリックします。
2. 〔ギャングアップ〕セクションに移動します。
3. 〔面付け〕の値を〔リピート〕または〔スピード〕に設定します。
4. 〔シート当たりのページ数〕の値を〔2〕以上に設定します。

画像自動回転設定を変更する

用紙の方向に対する画像の回転を手動で変更できます。

自動回転の設定を変更するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の［レイアウト］をクリックします。
2. 〔通常〕セクションに移動します。
3. 〔自動回転〕に移動し、〔しない〕を選択して画像の回転を手動で変更します。

↓ 補足

- 〔自動回転〕オプションにより、画像の長辺をシートまたはページの長辺と揃えることができます。画像とシートの向きが異なる場合、画像の上端または左端が〔ひらき方向〕と自動的に一致します。
- 〔自動回転〕オプションが無効の場合、〔シート当たりのページ数〕に移動し、値を〔1〕に設定します。

印刷面を選択する

シートの印刷面を指定できます。

印刷面を選択するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の［レイアウト］をクリックします。
2. レイアウト種類を選択し、〔印刷面〕に移動します。
3. 片面のみを印刷するには、〔おもて面（片面）〕を選択します。
4. 用紙のうら面にのみ印刷するには、方向設定に応じて、〔うら面（片面）〕。

↓ 補足

この値は、プリンター構成で対応しているときにのみ使用できます。

5. 用紙の両面に印刷する場合は、方向設定に応じて、[両面]。

ページ方向を変更する

ジョブのページのレイアウトタイプを選択できます。

タテからヨコのレイアウトにページ方向を変更するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の [レイアウト] をクリックします。
2. レイアウト種類を選択し、[方向] に移動します。
3. リストから [ヨコ] を選択します。

★重要

選択する方向は印刷ファイルのページ方向と一致させてください。印刷ファイルに結合レイアウトがある場合は、ページ数が一番多い方向と一致するように設定してください。仮想プリンターに送信するジョブの方向は仮想プリンターと同じ方向にしてください。同じ方向にしない場合は、ジョブが期待どおりに印刷されない場合があります。

たとえば、印刷ファイルが10ページで構成され、そのうち7ページがタテ、3ページがヨコの場合、方向をタテに設定し、多数のページの方向と一致させてください。

ひらき方向を選択する

シートを開く方向を指定できます。

シートを開くまたはめくる方向を選択するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の [レイアウト] をクリックします。
2. レイアウト種類を選択し、[ひらき方向] に移動します。
3. 右から左にシートを開くには、[左ひらき] を選択します。選択すると、[とじ位置] が [左] に自動的に設定されます。
4. 下から上にシートを開くには、[上ひらき] を選択します。選択すると、[とじ位置] が [上] に自動的に設定されます。
5. 左から右にシートを開くには、[右ひらき] を選択します。選択すると、[とじ位置] が [右] に自動的に設定されます。

↓補足

この値はプリンター設定で対応しているときにのみ使用できます。

ページの画像を回転させる

ページの画像を回転させる角度を選択できます。

値を指定してジョブの各ページの画像を反時計回り方向に回転させるには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の [レイアウト] をクリックします。
2. レイアウト種類を選択し、[回転角度] に移動します。
3. ボタンをクリックし、ページの画像を回転させる角度を選択します。

↓ 補足

自動的に実行される回転に加えてこの設定を使用できます。自動回転は、画像の長編をシートまたはページの長辺と揃えます。この「回転角度」オプションはプリンター設定で対応しているときにのみ使用できます。

画像を調整する

印刷サイズ、アップサイズ、用紙サイズに合わせて画像を拡大縮小できます。

縮小または拡大して画像を合わせるかどうかを指定するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の「レイアウト」をクリックします。
2. レイアウト種類を選択し、「画像」の「縮小/拡大」に移動します。
3. 用紙サイズに合わせて画像を縮小するには、「印刷サイズに合わせる」を選択します。

↓ 補足

この値は、プリンター構成で対応しているときにのみ使用できます。

4. 複数のページがあるとき、用紙サイズまたはページに合わせて画像を縮小するには、「縮小して合わせる」を選択します。
5. 画像の元のサイズを保持するには、「しない」を選択します。

画像を位置揃える

用紙の原点に対して、ページ上の画像を位置揃えできます。

画像の位置を揃える方法を指定するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の「レイアウト」をクリックします。
2. レイアウト種類を選択し、「画像」の「画像位置揃え」に移動します。
3. シートの中央に画像を配置するには、「中央」を選択します。
4. 画像とシートの特定の角を合わせるには、「左下」、「左上」、「右上」、「右下」から1つ選択します。

↓ 補足

これらの値は、プリンターの設定で対応している場合にのみ使用できます。

画像の位置を変更する

用紙の原点に対して、ページ上の画像の配置を変更できます。

画像をオフセットする量を指定するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の「レイアウト」をクリックします。
2. レイアウト種類を選択し、「画像」の「印刷位置調整」に移動します。
3. 必要に応じて、「印刷位置調整」をクリックして有効にします。
4. 両面設定では、「おもて面とうら面に同じ印刷位置調整を適用」にチェックを付けてうら面とおもて面に同じ値を設定できます。
5. 「おもて面」と「うら面」フィールドで最大3桁の正または負の数を入力します。

6. [単位] のリストから測定単位を選択します。

↓ 補足

- 表示用にシートが回転したときは、印刷位置調整も回転します。
- XとY矢印は印刷位置調整方向を示します。

新しいユーザー設定レイアウトを追加する

ジョブにユーザー設定レイアウトを作成できます。

↓ 補足

このセクションは、プリンター構成で対応しているときにのみ使用できます。

新しいユーザー設定レイアウトを追加するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の [レイアウト] をクリックします。
2. [通常] に移動し、[シート当たりのページ数] のリストから [1] より大きい値を選択します。
3. [ユーザー設定レイアウトを追加] をクリックします。
4. 両面で同じ設定を維持するには、[両面に同じレイアウトを使用] にチェックを付けます。
5. カスタマイズするレイアウトの位置を選択するには、選択するページをクリックし、[場所] リストで矢印を使用するか、別のページにドラッグアンドドロップします。
6. [回転角度] オプションを1つクリックし、選択した位置に配置された画像の回転角度を指定します。
7. 位置に合わせて画像を縮小または拡大するには、[縮小/拡大] のリストから値を選択します。
8. 選択した位置に配置する画像のオフセット量を指定するには、[印刷位置調整] をクリックして有効にし、XフィールドとYフィールドに値を入力します。

↓ 補足

[ユーザー設定順序を維持] のチェックを外した場合、ページの配列は [レイアウト] で指定した順序と同じです。[ユーザー設定順序を維持] のチェックボックスはページの配列の変更時に自動的に選択されます。

用紙設定を変更する

このセクションでは、ジョブに選択した用紙に関する情報を確認できます。

用紙設定オプションにアクセスするには、以下の操作を行います。

1. [ジョブプロパティエディター] を開きます。
2. 画面左側の [用紙] をクリックします。
3. 表示されるオプションを使用し、用紙設定をカスタマイズします。

手動用紙を追加する

ジョブに手動用紙を選択することができます。

1. [ジョブプロパティエディター] を開きます。
2. 画面左側の [用紙] をクリックします。
3. [用紙] リストを展開し、[手動用紙] をクリックして、[手動用紙を追加] ダイアログを開きます。
4. [給紙トレイ]、[サイズ]、[坪量]、[種類] など用紙のプロパティを設定します。

手動用紙を更新する

手動用紙のプロパティを更新できます。

1. [ジョブプロパティエディター] を開きます。
2. 画面左側の [用紙] をクリックします。
3. [用紙] フィールドに移動してリストを展開します。
4. [手動用紙] セクションで、編集する用紙にカーソルを置き、更新アイコンをクリックして [手動用紙を更新] ダイアログを表示します。

用紙の不定形サイズを設定する

用紙の幅と高さを設定できます。

1. [ジョブプロパティエディター] を開きます。
2. 画面左側の [用紙] をクリックします。
3. [サイズ] に移動し、リストから [不定形] を選択します。
4. [幅] と [高さ] フィールドに不定形値を入力します。

用紙リストで用紙を選択する

[用紙リスト] モードでは、リストに定義されている用紙を選択し、給紙トレイを変更できます。

1. [ジョブプロパティエディター] を開きます。
2. 画面左側の [用紙] をクリックします。
3. [用紙] を展開し、[用紙リスト] をクリックします。
4. [用紙リスト] ウィンドウで、[リスト用紙] セクションの用紙をクリックします。

用紙をソートする

[用紙リスト] で用紙をソートできます。

1. [ジョブプロパティエディター] を開きます。
2. 画面左側の [用紙] をクリックします。
3. [用紙] リストを展開します。

4. [用紙リスト] をクリックします。
5. 列見出しをクリックし、用紙の属性に基づいて用紙をソートします。

↓ 補足

昇順または降順でソートするには、再度列見出しをクリックします。

用紙リストを検索する

検索機能を使用すると、検索する属性と一致するリストの用紙を見つけることができます。プロパティの表示に基づいて単一キーワードまたはキーワードを含む文字列で用紙を検索できます。用紙のすべてのプロパティと一致すると、検索は絞り込まれます。

マークとブリード設定を変更する

このセクションでは、余白、マーク、ブリード、ノドを編集できます。

↓ 補足

5

[余白/トンボ] 設定はプリンター設定で対応するときのみ使用できます。

断裁サイズのオプションにアクセスするには、以下の操作を行います。

1. [ジョブプロパティエディター] を開きます。
2. 画面左側の [余白/トンボ] をクリックします。
3. 表示されたオプションを使用して設定を編集します。

ブリード領域を設定する

ブリード設定を指定できます。

ブリード領域を設定するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の [余白/トンボ] をクリックします。
2. 用紙種類を設定し、縮小または拡大して画像を合わせるかどうかを指定するには、[縮小/拡大] のリストからオプションを選択します。
3. [余白/間隔設定] をクリックして有効にします。
4. [ブリード] に移動し、垂直方向または水平方向へのブリードの幅を指定します。

シートの複数のページ間の距離を設定する

ノド設定を指定できます。

用紙の複数のページ間の距離を設定するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の [余白/トンボ] をクリックします。
2. 用紙種類を設定し、縮小または拡大して画像を合わせるかどうかを指定するには、[縮小/拡大] のリストからオプションを選択します。
3. [余白/間隔設定] をクリックして有効にします。
4. [ノド] に移動し、垂直方向と水平方向へのノドの幅を指定します。

余白を設定する

仕上がりサイズと用紙端の間の余白を設定できます。



〔余白/トンボ〕設定はプリンター設定で対応するときのみ使用できます。

シートの余白を指定するには、次の手順を実行します。

1. 画面左側の〔余白/トンボ〕をクリックします。
2. 〔余白/間隔設定〕をクリックして有効にします。
3. 〔余白〕に移動します。
4. 仕上がりサイズとシートの外端間の領域を示す上下左右の余白を設定するには、対応するフィールドに値を設定します。



すべての余白を同じ値にするには、〔同じ余白を使用〕にチェックを付けます。

コーナートンボを印刷する

センターとコーナートンボマークを印刷するシートの面を選択できます。



〔余白/トンボ〕設定はプリンター設定で対応するときのみ使用できます。

トンボマークの印刷方法を指定するには、次の手順を実行します。

1. 画面左側の〔余白/トンボ〕をクリックします。
2. 角にトンボを印刷するには、以下の操作を行います。
 1. 〔コーナートンボ〕リストから、トンボを印刷する面を選択します。
 2. コーナートンボの形状を選択します。〔シングル〕スタイルは仕上げサイズの断裁位置を示し、〔日本式〕スタイルはブリードの端と仕上げサイズの断裁位置を示します。
 3. 線の太さをポイント単位で指定するには、〔太さ〕フィールドに値を入力します。
 4. シートの角にコーナートンボを印刷するには、〔端まで印刷〕を選択します。
 5. 特定の長さを使用する場合は、〔ユーザー設定〕を選択します。
 6. 水平方向と垂直方向の長さの値を入力し、測定単位を選択します。



トンボを印刷するには、十分な余白を設定してください。

3. 中央にトンボを印刷するには、以下の操作を行います。
 1. 〔センタートンボ〕リストから、トンボを印刷する面を選択します。
 2. センタートンボの形状を選択します。
 3. 〔オフセット〕フィールドに値を入力し、トンボのセンターから仕上げサイズの端までの移動量を指定します。
 4. オフセット単位を指定するには、〔単位〕リストを使用します。

仕上げオプションを変更する

このセクションでは、ジョブの仕上げ設定を表示して編集できます。

仕上げオプションにアクセスするには、以下の操作を行います。

1. [ジョブプロパティーエディター] を開きます。
2. 画面左側の [仕上げ] をクリックします。
3. 表示されるオプションを使用し、仕上げ設定をカスタマイズします。

ステーブル/製本方法を設定する

ジョブ内のページをどのようにステーブルするか、または製本するかを選択できます。

ステーブルを挿入するか製本方法を選択するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の [仕上げ] をクリックします。
2. [ステーブル/製本] に移動します。
3. リストから、ジョブのページをステーブルまたは製本するかどうかを選択します。

パンチ方法を選択する

ジョブのパンチ方法を選択できます。

ジョブのページをパンチする方法を選択するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の [仕上げ] をクリックします。
2. [パンチ] に移動します。
3. [パンチ] リストからパンチ方法を選択します。

折りの方法を選択する

ジョブまたはジョブの大きいシートを折る方法を指定できます。

折りの方法を選択するには、次の手順を実行します。

1. 画面左側の [仕上げ] をクリックします。
2. [折りの種類] に移動します。
3. リストから折りの方法を1つ選択します。

排紙トレイを変更する

排紙に使用するトレイを選択できます。

排紙トレイを変更するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の [仕上げ] をクリックします。
2. [排紙トレイ] に移動します。
3. プリンターで使用可能な排紙トレイのいずれかを選択します。

★重要

折られていない用紙は、多機能紙折りユニットの排紙トレイに送ることができません。混合用紙を含むジョブを印刷する場合、用紙仕上げに[Z折り]があるときは、フィニッシュトレイを排紙トレイに指定します。

未使用タブのトレイを選択する

使用されなかったタブの排紙トレイを選択できます。

未使用のタブのトレイを選択するには、次の手順を実行します。

1. 画面左側の[仕上げ]をクリックします。
2. [未使用タブを排紙]に移動します。
3. プリンターで使用可能なトレイを1つ選択します。

ジョブ部数をソートする

ジョブの部数をソートする方法を選択できます。

部数のソート方法を指定するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の[仕上げ]をクリックします。
2. [ソート]フィールドに移動し、使用しているプリンターで利用可能なオプションのいずれかを選択します。

ジョブ部数を出力する

排紙トレイに[おもて面を上]または[おもて面を下]のどちらで出力するかを指定します。

排紙方法を指定するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の[仕上げ]をクリックします。
2. おもて面が下で先頭ページを一番下にして印刷するには、リストから[おもて面を下]を選択します。
3. おもて面が下で先頭ページを一番上にして印刷するには、リストから[おもて面を下、最終ページから印刷]を選択します。
4. おもて面が上で先頭ページを一番下にして印刷するには、リストから[おもて面を上]を選択します。
5. おもて面が上で先頭ページを一番上にして印刷するには、リストから[おもて面を上、最終ページから印刷]を選択します。

テープ挿入方法を選択する

ジョブまたは部数の境界の目印として、スタックされた出力にテープを挿入できます。

テープ挿入方法を選択するには、次の手順を実行します。

1. 画面左側の[仕上げ]をクリックします。
2. [テープ挿入]に移動します。
3. リストからオプションを選択します。

ミシン目を入れる方法を選択する

シートにミシン目の線を作成できます。

ジョブにミシン目を入れる方法を指定するには、以下の手順に従います。

1. 画面左側の「仕上げ」をクリックします。
2. 「ミシン目」に移動します。
3. リストからミシン目を入れる方法を1つ選択します。

折り目を入れる方法を選択する

シートに折り目をつけることができます。

ジョブにクリースを入れる方法を指定するには、以下の手順に従います。

1. 画面左側の「仕上げ」をクリックします。
2. 「クリース」に移動します。
3. リストからクリースを入れる方法を1つ選択します。

最大印刷可能領域に印刷する

印刷で最大領域を使用できます。

最大印刷可能領域を使用するには、次の手順を実行します。

1. 画面左側の「仕上げ」をクリックします。
2. 「最大印刷可能領域に印刷」にチェックを付けます。

例外ページを使用する

このセクションを使用して、白紙ページを挿入し、既存のページの設定を修正または置換します。

例外ページは、以下のとおりです。

- 「挿入」
- 「置換」
- 「サブセット」

↓ 補足

「面付け」、「用紙」、「仕上げ」オプションの設定を構成してから、「例外ページ」セクションの構成を行います。例外ページは最初に追加されるときにこれらの設定を継続します。

印刷済み紙または白紙を追加する

印刷済みページや白紙ページをジョブに挿入できます。

印刷済み紙または白紙のページをページの前後に挿入するには、以下の操作を行います。

1. 「例外ページ」に移動します。
2. 「挿入」をクリックします。

3. [前] または [後] をクリックしてから、[ページ] フィールドにページ番号を入力します。
4. [用紙] のリストから用紙を選択します。ジョブと同じ用紙を維持するには、[デフォルトを使用] の値を選択します。
5. [挿入枚数] フィールドに印刷部数を入力します。
6. [追加] をクリックします。

ジョブのページを変更する

[置換] セクションでは、ページの用紙、カラー、印刷面、画像設定またはページ範囲を修正できます。置換した最初のページから新しい章を開始することもできます。

1. [置換] をクリックします。
2. [ページ] で番号または範囲を入力します。

↓ 補足

値を指定するには、単数ページ（1など）やハイフン区切りのページ範囲（1-10など）を入力します。ページ範囲を入力するとき、範囲の各ページが置換されます。

3. 用紙、カラー、印刷面、または画像設定を選択します。

↓ 補足

ジョブと同じ用紙、カラー、印刷面、画像設定を使用するには、[デフォルトを使用] を選択します。

4. 置換で新しい章を開始するには [新しい章を開始] にチェックを付けます。
5. [追加] をクリックします。

ページのサブセットを仕上げる

特定のページのサブセットを仕上げる方法を指定できます。

ページのサブセットの仕上げオプションを選択するには、以下の操作を行います。

1. [例外ページ] に移動します。
2. [サブセット] をクリックします。
3. [ページ] でサブセットの番号または範囲を入力します。
4. サブセットをステープルする方法を指定するには、[ステープル] のリストから値を1つ選択します。
5. 挿入紙をサブセットページと一緒に留めるには、[挿入] に移動します。すべての挿入紙、サブセットページの前の挿入紙、またはサブセットページの後の挿入紙を選択できます。
6. サブセットをパンチする方法を指定するには、[パンチ] のリストから値を1つ選択します。

↓ 補足

このフィールドは、プリンター構成で対応しているときにのみ使用できます。

7. サブセットを折る方法を指定するには、[折りの種類] のリストから値を1つ選択します。

 補足

このフィールドは、プリンター構成で対応しているときにのみ使用できます。

8. [追加] をクリックします。

タブを削除する

[タブ] セクションで、タブを削除できます。

ジョブからタブを削除するには、次の手順を実行します。

1. [例外ページ] に移動します。
2. [タブ] をクリックします。
3. [タブ位置] に移動します。
4. 例外ページに移動し、リストからタブを選択します。
5. 1つのタブを削除するには、[削除] アイコン、すべてのタブを削除するには、[全て削除] アイコンをクリックします。

5

表紙を追加する

このセクションでは、さまざまな種類の表紙を追加できます。

追加できる表紙の種類は [レイアウト] と [仕上げ] セクションの設定によります。

表紙とうら表紙をジョブに追加する

白紙、印刷済み紙、または印刷済みの表紙をジョブに追加できます。

1. [表紙] に移動します。
2. 印刷済み紙または白紙のおもて表紙を追加するには、[表紙] で [印刷済み紙] を選択します。
3. 印刷済みのおもて表紙を追加するには、[表紙] で印刷面オプションを選択します。
4. [両方の表紙で同じ設定を使用] にチェックを付け、[うら表紙] を追加します。
5. [両方の表紙で同じ設定を使用] のチェックを外すと、別の [うら表紙] を追加します。

印刷済みまたは空白の表紙を冊子に追加する

ジョブ全体をラップする表紙を追加できます。

冊子表紙を追加するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の [レイアウト] をクリックします。
2. [中とじ] セクションに移動します。
3. [面付け] の値を [中とじ] に設定します。
4. [冊子表紙] に移動し、[印刷済み紙] を [表紙] に設定します。

↓ 補足

〔表紙〕と〔仕上げ〕セクションは〔冊子表紙〕の設定を表示するために更新されます。

くるみ製本ジョブに表紙を追加する

また、ジョブ全体を包み込むくるみ製本表紙を付けることもできます。

くるみ製本表紙を追加するには、次の手順を実行します。

1. 画面左側の〔仕上げ〕をクリックします。
2. 〔ステープル/製本〕に移動し、〔くるみ製本〕を選択し、〔くるみ製本表紙〕を有効にします。
3. 〔表紙用給紙トレイ〕リストからくるみ製本に表紙の用紙がセットされている給紙トレイを示します。

TotalFlowプリントサーバーの設定から、次の手順で〔くるみ製本表紙〕を設定することもできます。

4. 〔表紙にする用紙〕リストから用紙を選択します。

↓ 補足

くるみ製本用のインサートトレイの1つにセットされた用紙を使用するには、〔デフォルトを使用〕を選択します。

5. 〔表紙の印刷面〕に移動し、くるみ製本ジョブの表紙の印刷面を選択できます。〔表紙の印刷位置調整〕を設定し、印刷画像をシフトします。

★ 重要

〔表紙の印刷面〕フィールドを有効にするには、〔表紙にする用紙〕の選択または〔シート当たりのページ数〕を変更します。印刷ファイルの最後のページは背表紙を含めページ全体があらかじめ適切な形式である必要があります。

用紙を挿入する

このセクションでは、区切り紙や合紙の挿入を有効または無効にできます。

シートオプションにアクセスするには、以下の操作を行います。

1. 〔ジョブプロパティエディター〕を開きます。
2. 画面左側の〔シート〕をクリックします。
3. 表示されるオプションを使用し、シートの挿入を有効または無効にします。

ジョブ区切り紙を挿入する

前のジョブとの間にジョブ区切り紙を挿入するかどうかを指定します。

↓ 補足

このフィールドは、プリンター設定で対応するときのみ使用できます。

ジョブ区切り紙を挿入するには、以下の操作を行います。

1. 〔シート〕をクリックします。
2. 〔ジョブ区切り紙〕セクションで〔する〕ボタンを選択します。

3. [用紙] リストから用紙を選択します。
4. [位置] リストから、区切り紙を挿入する位置を指定するオプションを選択します。

ソート区切り紙を挿入する

ソートしたジョブの部数にソート区切り紙を挿入するかどうかを指定します。

↓ 補足

このフィールドは、プリンター設定で対応するときのみ使用できます。

ソート区切り紙を挿入するには、以下の操作を行います。

1. [シート] をクリックします。
2. [ソート区切り紙] セクションで [する] ボタンを選択します。
3. [用紙] リストから用紙を選択します。
4. [間隔] - [部数] フィールドに、区切り紙間の部数を入力します。

5

合紙を挿入する

ジョブ内に合紙を挿入することができます。

合紙を挿入するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の [シート] をクリックします。
2. [合紙] セクションで使用するオプションを選択します。

カラー設定を変更する

このセクションでは、ジョブのカラー設定を表示して編集できます。

カラー設定オプションにアクセスするには、以下の操作を行います。

1. [ジョブプロパティエディター] を開きます。
2. 画面左側の [カラー] をクリックします。
3. 表示されるオプションを使用し、カラー設定をカスタマイズします。

カラー/白黒で印刷する

フルカラーでも、白黒でも印刷できます。

出力の印刷方法を指定するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の [カラー] または [基本設定] をクリックします。

↓ 補足

プリンターの設定によっては [カラー] セクションが表示されない場合があります。

2. [カラー/白黒] に移動します。
3. フルカラーで印刷するには、[カラー] を選択します。
4. モノクロ印刷するには、[白黒] を選択します。

5. C、M、Y、K、および追加のインク色を使用してフルカラーで印刷するには、**「CMYK+」**を選択します。

↓ 補足

また、スポットカラーをレンダリングする場合にのみCMYK+カラーモデルを使用するように指定し、出力プロファイルの名前を選択することもできます。

印刷する色版を指定する

どの色版で印刷するかを指定します。

すべての色版を印刷するか、一部のみを印刷するかを選択できます。

1. 画面左側の**「カラー」**をクリックします。
2. **「指定した版で印刷」**に移動します。
3. **「スペシャル」**の色版を除くすべての色版を印刷するには、**「CMYK」**を選択します。
4. **「スペシャル」**の色版を含むすべての色版を印刷するには、**「すべて」**を選択します。
5. 特定の色版または特定の色版のセットのみを印刷するには、**「ユーザー設定」**を選択します。**「印刷」**リストに色版を追加または削除できます。

↓ 補足

- **「スペシャル」**版はプリンター設定で対応するときのみ使用できます。

「コントロールバー」の印刷

各シートに**「コントロールバー」**（カラーバーや余白情報を含む）を印刷するかどうかを指定します。

コントロールバーを印刷するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の**「カラー」**をクリックします。
2. **「コントロールバー」**に移動します。
3. 各シートにコントロールバーを印刷し、トナー濃度を確認し、プリンターの安定性を追跡するには、**「する」**を選択します。

カラープロファイルを設定する

ジョブの入力プロファイル、参照プロファイル、プリンタープロファイルを設定できます。

↓ 補足

- **「画像」**、**「テキスト」**、**「ラインアート」**、**「スムーズシェード」**の各オプションは、TotalFlow プリントサーバー DFEを搭載したプリンターにジョブを送信する場合にのみ使用できます。
1. 画面左側の**「カラー」**をクリックします。
 2. **「入力プロファイル」**を設定するには、以下の操作を行います。
 1. **「入力プロファイル」**セクションに移動してセクションを開きます。

2. CMYK入力プロファイルの場合は、[CMYK入力プロファイル] に移動し、[詳細を表示] をクリックし、[画像]、[テキスト]、[ラインアート]、[スムーズシェード] オブジェクトごとのプロファイルを選択します。
 3. プリンターで埋め込みPDF/X出力インテントをCMYK入力プロファイルとして使用する場合は、[PDF/X出力インテントを使用] のリストから[する]を選択します。
 4. RGB入力プロファイルの場合は、[RGB入力プロファイル]、[詳細を表示] に移動し、[画像]、[テキスト]、[ラインアート]、[スムーズシェード] オブジェクトのプロファイルを選択します。
 5. グレー入力プロファイルの場合は、[グレー入力プロファイル]、[詳細を表示] に移動し、[画像]、[テキスト]、[ラインアート]、[スムーズシェード] オブジェクトごとのプロファイルを選択します。
3. RGB分割を使用することで、1つのデバイスで別のデバイスのシミュレーションの実行を許可するには、[基準プロファイル] のリストからプロファイルを選択します。
4. [プリンタープロファイル] を設定するには、以下の操作を行います。
1. [プリンタープロファイル] セクションに移動してセクションを開きます。
 2. おもて面のプリンタープロファイルを設定するには、[プリンタープロファイル、おもて]、[詳細を表示] に移動し、[画像]、[テキスト]、[ラインアート]、[スムーズシェード] オブジェクトのプロファイルを選択します。
 3. うら面のプリンタープロファイルを設定するには、[プリンタープロファイル、うら]、[詳細を表示] に移動し、[画像]、[テキスト]、[ラインアート]、[スムーズシェード] オブジェクトのプロファイルを選択します。
 4. 画像、テキスト、ラインアート、スムーズシェードに個別のインテントを設定するには、[レンダリングインテント] のリストからいずれかの値を選択します。

スポットカラーを一致させる

スポットカラーは、ページで1、2色の特定のカラーが必要な場合、またはカラーが完全に一致し、かつ一貫している必要がある場合に使用されます。

スポットカラーのマッチングを有効にするには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の[カラー] をクリックします。
2. [スポットカラーマッチング] に移動します。
3. リストから[する]を選択します。

詳細なカラーを設定する

カラーとトナー量に関する詳細な設定を行うことができます。

詳細なカラーを設定するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の[カラー] をクリックします。
2. [詳細設定] セクションに移動してセクションを開きます。
3. カラーを置換するには、[カラー置換] を[する] に設定します。
4. テキストとラインアートにブラックの出力方法を設定するには、[ブラック (テキスト/ラインアート)] からいずれかのオプションを選択します。

5. トナー量を制限するには、以下の操作を行います。
 1. [トナー/インク量規制] に移動します。
 2. 制限する量に応じて、[低]、[中] または [高] を選択します。
6. カラーで印刷するときにブラックとグレーの再現方法を指定するには、[ブラック/グレー印刷方式] からいずれかのオプションを選択します。

PDF特有の設定を行う

PDFファイルに適用される特定の設定を構成できます。

これらの設定はプリンターに送信されたPDFファイルにのみ適用されます。一部のオプションは、使用可能な設定によって適用されない場合があります。

PDF特有の設定を行うには、以下の操作を行います。

1. [カラー] セクションから [詳細設定] 領域を展開します。
2. 不正な色ずれを補正するため、カラートラッピングを使用するかどうかを指定するには、[トラッピング] リストから値を選択します。
3. PDFジョブのシャドウの詳細を維持するには、[黒点補正] オプションを使用します。画像、グラフィック、カラースペースにそれぞれ別の補正を設定するか、[する] と [画像] の選択肢を展開せずに [グラフィック] を選択できます。[詳細を表示] に移動し、クリックしてセクションを展開します。

5

印刷品質設定を変更する

このセクションでは、ジョブの印刷品質設定を表示して編集できます。

印刷品質設定オプションにアクセスするには、以下の操作を行います。

1. [ジョブプロパティエディター] を開きます。
2. 画面左側の [印刷品質] をクリックします。
3. 表示されるオプションを使用し、印刷品質設定をカスタマイズします。

↓ 補足

[印刷品質] 設定はプリンター構成で対応しているときにのみ使用できます。

ハーフトーンスクリーニングを使用して入力を変換する

様々なハーフトーンスクリーニング方法を使用して入力を変換することができます。

↓ 補足

[印刷品質] 設定はプリンター設定で対応するときのみ使用できます。

入力に特定のハーフトーンスクリーニングを適用するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の [印刷品質] をクリックします。
2. [ハーフトーンスクリーニング] に移動し、ドロップダウンリストを使用して値を表示します。
3. 入力の変換方法を1つ選択します。

200 dot

テキスト： 200 dot

ラインアート： 200 dot

スムーズシェード： 200 dot

画像： 200 dot

テキストと写真の間の境界を曖昧にするために適切なハーフトーンスクリーニングを実行します。

テキスト: 200 line + fine text

テキスト： 300 line

ラインアート： 200 line

スムーズシェード： 200 line

画像： 200 line

グラフィックと写真に適切なハーフトーンスクリーニングを実行します。

200 dot + fine text

テキスト： 300 line

ラインアート： 200 dot

スムーズシェード： 200 dot

画像： 200 dot

すべての種類の文書に適切な標準ハーフトーンスクリーニングを実行します。

200 dot + fine text, line art, smooth shades

テキスト： 300 line

ラインアート： 300 line

スムーズシェード： 300 line

画像： 200 dot

ラインアートとCADデータに適切なハーフトーンスクリーニングを実行します。

Interference reduction

テキスト： Interference reduction

ラインアート： Interference reduction

スムーズシェード： Interference reduction

画像： Interference reduction

ハッチングパターンと細い線に適切なハーフトーンスクリーニングを実行します。この設定で特定の角度の細い線のモアレと破損が低減されます。

175 dot

テキスト： 175 dot

ラインアート： 175 dot

スムーズシェード： 175 dot

画像： 175 dot

200 dotよりもスムーズなハーフトーンスクリーニングを実行します。この設定によってハローが改善されることがあります。

175 line + fine text

テキスト： 300 line

ラインアート： 175 line

スムーズシェード： 175 line

画像： 175 line

200 line + fine text よりもスムーズなハーフトーンスクリーニングを実行します。この設定によってハローが改善されることがあります。

300 line

テキスト： 300 line

ラインアート： 300 line

スムーズシェード： 300 line

画像： 300 line

画像の細いラインとテキスト用に適切なハーフトーンスクリーニングを実行します。

5

最大印刷濃度を適用する

プリンターのキャリブレーション処理中に、1つまたは複数のカラーで最大濃度がより低い値に変更される場合があります。最大濃度を適用すると、キャリブレーションにかかわらず、強制的に出力が最大濃度レベルになります。

↓ 補足

〔印刷品質〕設定はプリンター構成で対応しているときにのみ使用できます。

最大印刷濃度を適用するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の〔印刷品質〕をクリックします。
2. 使用しているプリンターの種類に応じて、〔最大濃度を使用〕または〔最大プリンター濃度を使用〕に進み、リスト内のオプションの1つを選択します。

色付き背景に黒色の文字を印刷する

文字の周囲に白い線が表示されたときは、〔ブラックオーバープリント〕オプションを使用して色付きの背景に黒文字を印刷します。

↓ 補足

〔印刷品質〕設定はプリンター設定で対応するときにのみ使用できます。

色付き背景に黒色の文字を印刷するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の〔印刷品質〕をクリックします。
2. 〔ブラックオーバープリント〕に移動し、リストから〔する〕を選択します。

画像グラデーションの色の切り替えを滑らかにする

印刷出力の色のグラデーションから段々状の外観を取り除くことができます。
グラデーションの色の切り替えを滑らかにするには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の「印刷品質」をクリックします。
2. 「画像のスモーキング」フィールドリストから「する」を選択します。

画質を選択する

ジョブで使用する画質を選択できます。

画質の種類を選択するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の「印刷品質」をクリックします。
2. 「画質」リストから値を選択します。

ブラックカスタムスクリーニングを設定する

印刷ジョブのブラックチャネルに対してハーフトーンスクリーニングを行うことができます。

カスタムスクリーニングを設定するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の「印刷品質」をクリックします。
2. 「ブラックカスタムスクリーニング」リストから「する」を選択します。
3. 「ハーフトーン角度」および「ハーフトーンLPI」のフィールドに値を設定します。

テキストとラインアートの品質を高める

ジョブのテキスト、ラインアートのエッジからギザギザの線を取り除くことができます。

↓ 補足

「印刷品質」設定はプリンター構成で対応しているときにのみ使用できます。

エッジまたは細線の品質を強調するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の「印刷品質」をクリックします。
2. 「エッジエンハンスメント」に移動し、リストから「する」を選択します。
ぎざぎざの線を取り除き、テキストやラインアートのエッジを強調します。
3. 「細線化/白抜き強調」に移動し、リストから「する」を選択します。
テキストやラインアートの細線を強調します。

↓ 補足

「細線化/白抜き強調」オプションは、TotalFlowプリントサーバーDFEを搭載したプリンターにジョブを送信する場合に使用します。

テキストとグラフィックスの品質を強調する

線の太さを指定するか、ジョブのテキストやグラフィックのエッジからギザギザの線を取り除くことができます。

エッジまたは細線の品質を強調するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の「印刷品質」をクリックします。
2. 「エッジエンハンスメントグラフィック」、「エッジエンハンスメントテキスト」、「ライン幅/アウトライン強調グラフィック」、「ライン幅/アウトライン強調テキスト」フィールドリストからオプションを選択します。

本体生産性設定を調整する

印刷中に光沢残像がある場合は、除去するために品質を調整できます。

本体生産性設定を調整するには、以下の操作を行います

1. 画面左側の「印刷品質」をクリックします。
2. 「本体生産性設定」に移動します。
3. 光沢残像を除去するには、「品質重視」を選択します。

画像解像度を設定する

TIFFとJPEGジョブを印刷する場合、インチあたりのドット数で出力解像度を指定できます。

↓ 補足

「印刷品質」設定はプリンター設定で対応するときのみ使用できます。

出力の画像解像度を設定するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の「印刷品質」をクリックします。
2. 必要に応じて、「画像出力解像度」にチェックを付けます。
3. 解像度を入力するか、上下矢印を使用して指定します。解像度は **dpi** で表示されます。

印刷解像度を設定する

ジョブを印刷する際に使用する解像度を1インチあたりのドット数で指定できます。

↓ 補足

「印刷品質」設定はプリンター設定で対応するときのみ使用できます。

印刷解像度を設定するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の「印刷品質」をクリックします。
2. 「印刷解像度」リストで値を選択します。解像度は **dpi** で表示されます。

ラスタ画像解像度を設定する

ジョブの画像をラスタライズする解像度をdpi（ドット/インチ）で指定できます。

↓ 補足

「印刷品質」設定はプリンター設定で対応するときのみ使用できます。

ラスタ画像解像度を設定するには、次の手順を実行します。

1. 画面左側の「印刷品質」をクリックします。
2. 「ラスタ画像解像度」に移動して、リストからオプションを選択します。

カラーオブジェクトをCMYKオブジェクトで置換する

以下のオプションは、プリンターの設定で対応している場合にのみ表示されます。

色付きオブジェクトをCMYKオブジェクトに置き換えるには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の「印刷品質」をクリックします。
2. 「中抜きホワイト（用紙色）」に移動し、リストから「する」を選択します。

カラーコレクションカーブを選択する

カラーコレクションカーブを保持または変更することができます。

このオプションは、プリンターがこれに対応しているときにのみ表示されます。

プリセットカラーコレクションカーブを選択するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の「印刷品質」をクリックします。
2. 「カラーコレクションカーブ」に移動し、「補正なし」を選択してカラーコレクションカーブの設定を維持します。
3. プリンター設定が複数のプリセット値に対応している場合、ユーザープリセット値の1つを選択してカラーコレクションカーブを変更します。

速度モードを選択する

ジョブを高速または低速で印刷することができます。

ジョブを印刷する速度を選択するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の「印刷品質」をクリックします。
2. 「速度モード」に移動します。
3. リストからオプションを選択します。

アンダーコートを塗布する

ジョブで使用される用紙にアンダーコートを塗布することができます。

アンダーコートを塗布するには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の「印刷品質」をクリックします。
2. 「アンダーコーティング」に移動します。
3. リストからオプションを選択します。

スペシャルカラー設定を変更する

このセクションでは、ジョブのスペシャルカラー設定を編集できます。

「スペシャルカラー」は異なるトナーを選択して使用できる特別なマーキングステーションです。これによって5つ目のカラーで印刷するオプションを選択できます。

「スペシャルカラー」オプションにアクセスするには、以下の操作を行います。

1. 「ジョブプロパティエディター」を開きます。
2. 画面左側の「スペシャルカラー」をクリックします。

- 表示されるオプションを使用し、[スペシャルカラー] の設定をカスタマイズします。

↓ 補足

[スペシャルカラー] 設定は、[スペシャルカラー] 拡張キットが対応する設定に取り付けられているときにのみ使用可能です。

スペシャルトナープロパティを設定する

使用するトナーの種類を選択し、そのプロパティを設定できます。

↓ 補足

[スペシャルカラー] 設定は、[スペシャルカラー] 拡張キットが対応する設定に取り付けられているときにのみ使用可能です。

- 画面左側の [スペシャルカラー] をクリックします。
- [スペシャルトナー] に移動し、トナー種類を選択します。
- [適用対象] に移動し、以下のオプションから1つ選択します。

- [名前付き特色]

↓ 補足

[名前付き特色] オプションはプリンター設定で対応しているときにのみ使用できます。

- [全面]
- [指定したオブジェクト]
- [なし]

リストから [名前付き特色] を選択した場合、リストから特定のスポットカラーを選択するか、カスタムスポットカラー名を入力してください。入力したスポットカラー名はPDF印刷ファイルで使用する対応スポットカラー名と正確に一致させてください。PDFのスポットカラー名はASCII文字のみです。

特定のオブジェクトにのみスペシャルトナーを適用するには、[指定したオブジェクト] を選択します。

[なし] を選択した場合は、使用したスポットカラーは代替のCMYK値を使用して処理されます。

- [優先する色版] に移動し、スポットカラーの優先度を設定します。このフィールドは、[名前付き特色] リストから [適用対象] を選択した場合にのみ表示されます。
- [トーン調整] に移動し、0から100%の間の値を入力します。
- [画質と速度のバランス] に移動し、[画質優先] または [速度優先] に設定します。[速度優先] に印刷モードを設定するときは、高速印刷を可能にするため、スペシャルトナーの量は減少します。
- [ページ範囲] に移動し、スペシャルトナーを使用して印刷するページの範囲を入力します。

8. [ミラー] に移動し、ジョブのすべてのシートをミラー印刷するかどうかを選択します。ミラー印刷機能は [スペシャルカラー] オプションでページ範囲を設定している場合でも、印刷ジョブ全体に適用されます。

スタンプ印字設定を変更する

このセクションでは、ジョブのスタンプ印字を作成および編集できます。

スタンプ印字設定のオプションにアクセスするには、以下の操作を行います。

1. [ジョブプロパティエディター] を開きます。
2. 画面左側の [スタンプ印字] をクリックします。
3. 表示されるオプションを使用し、スタンプ印字設定をカスタマイズします。

↓ 補足

[スタンプ印字] 設定はプリンター構成で対応しているときにのみ使用できます。

5

ジョブにスタンプ印字を設定する

ジョブのスタンプ印字プロパティを指定できます。

スタンプ印字設定をカスタマイズするには、以下の操作を行います。

1. 画面左側の [スタンプ印字] をクリックします。
2. 印字するテキストを指定するには、テキスト領域に内容を入力するか、リストから以前指定したテキストを選択します。
3. フォントのプロパティを設定するには、表示するフォントの名前、カラー、サイズを選択します。
4. テキストを90度回転させるには、[角度] フィールドで90を入力します。
5. スタンプ印字を不透明にするには、[透明度] フィールドで透明度の割合を0のままにします。
6. ページの中央に相対的にテキストの位置をカスタマイズするには、[位置] に移動し、[X] と [Y] フィールドにスタンプ印字のシフト量を入力します。
7. 先頭ページのみスタンプ印字を印刷するには、[先頭ページのみ] にチェックを付けます。チェックを付けない場合は、ジョブのすべてのページにスタンプ印字が印刷されます。

RICOH TotalFlow Prepでジョブを編集する

TotalFlow Prepダイアログの代わりに[ジョブのプロパティ]でジョブを編集できます。ジョブを[TotalFlow Prep待機中]、[エラー]状態、または[保存済み]状態にしてください。

TotalFlow Prepと同じサーバーにTotalFlow Production Managerをインストールします。

編集のためにTotalFlow Production ManagerからTotalFlow Prepにジョブを戻すには、以下の操作を行います。

1. ワークフローの**[TotalFlow Prep]**アクティビティのジョブを停止するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、**[操作]**をクリックします。です。
3. **[ワークフロー]** タブで、TotalFlow Prepで編集するジョブを送信するワークフローを選択し、**[ワークフローを編集]** アイコン () をクリックします。または、ワークフローを右クリックし、**[エディターとプロパティ...]**を選択します。

[エディター]ポッドにワークフローが表示されます。

4. **[アクティビティ]** ポッドから**[エディター]**ポッドにワークフローに**[TotalFlow Prep]**アクティビティをドラッグします。
5. ワークフローを保存します。

[TotalFlow Prep]アクティビティにジョブが到達したときは、停止します。

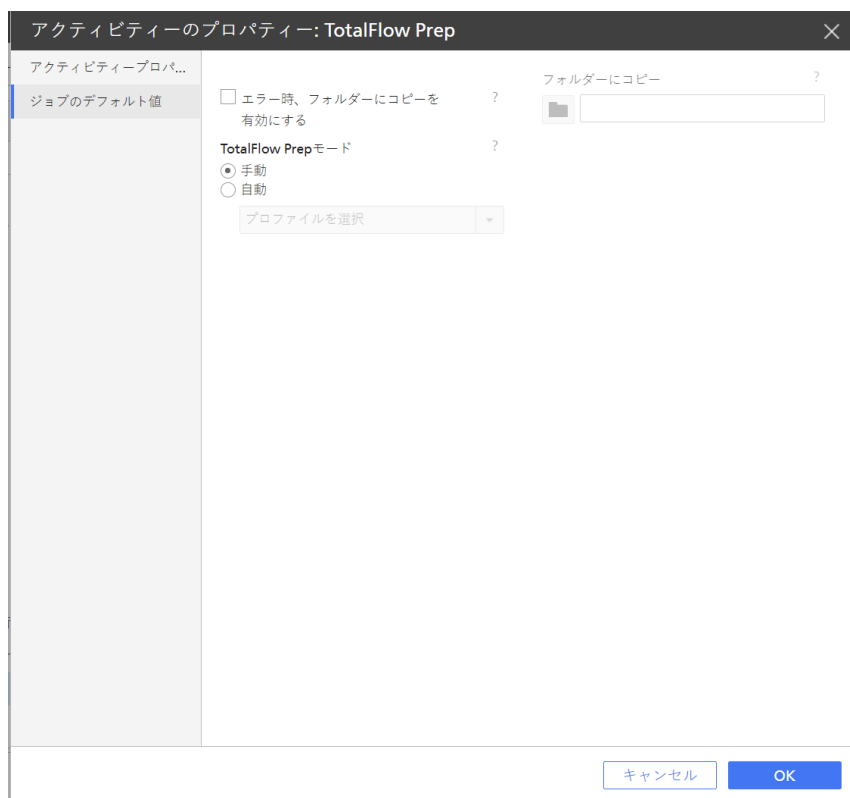
2. ジョブを編集するには、以下の操作を行います。

1. ジョブを選択し、**[さらに表示]**、**[TotalFlow Prep...]** の順にクリックして、TotalFlow Prepを起動します。
ブラウザのタブまたはウインドウでTotalFlow Prepが開きます。選択したジョブが読み込まれます。
2. ユーザープロパティを編集します。
3. TotalFlow Prepで **[ファイル]** をクリックし、ジョブを保存します。
変更が保存され、TotalFlow Prepのブラウザタブまたはウインドウが閉じます。
ジョブが**[エラー]**状態ではない場合は、ワークフローの次のステップに移動します。保存オプションについて詳しくは、TotalFlow Prepの使用説明書を参照してください。

TotalFlow Prepプリセットをジョブプロファイルとして使用し、ジョブが**[TotalFlow Prep]**アクティビティに到達したときに停止および編集しないで、ジョブを自動的に処理することもできます。プリセットとは、TotalFlow Prepで定義されているジョブテンプレートで、そのまま使用できます。

3. **[TotalFlow Prep]**アクティビティでジョブを自動的に処理するには、TotalFlow Prepで定義されたプリセットがあることを確認してください。次に、次の手順を実行します。

1. **[TotalFlow Prep]**アクティビティプロパティダイアログを開き、**[ジョブのデフォルト値]**をクリックします。



2. **[TotalFlow Prepモード]**で**[自動]**を選択します。
3. プロファイルリストで、TotalFlow Prepプリセットをクリックします。
4. **[OK]**をクリックします。

[TotalFlow Prep]アクティビティーに到達すると、ジョブは選択したプロファイルで定義したプロパティを使用し処理を続行します。

特殊な指示を作成する

特殊な作業をするには、オペレーターへの指示が必要です。ジョブの送信者は〔特殊な指示〕ジョブプロパティの値に指示を入力するか、プリンターのキューにジョブを移動すると特殊な指示を作成できます。オプションでジョブの印刷前に区切りページに指示を印刷できます。

特殊な指示を印刷するには、以下の操作を行います。

- パススループリンターにジョブを割り当てるには、プリンターの**[特殊な指示のコマンド]**プロパティに値が必要です。
- 特殊指示を特定の用紙に印刷するには、ジョブを割り当てたプリンターの**[区切り紙用給紙トレイ]**プロパティに値が必要です。

特殊な指示を作成するには、以下の操作を行います。

1. **[キュー]**ポッドで、ジョブを右クリックし、**[特殊な指示...]**を選択します。
[特殊な指示...]ダイアログが表示されます。

2. **【特殊な指示】**フィールドに指示を入力します。
3. **オプション**：特殊指示をPDFファイルで保存して区切りページに印刷するには、**【特殊な指示を印刷】**を選択します。
4. **【OK】**をクリックします。

ジョブのすぐ前で**【キュー】**ポッドに**【オペレーター】**フラグ (■) が付きます。フラグにカーソルを置くと、特殊な交換指示が表示されます。オペレーターフラグをダブルクリックし、指示を編集します。オプションを選択すると、特殊な指示がダイアログに表示され、区切りページに印刷されます。ジョブはオペレーターがダイアログの**【特殊な指示を印刷】** ボタンをクリックするまで印刷されません。

5

ジョブをPDFに変換する

PDF変換に対応するプリンター機器でPostScriptとPCLジョブを印刷できます。

ジョブをPDFに変換するには、TotalFlow Production Manager **【PDFに変換】**ワークフローアクティビティまたは外部変換アプリケーションを使用できます。

印刷前にPostScript/PCLファイルの内容の変更が必要な場合は、**【PS/PCLデータ置換】**機能を使用します。**【PS/PCLデータ置換】**の設定については、[P. 58 「パススループリンターを作成する」](#)を参照してください。

PCLジョブをPDFに変換する

PDF変換に対応するプリンター機器でPCLジョブを印刷できます。

PCLジョブをPDFに変換するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、**【操作】**をクリックします。
3. **【ワークフロー】**タブでワークフローを選択し、**【ワークフローを編集】**アイコン (■) をクリックします。
【エディター】ポッドにワークフローが表示されます。
4. **【PDFに変換】**アクティビティを**【アクティビティ】**ポッドからワークフロー**【エディター】**ポッドにドラッグ&ドロップします。
5. **【PDFに変換】**プロパティダイアログウィンドウを開きます。

6. **オプション**：[PDFに変換]プロパティダイアログで、[ジョブのデフォルト値]ページを開き、[読み取りジョブチケット属性]を選択します。

このオプションでは、RICOH PCLユニバーサルドライバで作成し、編集されたPCLジョブをTotalFlow Production Managerに送信できます。

RICOH PCLユニバーサルドライバで変更可能な設定は次のとおりです。

- [カラー]
- [部数]
- [両面]
- [方向]
- [パンチ]
- [ステープル]
- [ユーザーコード]

↓ 補足

この手順で変更するPCLジョブチケット属性は、以前に送信されたジョブチケットから、またはワークフローのデフォルト値と上書き値からのジョブチケット属性を上書きします。

7. 必要に応じて出力PDF文書のパラメーターを設定します。

アクティビティをコピー: PDFに変換 - 体験版は残り56日です

アクティビティプロ...

ジョブのデフォルト値

☐ 読み取りジョブチケット属性 ?

PCL変換オプション ?

単位: inch

位置

X軸: 0

Y軸: 0

リセット

☐ エラー時、フォルダーにコピーを有効にする ?

フォルダーにコピー ?

キャンセル OK

PCLファイルの場合は、PDF出力ファイルのパラメーターはサイズ単位と [X] / [Y] 軸で、これらの値が出力文書の水平と垂直の余白になります。

1. [PCL変換オプション] で [単位] リストから測定単位を選択します。
2. [X軸] / [Y軸] フィールドで正または負の値を入力するか、矢印を使用して表示される値を増減します。
[X] / [Y] パラメーターの値が負の場合は、実際のページの内容は左と上にそれぞれ移動し、値が正の場合は実際のページの内容が右と下にそれぞれ移動します。

8. [エラー時、フォルダーにコピーを有効にする] を選択し、ファイルのコピー先のフォルダーを選択します。
9. [OK] をクリックし、設定を保存します。
10. ワークフローを保存します。

[PDFに変換]アクティビティーにジョブが到達したときは、TotalFlow Production ManagerはジョブをPCLからPDFに変換します。

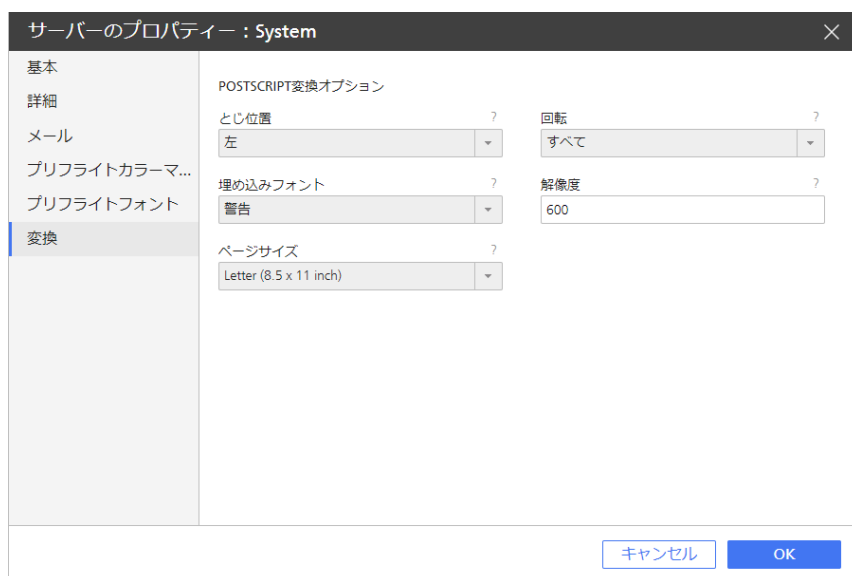
PostScriptジョブをPDFに変換する

PDF変換に対応するプリンター機器でPostScriptジョブを印刷できます。

PostScriptジョブをPDFに変換するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、[設定]をクリックします。
3. [サーバー]ポッドで、[System] を選択し、[プロパティー]をクリックします。
4. [変換] をクリックします。

[サーバーのプロパティー]ダイアログの [変換] ページが表示されます。



5. [PostScript変換オプション] で出力PDFファイルのパラメーターにデフォルト値を設定します。

PostScriptファイルの場合は、PDF出力ファイルのパラメーターは [とじ位置]、[回転]、[埋め込みフォント]、[解像度]、[ページサイズ] です。

6. [OK] をクリックし、設定を保存します。

この段階で設定した値は、TotalFlow Production Managerによって処理されるすべてのPost Scriptジョブに使用されます。

7. **オプション**： **[PDFに変換]**ワークフローアクティビティーの**[プロパティー]**ダイアログで、[ジョブのデフォルト値] ページを開き、[ジョブチケットの属性を読む] を選択します。

このオプションでは、RICOH PS ユニバーサルドライバーで作成し、編集されたPostScriptジョブをTotalFlow Production Managerに送信することが可能です。

RICOH PSユニバーサルドライバーで変更可能な設定は次のとおりです。

- [カラー]
- [部数]
- [両面]
- [方向]
- [パンチ]
- [ステープル]
- [ユーザーコード]



この手順で変更するPostScriptジョブチケット属性は、以前に送信されたジョブチケットから、またはワークフローのデフォルト値と上書き値からのジョブチケット属性を上書きします。

8. PostScriptジョブを印刷するためのワークフローに**[PDFに変換]**アクティビティーを追加します。追加しない場合は、TotalFlow Production ManagerがジョブのPDFファイルを作成できなくなります。アクティビティーをワークフローに追加する方法は、[P. 222 「ワークフローを編集する」](#)を参照してください。
[PDFに変換]アクティビティーにジョブが到達すると、TotalFlow Production ManagerはPostScriptからPDFにジョブを変換します。

外部変換アプリケーションを使用してPostScriptおよびPCLジョブを変換する

TotalFlow Production Managerサーバーにインストールされている外部変換アプリケーションを使用して、PostScriptおよびPCLをPDFに変換できます。

外部アプリケーションの設定については、[P. 227 「外部アプリケーションをセットアップする」](#)を参照してください。

PostScriptおよびPCLジョブをPDFに変換するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、**[操作]**をクリックします。
3. **[ワークフロー]**タブでワークフローを選択し、**[ワークフローを編集]**アイコン（）をクリックします。
[エディター]ポッドにワークフローが表示されます。
4. **[ホットフォルダーアプリケーション実行]**アクティビティーを [アクティビティー]ポッドからワークフロー[エディター]ポッドにドラッグ&ドロップします。
5. **[ホットフォルダーアプリケーション実行]**プロパティダイアログウィンドウを開きます。
6. **[ジョブのデフォルト値]** ページで、以下のパラメーターを変更します。
 1. **[送信するファイル]** で、次のコマンドを入力します。

```
${getAbsoluteFileName(print,(pcl, pdf, ps), read))}
```

2. [取得されたファイル] で、次のコマンドを入力します。

```
${getFileName(print,(pdf), write))}
```

7. [外部アプリケーション実行]アクティビティを [アクティビティ] ポッドからワークフロー[エディター]ポッドにドラッグ&ドロップします。

注意

ワークフローの[ホットフォルダーアプリケーション実行]の後に[外部アプリケーション実行]を置きます。

8. [外部アプリケーション実行]プロパティダイアログウィンドウを開きます。
9. [ジョブのデフォルト値] ページで、[外部コマンド] フィールドに以下のコマンドのいずれかを入力します。

- PCLファイルを変換する場合：

```
copy ${getFileName(print, pdf, read)} ${getFileName(print, pcl, write)}
```

- PostScriptファイルを変換する場合：

```
copy ${getFileName(print, pdf, read)} ${getFileName(print, ps, write)}
```

5

10. [OK] をクリックし、設定を保存します。

11. ワークフローを保存します。

[外部アプリケーション実行]アクティビティにジョブが到達すると、TotalFlow Production ManagerがそのジョブをPDFに変換します。

プリフライトジョブ

プリフライトは印刷前のPDFジョブファイルが完全で正常かどうかを確認します。管理者は、ワークフローの一部としてプリフライトを指定できます。オペレーターと管理者は、プリフライトレポートを表示できます。

ジョブをプリフライトするには、【プリフライト】または【外部プリフライト】アクティビティをワークフローに追加します。

【プリフライト】アクティビティを使用したプリフライトジョブ

【プリフライト】アクティビティには、TotalFlow Production Managerから直接設定可能な複数の設定オプションがあります。PitStop Serverのインストールは不要です。

ワークフローに【プリフライト】アクティビティを追加するには、次の手順に従います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、【操作】をクリックします。です。
3. 【ワークフロー】タブでワークフローを右クリックし、【エディターとプロパティ...】を選択します。
4. 【エディター】ページを開きます。
5. 【アクティビティ】ポッドで【プリフライト】アクティビティを選択し、【コピー】をクリックします。
6. 表示された【アクティビティプロパティ】ダイアログで【プロファイル】ページを選択し、【プロファイル】プロパティのデフォルト値を使用するプリフライトプロファイルの名前に設定します。この名前はプロファイルのフルパス名、または【プリフライトデータベース】のプロファイル名です。

データベースから名前を追加するには、ダイアログパネルの左下の【プリフライトデータベース】ボタンをクリックします。

プリフライト【プロファイル】には、プロダクション印刷ファイルの処理と各プリフライト済みジョブに生成されたレポートの表示に使用する多くのプリフライトチェックとアクションがあります。

プリフライト【プロファイル】を設定するには、以下のいずれかを行います。

- プロファイル名を手動で入力します。



- **【追加】**をクリックし、矢印を使用してデータベース内を移動し、データベースから**【デフォルトプロファイル】**のいずれかを選択するか、サーバーで以前保存した**【ローカルプロファイル】**のいずれかを選択します。

5

- 以前にサーバーに保存済みで、データベースにはないプロファイルを参照します。以下の操作を行います。

1. **【ファイルからプロファイル】** ラジオボタンを選択します。

2. プロファイル名を手動で入力するか、**【参照】** アイコン () をクリックして、TotalFlow Production Managerサーバーで以前に保存されたプロファイルを選択します。

↓ 補足

1. この段階で選択するプリフライトプロファイルは、[プリフライト]アクティビティーを含むすべてのワークフローに使用されます。
2. 管理者権限を持つWindowsユーザーは、カスタムの[ローカルプロファイル]のみを表示して編集できます。[ローカルプロファイル]を作成して管理する方法は、P.192「[プリフライトデータベース]を使用してプリフライトプロファイルとアクションリストを管理する」を参照してください。
7. 実行する[アクションリスト]アクティビティーの[プリフライト]を選択します。
[アクションリスト]とは、ジョブがワークフローの[プリフライト]アクティビティーに到達したときに自動的に実施される、カラーまたはオブジェクトの変更などの連続したタスクがあるファイルです。[アクションリスト]を作成および管理する方法については、P.192「[プリフライトデータベース]を使用してプリフライトプロファイルとアクションリストを管理する」を参照してください。



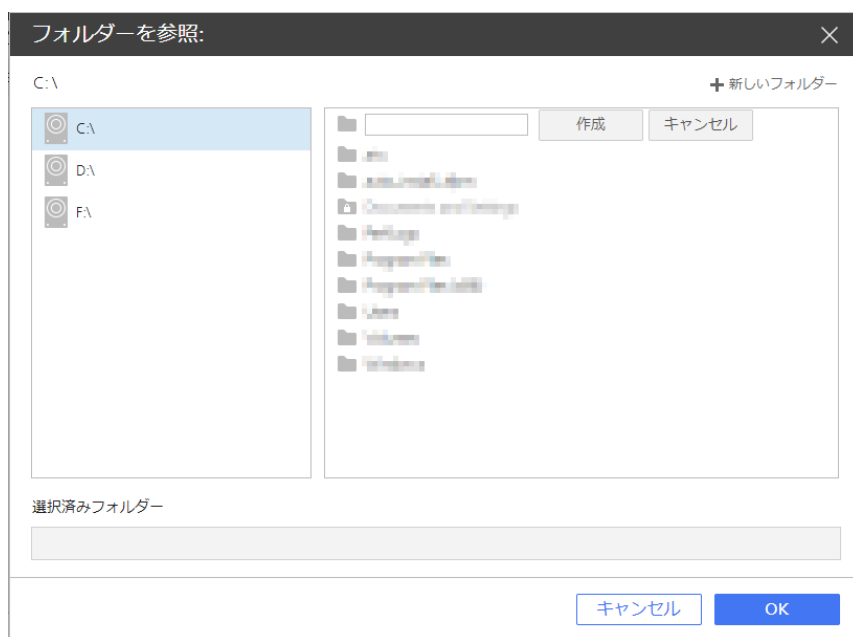
1. [アクションリスト] フィールドの[追加]をクリックします。
2. 表示された[アクションリストを選択]ダイアログで、以下のいずれかを行います。
 - [デフォルトアクションリスト] または [ローカルアクションリスト] を選択する
 - 以前にTotalFlow Production Managerサーバーに保存済みのファイルを参照する
8. [OK]をクリックします。
9. [カラーマネージメント] ページで、最初に[システム]プロパティーで定義した一般カラー設定を使用するかどうかを選択するか、特定のカラー設定を適用します。このアクティビティーに特定カラー設定の定義が必要な場合は、[一般カラー設定を上書き]にチェックを付けます。
10. [カラーマネージメント] プロパティーの新しい設定を選択または入力します。
[カラーマネージメント] 設定については、P.103「カラーマネジメントシステムを設定する」を参照してください。

11. [フォント] ダイアログウィンドウで[追加]をクリックし、サーバーで以前に保存したフォントフォルダーを選択します。

↓ 補足

サーバーの一般設定でフォントフォルダーを設定済みの場合は、そのフォルダーもこの段階で設定したフォントフォルダーと一緒に使用されます。フォントフォルダーの設定方法は、P.105「[プリフライトアクティビティー用フォントを設定する](#)」を参照してください。

12. 新しい[フォント] フォルダーを作成するには、[新しいフォルダー] をクリックし、名前を入力して[作成] をクリックします。



↓ 補足

以前にサーバーに保存したファイルまたはフォルダーを参照すると、読み取りと書き込み権限がある場合にのみ選択できます。🔒フラグと🔒フラグは、ファイルまたはフォルダーがロックされていることを示します。

13. これで、[プリフライト]アクティビティー設定を[ジョブのデフォルト値]ダイアログウィンドウで編集できるようになりました。

1. 「レポート種類」を選択します。プリフライトからのレポートは、以下のオプションから選択可能なレポートレイアウトスタイルを使用し、PDFファイルとして作成されます。

[レポート種類]	概要
[標準]	一般ファイル情報と、修正、不具合、警告、エラー（該当する場合）の概要が記載されたレポートです。処理済みのPDFは含まれません。これは、デフォルトのレポート種類です。
[最小]	最小限の情報が記載された標準レポートです。
[グレースケール]	グレーレベルの画像のみを含むレポートです。各画素に提供される情報量が少ないため、レポートのファイルサイズは小さくなります。処理済みのPDFは含まれません。
[注釈済みレポート]	コメント付きのレポートです。このレポートは処理済みのPDFのコピーで、変更や修正に関する注釈が含まれます。
[低解像度注釈済みレポート]	コメントと低解像度の画像を含むレポートです。低解像度なので、レポートのファイルサイズは小さくなります。
[スケールされた低解像度注釈済みレポート]	コメント付きのレポートです。文書全体のサイズが調整され、低解像度になります。レポート内のページはA4サイズを超えず、画像は小サイズに圧縮されます。これは、大容量の形式文書のレポートをメールに添付して送信するときに使用できます。

2. 「プリフライトレポートエラーしきい値」フィールドで、ジョブがエラー状態になる前にレポートに含めることができるエラー数を設定します。
 3. 「プリフライトレポート警告しきい値」フィールドで、ジョブがエラー状態になる前にレポートに含めることができる警告の数を設定します。
 4. 「エラー時、フォルダーにコピーを有効にする」を選択して[参照]アイコンを使用し、ジョブがエラー状態になった場合にファイルをコピーするフォルダーの名前と場所を指定します。フォルダーが作成されていない場合は、「新しいフォルダー」ボタンを使用して新しいフォルダーを作成します。
14. [OK]をクリックして設定を保存します。

↓ 補足

【ジョブのワークフロープロパティ】ページでアクティビティプロパティも編集できます。



5

15. **【OK】**をクリックします。

【アクティビティ】ポッドの【カスタム】セクションに新しいアクティビティが表示されます。

16. ワークフローに新しいアクティビティをドラッグ&ドロップします。

17. ワークフローを保存します。

【プリフライト】アクティビティにジョブが到達したときは、TotalFlow Production Managerはプリフライトプログラムにジョブを送信し、プリフライトレポートを保存します。ジョブプロパティの【プロファイルレポートエラーしきい値】と【プロファイルレポート警告しきい値】のデフォルト値で指定された以上のプリフライトエラーまたは警告が発生した場合は、ジョブは【エラー】進行状況カテゴリーに入ります。発生しない場合は、ワークフローの次のアクティビティに移動します。

プリフライトレポートを表示するには、ジョブを選択し、【さらに表示】、【プリフライトレポート】の順にクリックします。

↓ 補足

このアクティビティはPDFファイルにのみ使用できます。ほかのデータストリームを含むジョブを送信した場合は、【プリフライト】アクティビティでエラーになります。

【プリフライトデータベース】を使用してプリフライトプロファイルとアクションリストを管理する

【プリフライトデータベース】を使用すると、TotalFlow Production Managerがインストールされたコンピューターのみでワークフローを通して処理されるすべてのジョブのプリフライト条件を定義および管理できます。

【プリフライトデータベース】を使用し、プリフライトプロファイル、プリフライトチェック、アクションリストの作成、整理、変更をすることができます。

プリフライトプロファイルには、プロダクション印刷ファイルの処理と各プリフライト済みジョブに生成されたレポートの表示に使用する多くのプリフライトチェックとアクションがあります。

プリフライトチェックとは、テキストサイズや画像圧縮率などのPDFプロパティーの検査であり、プリフライト中に実施され、文書が一定の標準を満たすことを確認します。

アクションリストとは、ワークフローの【プリフライト】アクティビティーに到達したすべてのジョブで自動的に実施される、カラーまたはオブジェクトの変更などの連続したタスクがあるファイルです。

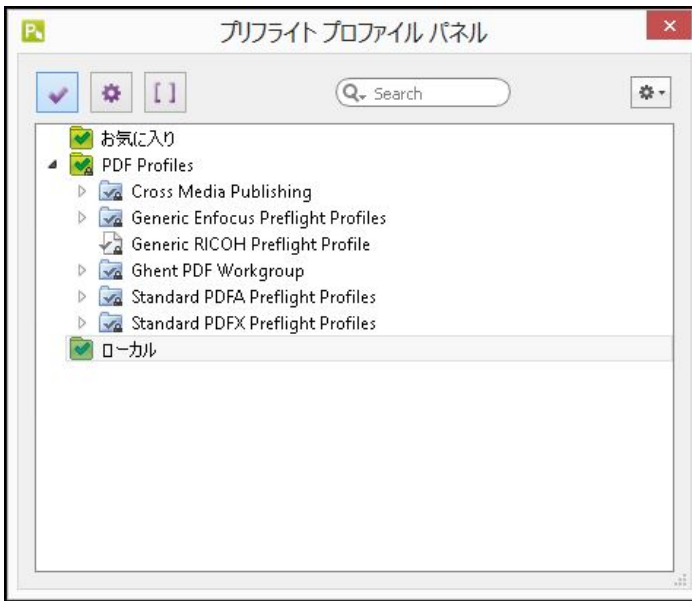
5

【プリフライトデータベース】を管理するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、【操作】をクリックします。です。
3. 【ワークフロー】タブでワークフローを右クリックし、【エディターとプロパティー...】を選択します。
4. 【エディター】ページを開きます。
5. 【プリフライト】アクティビティーを作成し、ワークフローの編集エリアにドラッグ&ドロップします。
6. アクティビティーを右クリックし、【プロパティー】をクリックします。
7. 表示されたアクティビティープロパティーダイアログで、【プロファイル】ページを選択します。
8. ダイアログパネルの左下の【プリフライトデータベース】ボタンをクリックします。
9. ブラウザーがウェブサイトでプリフライトデータベースプログラムを開くか、起動の確認画面を開いた場合は、許可します。

【プリフライトプロファイルパネル】が表示され、以下の操作が可能です。

- 以前に保存したプロファイルを表示する
- プリフライトプロファイルを作成、整理、使用する
- プリフライトプロファイルをインポート、エクスポート、コピー、グループ化する



定義済みフォルダー（またはデータベース）は3つあります。

［お気に入り］

お気に入りとしてマークされたプリフライトプロファイルです。

［PDFプロファイル］

サブフォルダーでグループ化されたデフォルトプリフライトプロファイルです。

［ローカル］

作成してローカルに保存したプリフライトプロファイルです。

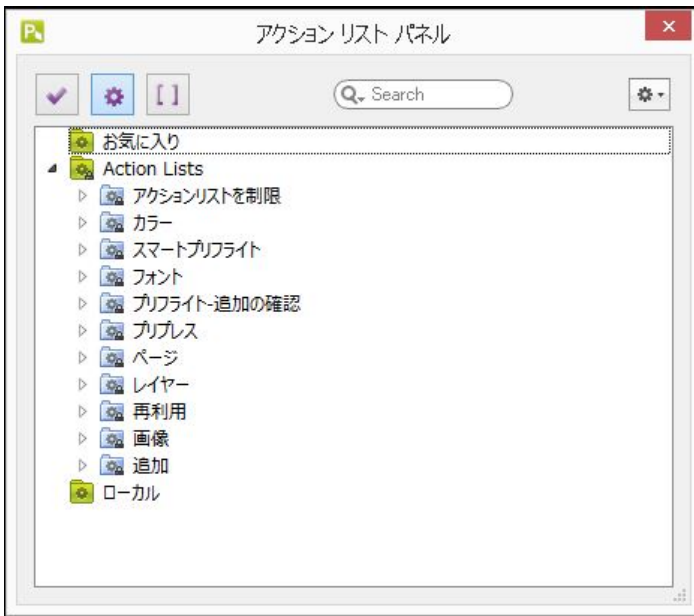
10. 選択アイコン（)を使用してプロファイルフォルダーを選択し、矢印を使用して展開するか折りたたみます。
11. 新しいフォルダーを作成するには、パネル内の何もない場所を右クリックし、［新規データベース］を選択します。

プリフライトプロファイルで定義可能なチェックについては、[PitStop Pro 2023 - プリフライトチェックの概要](#)を参照してください。

12. ［アクションリスト］をクリックします。

アクションリストコントロールパネルが表示され、以下の操作が可能です。

- 以前に保存したアクションリストを表示と選択する
- アクションリストをソート、削除、コピー、インポート/エクスポートする



定義済みフォルダー（またはデータベース）は3つあります。

〔お気に入り〕

お気に入りとしてマークを付けたアクションリストです。

〔アクションリスト〕

サブフォルダーでグループ化されたデフォルトアクションリストです。

〔ローカル〕

作成してローカルに保存したアクションリストです。

必要に応じて新しいフォルダーを作成することもできます。

13. 選択アイコン (🔧) を使用してアクションリストフォルダーを選択し、矢印を使用して展開するか折りたたみます。
14. アクションリストを変更するには、アクションリストコントロールパネルから選択して〔管理〕をクリックし、表示されたコンテキストメニューからオプションを選択します。

アクションリストを編集して使用方法は、[PitStop Pro 2023 - アクションマニュアル](#)を参照してください。

プリフライトプロファイルの使用方法は、[PitStop Server 2023 - 参照ガイド](#)を参照してください。

[外部プリフライト]を使用したプリフライトジョブ

★ 重要

- PitStop ServerまたはAdobe Acrobat用PitStopプラグインを使用してプリフライトプロファイルを作成します。
- 手順については、PitStopの説明書を参照してください。
- PitStopサーバーが別のコンピューターにある場合は、[P. 196 「TotalFlow Production ManagerにPitStop Serverを設定する」](#)を参照してください。

PitStop Serverでジョブをプリフライトするには、次の手順に従います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
 2. メニューバーで、**[操作]**をクリックします。です。
 3. **[ワークフロー]** タブで、プリフライトするジョブを送信するワークフローを選択し、**[ワークフローを編集]** アイコン () をクリックします。または、ワークフローを右クリックし、**[エディターとプロパティ...]**を選択します。
 4. **[アクティビティ]** ポッドで**[外部プリフライト]**アクティビティを選択し、**[コピー]** をクリックします。
 5. 表示されたアクティビティプロパティダイアログで、**[ジョブのデフォルト値]** ページを選択します。
 6. **[プリフライトプロファイルパス]**のジョブプロパティのデフォルト値をプリフライトプロファイルの名前に設定します。
 7. **[OK]**をクリックします。
- [アクティビティ] ポッドの **[カスタム]** セクションに新しいアクティビティが表示されます。
8. ワークフローに新しいアクティビティをドラッグ&ドロップします。
 9. ワークフローを保存します。

[外部プリフライト]アクティビティにジョブが到達したときは、TotalFlow Production Managerはプリフライトプログラムにジョブを送信し、プリフライトレポートを保存します。ジョブプロパティの**[プロファイルレポートエラーしきい値]**と**[プロファイルレポート警告しきい値]**のデフォルト値で指定された以上のプリフライトエラーまたは警告が発生した場合は、ジョブは**[エラー]**進行状況カテゴリーに入ります。発生しない場合は、ワークフローの次のアクティビティに移動します。

↓ 補足

このアクティビティはPDFファイルにのみ使用できます。その他のデータストリームを含むジョブを送信する場合は、**[外部プリフライト]**ステップでエラーになります。

10. プリフライトレポートを表示するには、ジョブを選択し、**[さらに表示]**、**[プリフライトレポート]** の順にクリックします。

TotalFlow Production ManagerにPitStop Serverを設定する

【プリフライト】アクティビティーにPitStop Serverの使用を選択する場合は、PitStopServerと連携できるようにTotalFlow Production Managerを設定してください。

TotalFlow Production Managerがインストールされている同じコンピュータでPitStopサーバーを設定するには、PitStopサーバーに同梱されているインストールガイドを参照してください。

別のコンピュータにPitStopサーバーをインストールする場合は、以下の操作を行います。

1. PitStopサーバーに同梱されているインストールガイドの指示に従って、PitStopをインストールします。
2. PitStopサーバーがインストールされているコンピュータに送信フォルダーと取得フォルダーを作成し、読み取り/書き込み権限で共有する設定にします。
3. 管理者として TotalFlow Production Manager にログインします。
4. メニューバーで、**【操作】**をクリックします。です。
5. **【ワークフロー】** タブで新しいワークフローを追加します。
6. 新しいワークフローで、**【外部プリフライト】**アクティビティーを追加します。
7. **【ジョブのデフォルト値】**ページで次の設定を使用し、**【外部プリフライト】**アクティビティーを編集します。
 1. **【リモート/外部】**ラジオボタンを選択します。
 2. **【TCP/IPアドレスまたはホスト名】** フィールドにPitStopサーバーがインストールされているコンピュータのIPアドレスまたは名前を入力します。
 3. PitStopサーバーがインストールされてるシステムのユーザー名とパスワードを入力します。
 4. **【送信フォルダー】** フィールドにジョブのコピー先フォルダーのファイルパスを入力します。
 5. **【取得フォルダー】** フィールドにTotalFlow Production Managerが処理されたジョブを取得するフォルダーのファイルパスを入力します。
8. **【タイムアウト間隔】**に1 **【分】** と60 **【時間】**の間の値を設定します。
結果は次のようになります。

9. **[OK]**をクリックします。
10. PitStopサーバーがインストールされているコンピュータで、PitStop Serverを開き、ホットフォルダーに移動して新しいホットフォルダーを追加します。
11. 次の設定で新しいホットフォルダーを編集します。
 1. フォルダーウィンドウで、次の操作を行います。
 - 入力フォルダーで、TotalFlow Production Managerがインストールされているコンピュータの送信フォルダーのファイルパスを入力します。上記のサブ手順4.を参照してください。
 - ほかのすべてのフォルダーで、TotalFlow Production Managerプリフライトアクティビティから取得フォルダーのファイルパスを入力します。上記のサブ手順5.を参照してください。
 2. 処理ウィンドウで、以下の操作を行います。
 - XMLレポートを選択します。
 - PDFレポートチェックを付けます。
 3. アクションリストとプリフライトプロファイルで、以下の操作を行います。
 - アクションまたはプリフライトプロファイル、またはその両方をリストに追加するか、デフォルト値のリストから選択します。
 4. ホットフォルダーを有効にします。
12. これで、このワークフローのTotalFlow Production Managerからジョブを送信できるようになりました。

ジョブを試し印刷する

試し印刷はすべてのジョブの印刷前にジョブの1部または選択ページを印刷し、正しく印刷されることを確認する作業です。

ジョブを試し印刷するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、**[操作]**をクリックします。です。
3. **[ワークフロー]** タブで、試し印刷用のジョブを送信するワークフローを選択し、**[ワークフローを編集]** アイコン () をクリックします。または、ワークフローを右クリックし、**[エディターとプロパティー...]**を選択します。
4. **[アクティビティー]** ポッドで**[試し印刷]**アクティビティーを選択し、**[コピー]** をクリックします。
5. **[プレビュー印刷のページ範囲]** と **[要求済みプリンター]** プロパティーに値を指定します。
6. **[OK]**をクリックします。
[オブジェクト] ポッドの **[カスタム]** セクションに新しいアクティビティーが表示されます。
7. ワークフローに新しいアクティビティーをドラッグ&ドロップします。
8. ワークフローを保存します。

5

ワークフロープロパティーを使用してジョブを修正する

[ジョブワークフロープロパティー]オプションは、ジョブチケットプロパティー以外に、カスタムワークフローから直接設定できる複数のジョブ設定オプションを提供します。これらのワークフローオプションではジョブPDF出力を修正しますが、ジョブチケットは変更しません。

[ジョブワークフロープロパティー]オプションを使用するには、最初にカスタムワークフローを作成します。以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、**[操作]**をクリックします。です。
3. ページの左側のオブジェクトポッドで、**[ワークフロー]** をクリックします。
4. **[新規]**をクリックします。
[ワークフローを作成]ダイアログが表示されます。
5. 必要に応じてワークフローのジョブプロパティーを編集します。
6. ワークフローを保存するには、**[OK]**をクリックします。
7. 作成したワークフローを選択し、**[ワークフローを編集]** アイコン () をクリックします。
[エディター]ポッドが表示されます。
8. **[エディター]**ポッドの上に追加するアクティビティーをドラッグします。デフォルトアクティビティーまたはカスタムアクティビティーに変更できます。
以下のアクティビティーを追加できます。

- **[PDFに変換]**
- **[外部アプリケーション実行]**

- 【フォルダーにコピー】
 - 【注文を完了】
 - 【ホットフォルダーアプリケーション実行】
 - 【プリフライト】
 - 【外部プリフライト】
 - 【面付け】
9. 必要に応じて各アクティビティーを設定します。
 10. ワークフローを保存します。
 11. ジョブをワークフローに送信します。

【ジョブのワークフロープロパティー】ページからこれらの構成オプションのいずれかを表示したり編集できます。【ジョブのワークフロープロパティー】ダイアログを開くには、次の手順に従います。

1. 【全てのジョブ】ポッドで、【さらに表示】を選択します。
 2. 【ジョブワークフロープロパティー...】を選択します。
- 【ジョブのワークフロープロパティー】ダイアログが表示されます。

ページにはすべてのアクティビティーと、追加するフェーズが表示されます。また、各アクティビティータブでは、ジョブのすべてのアクティビティー固有のプロパティーが一目で確認できます。ジョブが各カスタムアクティビティーに達すると、設定した構成オプションに応じて修正されます。

12. 【OK】をクリックし、行った変更を保存します。

ジョブを開始/移動/一時停止/再開する

通常、ジョブはTotalFlow Production Managerワークフローに到達すると、すぐに処理を開始します。ただし、システム内でジョブを移動したり、後で移動するためのアクションを実行するときに時間がかかる場合があります。また、ジョブの再印刷や再処理が必要な場合もあります。

プリンターまたはプリンタープールにジョブを送信する

プリンターまたはプリンタープールにワークフローを関連付けている場合は、ジョブは自動でプリンターまたはプリンタープールに送信されます。プリンターにワークフローを関連付けていない場合は、ジョブは**未割り当て**になります。ジョブは手動でプリンターまたはプリンタープールに割り当ててください。

ジョブをプリンターに送信するときは、ジョブのすべての割り当てプロパティの値とプリンターの割り当てプロパティの値を一致させてください。（プリンタープロパティに値がない場合は、ジョブプロパティの値と一致します。）

割り当てプロパティは、以下のとおりです。

ジョブプロパティ	プリンタープロパティ
[お客様]	[お客様名]
[用紙設定]（[名前] エディターの [用紙] ページの[ジョブのプロパティ]）	[用紙設定]（プリンターの給紙トレイまたは用紙交換をスケジュールした用紙の[名前]）
[ステープル/製本]	[ステープル]
[パンチ]	[パンチ]
[折りの種類]	[折り]
[カラー/白黒]	[カラーモード]
[合計シート数]	[対応するジョブの合計シート数]
[要求済みプリンター]	[要求済みプリンター]

未割り当てジョブをプリンターまたはプリンタープールに送信するには、以下の操作を行います。

1. **[全てのジョブ]**ポッドで、ジョブを選択し、**[さらに表示]**、**[移動...]**の順にクリックします。

[ジョブを移動]ダイアログが表示されます。

ジョブを移動

要求済みプリンター: ProC107 位置: 最終ジョブの後

プリンターとジョブの比較

名前	お客様	用紙設定	ステープル	パンチ	折り	カラー/白黒	合計シート数	要求済みプリン...
ProC107		Letter LEF engine...	はい	はい	はい	カラー		
GLOBE.pdf		⚠ *	いいえ	いいえ	いいえ		2	qwqqr

キャンセル OK

2. **【要求済みプリンター】**リストで、プリンターまたはプリンタープールを選択し、ジョブを移動します。
プリンターを選択する場合は、表の一番上の行に選択したプリンターに割り当てプロパティの値が表示されます。その他の行にはジョブに対応するプロパティ値が表示されます。プリンタープールを選択する場合は、割り当てプロパティは比較されず、表示されません。手順6に移動します。
3. ジョブとプリンターのプロパティが一致しない場合は、不一致の値は赤でハイライトされます。別のプリンターまたはプリンタープールを選択します。
4. **【位置】**でジョブを印刷する時間を指定します。
 - 最後に割り当てたジョブの後に印刷するには、**【最終ジョブの後】**をクリックします。
 - 別の割り当てられたジョブの前に印刷するには、リストで別のジョブのいずれかを選択します。
5. **【OK】**をクリックします。
プリンタープールを選択する場合は、TotalFlow Production Managerはジョブの割り当てプロパティとプールのプリンターの割り当てプロパティを比較します。一致するプリンターがない場合は、エラーメッセージが表示され、ジョブは割り当てられません。
6. プリンターがEFI Fieryコントローラーオプションとポート9103を使用する場合は、保留キューにジョブが移動します。プリンターの操作画面で、以下の操作を行います。
 1. 「ジョブ」リストの「保留中」タブで、ジョブを選択します。
 2. 「印刷」を押します。

別のプリンターまたはプリンタープールにジョブを移動する

プリンターにジョブを割り当てた後に、別のプリンターまたはプリンタープールにジョブを移動します。1度に複数のジョブを移動させることができます。

新しいプリンターにジョブを移動するには、ジョブのすべての割り当てプロパティとプリンターの割り当てプロパティの値を一致させてください。プリンタープロパティに値がない場合は、ジョブプロパティの値と一致します。

割り当てプロパティは、以下のとおりです。

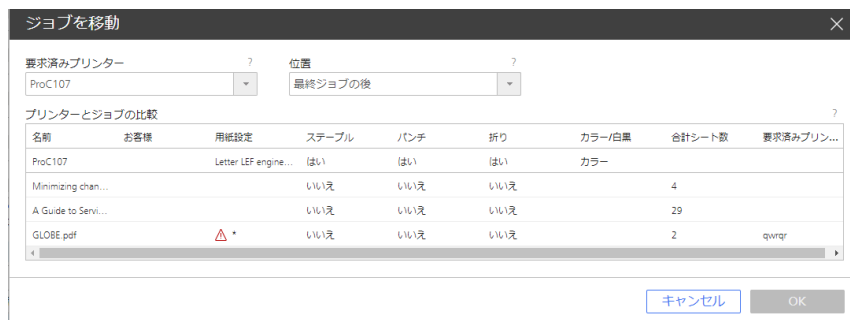
ジョブプロパティ	プリンタープロパティ
【お客様】	【お客様名】
【用紙設定】（【名前】エディターの【用紙】ページの【ジョブのプロパティ】）	【用紙設定】（プリンターの給紙トレイまたは用紙交換をスケジュールした用紙の【名前】）
【ステープル/製本】	【ステープル】
【パンチ】	【パンチ】
【折りの種類】	【折り】

ジョブプロパティ	プリンタープロパティ
[カラー/白黒]	[カラーモード]
[合計シート数]	[対応するジョブの合計シート数]
[要求済みプリンター]	[要求済みプリンター]

別のプリンターまたはプリンターツールにジョブを移動するには、以下の操作を行います。

- 以下のいずれかを行います。
 - [キュー]ビューで複数のジョブを選択します。
 - [キュー]ページを開きます。
 - [キュー]ポッドで、プリンターの横にあるジョブをクリックします。
 - [キュー]ページを開き、[キュー]ポッドでプリンターの横にあるジョブをクリックし、[移動...]を選択します。

5



- [操作]ページで1つまたは複数のジョブを選択します。
 - [全てのジョブ]ポッドで1つまたは複数のジョブを選択します。
 - [さらに表示]、[移動...]の順にクリックします。

[ジョブを移動]ダイアログが表示されます。



- 表の左上で、プリンターまたはプリンタープールを選択し、ジョブを移動します。プリンターを選択する場合は、表の一番上の行に選択したプリンターに割り当てプロパティの値が表示されます。その他の行にはジョブに対応するプロパティ値が表示されます。プリンタープールを選択する場合は、割り当てプロパティは比較されず、表示されません。手順6に移動します。
- ジョブとプリンターのプロパティが一致しない場合は、不一致の値に赤のフラグ (⚠) が表示されます。別のプリンターまたはプリンタープールを選択します。プリンタープールを選択する場合は、TotalFlow Production Managerはジョブの割り当てプロパティとプールのプリンターの割り当てプロパティを比較します。一致

するプリンターがない場合は、エラーメッセージが表示され、ジョブを移動しません。

4. [位置] でジョブを印刷する時間を指定します。
 - 最終割り当てジョブの後に印刷するには、[最終ジョブの後]をクリックします。
 - 別の割り当てジョブの前に印刷するには、[前]をクリックし、別のジョブを選択します。
5. [OK]をクリックします。
 - ジョブのプロパティがプリンターのプロパティと一致することがわかっている場合は、[操作]ページでプリンターまたはワークフローの上にドラッグし、ジョブを移動できます。
6. 新しいプリンターでEFI Fieryコントローラーオプションとポート9103を使用する場合は、保留キューにジョブが移動します。プリンターの操作画面で、以下の操作を行います。
 1. 「ジョブ」リストの「保留」タブで、ジョブを選択します。
 2. 「印刷」を押します。

別のワークフローにジョブを移動する

ジョブをより効率的に管理するために、定義された条件に基づいて、1つのワークフローから複数の既存のワークフローにジョブを移動できます。ターゲットワークフローをプリンターまたはプリンタープールに割り当てる必要があります。また、リモートTotalFlow Production Managerサーバーのワークフローへジョブを移動することもできます。

別のワークフローにジョブを移動するには、以下の操作を行います。

1. ジョブを処理するワークフローを選択し、[さらに表示]、[エディターとプロパティ...]の順にクリックします。
2. [エディター]ページで、ワークフローに[ワークフローを変更]アクティビティを追加します。ワークフローへのアクティビティの追加については、[P.222 「ワークフローを編集する」](#)を参照してください。
3. [ワークフローを変更]アクティビティが[アクティビティ]ポッドにある場合は、アクティビティ名を右クリックし、[プロパティ]を選択します。
4. [アクティビティのプロパティ]ダイアログで[ジョブのデフォルト値]をクリックします。
[ジョブのデフォルト値]ダイアログが表示されます。

5. [条件] リストで、移動するジョブのプロパティに一致する条件を選択します。さらに条件を追加するには、列を追加アイコン (+) をクリックします。

↓ 補足

条件は最大3つまで選択できます。複数の【ワークフローを変更】アクティビティを追加し、連続したワークフローを作成できます。

6. [ワークフローに移動] リストで、ターゲットワークフローが同じサーバーにある場合は【ローカル】を、別の TotalFlow Production Managerサーバーにある場合は【リモート】を選択します。リモートサーバーが実行中で、ターゲットワークフローがプリンターまたはプリンタープールに割り当てられていることを確認します。
7. 【リモート】を選択した場合は、[TotalFlow Production Manager Server] でターゲットワークフローを設定したリモートサーバーアドレスを入力します。
8. リモートサーバーから利用できるワークフローを取得するには、[ワークフローを取得] をクリックします。
9. ターゲットワークフローを [ワークフローを選択] リストから選択します。
10. **[OK]** をクリックし、アクティビティ、ワークフローの順に保存します。ジョブがこのアクティビティに到達し、前の手順で定義したすべての条件が満たされていると、ターゲットワークフローに移動します。

ジョブを優先して処理/印刷する

ジョブ処理が遅いときは、ジョブの優先度を上げてより早くジョブ処理を行います。

ジョブを優先して処理し、印刷するには、以下の操作を行います。

- [優先度] プロパティを使用する:
 1. [印刷方法/認証] ダイアログの[ジョブのプロパティ]ページで、次の操作を行います。
 2. [詳細設定] セクションで、[優先度] プロパティの横にチェックを付けます。

3. [優先度] プロパティの値を指定します。

最低レベルの優先度は1で、最高レベルの優先度は100です。すべての数値は未設定より高い優先度になります。

- [部数分割]オプションを使用する:

1. プリンタープールを作成します。
2. [プリンタープールを作成]ダイアログで、[部数分割]オプションを[はい]に設定します。
3. [コピー分割しきい値]を、部数分割機能が開始される前にジョブが持つことが可能な最大部数に設定します。
4. ジョブを作成したプリンタープールに割り当てます。

↓ 補足

1. この機能でジョブが分割されたときは、部数の合計がある親ジョブと部数がある子ジョブがジョブログに表示されます。
2. 親ジョブはプリンターに割り当てられません。
3. 印刷処理中、親ジョブは変更されませんが、ログには各子ジョブの進行状況が表示されます。子ジョブは完了した時点でログから削除されます。

ジョブを承認/却下する

管理者は、ワークフローの特定地点でジョブの続行に承認を要求できます。オペレーターと管理者は、ジョブを承認または却下できます。

承認待機中のジョブを簡単に特定するには、[現在のアクティビティ]ポッドの[全てのジョブ]プロパティを表示します。

ジョブを承認または却下するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、[操作]をクリックします。です。
3. [ワークフロー] タブで、承認用のジョブを送信するワークフローを選択してクリックします。
4. 承認用のジョブを送信するワークフローを選択し、[ワークフローを編集] アイコン () をクリックします。または、ワークフローを右クリックし、[エディターとプロパティ...]を選択します。

[エディター]ポッドにワークフローが表示されます。

5. [アクティビティ] ポッドで[承認]アクティビティを選択し、[エディター]ポッドにドラッグします。
6. ワークフローを保存します。

[承認]アクティビティにジョブが到達したときは、ジョブは一時停止します。

7. ジョブを選択し、[さらに表示]をクリックします。

- **【承認】** を選択します。ワークフローの次のアクティビティにジョブが移動します。
- **【却下】** を選択します。ジョブが**【エラー】** **【進行状況】**カテゴリーに移動します。

強制的にエラーのジョブを続行する

【エラー】**【進行状況】**カテゴリーにジョブがあるために処理を中止したときは、エラーを無視して強制的にTotalFlow Production Manager処理を続行できます。

強制的にジョブを続行するには、以下の操作を行います。

1. **【全てのジョブ】**ポッドで、ジョブを選択します。
2. **【さらに表示】**、**【エラーを無視して続行】**の順にクリックします。確認メッセージが表示されます。
3. **【はい】**をクリックします。

5

ジョブを一時停止する

印刷を開始するまでジョブを一時停止できます。

ジョブを一時停止するには、**【全てのジョブ】**ポッドで、ジョブを選択し、メニューバーで**【一時停止】**をクリックします。

再開するまでジョブは印刷されません。

一時停止したジョブを再開する

一時停止したジョブの印刷準備ができると、ジョブを再開できます。

一時停止されたジョブを再開するには、**【全てのジョブ】**ポッドで、ジョブを選択し、メニューバーで**【再開】**をクリックします。

問題がなければジョブは印刷されます。

印刷する前にジョブを保留する

指定した時間まで印刷しない場合は、ジョブを保留できます。この操作は通常ジョブを送信するときに**【印刷方法】**プロパティを設定すると、ジョブを送信した後にも実行できます。ジョブを送信した後に、一時停止が容易になります。

印刷前にジョブを保留するには、以下の操作を行います。

1. **【印刷方法/認証】** ダイアログの**【ジョブのプロパティ】**ページを開きます。
2. **【ジョブ情報】** セクションを拡大します。

3. 「期限日」 リストから「納期」を選択することでジョブの印刷日時を設定します。
日付と時間のフィールドが表示されます。

ジョブのプロパティ: GR_DIGITAL_III_E.pdf

印刷方法/認証

部数 1 印刷モード 通常印刷

送信者からのID 入力データ形式 PDF

ページ数 185

ジョブ情報

ジョブ名 GR_DIGITAL_III_E.pdf お客様

ユーザー名 Admin 納期 期限日

2017/07/20 15 : 21

バナーページ情報 特殊な指示

備考1 備考2

キャンセル 保存

5

4. 日付と時間のフィールドを編集します。
5. 「保存」をクリックします。

「指定日時まで保留」オプションを使用すると、ジョブを送信後に、指定の曜日までジョブを保留できます。

1. 「全てのジョブ」ポッドで、ジョブを右クリックし、「さらに表示」を選択します。
2. 表示されたオプションのリストで「指定日時まで保留」を選択します。



【ジョブのプロパティー】ダイアログで新しい日付が自動的に変更されます。

ジョブ状況アイコンはカラーを変更しません。ジョブは、指定された日時まで、または【印刷モード】プロパティーを【通常印刷】または【印刷して保留】に変更するまで印刷されません。

ジョブを保存する

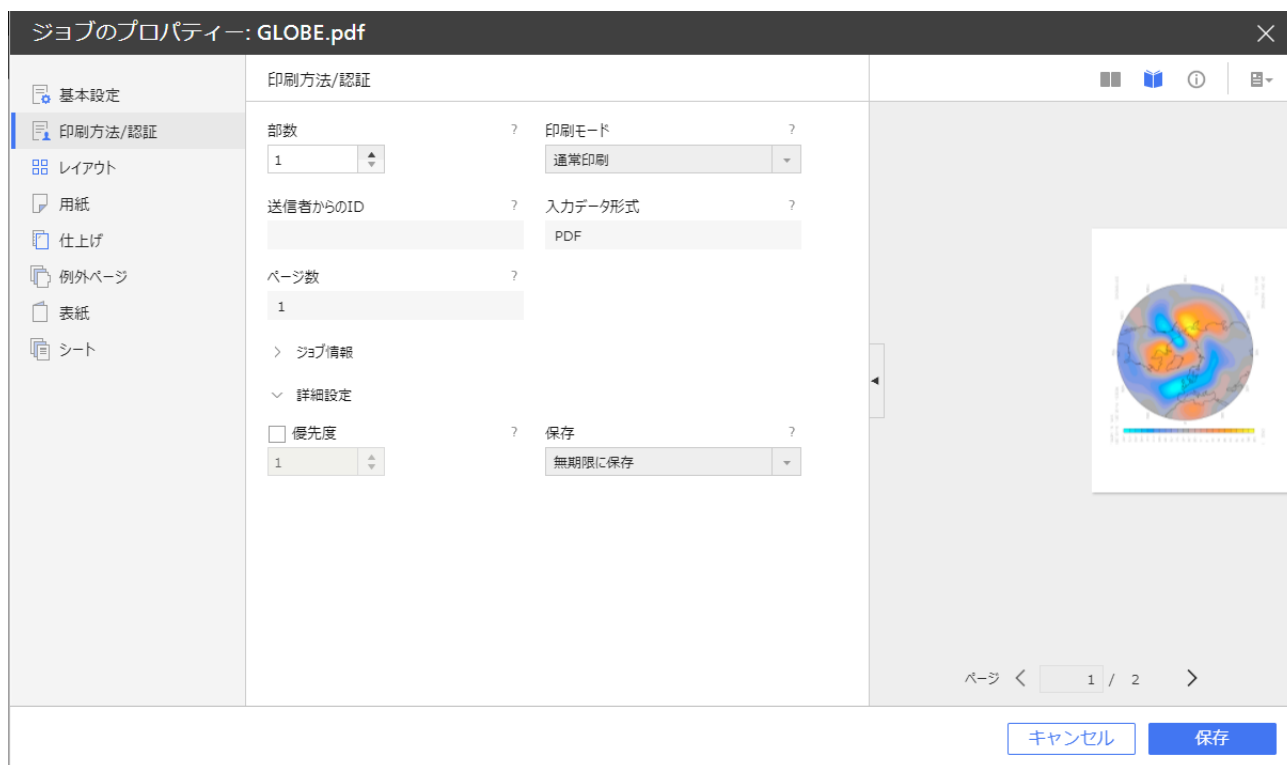
印刷後にTotalFlow Production Managerにジョブを保存できます。

保存済みジョブと印刷して保留済みのジョブは印刷後にTotalFlow Production Managerに保存され、ほかのジョブは削除されます。保存したジョブには自動的に削除される時間を指定できますが、印刷して保留したジョブはユーザーが削除するまでシステムに残ります。

ジョブを保存するには、以下の操作を行います。

- ジョブを削除するまで保存するには、以下の操作を行います。

1. [ジョブのプロパティ]ダイアログの[印刷方法/認証] ページで、[詳細設定] セクションを拡大し、[保存] プロパティを[無期限に保存] に設定します。



5

2. [OK]をクリックします。

印刷するまでジョブは通常の処理をします。印刷した後に、ジョブはユーザーが削除または再処理するまでTotalFlow Production Managerに保存されます。

- 指定した時間でジョブを保存するには、以下の操作を行います。

1. [印刷方法/認証] ダイアログの[ジョブのプロパティ]ページで、[保存] プロパティを[指定期間まで保存] に設定します。

[日数] 、[時間] フィールドが表示されます。

ジョブのプロパティ: GLOBE.pdf

印刷方法/認証

部数 1 印刷モード 通常印刷

送信者からのID 入力データ形式 PDF

ページ数 1

> ジョブ情報

▼ 詳細設定

☐ 優先度 1 保存 指定期間まで保存

日数 3 時間 0

ページ < 1 / 2 >

キャンセル 保存

2. [日数] および [時間] フィールドに値を入力または選択します。

3. [OK]をクリックします。

印刷するまでジョブは通常の処理をします。印刷した後に、指定時間を経過またはユーザーが削除するまでジョブはTotalFlow Production Managerに保存されます。

ジョブを再印刷する

ジョブや印刷されているジョブのページを再印刷します。

単一のジョブを再印刷する

1つのジョブを再印刷するには、以下の操作を行います。

1. [全てのジョブ]ポッドで、ジョブを選択します。
2. [さらに表示]、[再印刷...]の順にクリックします。

[再印刷]ダイアログが表示されます。



The dialog box titled "再印刷" (Reprint) contains the following elements:

- 部数** (Number of copies): A numeric input field with the value "1", and minus/plus buttons. A question mark icon is to the right.
- ページ範囲** (Page range): Radio buttons for **すべて** (All) and **ページ** (Page). The **すべて** option is selected. Below is a text input field for the page range.
- 例** (Example): "1, 3, 5-12, 10-n (n =最終ページ)" (n = final page).
- プリンター** (Printer): A dropdown menu showing "safszv". A question mark icon is to the right.
- Buttons**: "キャンセル" (Cancel) and "OK".

- 部数を入力します。プラス/マイナス記号を使用し、部数を増減します。
- オプション**：PDFジョブの選択したページのみを再印刷するには、**【ページ】**をクリックしてから有効なページ範囲を入力します。

↓ 補足

PDFジョブのみにページを選択できます。その他のデータ形式ではジョブ全体を再印刷してください。

- ジョブを送信するプリンターを選択します。
ジョブを最後に印刷したプリンターがデフォルト値になります。
- オプション**：複数部のジョブを印刷するには、印刷する部数を変更します。

↓ 補足

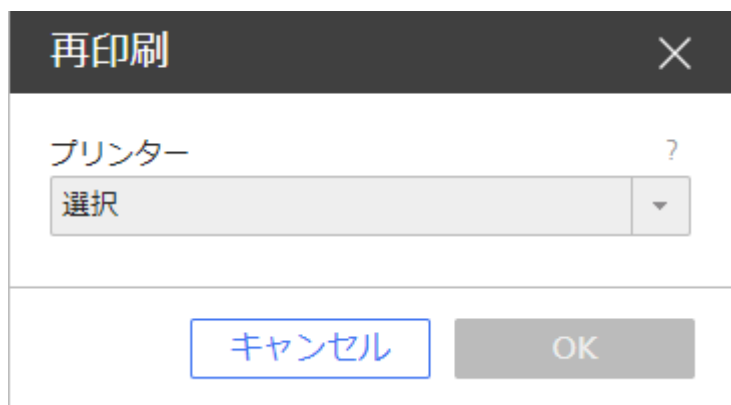
ここで指定した数字はパススループリンターで認識されません。印刷部数が複数の場合は、プリンターコマンドでパスプリンターに部数を渡してください。

- 【OK】**をクリックします。

複数のジョブを再印刷する

複数のジョブを再印刷するには、以下の操作を行います。

- 【全てのジョブ】**ポッドで再印刷する複数のジョブを選択します。
- 【さらに表示】**、**【再印刷...】**の順にクリックします。
【再印刷】ダイアログが表示されます。



3. ジョブを送信するプリンターを選択します。
4. **[OK]**をクリックします。

ワークフローにジョブを割り当てる

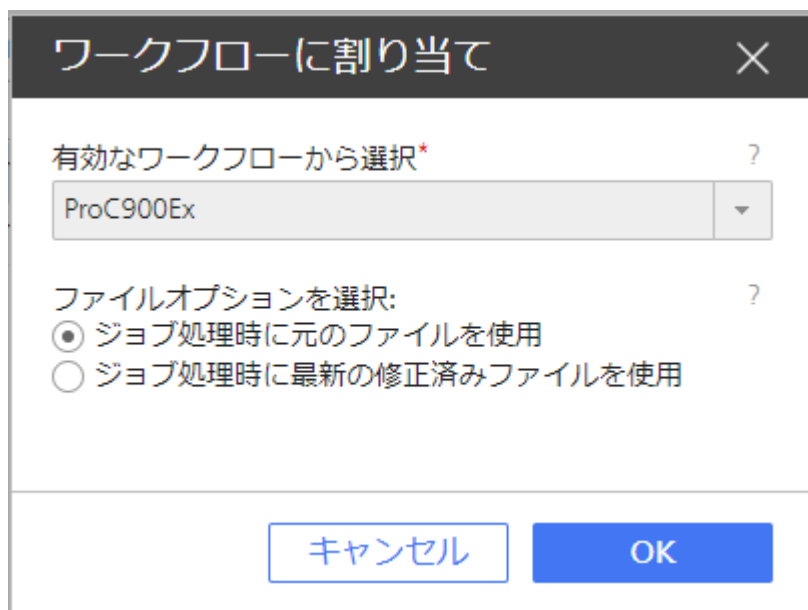
5

関連付けたワークフローなしで、別のアプリケーションからTotalFlow Production Managerにジョブが届いた場合、ジョブをワークフローに割り当てることができます。プリンターにワークフローを関連付けていない場合は、ジョブは**未割り当て**になります。その場合、ワークフローをプリンターまたはプリンタープールに割り当てることが必要です。また、すでにワークフローがあるジョブを再度割り当て、別のワークフローで再び処理することもできます。

ジョブを既存のワークフローに割り当てるには、以下の操作を行います。

1. ジョブを選択します。
2. **[さらに表示]**、**[ワークフローに割り当て...]**の順にクリックします。

[ワークフローに割り当て]ダイアログが表示されます。



3. **[ワークフローを選択...]**リストで、ジョブを割り当てるワークフローを選択します。
4. **[ファイルオプションを選択]**で、以下のいずれかを行います。

- ジョブプロパティの変更など多くの場合は、[ジョブ処理時に元のファイルを使用]をクリックします。
 - TotalFlow Prepを使用してジョブの入力ファイルを変更した場合は、[ジョブ処理時に最新の修正済みファイルを使用]を選択します。
5. [OK]をクリックします。

ジョブをマージする

複数のPDFジョブを1つのジョブにマージできます。

ジョブをマージするには、以下の操作を行います。

1. [全てのジョブ]ポッドで、マージするジョブを選択します。
2. 選択範囲を右クリックしてから[マージ...]をクリックします。

[ジョブをマージ] ダイアログが表示されます。



3. ジョブの順序を変更するには、必要に応じてリストにジョブをドラッグアンドドロップします。リストからマージ済みジョブを削除するには、ジョブを選択してから [削除] アイコン (🗑️) をクリックします。

4. **[OK]**をクリックします。

TotalFlow Production Managerは、マージ順序リストの最初のジョブに変更をかけて保持します。これがマスタージョブになります。マージされた他のジョブは削除されます。

結果として得られたマージ済みジョブは、マスタージョブの名前とほとんどのプロパティを継承します。ジョブ名は次のようになります。最初のジョブ名-マージ済み。

[キュー] ポッドでも、ジョブをマージできます。



重要

- PDFジョブのみマージできます。
- パスワードで保護されたPDFジョブをマージする場合は、最初にPDFファイルをロック解除します。
- マージ済みジョブのパーツはそれぞれシートのおもて面から始まります。
- **[面付け]** で **[中とじ]**、**[無線とじ]**、または **[スピード]** に設定したジョブはマージできません。
- マージ済みジョブでは、シートの挿入、用紙や色の置換、サブセットステープルなどのほとんどのページ例外設定が保持されます。

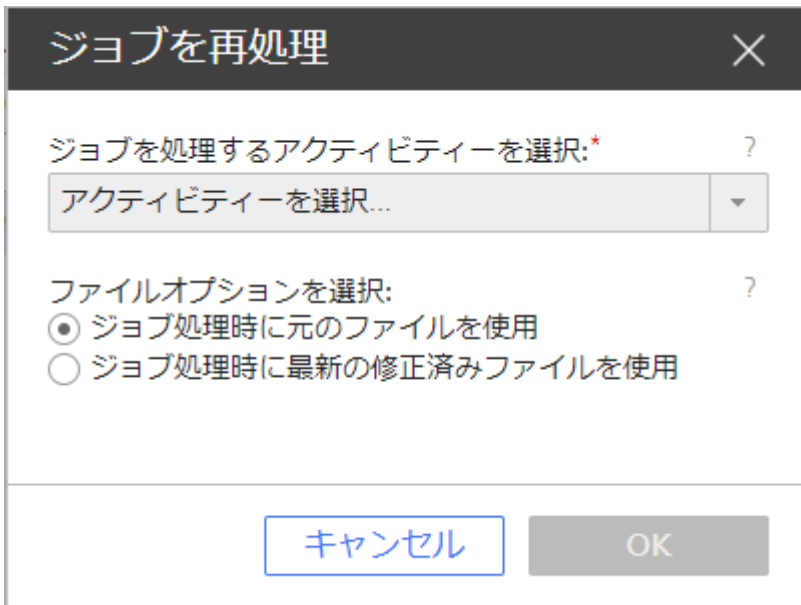
ジョブを再処理する

場合によっては、ジョブの再処理が必要です。たとえば、ジョブを試し印刷してからジョブプロパティを変更し、再度試し印刷することがあります。オペレーターと管理者がジョブを再処理できます。

ジョブを再処理するには、以下の操作を行います。

1. ジョブを選択します。
2. **[さらに表示]**、**[再処理...]**の順にクリックします。

[ジョブを再処理]ダイアログが表示されます。



3. 再処理を開始するアクティビティーを選択します。
4. 以下のいずれかを行います。
 - ジョブプロパティーの変更など多くの場合は、[ジョブ処理時に元のファイルを使用]をクリックします。
 - TotalFlow Prepを使用してジョブの入力ファイルを変更した場合は、[ジョブ処理時に最新の修正済みファイルを使用]を選択します。
5. **[OK]**をクリックします。

パスワードで保護されたPDFのロックを解除する

一部のジョブには、パスワードで保護されたPDFファイルが含まれる場合があります。オペレーターと管理者は複数のパスワードを使用してロックを解除できます。

パスワードで保護されたPDFファイルを送信すると、**[パスワードを待機中]**処理状態に移行します。

パスワードで保護されたジョブのロックを解除するには、以下の操作を行います。

1. ジョブを選択します。
2. 選択したジョブを右クリックするか、**[さらに表示]**、**[ロック解除...]**の順にクリックします。

[パスワードで保護されたジョブを解除]ダイアログが表示されます。

パスワードで保護されたジョブ... ×

パスワード ?

☐ パスワードを表示

キャンセル

ロック解除

3. 【パスワード】フィールドで、PDFの【文書を開くパスワード】を入力します。

↓ 補足

PDFファイルが認証パスワードでロックされた場合は、【パスワード】フィールドで【認証パスワード】のみを入力してください。

入力したパスワードでロックされていたファイルは処理できるようになりますが、パスワードが違う場合は【パスワードを待機中】処理状態のままです。

4. パスワードで保護された複数のファイルのパスワードが異なる場合は、すべてのファイルのロックが解除されるまでロック解除手順を繰り返します。
5. 【ロック解除】をクリックします。

6. ワークフローを操作する

- ワークフローページ
- 標準ワークフロー
- 標準アクティビティとカスタムアクティビティ
- ワークフローを作成する
- ワークフローを編集する
- カスタムアクティビティを作成する
- アクティビティプロパティとジョブデフォルト値を表示/変更する
- Streamlineからジョブを受け取るためにワークフローを設定する
- ホットフォルダーのジョブをマージするためワークフローを設定する
- 外部アクティビティ
- アクティビティを削除する

アクティビティを追加または削除することで、ワークフローの作成やカスタマイズができます。ワークフローとアクティビティのプロパティも編集できます。

ワークフローの定義ではジョブが処理中に通過するアクティビティを指定します。アクティビティはワークフローフェーズで整理されます。フェーズにアクティビティがなくてもジョブはすべてのワークフローフェーズを通ります。

↓ 補足

一部のアクティビティは、TotalFlow Production Managerがそれらを許可する追加のオプションと一緒にインストールされている場合にのみ使用可能です。詳しくは、[P.219 「標準アクティビティとカスタムアクティビティ」](#)を参照してください。

ワークフローには、以下の種類があります。

[受信]フェーズ

[受信]フェーズでは、TotalFlow Production Managerは処理用入力ファイルを受信します。各ジョブがワークフローに割り当てられ、フェーズとアクティビティを定義します。

入力ファイルは[受信]フェーズでキューに入った後に、TotalFlow Production Managerでジョブになります。すべての入力ファイルは[受信]フェーズを通過することが必要です。

[準備]フェーズ

[準備]フェーズでは、ジョブを構成して変換します。フェーズ中にTotalFlow Production Managerに外部プログラム実行を指示すると、さらに条件の追加やジョブの解釈を実行できます。[準備]フェーズはオプションです。

[印刷]フェーズ

[印刷]フェーズでは、使用可能なプリンターにジョブの送信、印刷状態の監視、印刷の完了を通知します。この中にはジョブを再印刷する前に手動でプリンターに調整をする品質確認も含まれます。また、外部プログラムにジョブを送信して特別な処理をする場合もあります。[印刷]フェーズはオプションです。

[完了]フェーズ

ほかのすべての処理を完了後、[完了]フェーズにジョブを移動します。[完了]フェーズではジョブの保持期間を管理し、保持期間がないジョブや終了したジョブを削除します。このフェーズでは、完了したジョブに外部プログラムを呼び出すこともできます。たとえば、外部プログラムはアーカイブシステムにジョブをコピーできます。すべてのジョブは必ず[完了]フェーズを通過します。

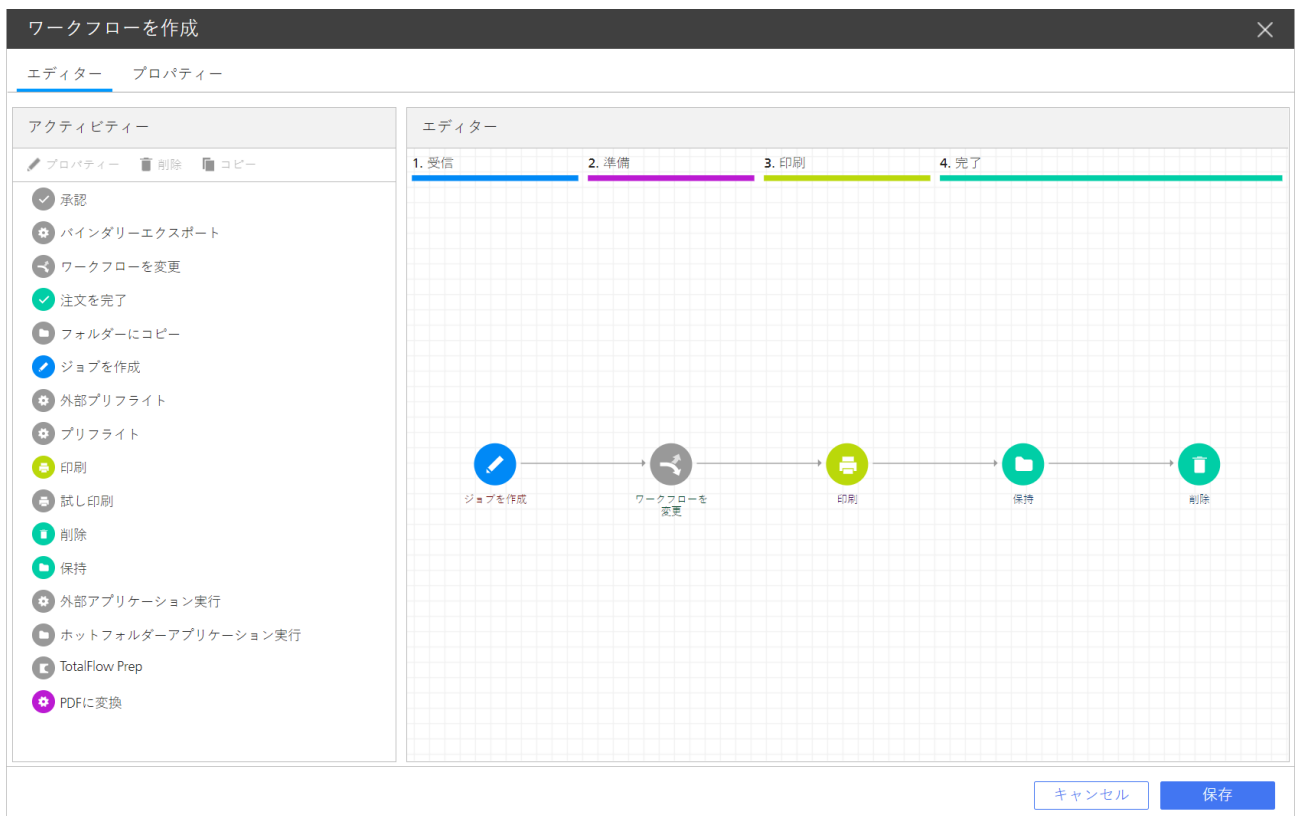
ワークフローページ

TotalFlow Production Managerの操作画面の【ワークフロー】ページを使用すると、管理者は、ワークフローとアクティビティを表示できます。

【ワークフロー】ページには、【エディター】タブと【プロパティ】タブの2つがあります。【エディター】タブには、【アクティビティ】ポッドと【エディター】ポッドの2つがあります。

★重要

ブラウザの【進む】と【戻る】ボタンを使用すると、予期しない結果が生じることがあるため、必ず操作画面のページボタンを使用してタブを切り替えてください。



【アクティビティ】ポッドには、TotalFlow Production Managerのワークフローとアクティビティが表示されます。2つのセクションがあります。

- 【デフォルト】セクション。指定されたアクティビティがある場所です。
- 【カスタム】セクション。作成するアクティビティが一覧表示されます。

【エディター】ポッドを使用し、ワークフローのアクティビティを表示および編集します。

【エディター】ポッドはワークフローフェーズを表す領域に分割されています。各領域は色分けされています。

【受信】フェーズ（ブルー）

【受信】フェーズでは、TotalFlow Production Managerは処理用入力ファイルを受信します。各ジョブがワークフローに割り当てられ、フェーズとアクティビティを定義します。

入力ファイルは[受信]フェーズでキューに入った後に、TotalFlow Production Managerでジョブになります。すべての入力ファイルは[受信]フェーズを通過することが必要です。

[準備]フェーズ（パープル）

[準備]フェーズでは、ジョブを構成して変換します。フェーズ中にTotalFlow Production Managerに外部プログラム実行を指示すると、さらに条件の追加やジョブの解釈を実行できます。[準備]フェーズはオプションです。

[印刷]フェーズ（イエロー）

[印刷]フェーズでは、使用可能なプリンターにジョブの送信、印刷状態の監視、印刷の完了を通知します。この中にはジョブを再印刷する前に手動でプリンターに調整をする品質確認も含まれます。また、外部プログラムにジョブを送信して特別な処理をする場合もあります。[印刷]フェーズはオプションです。

[完了]フェーズ（グリーン）

ほかのすべての処理を完了後、[完了]フェーズにジョブを移動します。[完了]フェーズではジョブの保持期間を管理し、保持期間がないジョブや終了したジョブを削除します。このフェーズでは、完了したジョブに外部プログラムを呼び出すこともできます。たとえば、外部プログラムはアーカイブシステムにジョブをコピーできます。すべてのジョブは必ず[完了]フェーズを通過します。

アイコンはワークフローの各アクティビティを表します。

コネクタはアクティビティ間の経路を表します。

標準ワークフロー

TotalFlow Production Managerは他のワークフローを作成や編集するための例として、使用できるデフォルトのワークフローを提供します。

デフォルトのワークフローは、以下のとおりです。

[任意のプリンター]

ワークフローを構築および前の状態に戻すための例として使用されるデフォルトワークフロー。

[試し印刷]

[試し印刷]と[承認]アクティビティを含むサンプルワークフロー。以下のアクティビティを追加する地点を表示するにはこのワークフローを使用します。

標準アクティビティとカスタムアクティビティ

TotalFlow Production Managerでは、ジョブの印刷に必要な基本のアクティビティを提供します。これらのアクティビティを変更せずにワークフローに追加したり、コピーを変更してカスタムアクティビティを作成したりできます。

保護された標準アクティビティは、以下のとおりです。これらのアクティビティはコピー、修正、または削除できませんが、設定されているジョブのデフォルト値は変更できます。ほかは保護されていません。これらのアクティビティを変更する場合は、カスタムアクティビティにコピーしてから変更してください。

保護された標準アクティビティは、以下のとおりです。

[ジョブを作成]

入力データストリームを判断し、ワークフローのデフォルト値と上書き値に応じてジョブプロパティに値を設定します。

[試し印刷]

ジョブの特定ページ範囲をプレビューします。

[印刷]

ジョブの各ページの先頭に移動し、部分的にジョブを再印刷するときに正確な位置に戻すために必要なページ情報を再構築し、プリンターにジョブを送信します。

[保持]

印刷した後にシステムにジョブを保存します。

[削除]

監査情報をエクスポートしてシステムからジョブを削除します。

保護されていない標準アクティビティは、以下のとおりです。

[TotalFlow Prep]

ジョブがワークフローの次のアクティビティに移動する前に、オペレーターにTotalFlow Prepの操作が完了したことを示すよう要求します。

[PDFに変換]

PCLファイルとPostScriptファイルをPDFに変換します。

[外部アプリケーション実行]

処理にコマンドラインインターフェースを使用する外部アプリケーションにジョブを渡します。成功を示すリターンコードを指定すると、外部のTotalFlow Production Managerが完了したときに**[外部アプリケーション実行]**がワークフローの次のアクティビティにジョブを移動できます。

[フォルダーにコピー]

指定したフォルダーにジョブを保存します。

[注文を完了]

外部のWeb to Printアプリケーションポータルから送信された注文ジョブを完了します。

[ホットフォルダーアプリケーション実行]

処理にホットフォルダーインターフェースを使用する外部アプリケーションにファイルを渡します。外部アプリケーションが完了済みファイルを返すと、TotalFlow Production Managerはジョブをワークフロー内の次のアクティビティに自動的に移動させます。

[プリフライト]

内部TotalFlow Production Manager PitStopライブラリーを用いてPDFファイルをプリフライトします。

【外部プリフライト】

PitStop Serverプログラムを用いてPDFファイルをプリフライトします。

【ワークフローを変更】

このアクティビティーを使用し、定義された条件に基づきジョブを特定のワークフローに移動します。

このアクティビティーを使用するには、ワークフローの [ジョブのデフォルト値] ダイアログで条件を定義していることを確認します。

【承認】

ワークフローの次のアクティビティーに移動する前に承認または却下できるようにジョブを停止します。

ワークフローを作成する

ワークフローを作成し、必要に応じてカスタマイズできます。

ワークフローを作成するには、以下の操作を行います。

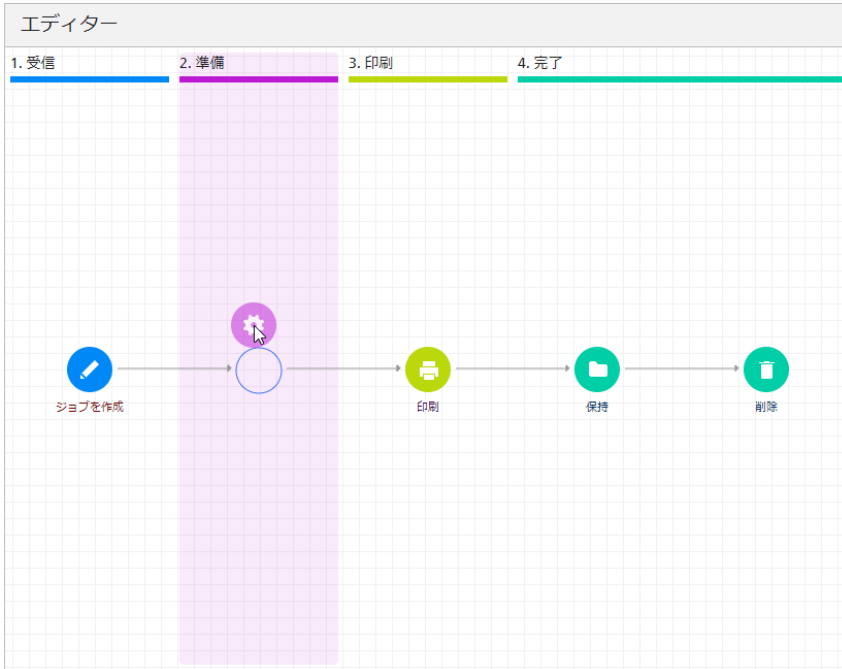
1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、**【操作】**をクリックします。
3. ページの左側のオブジェクトポッドで、**【ワークフロー】** をクリックします。
4. **【新規】**をクリックします。

【ワークフローを作成】ダイアログが表示されます。

5. 必要に応じてワークフローのジョブプロパティーを編集します。
6. ワークフローを保存するには、**【OK】**をクリックします。
7. ワークフローにアクティビティーを追加するには、以下の操作を行います。
 1. オブジェクトポッドでワークフローを選択し、**【エディターとプロパティー...】**、**【エディター】**の順にクリックします。
【エディター】ポッドが表示されます。
 2. **【デフォルト】**ポッドの**【アクティビティー】**セクションで、追加するアクティビティーを選択します。

3. ワークフロー [デフォルト] ポッドから【エディター】ポッドの適切な位置にアクティビティーアイコンをドラッグ&ドロップします。

アクティビティーアイコンの色はアクティビティーを追加できるワークフローのフェーズを示しています。グレーのアイコンは複数のフェーズにアクティビティーを追加できることを意味します。



アクティビティーを追加できないフェーズにドラッグ&ドロップすると、赤色の斜線付き円アイコンが表示されます。

8. ワークフローを保存するには、【保存】をクリックします。

ワークフローを編集する

アクティビティーを追加または削除することで、ワークフローを修正できます。

★重要

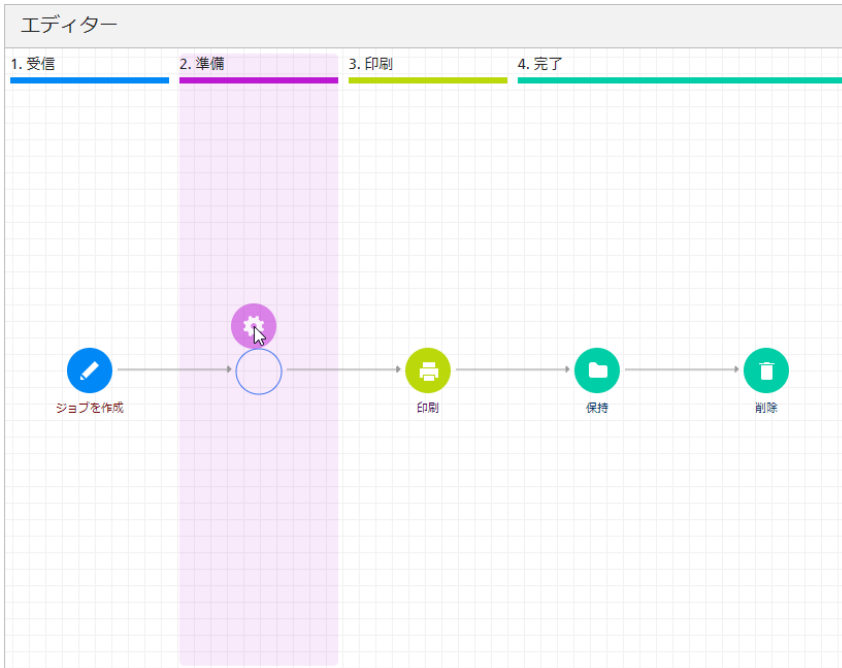
ワークフローを編集する前に、ジョブが割り当てられていないか、または割り当てられていたすべてのジョブが【完了】フェーズにあることを確認してください。ワークフローに割り当てられたジョブが【受信】、【準備】または【印刷】フェーズにある場合は変更を保存できません。

ワークフローを編集するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、【操作】をクリックします。
3. ページの左側のオブジェクトポッドで、【ワークフロー】をクリックします。
4. 編集するワークフローを選択し、【さらに表示】、【エディターとプロパティー...】の順にクリックします。
5. 【エディター】ページを開きます。
6. ワークフローにアクティビティーを追加するには、以下の操作を行います。

1. [アクティビティ] ポッドで、追加するアクティビティを選択します。
2. [エディター]ポッドの適切な位置に [アクティビティ] アイコンをドラッグ&ドロップします。

アクティビティアイコンの色はアクティビティを追加できるワークフローのフェーズを示しています。グレーのアイコンは複数のフェーズにアクティビティを追加できることを意味します。



アクティビティを追加できないフェーズにドラッグ&ドロップすると、赤色の斜線付き円アイコンが表示されます。

7. ワークフローからアクティビティを削除するには、以下の操作を行います。
 1. [エディター]ポッドでアクティビティを右クリックし、[削除]をクリックします。
確認ダイアログが表示されます。
 2. [はい]をクリックします。
8. ワークフローを保存するには、[保存]をクリックします。

カスタムアクティビティを作成する

アクティビティのプロパティまたは保護されていないアクティビティが設定するジョブデフォルトを変更するときに、カスタムアクティビティを作成してください。

カスタムアクティビティを作成するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. ワークフローを選択し、[エディターとプロパティ...]をクリックしてワークフローエディターパネルを開きます。[エディター]をクリックします。
3. [アクティビティ] ポッドで、アクティビティを選択して[コピー...]をクリックするか、アクティビティを右クリックして[コピー...]を選択します。

[アクティビティをコピー] ダイアログが表示されます。

4. 変更するジョブデフォルト値のプロパティに新しい値を入力または選択します。
5. **[OK]**をクリックします。

[アクティビティ] ポッドの [カスタム] セクションに新しいアクティビティが表示されます。

アクティビティプロパティとジョブデフォルト値を表示/変更する

アクティビティはその他のオブジェクトと同様に、表示や変更ができるプロパティを持ちます。一部のアクティビティはジョブプロパティと密接に関連しています。これらのアクティビティを変更し、アクティビティがジョブを処理するときにジョブプロパティのデフォルト値を設定できます。

TotalFlow Production Managerが提供する一部のアクティビティのプロパティは変更できませんが、ジョブデフォルトは変更できます。保護されていないアクティビティのプロパティは変更できますが、推奨しません。カスタムアクティビティにアクティビティをコピーし、カスタムアクティビティのプロパティを変更します。

アクティビティのプロパティとジョブデフォルト値を表示または変更するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、**[操作]**をクリックします。、**[ワークフロー]**の順にクリックします。
3. 今後ワークフローに追加されるすべてのアクティビティのプロパティとジョブデフォルト値を変更するには、以下の操作を行います。

1. **[ワークフロー]** タブで、以下のいずれかを行います。

- ワークフローを選択し、**[さらに表示]**、**[プロパティ...]**の順にクリックします。
- ワークフローを右クリックし、**[プロパティ...]**を選択します。

★重要

この方法で変更すると、デフォルトワークフローのアクティビティを含む既存のアクティビティに影響しません。新しいワークフローを作成する場合は、元のアクティビティを含むデフォルトワークフローからワークフローがコピーされます。

2. **[ワークフローのプロパティ]**ダイアログで、**[ジョブのデフォルト値]** をクリックします。または、ワークフローを右クリックし、**[ジョブデフォルトと上書き...]** を選択します。
4. ワークフローのアクティビティのプロパティとジョブデフォルト値を変更するには、以下の操作を行います。
 1. 画面の左側のオブジェクトポッドで、**[ワークフロー]** をクリックします。
 2. 編集するアクティビティのインスタンスを含むワークフローを選択し、**[さらに表示]**、**[ワークフローを編集]**の順にクリックします。

【エディター】ポッドにワークフローが表示されます。

3. [デフォルト] セクションでアクティビティを選択し、【プロパティ】をクリックします。

【アクティビティのプロパティ】ダイアログが表示されます。

5. 変更するジョブデフォルト値のプロパティに新しい値を入力または選択します。
6. 【OK】をクリックします。

Streamlineからジョブを受け取るためにワークフローを設定する

ワークフローを設定し、Streamlineから受け取ったジョブを管理できます。

Streamline NXは、ドキュメント印刷プロセスの管理に役立つ一連のドキュメント管理アプリケーションです。TotalFlow Production ManagerでStreamline NXを設定する方法は、Streamline NX管理者ガイドを参照してください。

Streamlineからジョブを受け取るワークフローを設定するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで【操作】、【ワークフロー】の順にクリックします。
3. ワークフローを選択し、【さらに表示】、【エディターとプロパティ...】の順にクリックします。
【ワークフロー】ダイアログが表示されます。
4. 【全般】ページで【カラーページを数える】を有効にします。
5. 【OK】をクリックします。
6. 同じワークフローを選択し、【さらに表示】、【エディターとプロパティ...】の順にクリックします。
7. ワークフローに【PDFに変換】アクティビティを追加します。ワークフローへのアクティビティの追加については、[P. 222 「ワークフローを編集する」](#)を参照してください。
8. 追加した【PDFに変換】アクティビティのプロパティダイアログを開きます。
9. 【ジョブのデフォルト】タブで【読み取りジョブチケット属性】を選択します。
10. 【OK】をクリックします。

ホットフォルダーのジョブをマージするためワークフローを設定する

定義したルールに従って、ホットフォルダーのポーリングアクティビティを使用して、ホットフォルダーのPDFファイルをマージするワークフローを構成できます。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで【操作】、【ワークフロー】の順にクリックします。
3. ワークフローを選択し、【さらに表示】、【エディターとプロパティ...】の順にクリックします。

[ワークフロー]ダイアログが表示されます。

4. [プロパティ]をクリックします。
5. [全般]ページで[ホットフォルダー]を有効にします。
6. [詳細]ページの[ホットフォルダー] セクションで、ポーリング間隔を設定します。ポーリング間隔値を決めるときは、マージするPDFファイルのサイズを考慮する必要があります。
7. [ファイル種類]で、[文書]を選択します。
8. [マージ方法]を選択し、必要な場合は、[マージ番号]を選択します。
9. [OK] をクリックします。



- ポーリング時にコピー中のファイルは、次のポーリングにパスされます。
- ファイルが破損しているか、またはパスワードで保護されているため、マージツールがすべてのファイル进行处理できない場合は、マージされなかったファイルはHotfolder/Merging/FailedMergesフォルダーに保存され、マージのタイムスタンプにより分類されます。エラーについては、ワークフローログを参照します。

6

外部アクティビティ

TotalFlow Production Managerの外部からアプリケーションを実行するアクティビティを追加できます。外部アプリケーションは特殊なジョブ処理タスクを実行できます。TotalFlow Production Managerがインストールされているコンピュータで実行してください。

TotalFlow Production Managerアクティビティの外部で処理されるため、外部アクティビティと呼びます。

TotalFlow Production Managerには、以下の外部アクティビティが含まれています。

[外部アプリケーション実行]

コマンドラインインターフェースで外部アプリケーションを呼び出します。ジョブに作成した固有のスプールディレクトリーインストールドライブ:¥aiw¥aiw1¥spool ¥default¥JobIDから外部アプリケーションでジョブを読み込み、処理後に出力結果をスプールディレクトリーに書き込む設定ができます。

[ホットフォルダーアプリケーション実行]

別のアプリケーションで監視されているホットフォルダーにジョブを入れます。そのアプリケーションは印刷ジョブを取り出して処理し、出力フォルダーに入れます。TotalFlow Production Managerはその出力フォルダーを監視し、準備ができたらジョブを取り出します。

使用するアクティビティは主に外部アプリケーションのジョブ受信方法によって異なります。外部アプリケーションにコマンドラインインターフェースがある場合は、ワークフローに[外部アプリケーション実行]が含まれます。外部アプリケーションがホットフォルダーの入力を監視する場合は、ワークフローに[ホットフォルダーアプリケーション実行]が含まれます。外部アプリケーションに両方のインターフェースがある場合は、どのアクティビティを使用するかを選択できます。

使用するアクティビティを判断するときに、以下の点に注意してください。

[外部アプリケーション実行]	[ホットフォルダーアプリケーション実行]
コマンドの書き込みとすべての必要なオプションの指定が必要です。コマンドの書き込みに精通していない、または外部アプリケーションの実行に必要なコマンド構文が不明だとアクティビティの設定が難しくなります。	送信フォルダーと取得フォルダーの正しい設定が必要です。送信するファイル名が取得パターンと一致しない場合は、送信フォルダーと取得フォルダーが同じになります。取得パターンは、リターンジョブを識別するパターン一致文字列です。 たとえば、外部アプリケーションがPCLからPDFにファイルに変換する場合は、取得パターンは、PDF拡張子があるファイルを検索します。 printfile.PDFを検索するため、アクティビティはホットフォルダーにprintfile.pclをコピーし、変換したファイルを間違えずに取得できます。 別のPDFファイルを返すアプリケーションにPDFファイルを送信するには、送信フォルダーと取得フォルダーは同じフォルダーにできません。
外部アプリケーションに送信するコードページと言語を指定できます。	外部アプリケーションに送信するコードページと言語は指定できません。
外部アプリケーションからエラー状態を避けてジョブを送信できるリターンコードを指定できます。	有効なリターンコードを指定するオプションはありません。 外部アプリケーションが指定ファイルを返す場合は、ファイルを取り出し、エラーを確認せずに次のステップに処理を移動します。そのため、出力ディレクトリーにエラーファイルをコピーしないように外部アプリケーションを設定することが必要になります。ホットフォルダーがタイムアウトに設定されている場合は、ジョブは問題が解決するまでエラー状態になります。ホットフォルダーがタイムアウトに設定されている場合は、ジョブは問題が解決するまでエラー状態になります。ホットフォルダーが無期限で待機に設定されている場合は、オペレーターが操作するまでジョブは待機し続けます。

外部アプリケーションをセットアップする

外部アクティビティを作成する前に、外部アクティビティを呼び出す外部アプリケーションをセットアップしてください。

外部アプリケーションをセットアップには、以下の操作を行います。

1. TotalFlow Production Managerと同じシステムに外部アプリケーションをインストールします。
インストールについては、外部アプリケーションの使用説明書を参照してください。
2. TotalFlow Production Managerで外部アプリケーションを実行できることを確認してください。以下のいずれかを行います。
 - 作成するコマンドの外部アプリケーションにフルパスを入れます。

- [PATH] システム環境変数に外部アプリケーションをインストールしたフォルダーを追加します。
3. 外部アプリケーションが正常に起動することを確認します。
 4. 外部アプリケーションがコマンドラインインターフェースを使用する場合は、外部アプリケーションの実行に使用するコマンドを記録します。
- 【外部アプリケーション実行】アクティビティーを作成するときに、このコマンドで【外部コマンド】プロパティーの値を決定します。

【外部アプリケーション実行】アクティビティーを作成する

コマンドラインインターフェースを使用する外部アプリケーションでジョブを処理するには、【外部アプリケーション実行】アクティビティーを作成し、ワークフローに追加します。

【外部アプリケーション実行】アクティビティーを作成するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、【操作】をクリックします。
3. ページの左側のオブジェクトポッドで、【ワークフロー】をクリックします。
4. 編集するワークフローを選択し、【さらに表示】、【エディターとプロパティー...】の順にクリックします。

【エディター】ポッドにワークフローが表示されます。

5. 【デフォルト】ポッドの【アクティビティー】セクションで、【外部アプリケーション実行】アクティビティーを選択して【コピー...】をクリックします。
6. 【アクティビティーをコピー】ダイアログで、すべての必要なプロパティーに値を設定します。

↓ 補足

1. 【外部アプリケーション実行】アクティビティーを使用してPostScriptまたはPCLジョブをPDFに変換する場合、【外部コマンド】フィールドの以下のコマンドのいずれかを使用します。

- PCLファイルを変換する場合：

```
copy ${getFileName(print,pdf,read)} ${getFileName(print,pcl,write)}
```

- PostScriptファイルを変換する場合：

```
copy ${getFileName(print,pdf,read)} ${getFileName(print,ps,write)}
```

詳しくは、P.184 「外部変換アプリケーションを使用してPostScriptおよびPCLジョブを変換する」を参照してください。

2. 【外部コマンド】プロパティーでファイル名を指定するには、P.275 「記号表記でファイル名を指定する」を参照してください。
3. 【外部コマンド】プロパティーでジョブ属性を指定するには、P.277 「コマンドでジョブ属性シンボルを使用する」を参照してください。

7. **[OK]**をクリックします。

【アクティビティ】ポッドの【カスタム】セクションに新しいアクティビティが表示されます。

8. 新しいアクティビティをワークフローに追加します。このワークフローにジョブを送信し、外部アプリケーションで処理します。

【ホットフォルダーアプリケーション実行】アクティビティを作成する

ホットフォルダーインターフェースを使用する外部アプリケーションでジョブを処理するには、【ホットフォルダーアプリケーション実行】アクティビティを作成し、ワークフローに追加してください。

【ホットフォルダーアプリケーション実行】アクティビティを作成するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、**[操作]**をクリックします。
3. ページの左側のオブジェクトポッドで、**[ワークフロー]** をクリックします。
4. 編集するワークフローを選択し、**[さらに表示]**、**[エディターとプロパティ...]**の順にクリックします。または、ワークフローを選択し、**[ワークフローを編集]** アイコン () をクリックします。

【エディター】ポッドにワークフローが表示されます。

5. 【デフォルト】ポッドの【アクティビティ】セクションで、**【ホットフォルダーアプリケーション実行】**アクティビティを選択して**[コピー...]**をクリックします。
6. **[アクティビティをコピー]** ダイアログで、すべての必要なプロパティに値を設定します。

【取得されたファイル】および【送信するファイル】プロパティのファイル名の指定については、[P. 275 「記号表記でファイル名を指定する」](#)を参照してください。

【取得パターン】プロパティに値を指定するには、正規表現を使用してください。正規表現の`${Job.Id}`を使用し、ジョブIDを示すことができます。ジョブIDはスプールフォルダーのジョブファイル名で始まるため、`getFileName`または`getAbsoluteFileName`方式で【送信するファイル】プロパティの値を指定する場合は、ファイル名の先頭はジョブIDになります。また、ホットフォルダーアプリケーションが入力ファイル名と同じファイルを返すと、返されたファイル名の先頭はジョブIDになります。【取得パターン】のデフォルト値`${Job.Id}.*`は、ジョブIDで始まるすべてのファイル名と一致します。`${Job.Id}.*[Pp][Dd][Ff]`の値はファイルの拡張子がPDFのときは、どの場合でも、ジョブIDで始まる任意のファイル名と一致します。

正規表現については、[P. 274 「正規表現」](#)を参照してください。

7. **[OK]**をクリックします。

【アクティビティ】ポッドの【カスタム】セクションに新しいアクティビティが表示されます。

- 新しいアクティビティをワークフローに追加します。このワークフローにジョブを送信し、ホットフォルダーアプリケーションで処理します。

[フォルダーにコピー]アクティビティを作成する

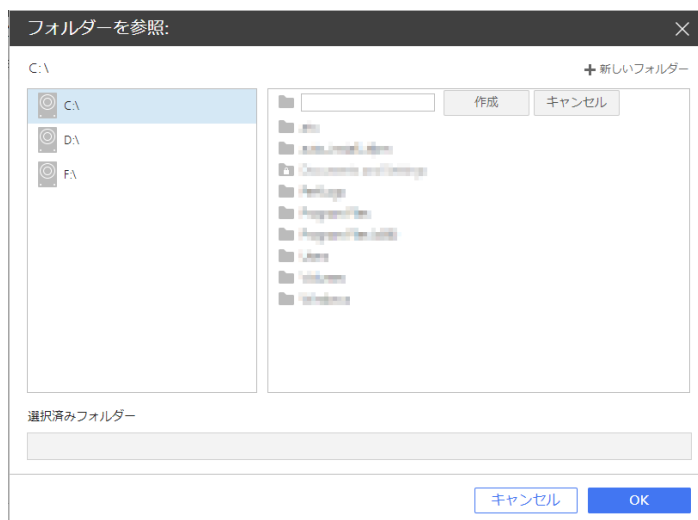
ジョブファイルを指定したフォルダーにコピーするには、[フォルダーにコピー]アクティビティを作成し、ワークフローに追加します。

[フォルダーにコピー]アクティビティを作成するには、以下の操作を行います。

- 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
- メニューバーで、[操作]をクリックします。
- ページの左側のオブジェクトポッドで、[ワークフロー] をクリックします。
- 編集するワークフローを選択し、[さらに表示]、[エディターとプロパティ...]の順にクリックします。または、ワークフローを選択し、[ワークフローを編集] アイコン (✎) をクリックします。

[エディター]ポッドにワークフローが表示されます。

- [デフォルト] ポッドの [アクティビティ] セクションで、[フォルダーにコピー] アクティビティを選択して[コピー...]をクリックします。
- [アクティビティをコピー] ダイアログで、すべての必要なプロパティに値を設定します。
 - 指定したフォルダーにファイル名が存在していて置換する場合は、[ファイルを上書き] オプションを使用します。
 - [エラー発生時にフォルダーへのコピーを有効化] を選択し、[参照]ボタンを使用してファイルのコピー先フォルダーの名前と場所を指定します。ファイルがサーバーにコピーされます。コピー先フォルダーに書き込み権限があることを確認します。フォルダーが作成されていない場合は、[追加] アイコン (+) を使用して新しいフォルダーを作成します。



- [OK]をクリックします。

【オブジェクト】ポッドの【カスタム】セクションに新しいアクティビティが表示されます。

アクティビティを削除する

管理者は、カスタムアクティビティを削除できます。

アクティビティを削除するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、【操作】をクリックします。
3. 【ワークフロー】タブでワークフローを右クリックし、【エディターとプロパティ...】を選択します。
4. 【エディター】ページを開きます。
5. 【カスタム】セクションを拡大します。
6. 削除するアクティビティを右クリックし、【削除】をクリックします。

7. レポートを操作する

- 標準レポート
- レポートを表示する
- レポートの時間範囲を設定する
- レポートを保存する
- レポートをエクスポートする
- レポートを削除する

TotalFlow Production Managerには、処理能力の計画、生産効率の測定や最適化、問題の判別に使用できるレポートがあります。

TotalFlow Production Managerはジョブのイベントとプリンターの使用状況のデータを収集し、そのデータに基づいてレポートを生成します。TotalFlow Production Managerのレポートを使用するか、カスタマイズしたレポートを作成できます。

TotalFlow Production Managerを使用すると、以下を実行できます。

- レポートを表示します。
- 標準レポートを修正して独自のレポートを作成します。
- レポートを保存や削除します。
- レポートを印刷したり、スプレッドシートやほかのアプリケーションでデータを操作したりできるように、PDFまたはCSV形式ファイルでエクスポートできます。
- カスタムレポートを作成します。

★重要

プリンターとコントローラーから受信したデータに基づいてすべてのレポートで情報が提供されます。従って、TotalFlow Production Managerでレポートされた値が正確であることは保証されません。面付け、ページ例外、印刷中のジョブ削除、その他などのユーザーアクションが実際の数字に影響する場合があります。また、紙詰まりリカバリーなどのプリンター操作も正確性に影響する場合があります。

標準レポート

TotalFlow Production Managerで提供する標準レポートを変更してカスタマイズしたレポートを作成できます。

TotalFlow Production Managerの標準レポートには、以下の種類があります。

【ジョブ性能】レポート

ジョブのアクティビティと各アクティビティの時間が表示されます。このレポートで、以下の質問に回答します。

- 最も効率良くジョブを処理するワークフローはどれですか？
- ジョブがキューで待機する時間が最も長いアクティビティはどれですか？
- 最もジョブがエラーになりやすいアクティビティはどれですか？
- 長時間かかるアクティビティ、リソースが集中するアクティビティ、手動のアクティビティでジョブの処理時間はどのくらいかかりますか？

【印刷されたジョブ】レポート

印刷したジョブが表示されます。このレポートで、以下の質問に回答します。

- 印刷されているジョブはいくつありますか？
- 各ジョブで何部数が印刷されていますか？
- これらのジョブは何ページありますか？
- 特定の種類の用紙は何枚印刷されていますか？
- ジョブを何回再印刷しましたか？
- カラーページまたは白黒ページは何部印刷されていますか？

[プリンター使用状況]レポート

プリンターの作業量が表示されます。このレポートで、以下の質問に回答します。

- 使用頻度が最も高いプリンター
- 一番問題が多いプリンター

[ジョブ性能]レポート

[ジョブ性能]レポートにはジョブが通ったアクティビティーと各アクティビティーに使った時間が表示されます。

レポートの項目は、以下のとおりです。

列項目	概要
[アクティビティー名]	アクティビティーの名前
[フェーズ名]	アクティビティーが発生するワークフローフェーズ
[ワークフロー]	アクティビティーが発生するワークフローの名前
[処理数]	アクティビティーで処理したジョブの数
[成功数]	正常にアクティビティーを完了したジョブの数
[エラー数]	エラーでアクティビティーを完了したジョブの数
[失敗割合]	エラーでアクティビティーを完了したジョブの割合
[平均サイズ]	アクティビティーを通過したすべてのジョブの平均サイズ（バイトで表示）
[ジョブ再実行数]	アクティビティーを完了後に[印刷]フェーズで再開したジョブの数

[印刷されたジョブ]レポート

[印刷されたジョブ]レポートには印刷したジョブの情報が表示されます。

レポートの項目は、以下のとおりです。

列項目	概要
[ID]	ジョブのIDです。
[名前]	ジョブの名前です。
[ユーザーコード]	特定のプリンターでのみ印刷を許可するジョブのコードセットです。
[ユーザー名]	ジョブを作成したユーザー名です。表示名は、ジョブ送信方法またはプラットフォームに基づき、異なる場合があります。
[お客様]	ジョブを印刷したお客様です。
[印刷終了時間]	ジョブの印刷が終了したときの日時です。
[プリンター]	ジョブを印刷したプリンターです。
[印刷済みページ]	印刷された合計ページ数（ジョブページ数×印刷部数）です。
[印刷済み部数]	印刷された部数です。
[Statementシート]	印刷されたStatementのシート数です。
[A5シート]	印刷されたA5のシート数です。
[Legalシート]	印刷されたLegalのシート数です。
[Letterシート]	印刷されたLetterのシート数です。
[A4シート]	印刷されたA4のシート数です。
[Tabloidシート]	印刷されたTabloidのシート数です。
[A3シート]	印刷されたA3のシート数です。
[12x18inシート]	印刷された12 x 18 inchのシート数です。
[SRA3シート]	印刷されたSRA3のシート数です。
[カラーページ]	ジョブのカラーページ数です。
[白黒ページ]	ジョブの白黒ページ数です。
[その他のシート]	デフォルトシート以外の種類の印刷されたシート数です。

[プリンター使用状況]レポート

[プリンター使用状況]レポートにはプリンターの作業量が表示されます。

レポートの項目は、以下のとおりです。

列項目	概要	補足
[プリンター]	ジョブを印刷したプリンターの名前	
[種類]	プリンターの種類：ジョブチケットまたはパススルー	

列項目	概要	補足
[モデル]	ProC901などのプリンターモデル。レポートをモデルでまとめるには、各プリンターの[モデル]プロパティで指定した値と一致させてください。	
[%無効時間]	レポート期間におけるプリンターが無効だった時間の割合	
[%印刷時間]	レポート期間におけるプリンターが[印刷中]状態だった時間の割合	パススループリンターの[印刷中]状態の時間は、lprコマンドを完了して戻する時間を反映します。実際に印刷した時間ではありません。
[%要注意時間]	レポート期間中にプリンターが処理中のジョブに操作を要求したレポート期間の割合	SNMPが切断または無効になると、この値は正確でない場合があります。SNMPのポーリング頻度によって正確度は異なります。 パススループリンターの[TCP/IPアドレスまたはホスト名]プロパティに値がない場合は、この値は正確ではありません。
[累積印刷済みページ]	レポート期間中に印刷した合計ページ数	
[印刷済み累積シート]	レポート期間中に印刷した用紙の合計数	
[再印刷]	レポート期間中に再実行した印刷ステップの合計数	

レポートを表示する

管理者は、[レポート]ポッドのリストにあるレポートのデータを表示できます。

レポートを表示するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、[レポート]をクリックします。
3. [レポート]ポッドで、表示させるレポートを選択します。
[レポート名]ポッドに選択したレポートが表示されます。
4. 最新の変更を表示するには[更新]アイコン (C) をクリックします。

レポートの時間範囲を設定する

デフォルトでは、午前0時から現在までのデータがレポートに表示されます。この時間範囲は変更できます。

↓ 補足

レポートは10,000レコードに切り捨てられます。切り捨てないようにするには、時間範囲を短くし、レポートのレコード数が9,999件以下になるように設定します。

レポートの時間範囲を設定するには、以下の操作を行います。

1. [レポート名] ポッドのタイトルバーで [検索] アイコン (🔍) をクリックします。タイトルバーの下に、次の領域が表示されます。

時間範囲を選択	開始時刻	終了時刻	?
カスタム	2017/07/14 17:00		適用

2. [時間範囲を選択] フィールドで、以下の操作を行います。
 - 事前設定の時間範囲を1つ選択します。
 - 独自の時間範囲を設定するには、以下の操作を行います。
 1. [カスタム] を選択します。
 2. [開始時刻] と [終了時刻] フィールドに、次の形式で値を入力します。mm/dd/yyyy hh:mm
3. [適用] をクリックします。

レポートを保存する

標準レポートの変更や別の名前でコピーを保存してカスタマイズしたレポートを作成できます。作成したレポートは変更または保存できます。標準レポートを修正したり、修正したレポートを標準レポート名で保存したりすることはできません。

レポートを保存するには、以下の操作を行います。

- カスタマイズしたレポートを同じ名前で保存するには、[保存] アイコン (💾) をクリックします。
- 別の名前でレポートのコピーを保存するには、以下の操作を行います。
 1. [名前を付けて保存] アイコン (📁) をクリックします。
 2. [レポートオプションを保存] ダイアログで新しい名前と概要を入力し、[OK] をクリックします。

TotalFlow Production Managerのレポートが選択されている場合は、保存アイコン (💾) は無効です。

レポートをエクスポートする

CSVまたはPDFファイルでレポートをエクスポートできます。

この手順では、Firefoxでレポートをエクスポートする方法を説明しています。ほかのブラウザでは手順は多少異なります。

レポートをエクスポートするには、以下の操作を行います。

1. [レポート]ポッドでレポートを選択します。
[レポート名] ポッドにレポートの内容が表示されます。
2. いずれかのポッドのツールバーで、CSVエクスポートアイコン (📄) または、PDFエクスポートアイコン (📄) をクリックします。
[保存] ダイアログにファイルが表示されます。デフォルトファイル名は
TotalFlow_Production_Manager_reportName_YYYY-MM-DD HH-MM-SS.csv

またはTotalFlow_Production_Manager_reportName_YYYY-MM-DD HH-MM-SS.pdfです。

レポートをPDFでエクスポートする場合、列が用紙サイズを超えているときは、一部の列を消去してくださいという旨のメッセージが表示され、列のリストが開きます。

3. レポート用PDFファイルの用紙種類と方向を選択します。
4. 必要なだけ列を消去し、**【エクスポート】**をクリックします。

レポートを削除する

管理者は、レポートを削除できます。TotalFlow Production Managerの標準レポートは削除できません。

レポートを削除するには、以下の操作を行います。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてTotalFlow Production Managerにログインします。
2. メニューバーで、**【レポート】**をクリックします。
3. **【レポート】**ポッドで、削除するレポートを右クリックし、**【削除】**を選択します。
TotalFlow Production Managerのレポートが選択されている場合は、**【削除】**オプションは無効です。

8. バックアップ/リストア

- データをバックアップする
- データをリストアする

システムエラーによるデータ損失の防止やデータを修復するには、TotalFlow Production Managerのバックアップ/リストアプログラムを使用します。

バックアッププログラムは、以下のデータを保存します。

- ユーザー、ワークフロー、データベースに保存したプリンターなどのシステムデータ
- ヘッダーページなどで使用する制御ファイル
- スプールディレクトリーのジョブファイルなどのユーザーデータ

TotalFlow Production Managerを再インストールする必要がある場合、リストアプログラムを実行し、データを回復できます。システムデータと制御ファイルは常にバックアップ/リストアされます。オプションでユーザーデータをバックアップまたはリストアできます。

↓ 補足

1. 2台のコンピューターが同じホスト名を持たない限り、バックアップ/リストアプログラムを使用して、あるコンピューターから別のコンピューターにTotalFlow Production Managerをコピーまたは移動することはできません。1台のコンピューターから別のコンピューターに異なるホスト名でオブジェクトをコピーするには、最初のコンピューターからオブジェクトをエクスポートし、2番目のコンピューターにそのオブジェクトをインポートします。
2. TotalFlow Production Managerのプログラムでバックアップしたデータは別のバージョンではリストアできません。

データをバックアップする

aiwbackupプログラムを使用し、TotalFlow Production Manager設定のコピーをアーカイブしたり、データバックアップをするためのプログラムのアンインストールを許可したりできます。

★ 重要

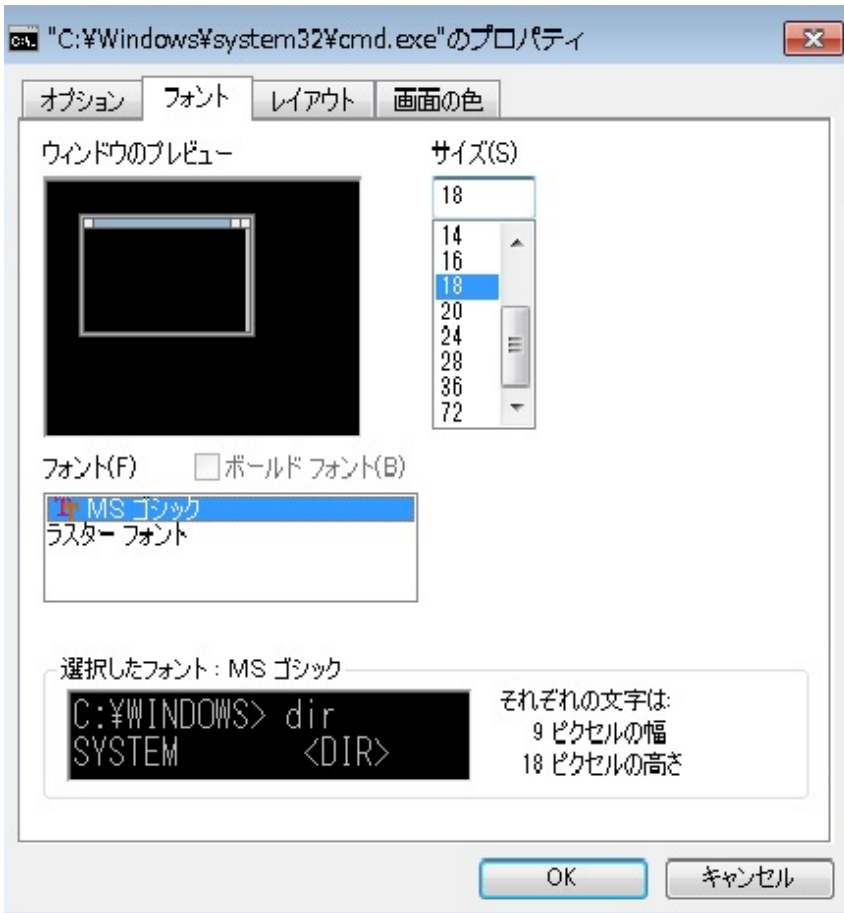
aiwbackupプログラムはTotalFlow Production Managerを自動で停止します。別のバックアッププログラムを使用する場合は、はじめにTotalFlow Production Managerを停止してください。

アンインストール処理中にデータバックアップを実行するには、**【データのバックアップ】**ダイアログウィンドウの**【はい】**をクリックし、データを保管するアーカイブ先を指定します。

コマンドラインからTotalFlow Production Managerデータをバックアップするには、以下の操作を行います。

1. Windowsにローカルの管理者権限を持つユーザーとしてログインします。
2. 言語表示を最適化するには、フォントをMS ゴシックに設定します。
 1. 管理者として新しいコマンドプロンプトウィンドウを開きます。
 2. コマンドラインアイコン () を右クリックし、**【プロパティ】** をクリックします。

3. フォントタブで、MS ゴシックを選択し、デフォルトのフォントを変更してから、[OK] をクリックして新しい設定を保存します。



3. コマンドプロンプトウィンドウで、以下のコマンドのいずれかを入力します。

- システムデータ、制御ファイル、ジョブ、入力ファイル、ジョブファイル（スプールディレクトリーのジョブ情報があるファイルと入力ファイルのコピー）を保存するには、次のコマンドを入力します。

```
installation_drive:%installation_folder%bin%aiwbackup.bat
```

バックアップデータのデフォルトの保存先はインストールドライブ:%インストールフォルダー%bin%migrateData.zipです。

- ジョブやジョブファイル以外のシステムデータ、制御ファイルなどを保存するには、次のコマンドを入力します。

```
installation_drive:%installation_folder%bin%aiwbackup.bat -r
```

★重要

TotalFlow Production Managerをバックアップするときに-rオプションを使用した場合は、システムをリストアするときにも使用してください。

- aiwbackupでは、-rオプションはジョブまたはジョブファイルを保存しません。
- aiwrestoreでは、-rオプションはジョブをリストアしません。

- バックアップデータを保存するアーカイブ名と保存先を指定するには、以下の操作を行います。

```
installation_drive:%Installation_folder%bin%aiwbackup.bat -r -f archive_name
```

-f オプションは、リストアされたデータを含むアーカイブの名前と場所を指定します。

確認メッセージが表示されます。

- バックアップを続行するには、[Enter] を押します。

バックアップするファイルの数とサイズに応じて完了までに数分かかる場合があります。バックアップが進行中に、コマンドプロンプトウィンドウにステータス更新の一部が表示されます。完了した後に、指定したフォルダーのバックアップファイル、またはデフォルトのバックアップ先のインストールドライブ:%インストールフォルダー%bin%migrateData.zipが表示されます。

データをリストアする

aiwbackupプログラムを使用してTotalFlow Production Managerをバックアップした場合は、TotalFlow Production Managerインストーラーでaiwrestoreプログラムまたはリストア手順を使用すると、バックアップのアーカイブで保存した設定に戻ります。

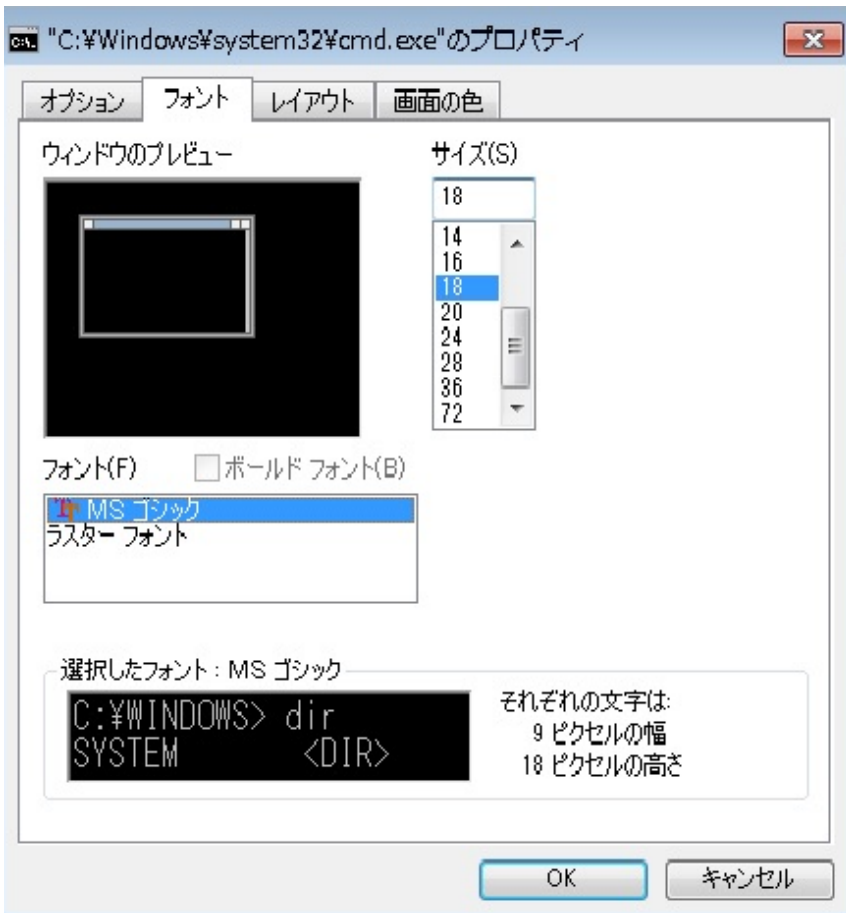
★重要

aiwrestoreプログラムはTotalFlow Production Managerを自動で停止します。別のリストアプログラムを使用する場合は、はじめにTotalFlow Production Managerを停止してください。

アンインストール処理中にデータのリストアを実行するには、【データリストア】ダイアログウィンドウの【はい】をクリックして、リストアするデータが含まれているアーカイブを指定します。

コマンドラインからTotalFlow Production Managerデータをリストアするには、以下の操作を行います。

- Windowsに管理者権限を持つユーザーとしてログインします。
- TotalFlow Production Managerを再インストールします。
手順は、「TotalFlow Production Managerセットアップガイド」を参照してください。
- 言語表示を最適化するには、フォントをMS ゴシックに設定します。
 - 管理者として新しいコマンドプロンプトウィンドウを開きます。
 - コマンドラインアイコン () を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
 - フォントタブで、MS ゴシックを選択し、デフォルトのフォントを変更してから、[OK] をクリックして新しい設定を保存します。



4. コマンドプロンプトウィンドウで、以下のコマンドのいずれかを入力します。

- システムデータ、制御ファイル、ジョブ、入力ファイル、ジョブファイル（入力ファイルのコピーなどのジョブ情報を含むスプールディレクトリーのファイル）をリストアするには、次のコマンドを入力します。

```
installation_drive:%installation_folder%bin%aiwrestore.bat
```

バックアップデータのデフォルトの保存先はインストールドライブ:%インストールフォルダー%bin%migrateData.zipです。

- ジョブやジョブファイル以外のシステムデータ、制御ファイルなどをリストアするには、次のコマンドを入力します。

```
installation_drive:%installation_folder%bin%aiwrestore.bat -r
```

★ 重要

TotalFlow Production Managerをバックアップするときに-rオプションを使用した場合は、システムをリストアするときにも使用してください。

- aiwbackupでは、-rオプションはジョブまたはジョブファイルを保存しません。
- aiwrestoreでは、-rオプションはジョブをリストアしません。
- データをリストアするアーカイブ名とリストア先を指定するには、以下の操作を行います。

```
drive_name:%folder_name%bin%aiwrestore.bat -r -f archive_name.zip
```

-fオプションは、リストアされたデータを含むアーカイブの名前と場所を指定します。

確認メッセージが表示されます。

5. リストアを続行するには、Yと入力します。
オペレーティングシステムを再起動してくださいというメッセージが表示されます。
6. オペレーティングシステムを再起動します。
7. TotalFlow Production Managerを起動します。

手順は、「TotalFlow Production Managerセットアップガイド」を参照してください。

↓ 補足

TotalFlow Production Managerの体験版または基本バージョンでデータをリストアする場合は、このバージョンで許可されている最大のプリンター台数を超過しないようにしてください。プリンター台数を超過する場合は、プリンターはリストアされても、有効にすることができません。

9. こんなときには

- RICOH TotalFlow PMサービスが開始しない
- TotalFlow Production Managerにアクセスできない
- TotalFlow Production Managerの上位バージョンをインストールできない
- ファイルをアップロードできない
- ジョブプロパティエディターのエラーでジョブ送信セッションが停止する
- プリンター機器と通信できない
- TotalFlow PM PDF Print Driverがサーバーと通信できない
- ワークフローを有効にできない
- ジョブの状態を表示できない
- 正しい文字でファイル名またはジョブ名が表示/印刷されない
- 入力ファイルにエラーがある
- 日本語の値が保存されない
- ジョブ入力値が自動的に修正される
- ジョブプロパティが更新されない
- 合計シート数が0になる
- 正しい文字で表示/印刷されない
- 印刷がスケジュールされない
- ジョブ/入力ファイルを削除できない
- 正しい順序で印刷されない
- ジョブの印刷状態の時間が長い
- PitStop Serverエラーによってジョブが却下される
- 不正なローカルプロファイルがプリフライトデータベースに表示される
- メッセージが画面と異なる言語で表示される
- 用紙をマッピングできない
- 性能に問題がある
- ダイアログを閉じた後に操作画面が応答しない
- ブラウザーが応答しない
- TotalFlow PM PDF Print Driverで印刷ダイアログがジョブプロパティと同期しない
- 印刷ダイアログ設定がTotalFlow Production Managerで修正される
- [ブック全体を印刷] オプションで複数のジョブを作成する
- [ジョブのプロパティ]ダイアログのトラブルシューティング

TotalFlow Production Managerで問題が発生したときの対処方法を説明します。

9

RICOH TotalFlow PMサービスが開始しない

RICOH TotalFlow Production Managerサービスが開始しない場合は、RICOH Printer ConnectorとPostgres TotalFlow PMの対応サービスが実行していることを確認してください。何も実行されない場合は、手動で開始してください。

TotalFlow Production Managerにアクセスできない

リモートコンピューターがTotalFlow Production Managerにアクセスできない場合は、複数の原因が考えられます。

- TotalFlow Production Managerがインストールされたコンピューターで、TotalFlow Production Managerサーバーが実行していない。TotalFlow Production Managerの起動については、「セットアップガイド」を参照してください。
- リモートコンピューターとTotalFlow Production Managerサーバー間のネットワークが接続できていません。再接続をしてブラウザーを更新してください。

- ファイアウォールがアクセスをブロックしています。ファイアウォールがTotalFlow Production Managerのポートをブロックしないことを確認してください。デフォルトでは、これらのポートはユーザーインターフェイスで15080、HTML形式の「ユーザーガイド」で15888です。
TotalFlow Production Managerのインストール中にTotalFlow PM PDF Print Driverサーバーに接続を試行してTotalFlow PMサーバーに接続できませんというメッセージが表示された場合は、ブラウザーからTotalFlow Production Managerにアクセスできることを確認してください。
- TotalFlow Production Managerにログインできても、使用できずに操作画面にアクセスできない場合は、体験版ライセンスの期限が切れていることがあります。この場合は、サービス担当者に連絡してください。
- オペレーティングシステムをWindows 10に更新した後にTotalFlow Production Managerにアクセスできない場合は、コンピューターを再起動してから、TotalFlow Production Managerにログインしてください。

TotalFlow Production Managerの上位バージョンをインストールできない

TotalFlow Production Managerをインストールできない場合は、複数の原因が考えられます。

- 必要な権限がないユーザとしてログインしています。この場合は、次のエラーメッセージを受信します。必要な権限がないユーザーでアプリケーションをインストールしようとしています。管理者権限のユーザーでログインしてから、アクションを再試行してください。Windowsをログアウトし、管理者権限のあるユーザーで再度ログインします。TotalFlow Production Managerのインストールを再試行します。
- 3.1より前のバージョンにTotalFlow Production Managerをインストールしようとしています。3.1にアップグレードしてから、製品アップデートのインストールを試みてください。たとえば、バージョン2.1に4.2をインストールする場合は、バージョン3.1をインストールしてから4.2にアップグレードしてください。

9

ファイルをアップロードできない

送信や変換操作のためにファイルのアップロードを試行する場合は、ファイルサイズ、種類と形式要件の範囲内であることを確認してください。

要件については、TotalFlow Production ManagerのReadmeファイルの「入力ファイルについて」を参照してください。

また、対応している最大ファイルサイズは、ブラウザーによって異なります。

ジョブプロパティエディターのエラーでジョブ送信セッションが停止する

TotalFlow Production Manager Job Submissionセッションが予想外に停止する場合は、複数の原因が考えられます。

1. **【閉じる】**ボタンを使用して前のセッションを終了せず、ブラウザーを更新したか閉じました。

2. データが意図せずセッションフォルダーから削除されました。
3. ブラウザーが無効なセッションを使用しています。

ジョブ送信セッションが、[S00103E] : [ジョブプロパティエディターでエラーが発生しました:] *filepath* [(システムは指定されたパスを検出できません)] というエラーメッセージが表示されて停止した場合は、以下を実行してください。

1. [OK] をクリックします。
2. [閉じる]ボタンを使用してTotalFlow Production Manager Job Submissionセッションを閉じます。
3. 新しいTotalFlow Production Manager Job Submissionセッションを開きます。

プリンター機器と通信できない

TotalFlow Production ManagerがSNMPを使用するプリンター機器と通信できない場合は、印刷と仕上げオプションを示すプリンタープロパティが正しくない可能性があります。その結果、正しく印刷できないプリンターにジョブを割り当てることがあります。

TotalFlow PM PDF Print Driverがサーバーと通信できない

TotalFlow Production Managerサーバーで HTTPS が有効になっている場合、TotalFlow PM PDF Print DriverはTotalFlow Production Managerからジョブを受信することはできません。

TotalFlow PM PDF Print DriverはHTTPS接続をサポートしていません。

TotalFlow PM PDF Print Driverを設定してジョブを送信する前に、TotalFlow Production Managerの HTTPS を無効にしてください。

ワークフローを有効にできない

次のメッセージが表示された場合は、別のLPDサービスがLPDポートを使用している可能性があります。「AIWI6030E」:「エラーリターンコード:{0}を次のコマンドから受信しました:{1}」、{0}は1、{1}はVerifyLPD.pl System "system_name"です。他のLPDサービスを停止するには、以下の操作を行います。

1. Windowsの[コントロールパネル]で、[管理ツール]、[サービス]の順にダブルクリックします。
2. LPDサービスを選択します。
 - Windowsオペレーティングシステムに同梱のLPDサービスは[TCP/IP印刷サーバー]と呼びます。
 - 別のWindowsバージョンにオプション機能として使用できるLPDサービスは、[LPDサービス]と呼びます。
 - 独自のLPDサービスをインストールする印刷プログラムもあります。
3. [停止] をクリックします。

ジョブの状態を表示できない

ジョブチケットプリンターとパススループリンターが同じプリンター機器を表す場合は、パススループリンターが大きいジョブを処理しているときにジョブチケットのプリンターに割り当てたジョブの状況を表示できないことがあります。

問題を解決するには、同じプリンター機器を表すのプリンターは1個のみを有効にしてください。

正しい文字でファイル名またはジョブ名が表示/印刷されない

TotalFlow Production Managerのサーバーにインストールされていないフォントをファイル名やジョブ名に使用すると、操作画面で判読できなくなります。

ジョブ区切り紙（バナーページ）に印刷しても判読できなくなります。

入力ファイルにエラーがある

ワークフローが受信する入力ファイルにエラーがある場合は、ワークフローログにエラーメッセージが表示されます。

ファイルが印刷されることを妨げるエラーを修正し、ファイルを再処理します。

日本語の値が保存されない

TotalFlow Production Managerの操作画面はUnicode補助文字（コードポイントU+10000からU+10FFFF）に対応していません。この範囲には特殊な日本語の文字が含まれていません。補助文字を含む値を入力した場合は、TotalFlow Production Managerで保存できません。

9

補助文字を含まない値を入力してください。

ジョブ入力値が自動的に修正される

TotalFlow PM 1.0.2以前から移行されているジョブのプロパティーを表示するときに、次のエラーメッセージが表示される場合があります。入力値は無効です。値が自動的に修正されています。変更を保存する前に、表示された結果を確認してください。

これは、どちらかの値が必要でも、ジョブチケットがシートに印刷されるページ数または用紙サイズの値を指定していないことを意味します。この場合は、TotalFlow Production Managerがジョブのレイアウトプロパティーの「シート当たりのページ数」に、デフォルト値の「印刷方法/認証」を設定します。[OK]をクリックし、メッセージを閉じてから作業を続行してください。

ジョブプロパティーが更新されない

別々のクライアントコンピューターで2人のユーザーが同じジョブのプロパティーを同時に変更すると、変更が無効になる場合があります。

これは、ジョブプロパティを変更するときに、ユーザーが変更したプロパティのみでなく、全体のジョブプロパティが更新されるためです。たとえば、以下の問題が発生します。

1. 2つのジョブプロパティには以下の値があります。

【部数】: 1 【保存】: 【しない】

2. ユーザーAが【保存】ジョブプロパティの値を変更します。この変更で、以下の値の新しいジョブプロパティセットになります。

【部数】: 1 【保存】: 【無期限に保存】

3. TotalFlow Production ManagerでユーザーAのジョブプロパティセットを処理する前に、ユーザーBが印刷部数を変更します。ユーザーBのジョブプロパティセットは【保存】プロパティは元の値のままのため、以下の値になります。

【部数】: 3 【保存】: 【しない】

4. TotalFlow Production ManagerでユーザーAのジョブプロパティセットを処理します。TotalFlow Production ManagerはユーザーBのジョブプロパティセットを受信して処理していないため、新しいジョブプロパティセットは以下の値になります。

【部数】: 1 【保存】: 【無期限に保存】

5. TotalFlow Production ManagerでユーザーBのジョブプロパティセットを処理します。ユーザーBが【保存】プロパティの古い値でジョブプロパティセットを送信したため、値は古い値に戻ります。これでジョブプロパティセットは以下の値になります。

【部数】: 3 【保存】: 【しない】

ユーザーBは希望通りにジョブの3部数を取得します。ユーザーAはジョブの保存を希望しましたが、保存されていません。

合計シート数が0になる

FTPサーバーからホットフォルダープロトコルでワークフローに送信したジョブのサイズがゼロの場合は、入力ファイルが完全に送信された時間をワークフローが判断できなかった可能性があります。

この問題を解決するには、ワークフローの【完了方法】プロパティを【サイズを確認】または【トリガー】に設定し、再度ジョブを送信してください。FTPサーバーからファイルをダウンロードすると、【ファイルオープン】と【なし】の完了方法は失敗します。

正しい文字で表示/印刷されない

ジョブを正しくプレビューして印刷するには、TotalFlow Production Managerでジョブが使用するフォントにアクセスしてください。

これらのフォントはジョブに組み込まれています。指定されたフォントがない場合は、ジョブを判読できません。

印刷がスケジュールされない

【エラー】進行状況カテゴリにないジョブの印刷がスケジュールされない場合は、【用紙設定】ジョブプロパティの値を確認してください。

用紙名の後にアスタリスクが表示される場合は、同じ名前の異なる用紙が存在しても、その用紙が【用紙リスト】に見つからないことを示します。印刷ジョブをスケジュールするには、【用紙】ダイアログの【ジョブのプロパティ】ページで別の用紙を選択してください。

ジョブ/入力ファイルを削除できない

ジョブやジョブの入力ファイルをワークフローから削除できない場合は、EFI Fieryコントローラーオプションを設定しているプリンターの保留キューにジョブがある可能性があります。

TotalFlow Production Managerからジョブを削除するには、プリンターの操作画面で次の操作を行います。

1. 「ジョブ」リストの「保留中」タブで、ジョブを選択します。
2. ジョブを解除して印刷するには、「印刷」をクリックします。印刷せずに保留キューからジョブを削除するには、「削除」をクリックします。

正しい順序で印刷されない

同じプリンター機器を表すTotalFlow Production Managerプリンターが原因の可能性があります。

複数のTotalFlow Production Managerプリンターが同じ機器を表すときは、ジョブが正しい順序で印刷されない場合があります。極端な場合は、TotalFlow Production Managerプリンターに割り当てたジョブが別のプリンターに割り当てたジョブのヘッダーシートと本文の間に印刷されます。

問題を解決するには、同じプリンター機器を表すTotalFlow Production Managerプリンターは1つのみを有効にしてください。

9 ジョブの印刷状態の時間が長い

一部のジョブの印刷状態が続く場合は、複数の原因が考えられます。

- JDFプリンター言語がデフォルト設定でアクティベートされたプリンターに複数のジョブが送信されました。
同じプリンターに複数のジョブを送信したときは、すべてのジョブが【印刷】状態で表示されていても、【保留】状態を保持する場合があります。
ジョブがプリンターで保留されていることを確認してください。ジョブの解除と【保留】せずに直接プリンターでジョブを印刷する設定については、プリンターのマニュアルを参照してください。
- 部数が膨大なジョブや、テキストと画像を両方含むジョブがTotalFlow PM PDF Print Driverを通して送信されました。
この場合は、印刷プロセスが完了するまでお待ちください。

PitStop Serverエラーによってジョブが却下される

【外部プリフライト】アクティビティがあるワークフローを通過したジョブファイルを印刷すると、次のエラーメッセージが表示され、ジョブがエラー状態になる場合があります。

す。「AIWI6073E」:「ジョブがエラーリターンコード{1}で終了しました。」「AIWI00171349: PitStop Serverの実行が許可されないため、ジョブxは却下されました。」

通常、このエラーはPitStop Serverの初回起動時に発生します。

バックグラウンドジョブ処理などのPitStop Serverアプリケーションを停止してから再起動してください。

不正なローカルプロファイルがプリフライトデータベースに表示される

管理者権限を持つ複数のWindowsユーザーがプリフライトデータベースを使用し、各ユーザーがカスタマイズしたローカルプリフライトプロファイルを保存した場合は、TotalFlow Production Managerにはプリフライトデータベースを開いた最後のユーザーのローカルプロファイルが表示されます。

複数のユーザーがプリフライトデータベースの設定が必要な場合は、複数のユーザーがアクセスできるようにローカルではない新規データベースを作成します。

メッセージが画面と異なる言語で表示される

多くのメッセージはTotalFlow Production Managerの操作画面の言語で表示されますが、特定の条件では別の言語で表示される場合があります。

TotalFlow Production Managerサーバーで発行されたメッセージは、操作画面の言語に関係なく、サーバー言語で表示されます。これらのメッセージには、TotalFlow Production Manager Job Submissionユーティリティで受信したジョブの状況メッセージが含まれます。

用紙をマッピングできない

[給紙トレイ設定]ダイアログ内に給紙トレイにマッピングする用紙が表示されない場合は、プリンターで対応する用紙のリストに追加してください。

プリンターの[プロパティ]ダイアログの[スケジューリング]ページで、[種類]フィールドを更新します。

- プリンターに定義されたすべての用紙を使用可能にするには、[すべて]を選択します。
- 特定の用紙をプリンターで使用可能にするには、以下の操作を行います。
 1. [選択済み]を選択します。
 2. [対応済み]リストで、用紙を選択し、[OK] をクリックします。

性能に問題がある

TotalFlow Production Managerでは、最大2,500個までの保存したジョブと750個までの処理中のジョブを同時にテスト済みです。ただし、最大数のジョブを一度に送信すると、性能が低下する場合があります。性能を向上させるには、一度に送信するジョブの数を減らして別のジョブグループを送信する前に印刷を完了してください。

ダイアログを閉じた後に操作画面が応答しない

TotalFlow Production Managerの操作画面からダイアログを開くと、背景のページはグレースアウトで表示されます。

ダイアログでのみ操作が可能です。ダイアログを閉じるとすぐに、操作画面で再度操作できるようになります。

操作画面がグレースアウトのままでクリックしても応答しないときは、Webブラウザを更新してください。

ブラウザが応答しない

ブラウザからTotalFlow Production Managerの操作画面にアクセスしたときに応答しないときは、ブラウザを閉じてから、再度開いてください。

TotalFlow PM PDF Print Driverで印刷ダイアログがジョブプロパティーと同期しない

PDFファイルを外部アプリケーションからTotalFlow PM PDF Print Driverを通して送信してから、TotalFlow PM PDF Print Driverの「プリンターのジョブプロパティー」ダイアログで部数を変更すると、部数に設定した値を外部アプリケーションの「印刷」ダイアログで変更できない場合があります。

このエラーは一部のアプリケーションで「印刷」ダイアログの「部数」設定の値とTotalFlow PM PDF Print Driverの「プリンターのジョブプロパティー」ダイアログで設定した部数を同期できない場合があるため、発生します。

この場合は、TotalFlow Production Managerは外部アプリケーションの「印刷」ダイアログで設定した部数が印刷されます。

9

印刷ダイアログ設定がTotalFlow Production Managerで修正される

外部プログラムの印刷ダイアログで「部数」が1より多いときにTotalFlow PM PDF Print Driverからジョブを送信したときは、TotalFlow Production Managerでジョブ設定が複数ページの部数に変換される場合があります。

例えば、10ページの文書で「部数」に3を設定してから送信した場合は、TotalFlow Production Managerジョブに1部30ページの文書が表示されます。

この場合は、1部のみを送信してから、TotalFlow Production Managerジョブポッドで部数を設定します。部数の変更については、[P. 149 「ジョブの部数を変更する」](#)を参照してください。

[ブック全体を印刷] オプションで複数のジョブを作成する

[プリンターのジョブプロパティ] ダイアログで.xlsファイルプロパティを修正し、TotalFlow PM PDF Print Driver経由でファイルを送信すると、新しい値がすべてのファイルシートに適用されない場合があります。

[印刷] ダイアログで [ブック全体を印刷] を選択しても、同じプロパティを共有するシートの各グループの個別のジョブが外部アプリケーションによって作成されるためです。

この場合、次の手順に従います。

1. 印刷する.xlsワークシートを選択します。
2. ブック全体を印刷する場合は、ワークシートを右クリックし、[すべてのシートの選択] をクリックします。
3. [印刷] ダイアログで、必要にあわせてジョブプロパティを修正します。
4. [設定] で、[作業中のシートを印刷] をクリックします。
5. 行った変更をすべての選択したワークシートに適用するには、[ページ設定]、[OK] の順にクリックします。
6. [印刷] をクリックします。

[ジョブのプロパティ]ダイアログのトラブルシューティング

[ジョブのプロパティ]ダイアログで問題が発生した場合は、このトピックで原因と対処方法を参照してください。

問題または兆候	原因と対処方法
ステープルされない。 パンチされない。 リング製本されない。 くるみ製本されない。 中とじ折りされない。 Z折りされない。	- ジョブのほかのプロパティの設定が原因で、選択した仕上げ操作（ステープル、パンチ、製本、折りなど）をプリンターで実行できない可能性があります。考えられる原因には、対応していない仕上げ設定、まとめてステープルするページ数が多すぎる、特定の用紙サイズのみリング製本できる、ジョブが異なる用紙サイズを使用するなどがあります。プリンターが単純なジョブを正しく仕上げられない場合は、その仕上げのタイプに適用される他の制限に関する情報について、プリンターのマニュアルを確認してください。 - プリンターに仕上げ装置を設置していない可能性があります。たとえば、プリンターにくるみ製本機が設置されていない場合、くるみ製本オプションを設定したジョブ処理は実行できません。要求されたフィニッシャーが設置されたプリンターにジョブを再送信してください。 - 全体のジョブ仕上げオプションは、セット仕上げと同時に処理できません。ジョブ内の特定のページにサブセット仕上げを選択した場合、ジョブ仕上げの選択はすべて削除されます。 〔Z折り〕を〔とじ位置〕に設定したときは、〔下〕のオプションはサポートされません。 〔とじ位置〕を〔下〕に設定したときは、〔ステープル/製本〕オプションはサポートされません。
中とじ折りされない。 中とじステープルされない。	製本仕上げは、ページの片面印刷、複数の見開きページ印刷、2ページ以上のデータを1ページに印刷、挿入したインデックス紙には対応していません。 〔印刷面〕プロパティを〔両面〕に設定します。ページ単位、またはジョブ単位で〔印刷面〕のプロパティを片面に変更すると、中とじ仕上げは削除されます。

10. エラーメッセージ

- AIWFnnnnメッセージ
- AIWInnnnメッセージ
- AIWPnnnnメッセージ
- AIWRnnnnメッセージ
- AIWSnnnnメッセージ
- AIWXnnnnメッセージ
- AIWXRnnnnメッセージ
- AIWXNOTnnnnメッセージ
- AIWWnnnnメッセージ

この章では、TotalFlow Production Managerで発行されるエラーメッセージと、表示されたときの対処方法を記載しています。

エラーが発生した後のシステムの動作と問題を解決する対処方法を説明します。このセクションには、以下のメッセージエントリーがあります。

エラー

最初の行はエラーのエラーコードと概要が記載されています。

説明

TotalFlow Production Managerがメッセージを発行する原因となった状況について説明します。

原因

システムがその状況に応答する動作を説明します。

対処方法

エラー状態から回復する方法を説明します。通常、ここには複数の回復アクションまたは一連の関連する回復アクションが表示されます。これは、エラーの原因が複数の問題であることを意味します。

↓ 補足

説明と原因フィールドはユーザーに役立つ情報がある場合にのみ表示されます。

AIWFnnnnメッセージ

AIWF6013E：TotalFlow Production Managerジョブ{3}の処理中にファイル{0}を{1}に移動できません。

対処方法：ジョブが処理を完了するのを待機してから、ファイル移動を再試行してください。

AIWF6018E：ジョブ{0}が見つかりませんでした。

対処方法：ジョブはすでに削除されています。Webブラウザウィンドウを更新してください。

AIWF6020E：インターフェースはサーバーへの接続を失いました。

対処方法：サーバーが実行していません。管理者がサーバーを停止したか、問題が発生したため停止した可能性があります。サーバーが実行していない理由を判断し、Windowsサービスを使用してTotalFlow Production Managerサービスを停止し、再起動してください。

AIWF6022E：一般エラーが発生しました：{0} - {1}。

対処方法：ソフトウェアサポートに連絡してください。

AIWF6028E：値{0}は有効なページ番号ではありません。

対処方法：有効なページ番号を指定し、アクションを再試行してください。

AIWF6029E：先頭ページ{0}は、ページ範囲の最終ページ{1}の前に置いてください。

対処方法：ページ範囲を訂正し、アクションを再試行してください。

AIWF6030E：文字{0}はプロパティー{1}には無効です。

対処方法：次の文字は無効です：{2}。有効な文字を使用し、アクションを再試行してください。

AIWF6037E：ジョブ合計シート数の最初の文字は{0}ではなく、「<」または「>」にしてください。

対処方法：有効な合計シート数値は「>」または「<」記号で始まり、数値が続きます。たとえば、<1000と>1000は有効な値になります。値を訂正し、アクションを再試行してください。

AIWF6038E：ジョブ合計シート数値の最初の文字の後には整数が必要です。{0}は無効な整数です。

対処方法：有効な合計シート数値は「>」または「<」記号で始まり、数値が続きます。たとえば、<1000と>1000は有効な値になります。値を訂正し、アクションを再試行してください。

AIWF6041E：プリンター名の先頭文字は「-」にはできません。

対処方法：有効なプリンター名はハイフンで始めることはできません。ハイフンはプリンター名の後に含めることができます。たとえば、Printer-Aは有効な値になります。プリンター名を訂正し、アクションを再試行してください。

AIWF6043E：パスワードが要件を満たしていません。

対処方法：新しいパスワードに前回と同じパスワードは使用できません。新しいパスワードを入力し、アクションを再試行してください。

AIWF6044E：ログイン試行の失敗回数が多すぎます。ユーザー名{0}は5分間ロックアウトされます。

対処方法：このユーザー名はログイン失敗回数が多すぎたため、5分間ロックアウトされています。原因は無効なパスワードだと考えられます。5分間待機し、有効なユーザー名とパスワードの組み合わせでログインアクションを再試行するか、管理者にユーザー名のパスワード変更を依頼してください。

AIWF6045E：パスワードを変更してください。

対処方法：パスワードの有効期限が切れているか、仮パスワードで初回ログインしています。現在のアカウントのパスワードを変更してください。

AIWF6070E：TotalFlow Production Managerはサーバー{0}に接続できません。

対処方法：サーバーシステムオブジェクトで、IPアドレスまたはホスト名が不正な可能性があります。管理者がサーバーを停止したか、問題が発生したため停止した可能

性があります。TotalFlow Production Managerサーバーとの接続を確認し、IPアドレスが有効であることを確認してください。

AIWIInnnnメッセージ

AIWI0007I I： TotalFlow Production Managerはワークフロー{2}が以前取得した入力ファイル{1}からジョブ{0}を作成しました。しかし、すべてのタスクが正常に完了したわけではありません。入力ファイルが再送信されたため、TotalFlow Production Managerはこのジョブを再処理しています。

対処方法：これは応答が不要な通知メッセージです。

AIWI0027I I： ジョブ{0}は、プリンターがシャットダウンしたため、エラー状態です。

対処方法：ジョブを再起動してください。

AIWI0057I I： ジョブ{0}は、有効なリターンコード{2}を使用してコマンド{1}を完了しました。

対処方法：これは応答が不要な通知メッセージです。

AIWI6001E： 不明なエラーが発生しました：{0}

対処方法：ソフトウェアサポートに連絡してください。

AIWI6053E： TotalFlow Production Managerがジョブ{1}を処理中に内部エラーが発生しました。getFileName()メソッドから不正なfileModeパラメーター{2}を受信しました。

対処方法：このエラーをソフトウェアサポートに報告してください。

AIWI6073E： ジョブがエラーリターンコード{1}で終了しました。

対処方法：エラーをソフトウェアサポートに報告してください。

AIWI6106E： TotalFlow Production Managerは現在のワークフローのアクティビティ{0}を確認することができません。

対処方法：アクティビティが存在し、ワークフローがこのアクティビティを指定していることを確認してください。問題が解決しない場合は、このエラーをソフトウェアサポートに報告してください。

AIWI6109E： {0}の値にスペースを含めることはできません。TotalFlow Production Managerはプリンター{1}を作成できません。

対処方法：値を訂正し、プリンターの作成を再試行してください。

AIWI6111E E： 外部コマンドが失敗しました。TotalFlow Production Managerはプリンター{0}を作成できません。

原因：TotalFlow Production Managerはこのプリンターに対応していないか、プリンターが正しく停止またはエラー状態で停止している可能性があります。

対処方法：プリンターの電源が入っていて実行していることを確認してください。または、プリンターが停止していない場合は、営業担当者に連絡してください。

AIWI6128E： 内部エラーが原因で、ジョブ{0}をプリンター{1}で印刷できませんでした。ジョブの印刷を再試行してください。

原因：現在のジョブの印刷試行中に内部エラーが発生しました。

対処方法：詳しくは、ログファイルを確認してください。同じプリンターまたは別のプリンターで、ジョブの印刷を再試行してください。問題が解決しない場合は、このエラーをソフトウェアサポートに報告してください。

AIWI6446E：プリンターエラーが原因で、ジョブ{0}をプリンター{1}で印刷できませんでした。

対処方法：プリンターのエラーを確認して修正し、ジョブの印刷を再試行してください。

AIWI6453E：TotalFlow Production Managerファイル{0}が見つかりません。TotalFlow Production Managerジョブのバナーページを印刷できません。

対処方法：ファイルが存在することを確認するか、正しいファイル名を入力してから、ジョブの印刷を再試行してください。

AIWI6475E：ジョブまたは用紙交換{0}の特殊な指示シートを印刷できませんでした。

対処方法：用紙交換{0}の特殊な指示シートを確認するか、変更してください。

AIWI6484E：プリンター{1}でジョブ{0}の特殊な指示シートを印刷できませんでした。

対処方法：ジョブ{0}の特殊な指示シートを確認するか、変更してください。

AIWI6485E：プリンター{1}で用紙変更{0}の特殊な指示シートを印刷できませんでした。

対処方法：ジョブ{0}の特殊な指示シートを確認するか、変更してください。

AIWI6488E：プリンター{1}でジョブ{0}の区切り紙（ジョブ前）を印刷できませんでした。

対処方法：ジョブ{0}の特殊な指示シートを確認するか、変更してください。

AIWI6489E E：プリンター{1}でジョブ{0}を印刷できませんでした。

原因：ジョブが完了していません。

対処方法：プリンターの接続と状況を確認し、ジョブの印刷を再試行してください。問題が解決しない場合は、カスタマーサポートに連絡してください。

AIWI6490E：プリンター{1}でジョブ{0}の区切り紙（ジョブ後）を印刷できませんでした。

対処方法：ジョブ{0}の特殊な指示シートを確認するか、変更してください。

AIWI6497E E：メディア処理エラー：{0}、エラー：{1}

対処方法：インポートファイルの内容が有効であることを確認してください。リソースを再度エクスポートしてから、もう一度インポートを試行してください。

AIWI6498E E：プリンターのリソース取得中に最大エラーカウントに達しました。

対処方法：プリンターのJMFインターフェースを確認し、起動中かつ実行中であることを確認し、プリンターのネットワーク接続も確認してください。

AIWPnnnnメッセージ

AIWP0012I I： ユーザー{0}はすでにグループ{1}内に存在します。

対処方法：異なるグループを指定し、アクションを再試行してください。

AIWP0017I I： プリンター{0}はすでに存在します。

対処方法：異なるプリンター名を指定し、アクションを再試行してください。

AIWP0057I I： {0}という名前のオブジェクトはすでに存在します。

対処方法：別の名前を指定し、アクションを再試行してください。

AIWP0068I I： プリンター{0}はすでに無効になっています。

対処方法：ブラウザーウィンドウを更新してください。

AIWP0069I I： プリンター{0}はすでに有効になっています。

対処方法：ブラウザーウィンドウを更新してください。

AIWP3001WW： TotalFlow Production Managerは次のジョブをキャンセルできません{0}。

対処方法：ブラウザーウィンドウを更新してください。

AIWP3003WW： TotalFlow Production Managerは次のジョブを削除できません{0}。

対処方法：ブラウザーウィンドウを更新してください。

AIWP3007WW： TotalFlow Production Managerは{0}を削除できません{1}で使用中です。

対処方法：{1}から全てを削除したあとで{0}から削除します。問題が解決しない場合は、このエラーをソフトウェアサポートに報告してください。

AIWP3010WW： 同じ種類の別のオブジェクトまたは{0}という名前の関連種類のオブジェクトがすでに存在します。

説明：同じ種類の2つのオブジェクトに同じ名前を付けることはできません。また、アクティビティの名前をワークフローと同じ名前にできません。

対処方法：別の名前を指定し、アクションを再試行してください。問題が解決しない場合は、このエラーをソフトウェアサポートに報告してください。

AIWP3020WW： TotalFlow Production Managerは、{1}の処理中のジョブカウントにより、ワークフロー{0}を更新しませんでした。

対処方法：TotalFlow Production Managerがこのジョブ種類を指定する全てのジョブを削除するまで待機し、再試行します。問題が解決しない場合は、このエラーをソフトウェアサポートに報告してください。

AIWP3051WW： ワークフロー{0}の{1}プロパティの値：{2}には、フォルダー{3}への読み取り/書き込みアクセス権がありません。

対処方法：このプロパティに異なる値を指定し、アクションを再試行してください。

AIWP3061WW： TotalFlow Production Managerは{0}を削除できません。保護されています。

対処方法：{0}はTotalFlow Production Managerから削除できません。{0}に対するユーザー権限を検証してください。アクションを再試行してください。問題が解決しない場合は、このエラーをソフトウェアサポートに報告してください。

AIWP3070W W： TotalFlow Production Managerプリンターが到達不能であるため、プリンター{0}とのSNMP接続を確立しませんでした。

対処方法：プリンターがネットワークで表示され、実行していることを確認してください。

AIWP3071W W： {0}：{1}。

原因：対応が必要な警告がプリンターで発生しています。このメッセージはTotalFlow Production Managerによって生成されず、プリンター機器からSNMPを経由して受信しました。

対処方法：プリンターの警告を確認してください。

AIWP6070E I： ユーザー{0}はすでに存在します。

対処方法：別のユーザー名を指定し、アクションを再試行してください。

AIWP6126E E： TotalFlow Production Managerジョブがプリンター{0}に割り当てられている間、プロパティ値の変更はできません。

対処方法：プリンターから全てのジョブを消去してください。プロパティ値を再度変更してください。

AIWP6137E E： TotalFlow Production Managerはジョブが処理中の状態({1})のときは、ジョブ{0}を再起動できません。

対処方法：ジョブを再起動する前に、ジョブが処理中ではないことを確認してください。

AIWP6154E E： TotalFlow Production Managerプリンターでジョブが処理中のときには、プリンター{0}を削除できません。{1}ジョブ。

対処方法：処理中のジョブをプリンターから削除し、プリンターの削除を再試行してください。

AIWP6157E E： TotalFlow Production Managerはジョブ{0}は{1}状態になっているため停止できません。

対処方法：上書きエラーアクションを使用し、エラー状態からジョブを移動してください。

AIWP6210E E： {0}：{1}。

原因：対応が必要なエラーメッセージがプリンターで発生しています。このメッセージはTotalFlow Production Managerによって生成されず、プリンター機器からSNMPを経由して受信しました。

対処方法：プリンターのエラーを確認してください。

AIWP6219E E： 用紙{0}を削除できません。用紙はプリンター{1}によって使用されています。

対処方法：用紙をプリンターから取り除き、削除を再試行してください。

AIWP6220E E： 用紙{0}を削除できません。用紙はプリンター{1}によって使用されています。

対処方法：用紙をプリンターから取り除き、削除を再試行してください。

AIWP6224E E：プリンター{0}には、{1}から選択された排紙トレイが必要です。

対処方法：選択した排紙トレイがプリンターで使用可能であることを確認してください。

AIWP6225E E：プリンター{0}は対応する用紙に{1}が必要です。

対処方法：用紙{1}をプリンター{0}で対応する用紙として追加してください。

AIWP6226E E：TotalFlow Production Manager SNMPを経由してプリンターに接続できません。

対処方法：プリンターのIPアドレスとネットワーク接続を確認してから、再試行してください。

AIWP6234E E：数時間試行しましたが、SNMP接続は確立できません。

原因：プリンターまたはネットワークが停止している可能性があります。

対処方法：IPアドレスまたはネットワーク接続を確認してください。再接続するには、プリンタープロパティノートブックからSNMPを無効にして有効にします。

AIWP6250E E：許可されたプリンターの最大数{0}を超えています。

対処方法：複数のプリンターを削除してから、再試行してください。

AIWP6258E E：用紙交換はプリンターと同じ名前を持つことはできません{0}。

対処方法：用紙交換に別の名前を入力してから、用紙交換の作成を再試行してください。

AIWP6260E E：パスワードが一致しません。

対処方法：新しいパスワードと確認用パスワードを再入力し、これらが同じであることを確認してください。

AIWP6284E E：プリンターコネクタは、要求されたIPアドレスに接続できません。

原因：TotalFlow Production Managerはネットワーク経由でプリンターに接続できません。

対処方法：ネットワーク状況を確認し、プリンターがネットワーク経由でアクセスできることを検証してください。問題が解決しない場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。

AIWP6290E E：用紙を削除できません。{0}用紙は用紙交換{1}によって使用されています。

対処方法：用紙交換を削除してから、用紙の削除を再試行してください。

AIWP6293I I：ワークフロー{0}が削除されました。

対処方法：これは情報メッセージです。ユーザーの応答は不要です。

AIWP6296E E：ジョブが処理中のため、ジョブ{0}で「再印刷」操作を実行できません。

対処方法：ジョブが処理を完了するのを待機し、「再印刷」アクションを繰り返します。

AIWP6297E E: ジョブ{0}が処理中のため、ジョブで削除アクションを実行できません。

対処方法: ジョブが印刷を完了するのを待機してから、削除操作を繰り返してください。

AIWP6299W W: ハードディスクの空き容量が必要なレベルの{0} MB未満になりました。予防措置として全てのワークフローが無効化されています。

対処方法: TotalFlow Production Managerから不要なジョブを削除するか、オペレーティングシステムから不要なファイルを削除してディスク容量を{0} MB以上空けてください。ワークフローを再度有効にできます。

AIWP6302E E: リカバリーモードであるため、ジョブをプリンター{0}に移動できません。

対処方法: 別のプリンターにジョブを移動するか、プリンターの問題を修正してリカバリーが終了した後に、プリンターにジョブを再移動してください。

AIWP6303E E: 次のプリンターがこのプリンターをバックアッププリンターとして使用しているため、プリンターを削除できません: {0}

対処方法: 他のすべてのプリンターのバックアップからプリンターを未設定にし、再度削除してください。

AIWP6307E E: 同じ名前のプリンターが存在するため、プリンタープール{0}を作成できません。

対処方法: プリンタープールに別の名前を指定してください。

AIWP6308E E: 同じ名前のプリンタープールが存在するため、プリンタープール{0}を作成できません。

対処方法: プリンターに別の名前を指定してください。

AIWP6309E E: プリンターのSNMPパラメーターが無効です: {0}: {1}.

対処方法: SNMPパラメーターを確認してください。

AIWP6311E E: 1つまたは複数のワークフローで使用されているため、プリンタープール{0}を削除できません。

対処方法: ワークフローを他のプリンタープールまたはプリンターに割り当ててください。

AIWP6312E E: 1つまたは複数のジョブで使用されているため、プリンタープール{0}を削除できません。

対処方法: 別のプリンタープールまたはプリンターにジョブを移動してください。

AIWP6314E E: プリンター{1}がシステムに存在せず、プリンタープールがプリンターに依存しているため、プリンタープール{0}を作成または更新できませんでした。

対処方法: 必要なオブジェクトが全てあることを確認し、再試行してください。

AIWP6315E E: プリンター{1}がシステムに存在しておらず、ワークフローはそのワークフローに依存しているため、ワークフロー{0}を作成または更新できませんでした。

対処方法: 必要なオブジェクトが全てあることを確認し、再試行してください。

AIWP6316E E： {0}という名前の用紙はすでに存在します。

対処方法：用紙に別の名前を指定してください。

AIWP6321W W： TotalFlow Production Manager プリンターコネクタがSNMPv3で失敗し、SNMPv1に切り替わりました。

対処方法：プリンターのSNMP設定を確認してください。

AIWP6323W W： 体験版ライセンスの有効期限はあと{0}日です。

対処方法：ライセンスの期限が切れた場合は、システムは動作を停止します。他のものを購入せずに恒久ライセンスをインストールするには、以下の操作を行います。TotalFlow Production ManagerがインストールされているシステムでWindowsの「スタート」メニューからライセンスアプリケーションを起動し、ライセンスアプリケーションヘルプの指示に従ってください。

AIWP6324W W： ライセンスの期限が切れています。有効なライセンスがインストールされるまでジョブは処理されません。

対処方法：恒久ライセンスを購入し、インストールしてください。TotalFlow Production ManagerがインストールされているシステムでWindowsの「スタート」メニューからライセンスアプリケーションを起動し、ライセンスアプリケーションヘルプの指示に従ってください。

AIWP6325E E： この操作は現在プリンター「{0}」で実行できません。プリンターの画面が起動し、実行中であることを確認してください。

対処方法：プリンターのJMF画面で、起動して実行中であることを確認してください。また、プリンターのネットワーク接続も確認してください。

AIWP6326E E： プリンター{1}がシステムに存在せず、通知がプリンターに依存しているため、通知{0}を作成または更新できません。

対処方法：必要なオブジェクトが全てあることを確認し、再試行してください。

AIWP6327E E： プリンター{1}がシステムに存在せず、通知がプリンターに依存しているため、通知{0}を作成または更新できません。

対処方法：必要なオブジェクトが全てあることを確認し、再試行してください。

AIWP6332E E： 子ジョブ{1}がエラー状態のため、ジョブ{0}はエラー状態になっています。

対処方法：子ジョブのエラーを修正するか、ソフトウェアサポートに連絡してください。

AIWP6329I I： プリンタープール{0}はジョブ{2}から{1}個の子ジョブを作成しました。

対処方法：これは情報メッセージです。ユーザーの応答は不要です。

AIWP6330I I： プリンタープール{0}はジョブ{1}をプリンター{2}に移動しました。

対処方法：これは情報メッセージです。ユーザーの応答は不要です。

AIWP6331I I： プリンタープール{0}はジョブ{1}を子ジョブとして作成しました{2}。部数は{3}に設定されました。

対処方法：これは情報メッセージです。ユーザーの応答は不要です。

AIWP6328E E: 次のエラーが発生したため、インポートされたリソースの内容が無効です: {0}

対処方法: インポートファイルの内容が有効であることを確認してください。リソースを再度エクスポートしてから、もう一度インポートを試行してください。

AIWP6335W W: 選択されたページ範囲は、ジョブ{0}のページ範囲ではありません。

対処方法: 正しいページ範囲を選択し、アクションを再試行してください。

AIWR_{nnnn}メッセージ

AIWR6006E: 指定された終了時刻は開始時刻の後に発生する必要があります。

対処方法: 終了時刻を開始時刻の後にくるよう変更し、再度クエリを生成してください。

AIWR6007E: 指定された終了時刻は開始時刻と同じにできません。

対処方法: 終了時刻を開始時刻の後にくるよう変更し、再度クエリを生成してください。

AIWR6008E: 名前が{0}のレポートはすでに存在します。

対処方法: レポートを別の名前で保存してください。

AIWS_{nnnn}メッセージ

AIWS6086E E: ジョブ{1}に未対応のPDF種類{0}。

対処方法: ジョブを削除してください。

AIWX_{nnnn}メッセージ

AIWX0010I I: ジョブ{0}はアクティビティ{1}のプリフライトチェックを通過しました。

対処方法: これは情報メッセージです。ユーザーの応答は不要です。

AIWX0010E E: ジョブ{0}にはPDFに変換できない非対応のデータ種類があります。ジョブを変換するには、PCLまたはPostScriptが必要です。

対処方法: データ種類がPCLまたはPostScriptのジョブのみを送信してください。

AIWX0013E E: ジョブ{0}をPDFに変換できませんでした。

対処方法: PostScriptファイルを生成したPostScriptドライバーが許可する場合は、ファイルにはバイナリデータではなく、ASCIIデータが含まれていることを確認してください。

AIWX6003E E: ワークフローが見つかりません: {0}

対処方法: ワークフローはすでに削除されています。Webブラウザウィンドウを更新してください。

AIWX6004E E: ワークフロー{0}はすでに存在します

対処方法：名前が{0}のワークフローはすでに存在します。このプリンターに別の名前を指定してください。

AIWX6011E E: 最初にワークフロー{0}を無効にしてください

対処方法：ワークフロー{0}を無効にしてから再試行してください。

AIWX6020E E: ジョブが存在しているため、ワークフローを削除できません。

対処方法：削除する前にこのワークフローから全てのジョブを削除してください。

AIWX6026E E: ジョブが存在しているため、ワークフロー{0}をインポートできません。

対処方法：再度インポートする前にこのワークフロー{0}から全てのジョブを削除するか、インポート済みファイルでこのワークフローを選択しないでください。

AIWXMRRnnnnメッセージ

AIWXMRR0003E E: ジョブが次の概要で、TotalFlow Prepからエラー状態にされました：{0}。

対処方法：ジョブを再処理してください。

AIWXMRR0004I I: ジョブはTotalFlow Prep待機状態に移動しました。

対処方法：このジョブのTotalFlow Prepを起動してください。

AIWXMRR0006E E: ジョブはTotalFlow Prepからエラー状態になりました。

対処方法：ジョブを再処理してください。

AIWXNOTnnnnメッセージ

AIWXNOT0001E E: 同じ属性にルールが2つ以上あるため、通知を作成できません。

対処方法：各属性に1つのルールを選択してから、通知の作成を再試行してください。

AIWWnnnnメッセージ

AIWW6031I I: 同じプロパティでインポートした用紙"{0}"がすでに存在します。

対処方法：インポートしたオブジェクトから用紙{0}を未選択にしてください。

11. 参照

- 用紙プロパティ値
- JobDirect注文用JDF用紙プロパティ
- 正規表現
- 記号表記でファイル名を指定する
- コマンドでジョブ属性シンボルを使用する
- コマンドで使用するプリンター属性シンボル

TotalFlow Production Managerを設定や管理するときは、参照情報を使用してください。

用紙プロパティ値

TotalFlow Production Managerでプリンターの用紙リストの用紙を作成すると、プロパティに以下の表の値を設定します。

対応する用紙種類、トレイに用紙をセットする方法、用紙種類については、プリンター機器の使用説明書を参照してください。

薄紙/普通紙/厚紙に印刷する

この表ではプリンター機器が種類別に分類されています。プリンター機器種類に用紙種類の値がない場合は、プリンター機器はその用紙種類に対応していません。

表にリストされた用紙種類を印刷する場合は、TotalFlow Production Manager【用紙のプロパティ】ダイアログの【坪量(g/m²)】プロパティを、使用するプリンター機器に応じて設定してください。以下のプロパティにはデフォルト値を使用してください。

- 【用紙種類】
- 【カラー】
- 【古紙含有率(%)】
- 【印刷済み紙】
- 【パンチ済み紙】
- 【表面質感/テクスチャー】
- 【コーティング（おもて面）】
- 【不透明度】

デフォルト値を変更すると、【坪量(g/m²)】プロパティの値が上書きされます。

プリンターの用紙種類	A	B	C	D	E	F	G	H	I
薄紙		40-51	52-65	52-65	60-75	60-63	52.3-63		60-63
普通紙	52-90	52-105	66-80	66-80	76-100	64-80	64-80	52.3-104	64-80
普通紙2			81-99	81-100		81-105	81-105		81-105
中厚口		106-163	100-127	101-127	101-126	106-163	106-163		106-163
厚紙1	91-216	164-216	128-163	128-169	127-156	164-220	164-220	52.3-104	164-220

プリンターの用紙種類	A	B	C	D	E	F	G	H	I
厚紙2		217-256	164-249	170-249	157-220	221-256	221-256		221-256
厚紙3		257-300	250-300	250-300	221-300	257-300	257-300		257-350

ほかの用紙種類に印刷する

前の表以外の用紙種類には、TotalFlow Production Manager【用紙のプロパティ】ダイアログのプロパティを以下の表に従って設定してください。値が表に記載されていない場合は、デフォルト値を使用してください。デフォルト値を変更すると、ほかのプロパティ値（特に【坪量(g/m²)】）が上書きされる場合があります。

表1

プリンターの用紙種類	TotalFlow Production Manager【用紙種類】	【坪量(g/m ²)】	【カラー】	【古紙含有率(%)】	【印刷済み紙】
色紙1	【普通紙】		【ブルー】、【グレー】、【グリーン】、【アイボリー】、【オレンジ】、【ピンク】、【パープル】、【レッド】、【イエロー】以外の色		
ブルー	【普通紙】		【ブルー】		
グレー	【普通紙】		【グレー】		
グリーン	【普通紙】		【グリーン】		
アイボリー	【普通紙】		【アイボリー】		
オレンジ	【普通紙】		【オレンジ】		
ピンク	【普通紙】		【ピンク】		
パープル	【普通紙】		【パープル】		
レッド	【普通紙】		【レッド】		
イエロー	【普通紙】		【イエロー】		
再生紙	【普通紙】			1-100	
印刷済み紙	【普通紙】				【はい】
パンチ済み紙	【普通紙】				
特殊紙	【普通紙】				
特殊紙1	【普通紙】				
特殊紙2	【普通紙】				
特殊紙3	【普通紙】				

プリンターの用紙種類	TotalFlow Production Manager [用紙種類]	[坪量(g/m2)]	[カラー]	[古紙含有率(%)]	[印刷済み紙]
特殊紙4	[普通紙]				
特殊紙5	[普通紙]				
特殊紙6	[普通紙]				
コート紙	[普通紙]				
コート紙1	[普通紙]				
コート紙2	[普通紙]				
コート紙3	[普通紙]				
トレーシングペーパー	[普通紙]				
OHPフィルム	[透明シート]				
封筒	[封筒]				
ラベル紙	[ラベル紙]				
レターヘッド	[レターヘッド]				
インデックス紙	[インデックス紙]、[インデックス紙（フルカッタブ）] または[インデックス紙（プリカッタブ）]				

表2

プリンターの用紙種類	[パンチ済み紙]	[表面質感/テクスチャー]	[コーティング（おもて面）]	[不透明度]
色紙1			[なし]	
ブルー			[なし]	
グレー			[なし]	
グリーン			[なし]	
アイボリー			[なし]	
オレンジ			[なし]	
ピンク			[なし]	
パープル			[なし]	
レッド			[なし]	
イエロー			[なし]	
再生紙			[なし]	

プリンターの用紙種類	[パンチ済み紙]	[表面質感/テクスチャ]	[コーティング（おもて面）]	[不透明度]
印刷済み紙			[なし]	
パンチ済み紙	[はい]		[なし]	
特殊紙		[ライトコックル]	[なし]	
特殊紙1		[ライトコックル]	[なし]	
特殊紙2		[マシン仕上げ]	[なし]	
特殊紙3		[モトル]	[なし]	
特殊紙4		[トラディショナルレイド]	[なし]	
特殊紙5		[カレンダー仕上げ]	[なし]	
特殊紙6		[イングリッシュ]	[なし]	
コート紙			[コート]	
コート紙1			[コート]	
コート紙2			[グロス]	
コート紙3			[マット]	
トレーシングペーパー			[なし]	[半透明]
OHPフィルム			[なし]	[透明]
封筒			[なし]	
ラベル紙			[なし]	
レターヘッド			[なし]	
インデックス紙			[なし]	

JobDirect注文用JDF用紙プロパティ

JobDirectメディア種類テキストリストで定義される各メディア種類の値に対して、設定可能なJDF用紙属性は数多くあります。

JobDirect 用紙属性と値		TotalFlow Production Manager用紙プロパティ	補足
[印刷済み紙]	[いいえ]	[印刷済み紙]	
	[はい]		
[坪量]		[坪量]	
[メディア種類]		[用紙]	[透明シート] は、現在対応していません。
[カラー]	[ブラック]	[カラー]	
	[ブルー]		

JobDirect 用紙属性と値		TotalFlow Production Manager用紙プロパティ	補足
	[ブラウン]		
	[バフ]		
	[シアン]		
	[ダークブラック]		
	[ダークブルー]		
	[ダークブラウン]		
	[ダークバフ]		
	[ダークシアン]		
	[ダークゴールド]		
	[ダークゴールドデンロッド]		
	[ダークグレー]		
	[ダークグリーン]		
	[ダークアイボリー]		
	[ダークマゼンタ]		
	[ダークマルチカラー]		
	[ダークマスタード]		
	[ダークオレンジ]		
	[ダークピンク]		
	[ダークレッド]		
	[ダークシルバー]		
	[ダークターコイズ]		
	[ダークバイオレット]		
	[ダークホワイト]		
	[ダークイエロー]		
	[ゴールド]		
	[ゴールドデンロッド]		
	[グレー]		
	[グリーン]		
	[アイボリー]		
	[ライトブルー]		
	[ライトブラウン]		
	[ライトバフ]		

JobDirect 用紙属性と値		TotalFlow Production Manager用紙プロパティ	補足
	[ライトシアン]		
	[ライトゴールド]		
	[ライトゴールデンロッド]		
	[ライトグレー]		
	[ライトグリーン]		
	[ライトアイボリー]		
	[ライトマゼンタ]		
	[ライトマルチカラー]		
	[ライトマスタード]		
	[ライトオレンジ]		
	[ライトピンク]		
	[ライトレッド]		
	[ライトシルバー]		
	[ライトターコイズ]		
	[ライトバイオレット]		
	[ライトホワイト]		
	[ライトイエロー]		
	[マゼンタ]		
	[マルチカラー]		
	[マスタード]		
	[なし]		
	[オレンジ]		
	[ピンク]		
	[レッド]		
	[シルバー]		
	[ターコイズ]		
	[バイオレット]		
	[ホワイト]		
	[イエロー]		
[穴の種類]		[なし]	[S-汎用] は、現在対応していません。
[不透明度]	[不透明]	[なし]	
	[透明]		

JobDirect 用紙属性と値		TotalFlow Production Manager用紙プロパティ	補足
	[半透明]		
[表面質感/テクスチャ]	[アンティーク]	[表面質感/テクスチャ]	- 特殊な表面質感/テクスチャのないジョブに使用するデフォルト値は「スムーズ」です。 「スムーズ」はTotalFlow Production Manager操作画面で「なし」にマッピングされます。
	[カレンダー仕上げ]		
	[コックル]		
	[ダル]		
	[エッグシェル]		
	[エンボス]		
	[エンボスリンネル]		
	[イングリッシュ]		
	[フェルト]		
	[レイド]		
	[ライトコックル]		
	[リネン]		
	[光沢]		
	[マシン仕上げ]		
	[モトル]		
	[パーチメント]		
	[セミベラム]		
	[シルク]		
	[スムーズ]		
	[ステップル]		
	[スエード]		
	[スーパーカレンダー仕上げ]		
	[スーパースmooth]		
	[トラディショナルレイド]		
	[ウルトラスムーズ]		
	[カレンダー仕上げなし]		
	[ベラム]		
	[ベルベット]		
	[ウーブ]		
[おもて面コーティング]		[なし]	

JobDirect 用紙属性と値		TotalFlow Production Manager用紙プロパティ	補足
[メディア種類の詳細]	[厚紙]	[種類]	- 特殊な表面質感/テクスチャーのないジョブに使用するデフォルト値は「ステーションナリー」です。 「ステーションナリー」は「普通紙」操作画面で TotalFlow Production Managerにマッピングされます。
	[長尺連続紙]		
	[短尺連続紙]		
	[封筒]		
	[窓なし封筒]		
	[窓付き封筒]		
	[フルカッタブ]		
	[ラベル紙]		
	[レターヘッド]		
	[MultiPartForm]		
	[印画紙]		
	[プリカッタブ]		
	[ステーションナリー]		
	[インデックス紙]		
	[トラクター用紙]		
	[infoprint:Artificial]		
	[infoprint:PlasticFolder]		
	[infoprint:NoCarbonRequired]		
	[infoprint:CustomMediaType_Type]		

正規表現

10

TotalFlow Production Managerでファイル識別パターンを指定するには、正規表現を使用します。

正規表現は、以下のとおりです。

- | | |
|------------|---|
| リテラル文字 | 検索時に特別な意味を持たない文字です。リテラル文字は大文字と小文字が区別されます。たとえば、Aとaは一致しません。 |
| を参照してください。 | ドットはすべての文字を意味します。たとえば、.atはcat、rat、batと一致します。 |
| () | 括弧は文字グループを識別します。たとえば、(ABC)はABCと一致します。 |
| - | ハイフンは文字の範囲を定義します。たとえば、0-9は一桁の数字と一致します。 |

*	アスタリスクは前の文字が0以上あることを意味します。たとえば、N* は、なし（Nがない）、N、NN、NNNなどに一致します。.*は、1文字または複数文字の文字列に一致します。
+	プラス記号は直前の文字があることを意味します。たとえば、N+は、N、NN、NNNなどに一致します。.+は、1文字または複数文字の文字列に一致します。
{ }	中括弧内の数字は前の文字が繰り返される回数を意味します。たとえば、x{3}はxxxと一致します。
?	疑問符は前の文字がオプションであることを意味します。たとえば、jpe?gはjpegまたはjpgと一致します。
[]	大括弧は文字セットを囲みます。文字セットの文字のうち1つと一致します。たとえば、[ABC]はA、B、Cと一致します。
[^]	大括弧内の先頭にあるキャレットは文字セットを排除します。たとえば、[^ABC]はA、B、C以外の文字と一致します。
	バーティカルバーは選択できる値を区切ります。たとえば、A aはAまたはaと一致します。
^	正規表現の先頭のキャレットは文字列の先頭を意味します。たとえば、^A.*¥.psはABC.psと一致します。
\$	正規表現の最後のドル記号は文字列の末尾を意味します。たとえば、.*ps\$はpsの拡張子があるファイル名と一致します。
¥	円記号は次の文字がリテラル文字になることを意味します。たとえば、¥(ABC¥)は(ABC)と一致します。

例

これらの例のいずれも、次の拡張子を持つファイルに一致します。PDF、PDf、PdF、Pdf、pDF、pDf、pdF、またはpdf。

```
. *PDF$ ) | ( . *PDf$ ) | ( . *PdF$ ) | ( . *Pdf$ ) | ( . *pDF$ ) | ( . *pDf$ ) | ( . *pdF$ )
( . *pdf$ )
. *(PDF|PDf|PdF|Pdf|pDF|pDf|pdF|pdf)$
. *[(PDF)(PDf)(PdF)(Pdf)(pDF)(pDf)(pdF)(pdf)]$
. *(P|p)(D|d)(F|f)$
. *(P|p)(D|d)(F|f)
. *[Pp][Dd][Ff]$
. *[Pp][Dd][Ff]
```

記号表記でファイル名を指定する

スプールディレクトリーのファイルを指定時にファイル名が不明場合があります。ファイル名を取得するには、getFileName、getAbsoluteFileName、getOperInstを使用します。

たとえば、パススループリンターを作成するときは、プリンター機器にジョブを送信するコマンドを指定します。このコマンドでは各ジョブに異なる印刷ファイル名を指定してください。印刷ファイル名を取得するには、getFileNameまたはgetAbsoluteFileNameコマンドを使用します。オプションで、ジョブを印刷する前に特殊指示をジョブ区切り紙に印刷するコマンドを指定できます。特殊指示があるファイル名を取得するには、getOperInstコマンドを使用します。

getFileName/getAbsoluteFileNameコマンド

特定の印刷ファイル名を取得するには、getFileNameとgetAbsoluteFileNameコマンドを使用します。2つの方式の違いは、指定されたデータ型のファイルが存在しない場合にgetAbsoluteFileNameはエラーになり、getFileNameは検索を続行することです。unknownデータ型の印刷ファイルが存在する場合は、ファイル名を取得します。

以下のコマンドを使用します。

- データ型がわかっている場合に印刷ファイルを検索するには、以下の操作を行います。

```
${getFileName(print, Datatype, read)}
${getAbsoluteFileName(print, Datatype, read)}
```

- データ型が複数のデータ型のいずれかである場合に印刷ファイルを検索するには、以下の操作を行います。

```
${getFileName(print, (Datatype1, Datatype2...), read)}
${getAbsoluteFileName(print, (Datatype1, Datatype2...), read)}
```

コマンドの内容は、以下のとおりです。

print

印刷可能ファイルの検索中を特定するキーワードです。

Datatypeまたは (**Datatype1, Datatype2...**)

検索ファイルのデータ型を特定するキーワードです。データ型の値は、以下のとおりです。

pcl

pdf

ps

tiff

png

jpeg

unknown

RPCSなどのキーワードを持たないデータ型にはunknownを使用します。

read

印刷コマンドが印刷プールからジョブファイルを読み取ることを特定するキーワードです。

getOperInstコマンド

印刷可能な特殊指示があるファイル名を取得するには、getOperInst方式を使用します。

特殊指示ファイルを検索するには、次のコマンドを使用します。

```
${getOperInst(pdf)}
```

例

以下の例では、パススループリンターの【コマンド】または【特殊な指示のコマンド】プロパティの値として指定できるコマンドを説明します。これらのコマンドは、TotalFlow Production Managerからパススループリンターにファイルを送信します。TotalFlow Production Managerワークフローにファイルを送信するときはこれらのコマンドを使用しないでください。

Windowsのlprコマンドは印刷スプールからPCL、PostScript、PDFファイルを読み取り、officeprinter.acme.comというパススループリンターにPASS：

```
lpr -S officeprinter.acme.com -P PASS -o 1
${getAbsoluteFileName(print,(pcl,ps,pdf),read))}
```

という印刷キューとともにファイルを送信します。o1フラグはファイルがバイナリーであることを示します。

次のコマンドは特殊指示があるPDFファイルを読み取り、officeprinterに送信します。

```
lpr -S officeprinter.acme.com -P PASS -o 1
${getOperInst(pdf)}
```

コマンドでジョブ属性シンボルを使用する

ジョブ属性は、パススループリンターまたは【外部アプリケーションを実行】アクティビティのコマンドでシンボルとして使用できます。コマンドを実行すると、シンボルは、パススループリンターで印刷されているか、【外部アプリケーションを実行】アクティビティによって処理されているジョブの指定されたプロパティの値に置き換えられます。

たとえば、このコマンドはジョブの印刷ファイルをc:\%testフォルダーへコピーします。

```
copy ${getAbsoluteFileName(print,(pcl,ps,pdf),read))} c:\%test%\${Job.Name}
```

宛先ファイルの名前は、ジョブの【名前】プロパティの値になります。

コマンド内のジョブ属性シンボル

コマンド内のジョブ属性のシンボル	表示されたプロパティの名前
\${Job.Name}	【名前】
\${Job.ID}	【ID】
\${Job.SummaryPhase}	【現在のフェーズ】
\${Job.PhaseProgress}	【進行状況】
\${Job.State}	【状態】
\${Job.UserName}	【ユーザー名】
\${Job.PredictedPrinter}	【予測プリンター】
\${Job.JobSize}	【合計シート数】
\${Job.SubmitTime}	【データ送信日時】
\${Job.DueDate}	【納期】
\${Job.DueDateCategory}	【納期日カテゴリー】

コマンド内のジョブ属性のシンボル	表示されたプロパティの名前
<code>\${Job.Copies}</code>	【部数】
<code>\${Job.ColorPages}</code>	【カラーページ】
<code>\${Job.BwPages}</code>	【白黒ページ】
<code>\${Job.UserCode}</code>	【ユーザーコード】
<code>\${Job.Duplex}</code>	【片面/両面】
<code>\${Job.Media}</code>	【用紙設定】
<code>\${Job.OutputBin}</code>	【排紙トレイ】
<code>\${Job.Punch}</code>	【パンチ】
<code>\${Job.RequestedPrinter}</code>	【要求済みプリンター】
<code>\${Job.Staple}</code>	【ステープル】
<code>\${Job.RetainUntil}</code>	【指定日時まで保存】
<code>\${Job.CustomerName}</code>	【お客様】
<code>\${Job.OrderNumber}</code>	【注文番号】
<code>\${Job.Connection}</code>	【接続】
<code>\${Job.Description}</code>	【概要】
<code>\${Job.InputDatastream}</code>	【入力データ形式】
<code>\${Job.PDF.Format}</code>	【PDF形式】
<code>\${Job.InputFile.Size}</code>	【入力ファイルサイズ（バイト）】
<code>\${Job.WaitReason}</code>	【待機理由】
<code>\${Job.TotalPages}</code>	【ページ】
<code>\${Job.TotalSheets}</code>	【シート】
<code>\${Job.PagesStacked}</code>	【印刷済みページ】
<code>\${Job.SheetsStacked}</code>	【印刷済みシート】
<code>\${Job.CopiesStacked}</code>	【印刷済み部数】
<code>\${Job.Print.CumulativePagesStacked}</code>	【累積印刷済みページ】
<code>\${Job.Print.CumulativeSheetsStacked}</code>	【印刷済み累積シート】
<code>\${Job.CurrentPrinter}</code>	【現在のプリンター】
<code>\${Job.Print.AssignPrintTime}</code>	【ジョブ送信日時】
<code>\${Job.PageRange}</code>	【ページ範囲】
<code>\${Job.ReleaseToPrint}</code>	【指定日時まで保留】
<code>\${Job.PrintControl}</code>	【印刷方法】
<code>\${Job.FoldOptions}</code>	【折り】
<code>\${Job.RetainStartTime}</code>	【保存開始時間】

コマンド内のジョブ属性のシンボル	表示されたプロパティの名前
<code>\${Job.JobType}</code>	[ワークフロー]
<code>\${Job.StepAlias}</code>	[現在のアクティビティ]
<code>\${Job.ColorMode}</code>	[カラー/白黒]
<code>\${Job.Priority}</code>	[優先度]
<code>\${Job.ReprintCount}</code>	[再印刷の数]

コマンドで使用するプリンター属性シンボル

プリンター属性は、パススループリンターまたは［外部アプリケーションを実行］アクティビティのコマンドでシンボルとして使用できます。

コマンド内のプリンター属性シンボル

プリンター属性のシンボル	ユーザーインターフェイスに表示されるプロパティ名
<code>\${Printer.ColorMode}</code>	[カラーモード]
<code>\${Printer.CommunicationProtocol}</code>	[プリンター言語]
<code>\${Printer.CommunityName}</code>	[コミュニティ名]
<code>\${Printer.CustomerName}</code>	[お客様名]
<code>\${Printer.Description}</code>	[概要]
<code>\${Printer.Enabled}</code>	[有効]
<code>\${Printer.EnableOnRestart}</code>	[再起動後プリンターの状態を維持]
<code>\${Printer.FoldingCapable}</code>	[折り]
<code>\${Printer.ID}</code>	[名前]
<code>\${Printer.JobSize}</code>	[対応するジョブの合計シート数]
<code>\${Printer.Language}</code>	[メッセージ言語]
<code>\${Printer.LoadedPapers}</code>	[セット済み用紙]
<code>\${Printer.MaxConcurrentJobs}</code>	[同時実行ジョブ最大数]
<code>\${Printer.Model.Specific}</code>	[モデル]
<code>\${Printer.OperatorInstInputTrayName}</code>	[区切り紙用給紙トレイ]
<code>\${Printer.PagesPerMin}</code>	[プリンター速度（ページ/分）]
<code>\${Printer.PunchCapable}</code>	[パンチ]
<code>\${Printer.Recovery.Delay}</code>	[リカバリー遅延]
<code>\${Printer.Recovery.Printer}</code>	[バックアッププリンター]
<code>\${Printer.SerialNumber}</code>	[機番]
<code>\${Printer.SNMPActiveVersion}</code>	[有効なバージョン]

プリンター属性のシンボル	ユーザーインターフェイスに表示されるプロパティ名
<code>\${Printer.SNMPAuthPasswd}</code>	【中セキュリティパスワード】
<code>\${Printer.SNMPAuthType}</code>	【認証種類】
<code>\${Printer.SNMPContextName}</code>	【コンテキスト名】
<code>\${Printer.SNMPPrivacyPasswd}</code>	【パスワードの最大文字数】
<code>\${Printer.SNMPPrivacyType}</code>	【プライバシー種類】
<code>\${Printer.SNMPSecurityLevel}</code>	【セキュリティレベル】
<code>\${Printer.SNMPStatus}</code>	【SNMP状況】
<code>\${Printer.SNMPUsername}</code>	【ユーザー名】
<code>\${Printer.SNMPVersion}</code>	【要求済みバージョン】
<code>\${Printer.SNMPVersionFallback}</code>	【バージョンフォールバック】
<code>\${Printer.StapleCapable}</code>	【ステープル】
<code>\${Printer.Status}</code>	【状況】
<code>\${Printer.TCPIP.Address}</code>	【TCP/IPアドレスまたはホスト名】
<code>\${Printer.Type}</code>	【種類】
<code>\${Printer.UseSNMP}</code>	【SNMPを使用】
<code>\${Printer.Version}</code>	【バージョン】

索引

A

aiwbackup	239
aiwrestore	241

C

Chrome	
言語	111
設定中	111
プライバシー	111

F

Firefox	
言語	110
設定中	110
プライバシー	110
FTP、ジョブを受信するために設定する ..	79

G

getAbsoluteFileName	275
getFileName	275
getOperInst	275
Google Chrome	
言語	111
設定中	111
対応バージョン	20
プライバシー	111

J

JPEG	17
------------	----

L

LPDプロトコル	
ワークフローを設定する	84
使用制限	101
ワークフローを設定する	84
lpqコマンドはサポートされていません ...	84
lprコマンド	277, 279
内のファイル名	275
パススループリンターの設定	144
パススループリンターを設定する	58
例	275, 277
ワークフローを設定する	84

M

Microsoft Edge	
言語	113

設定中	113
対応バージョン	20

Mozilla Firefox	
言語	110
設定中	110
対応バージョン	20
プライバシー	110

P

PCL	17
PDFに変換する	181, 184, 228
PDF	17
PitStopサーバー	
設定する	196
PNG	17
PostScript	17
PDFに変換する	181, 183–184, 228
PostScript変換オプション	107

R

RICOH TotalFlow Prep	
RICOH TotalFlow Production Managerとの関係	13
RICOH TotalFlow Production Manager	
サービス	
サポート中のサービス	245
使用不可	245
RPCS	17

S

SMTPサーバー	102
SNMP	
エラー	247
と給紙トレイをマッピング	124
プリンターコントローラーの設定 ...	55, 60

T

TIFF	17
TotalFlow PM PDF印刷ドライバー	
からジョブを送信	135
TotalFlow Prep	
からジョブを送信する	131
ジョブを編集する	178
TotalFlow Production Manager	
URL	110

概要.....	13	後書きシート	
使用不可.....	245	判読不能.....	248
はじめに.....	13	用のプリンターの設定.....	64
ログイン.....	110	色付き背景.....	173
TotalFlowジョブ送信方法		印刷位置調整.....	157
ジョブを送信する.....	131	印刷コマンド	
U		内のファイル名.....	275
URL		パススループリンターの設定.....	144
TotalFlow Production Manager	110	パススループリンターを設定する.....	58
オンラインマニュアル.....	2	ファイル名.....	277
URLs		プリンタープロパティースymbol.....	279
オンラインマニュアル.....	110	例.....	275, 277
W		印刷ジョブレポート	234
Webアドレス		印刷品質.....	171, 174
TotalFlow Production Manager	110	印刷品質設定.....	171
オンラインマニュアル.....	2, 110	印刷品質設定を変更する.....	171
Webブラウザ		印刷フェーズ.....	217
設定中.....	110	印刷面.....	155
対応.....	20	印刷面を選択する.....	155
Webページ、プリンター.....	126	インポート.....	91
あ		インポート中	
アクティビティー.....	91	プリンター用紙カタログ.....	86
外部		エクスポート.....	91
定義.....	226	エラー	
外部アプリケーションを実行する.....	228	TotalFlow Production Manager使用不	
削除中.....	231	可.....	245
作成中.....	223	アップグレード失敗.....	246
ジョブプロパティのデフォルト	224	印刷が予定されていないジョブ.....	249
定義.....	17	印刷状態において.....	250
のプロパティの変更.....	224	仕上げ.....	253
フォルダーへコピーする.....	230	ジョブが変更されません.....	248
ワークフローから削除する.....	222	ジョブサイズ.....	249
ワークフローへ追加する.....	221-222	ジョブ送信.....	246
アクティビティープロパティ		ジョブ注文内.....	250
表示中.....	224	ジョブを別のプリンターに送信する.....	65
変更中.....	224	ステープル.....	253
新しいユーザー設定レイアウト.....	158	製本.....	253
新しいユーザー設定レイアウトを追加		総シート数0	249
する.....	158	入力値.....	248
アップグレード.....	246	入力ファイル内.....	248
アップロードファイル		フォント.....	248-249
要件.....	131	無視.....	206
		文字.....	249, 248

ワークフローログ内.....	248
エラーメッセージ.....	120
オブジェクト	
のリスト.....	15
オブジェクトのグルーピング中.....	114
オブジェクトのソーティング中.....	114
オブジェクトの無効化中.....	122
オブジェクトの有効化中.....	122
オブジェクトをエクスポート.....	91
オペレーター権限.....	93
おもて面を上.....	163
おもて面を上 に 排紙.....	163
おもて面を下.....	163
おもて面を下 に 排紙.....	163
折り.....	162, 164
折りの種類.....	162, 164

か

回転.....	156	カラーマネージメント	
回転角度.....	156	設定中.....	103
外部アプリケーション.....	229	簡易メール転送プロトコルサーバー.....	102
外部アプリケーションの実行アクティビ		管理者権限.....	93
ティーを作成する.....	228	完了フェーズ.....	217
セットアップ.....	227	ギャングアップ.....	155
外部アプリケーションのアクティビ		ギャングアップレイアウトを設定.....	155
ティーを実行する.....	228	給紙トレイ.....	124, 251
外部プリフライト.....	195	キューページ	
概要.....	13	概要.....	29
画質.....	174	キューポッド	
カスタムアクティビティー		概要.....	30
作成中.....	223	拡大.....	116
カスタムプリンター定義ファイル.....	57	の拡大/縮小.....	116
カスタムプリンター定義ファイルを削		フィルタリング.....	147
除する.....	57	キューポッドの拡大.....	116
画像位置揃え.....	157	キューポッドの拡大縮小.....	116
画像のスモーキング.....	174	区切り紙	
カラー/白黒.....	168	注文外.....	250
カラー/白黒で印刷する.....	168	用のプリンターの設定.....	64
カラーコレクションカーブ.....	176	区切りページ.....	126, 180
カラー設定.....	168	区切り用紙	
カラー設定を変更する.....	168	判読不能.....	248
カラーバー.....	169	グラフィックス品質.....	174
カラーバーの印刷.....	169	グラフィック品質.....	174
カラープロファイルを設定する.....	169	くるみ製本表紙.....	167
		くるみ製本表紙の追加.....	167
		Kのみ.....	173
		権限.....	93
		言語	
		Google Chrome.....	111
		Microsoft Edge.....	113
		Mozilla Firefox.....	110
		コーナートンボ.....	161
		コーナートンボを印刷.....	161
		こんなときには	
		問題.....	245

さ

サーバー	
定義.....	15
ログ.....	120
サーバープロパティー	

LPDジョブを送信できるホスト	101	準備フェーズ.....	217
自動ログアウトタイマー.....	99	障害復旧	
設定中.....	92	データの回復中.....	241
定義.....	18	データのバックアップ.....	239
パスワード有効期限カウンター.....	98	状況	
変更中.....	92	表示する.....	118
サーバーポッド.....	32	表示できません.....	248
サイズ0ジョブ	249	詳細なカラー設定.....	170
最大印刷可能領域に印刷.....	164	商標.....	5
最大数のジョブ.....	251	除去中	
最大濃度.....	173	オブジェクト.....	123
削除中		書籍	
オブジェクト.....	123	HTMLの表示中	2
作成する.....	50	PDFの表示中	2
パススループリンター.....	58	URL	2
作成中		概要.....	1
カスタムアクティビティ.....	223	書体.....	5
接続.....	77	ジョブ.....	213
プリンタープール.....	73	PDFに変換する	181, 183–184
ユーザー.....	96	TotalFlow PM PDF印刷ドライバーから送	
用紙.....	90	信.....	135
自動的.....	87	TotalFlow Prepから送信する	131
用紙変更.....	126	TotalFlow Prepで編集する	178
ワークフロー.....	68	TotalFlowジョブ送信から送信する.....	131
サブセット.....	165	誤った文字.....	249
サブセットを仕上げる.....	165	一時停止.....	206
サンプルタスク.....	41	印刷の予定はありません.....	249
仕上げ.....	162	エラーの無視.....	206
仕上げエラー.....	253	外部アプリケーション.....	228
仕上げオプションを変更する.....	162	却下.....	205
シートビュー.....	38	グルーピング中.....	114
システム（サーバー名）	15	再印刷.....	210
システムオブジェクト		再開.....	206
のリスト.....	15	再処理.....	214
システム障害からのデータ復旧.....	239	サイズ0	249
自動回転.....	155	削除中.....	123
自動ログアウト時間設定.....	99	削除できません.....	250
重要なお知らせ.....	1	状況	
縮小/拡大	157	表示する.....	118
受信フェーズ.....	217	表示できません.....	248
手動用紙.....	159	承認.....	205
手動用紙を更新.....	159	ジョブポッドからの送信.....	129
手動用紙を追加.....	159	設定.....	198

送信中		概要.....	36
の準備.....	79	グリッドビュー.....	38
方法.....	17	ジョブビュー.....	37
ソーティング中.....	114	表示モード.....	37
探索		ジョブチケット	
用の方法.....	146	TotalFlow PM PDF印刷ドライバーから送信.....	135
注文外.....	250	TotalFlow Prepから送信する.....	131
通知の編集.....	107, 122	TotalFlow Prepで編集する.....	178
通知を作成する.....	45	TotalFlowジョブ送信から送信する.....	131
定義.....	16–17	ジョブポッドからの送信.....	129
データ置換.....	181	送信中.....	17
データフォーマット.....	17	ジョブチケットプリンター.....	15
TotalFlow PM PDF Print Driver on Windowsからの送信.....	137	作成する.....	50
TotalFlow PM PDF Print Driver for Mac OS Xからの送信.....	135	作成中.....	57
入力値エラー.....	248	データフォーマット.....	17
パスワード保護されたPDFファイルのロック解除.....	215	ジョブに表紙を追加.....	166
判読不能.....	249	ジョブの一時停止.....	206
フォルダー.....	230	ジョブの移動	
プリフライト中.....	185, 197	キュー内.....	204
プロパティーが変更されません.....	248	ジョブの却下.....	205
プロパティーの変更中.....	117, 147	ジョブの検索	
プロパティを変更する.....	151	キューポッド内.....	147
別のプリンターに移動する.....	201	ジョブポッド内.....	116
保存する.....	208	ジョブの再印刷.....	210–211
保留済み.....	250	ジョブの再開.....	206
保留する		ジョブの再処理.....	214
印刷する前に.....	206	ジョブの承認.....	205
優先度.....	204	ジョブの探索	
ログ.....	120	キューポッド内.....	147
割り当て.....	200, 203, 212	ジョブポッド内.....	116
ジョブをワークフローに移動する.....	203	プリンターにおいて.....	125
ワークフローに割り当て.....	212	用の方法.....	146
割り当て済みプリンター.....	125	割り当て済み.....	125
ジョブオプションを設定.....	152	ジョブのフィルタリング	
ジョブオプションを変更する.....	152	キューポッド内.....	147
ジョブ状況		ジョブポッド内.....	116
表示.....	147	ジョブの部数をソート.....	163
変更中.....	147	ジョブのページを修正.....	165
ジョブ性能レポート.....	234	ジョブの優先度.....	153, 204
ジョブダイアログのプロパティー		ジョブの優先度を設定.....	153
		ジョブプロパティー.....	150
		上書き.....	71

閲覧する.....	151	セキュリティ	
キューポッドのフィルタリング条件...	147	パスワードの変更中	
定義.....	18	お客様用.....	100
デフォルト.....	71, 224	その他用.....	100
表示.....	117	セキュリティ	
変更する.....	151	LPDプロトコル.....	101
変更中.....	117	権限.....	93
ジョブプロパティーの上書き		接続	
ワークフロー.....	71	MarcomCentral注文	
ジョブプロパティーのデフォルト		完了.....	142
アクティビティー.....	224	作成中.....	77
ワークフロー.....	71	注文の操作中.....	142
ジョブ保存.....	153	定義.....	16
ジョブポッド		とワークフローの関連付け.....	141
フィルタリング.....	116	接続タブ	
ジョブ名		概要.....	26
誤った文字.....	248	設定ページ	
判読不能.....	248	概要.....	31
ジョブを移動する		コーナートンボ.....	161
別のプリンターに.....	201	センタートンボ.....	161
ジョブを送信		操作画面	
の準備.....	79	対応ブラウザー.....	20
方法.....	17	ワークフローページ.....	218
ジョブを保存.....	153	概要.....	20
ジョブを保存する.....	208	操作ページ	
ジョブを保留する		概要.....	22
印刷する前に.....	206	ソート.....	163
ジョブをマージする.....	213	ソート区切り紙.....	167-168
スタンプ印字.....	178	ソート区切り紙を挿入する.....	167-168
スタンプ印字設定.....	178	た	
スタンプ印字設定を変更する.....	178	タテ.....	156
スタンプ印字を追加.....	178	タブ.....	166
ステープル/製本.....	162	内のオブジェクトのグルーピング中...	114
ステープルエラー.....	253	内のオブジェクトのソーティング中...	114
スペシャルカラー設定.....	176	タブを削除.....	166
スペシャルカラー設定を変更する.....	176	試し印刷.....	197
スペシャルトナーを選択する.....	177	試し印刷と印刷ワークフロー.....	219
全てのプリンターのワークフロー.....	219	断裁サイズ.....	160
スポットカラーマッチング.....	170	置換.....	165
正規表現.....	274	注意.....	1
性能.....	251	チュートリアル.....	41
製品の概要.....	13	追加する.....	50
製本エラー.....	253		

ファイルコピー、ジョブを受信するために設定する.....	79	タイプ.....	15
ファイルのアップロード		通知の作成.....	107
要件.....	246	通知の編集.....	122
ファイルフォーマット.....	17	通知を作成する.....	41
ファイル名		とワークフローの関連付け.....	69
誤った文字.....	248	の最大数.....	49
判読不能.....	248	プロパティーの変更中.....	117, 147
フィルター、ユーザー定義済み		マッピング用紙.....	124
キューポッド内.....	147	無効化中.....	122
ジョブポッド内.....	116	有効化中.....	122
フォルダー		用紙の使用設定.....	67
フォルダーアクティビティーへのコピーを作成する.....	230	用紙のマッピング.....	251
フォルダーアクティビティーへコピーする.....	230	用紙変更.....	126
フォント.....	248–249	リカバリー.....	65
フォント置換.....	153	ログ.....	120
フォント置換を有効化.....	153	割り当て	
複数ジョブ		のジョブプロパティー.....	49
再印刷.....	211	のプリンタープロパティー.....	49
部数		割り当て済みジョブ.....	125
変更.....	252	割り当てプロパティー.....	49
部数分割		プリンター用紙リスト	
オプション.....	16	用紙名とプロパティー.....	86
不定形サイズ.....	159	プリンター機器種類.....	267
ブラックオーバープリント.....	173	プリンター使用状況レポート.....	235
ブラックカスタムスクリーニング.....	174	プリンタータブ	
ブリード.....	160	概要.....	23
プリフライト.....	186, 192, 196	プリンタープール.....	91
設定.....	186	削除中.....	123
フォント.....	105	作成中.....	73
プリフライトする.....	195	定義.....	16
プリフライト中.....	185–186, 192	とワークフローの関連付け.....	69
プリフライトレポート.....	185	パススループリンター.....	144
プリンター.....	57	割り当て済みジョブ.....	125
webページ.....	126	プリンタープールタブ	
グルーピング中.....	114	概要.....	25
削除中.....	123	プリンタープロパティー	
作成する.....	50	定義.....	18
パススルー.....	58	表示.....	117, 147
状況.....	118	変更中.....	117, 147
ソーティング中.....	114	プリンターポッド	
		フィルタリング.....	116
		プリンター用紙カタログ	
		インポート中.....	86

プロトコル	
LPD	
使用制限.....	101
ワークフローを設定する.....	84
ホットフォルダー.....	79
プロパティ	
閲覧する.....	151, 225
定義.....	18
表示.....	117, 147
表示する.....	225
表示中.....	224
表示の変更.....	114
変更する.....	151, 225
変更中.....	117, 147, 224
ページ	
ジョブの表示方法.....	38
ページ方向.....	156
ヘッダーシート	
注文外.....	250
判読不能.....	248
用のプリンターの設定.....	64
別のシステムにオブジェクトをコピー.....	91
ヘルプ	
バルーン.....	1, 117, 147
変換.....	5, 107
変更中	
パスワード	
お客様用.....	100
その他用.....	100
方向.....	156
方法（コマンド）.....	277, 279
補助文字.....	248
保存されない値.....	248
ポッド	
に表示されるプロパティの変更.....	114
ポッド表示	
内の列の変更中.....	115
ホットフォルダー	
ワークフローを設定する.....	79
保留済みジョブフラグ.....	30
本体生産性.....	175
本体生産性設定.....	175

ま

マーク.....	5
マークとブリードの設定.....	160
マークとブリードを編集する.....	160
マージする	
ワークフローを設定する.....	225
マニュアル	
HTMLの表示中.....	2, 110
PDFの表示中.....	2
URL.....	2, 110
概要.....	1
見開きビュー.....	37
メールサーバー.....	102
メソッド（コマンドでの）.....	275
メッセージ	
言語.....	251
メッセージAIWG0000E.....	245
メッセージの言語.....	251
メッセージログ.....	120
メニューバー.....	21
文字の周りの白い線.....	173
モニター権限.....	93

や

ユーザー.....	91
グルーピング中.....	114
権限.....	93
削除中.....	123
作成中.....	96
自動ログアウト.....	99
ソーティング中.....	114
パスワードの変更中.....	100
プロパティの変更中.....	117, 147
ログ.....	120
ユーザーID.....	16
ユーザーインターフェース	
表示モード.....	37
ユーザーインターフェイス	
全てのジョブポッド.....	27
メニューバー.....	21
キューポッド.....	30
ユーザーインターフェース	
応答しない.....	252

カスタマイズ中.....	114	用紙変更アイコン.....	30
キューページ.....	29	用紙ポッド	
サーバーポッド.....	32	概要.....	32
ジョブダイアログのプロパティ.....	36	フィルタリング.....	116
設定ページ.....	31	用紙マップ.....	124, 251
操作ページ.....	22	用紙リスト.....	159
ブラウザー.....	252	用紙リストで用紙を選択.....	159
プリンターポッド.....	23–26	ヨコ.....	156
無効.....	252	余白.....	161
ユーザーポッド.....	33	余白を設定.....	161
用紙ポッド.....	32	ら	
レポートページ.....	34	ラインアート品質.....	174
レポートポッド.....	35–36	ラインセンス有効期限切れ.....	245
ユーザー設定レイアウト.....	158	例外ページ.....	164
ユーザープロパティ		例外ページを使用する.....	164
定義.....	18	レポート.....	91
表示.....	117	印刷済みジョブ.....	234
変更中.....	117	エクスポート中.....	237
ユーザーポッド		供給済み.....	233
概要.....	33	削除中.....	238
フィルタリング.....	116	時間範囲.....	236
ユーザー名.....	16	ジョブ性能.....	234
ユニコード補助文字.....	248	定義.....	17
用紙.....	91	表示.....	236
TotalFlow applications内.....	86	プリンター使用状況.....	235
インポート中.....	86	保存中.....	237
グルーピング中.....	114	レポートページ	
削除中.....	123	概要.....	34
作成中.....	90	レポートポッド	
自動的.....	87	概要.....	35–36
ソーティング中.....	114	レポート用時間範囲.....	236
坪量.....	267	ログ	
定義.....	16	監査ファイルの移動中.....	109
プリンター用紙リスト内.....	86	削除中.....	109
プリンターリスト設定.....	267	表示中.....	120
プロパティ値.....	267	ログイン.....	110
マッピング.....	124, 251	わ	
ログ.....	120	ワークフロー.....	91
を使用するためのプリンターの設定.....	67	LPDプロトコル.....	84
用紙設定.....	158	外部アプリケーションの実行アクティビ	
用紙設定を変更する.....	158	ティーを追加する.....	228
用紙の不定形サイズを設定.....	159	グルーピング中.....	114
用紙変更.....	126		

削除中.....	123	プリンタープロパティ.....	201
作成中.....	68, 221	用のジョブプロパティ.....	200
状況.....	118	用のプリンタープロパティ.....	200
ジョブプロパティの上書き.....	71		
ジョブプロパティの詳細.....	71		
ジョブワークフロープロパティ.....	198		
製品との関連付け.....	141		
ソーティング中.....	114		
通知の作成.....	107		
通知の編集.....	122		
通知を作成する.....	43		
定義.....	16		
デフォルト.....	219		
フェーズ.....	217		
フォルダーアクティビティへコピーを 追加する.....	230		
プリンターとの関連付け.....	69		
プロパティの変更中.....	117		
プロパティを変更する.....	225		
プロパティを変更する.....	225		
編集する.....	222		
ホットフォルダープロトコル.....	79		
無効化中.....	122		
有効化中.....	122		
有効にできません.....	247		
ログ内のエラー.....	248		
ログ.....	120		
ワークフロータブ			
概要.....	24		
ワークフロープロパティ			
閲覧する.....	225		
定義.....	18		
表示.....	117		
表示する.....	225		
変更する.....	225		
変更中.....	117		
ワークフローページ			
概要.....	218		
ワークフローポッド			
フィルタリング.....	116		
割り当て			
ジョブ.....	200, 203, 212		
ジョブプロパティ.....	201		

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1-3-6 〒143-8555
<http://www.ricoh.co.jp/>



お問い合わせ

お買い上げいただきました弊社製品についての操作方法に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

転居の際は、販売店にご相談ください。転居先の最寄りの販売店をご紹介します。